

Student Handbook 2017

Graduate School of Information Science

学生ハンドブック

履修案内・キャンパスライフ・諸規則

情報科学研究科



奈良先端科学技術大学院大学
Nara Institute of Science and Technology

無限の可能性、ここが最先端 — Outgrow your limits —

平成29年度 カレンダー

4 April

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30						

5 May

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

6 June

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

7 July

日	月	火	水	木	金	土
					1	
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

8 August

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

9 September

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

10 October

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

11 November

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

12 December

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

平成30年(2018)

1 January

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

2 February

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28			

3 March

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

平成 29 年度情報科学研究科学年暦

学期	月 日 (曜日)	事 項
春 学 期	4月 1日 (土) ~ 4月 2日 (日)	春季休業
	4月 3日 (月)	新入生オリエンテーション
	4月 5日 (水)	入 学 式 (終了後、全学共通オリエンテーション)
	4月 6日 (木)	全学安全教育
	4月14日 (金)	研究倫理講習会
	4月 6日 (木) ~ 6月 2日 (金)	第Ⅰ期授業
	6月 5日 (月) ~ 8月 2日 (水)	第Ⅱ期授業
	6月21日 (水)	健康診断日
	6月26日 (月)	学位記授与式
	7月 5日 (水) ~ 7月 8日 (土)	博士前期課程第1回入学者選抜試験
	8月 3日 (木) ~ 10月 1日 (日)	夏季休業
	9月25日 (月)	学位記授与式
秋 学 期	10月 1日 (日)	創立記念日
	10月 2日 (月)	秋学期入学式
	10月 3日 (火) ~ 11月29日 (水)	第Ⅲ期授業
	10月 3日 (火)	研究倫理講習会
	10月10日 (火) ~ 10月11日 (水)	博士前期課程第2回入学者選抜試験
	11月30日 (木) ~ 2月 1日 (木) 補講日: 2月 2日 (金) ~ 2月 9日 (金)	第Ⅳ期授業
	12月22日 (金)	学位記授与式
	12月23日 (土) ~ 1月 3日 (水)	冬季休業
	3月23日 (金)	学位記授与式
	3月24日 (土) ~ 3月31日 (土)	春季休業

※ 健康診断日は授業休止となります。

※ 博士前期課程入学者選抜試験の期間は授業休止となります。

※ 7月31日 (月) は木曜日、8月1日 (火) は金曜日、11月27日 (月) は木曜日、11月29日 (水) は金曜日、2月1日 (木) は火曜日の講義を行います。

授業時間

1時限	9:20~10:50 (90分授業)
2時限	11:00~12:30 "
3時限	13:30~15:00 "
4時限	15:10~16:40 "
5時限	16:50~18:20 "
6時限	18:30~20:00 "

目 次

1	奈良先端科学技術大学院大学の教育方針	
	・ 目的等	1
	・ アドミッション・ポリシー	2
	・ ディプロマ・ポリシー	3
	・ カリキュラム・ポリシー	4
	・ 研究活動上の行動規範	6
2	情報科学研究科の概要	
	・ 情報科学研究科の目的	9
	・ 特 色	9
	・ 基幹研究室名、協力研究室名、教育連携研究室名及び教育研究分野	14
3	情報科学研究科の教育及び研究指導方針	
	・ 博士前期課程	19
	・ 博士後期課程	22
4	情報科学研究科履修要件等（情報科学研究科履修規程を含む）	
	・ 修了要件	25
	・ 情報科学研究科におけるダブルディグリープログラム	28
	・ 授業科目の履修等	30
	・ 履修規程	34
5	学位審査基準等（学位規程を含む）	
	・ 学位審査基準	47
	・ 学位規程	49
	・ 論文の提出から論文審査の日程	54
6	情報科学研究科授業時間割一覧等	
	・ 平成29年度情報科学研究科授業科目及び担当教員一覧	55
	・ 授業番号に関する情報（ナンバリング）	59
	・ 授業時間割一覧	60
7	シラバス等	
	・ 電子シラバスについて	65
	・ 成績評価について	66
	・ 研究倫理教育講習会の受講について	66
	・ 英語教育について	67
	・ グローバル人材を目指して	68
8	他研究科授業科目及び担当教員一覧	71
9	各種相談受付体制	81
10	学修支援	
	・ 保健管理センター	83
	・ 健康診断及び健康・安全教育	84
	・ 障害学生支援室	84
	・ キャリア支援室	85
	・ 総合情報基盤センター	86
	・ 附属図書館	95
	・ 英語 E-ラーニングシステム（ALC NetAcademy 2）	96

11	キャンパスライフ	
	・ 授業料の額及び納付方法	97
	・ 学生証	97
	・ 学生個人報告書	98
	・ 諸手続・諸証明書	98
	・ 通学証明書	100
	・ 日本学生支援機構奨学金制度	101
	・ 民間育英団体の奨学金	101
	・ 授業料免除	101
	・ 海外への留学制度	101
	・ 学生教育研究災害傷害保険	102
	・ 学研災付帯賠償責任保険	102
	・ 学研災付帯学生生活総合保険	102
	・ 国民年金への加入について	102
	・ 学生宿舎	103
	・ 大学借り上げ住宅	103
	・ 駐車場及び駐輪場の利用	103
	・ 国立博物館キャンパスメンバーズ	104
	・ 学生の文化活動行事	104
	・ 福利厚生施設	104
	・ その他	105
	・ キャンパスマップ・建物平面図	106
12	学則・諸規程	
	・ 学 則	111
	・ 学生表彰規程	133
	・ 優秀学生奨学制度規程	134

1 奈良先端科学技術大学院大学の教育方針

目的

奈良先端科学技術大学院大学(NAIST)は、学部を置かない大学院大学として、最先端の研究を推進するとともに、その成果に基づく高度な教育により人材を養成し、科学技術の進歩と社会の発展に寄与します。

教育使命

NAIST は、先端科学技術の発展に資する人材を養成するために、学部を置かない大学院大学として平成3年10月に設置されました。NAIST の研究教育分野は、「情報科学」、「バイオサイエンス」及び「物質創成科学」の3つの基盤的な学問領域です。

21世紀における人類の豊かな生活と住みよい社会を実現し、持続していくためには、次代を担う人材を養成し、人類の存続に役立つ多様な研究成果を社会に提供することが不可欠です。そのためには、単に科学技術に精通するだけでなく、大局的な視点を合わせ持つ人材を育成する全人的な教育が必要です。

本学では、「情報科学」、「バイオサイエンス」及び「物質創成科学」という先端科学技術の基盤的な学問領域に加え、それらの融合領域の研究教育、また倫理教育や知的財産教育などにも積極的に取り組んでいます。

人材養成目的

体系的な授業カリキュラムと研究活動を通じて、博士前期課程では、社会・経済を支える高度な専門性を持ち、社会において指導的な立場に立てる人材を、博士後期課程では、科学技術に高い志を持って挑戦し、国際社会で指導的な役割を果たす研究者・技術者を養成します。

教育方針

専門教育カリキュラムに加えて、人間として備えておくべき倫理観、広い視野、理論的な思考力、積極的な行動力、総合的な判断力、さらには豊かな言語表現能力を養う、教育カリキュラムを実施します。

また、新たな融合領域へ挑戦する人材を養成するための、3研究科が連携した教育プログラム、高度な国際性を養成するための、海外の教育研究連携校との共同プログラムを含む、教育プログラムを実施します。

そして、自己評価や外部評価をフィードバックして、常に教育の質の向上を図るとともに、教育研究環境の充実と優秀な学生の経済的支援を進めます。

アドミッション・ポリシー

【求める学生像】

国内外を問わず、また大学での専攻にとらわれず、高い基礎学力をもった学生あるいは社会で活躍中の研究者・技術者などで、将来に対する明確な目標と志、各々の研究分野に対する強い興味と意欲をもった者を積極的に受け入れます。

○情報科学研究科

情報科学研究科では、情報・通信の科学と技術の発展や変化に柔軟に対応できる能力を身に付けるため、物事を論理的に考えることができ、また、自分の考えが的確に表現できる力をもった人を求めます。

- 1 前期課程では、旺盛な好奇心と何にでも挑戦する実行力をもった人。
- 2 後期課程では、専門テーマにおける問題の発見と解決の方策を見出す力をもった人。

○バイオサイエンス研究科

バイオサイエンス研究科では、次のような人を求めます。

- 1 生命現象の基本原理と生物の多様性を分子レベル及び細胞レベルで解明することに熱意と意欲を持っている人。
- 2 バイオサイエンスの深く広い専門知識を人類社会の諸問題の解決に役立たせることに強い関心を持ち、幅広い科学技術分野での活躍を志している人。

○物質創成科学研究科

物質創成科学研究科では、次のような人を求めます。

- 1 物質科学や融合領域の創造的かつ先端的研究を行うことに熱意と意欲を持っている人。
- 2 人類社会の諸問題や産業界の要請に強い関心を持ち、技術革新や幅広い科学技術分野での活躍を志している人。

【入学者選抜の基本方針】

上記資質を有する優秀な人材を国内外から集めるため、入学者選抜は人物重視とし、面接試験を中心とした選抜試験を実施するとともに、推薦入試などの多様な選抜試験を実施します。

ディプロマ・ポリシー

奈良先端科学技術大学院大学は、学部を置かない国立の大学院大学として、最先端の研究を推進するとともに、その成果に基づく高度な教育により人材を養成し、もって科学技術の進歩と社会の発展に寄与することを目的とし、次のようなディプロマ・ポリシーを定めます。

○博士前期課程

本学修士学位取得者は、社会・経済を支えるために必要とされる、幅広い視野、専門分野の学識、専攻分野における研究技術及び研究者・技術者あるいは高度の専門性を要する職業に必要な能力を備えていなければなりません。次に掲げる知識・能力等を習得している者に修士（工学、理学又はバイオサイエンス）の学位を授与します。

- 1 情報科学（情報科学研究科）、バイオサイエンス（バイオサイエンス研究科）あるいは物質科学（物質創成科学研究科）に関連する幅広い知識及び専門分野における先端知識。
- 2 研究・開発のプロセスを担うことのできる能力。
- 3 プレゼンテーション・コミュニケーション能力。

○博士後期課程

本学博士学位取得者は、研究者として自立して研究活動を行い、又はその他の高度に専門的な業務に従事するために必要な研究能力及びその基礎となる豊かな学識をもち、国際社会で指導的な役割を果たす能力を備えていなければなりません。次に掲げる知識・能力等を習得している者に博士（工学、理学又はバイオサイエンス）の学位を授与します。

- 1 創造性の豊かな研究者に求められる情報科学（情報科学研究科）、バイオサイエンス（バイオサイエンス研究科）あるいは物質科学（物質創成科学研究科）に関連する幅広く深い知識及び専門分野における高度な先端知識。
- 2 問題発見・解決能力及び研究立案・推進能力。
- 3 プレゼンテーション能力。
- 4 英語力を含めた国際性とコミュニケーション能力。

カリキュラム・ポリシー

博士前期課程

国内外の教育研究機関・企業等において先端科学技術に関する研究あるいはその活用・普及に従事する人材を養成するための体系的な専門教育カリキュラムを編成するとともに、人間として備えておくべき倫理観はもとより、広い視野、理論的な思考力、更には豊かな言語表現能力を養う教育を実施します。

博士後期課程

博士前期課程の方針に加え、科学技術に高い志をもって挑戦し、国際社会において指導的な役割を果たす人材を養成するため、高度な研究能力及び国際性を養成する教育を実施します。

○情報科学研究科

(博士前期課程)

博士前期課程では、以下の方針に沿って教育を行います。

- 1 情報科学に関連する幅広い知識及び専門分野の高度な先端知識を修得可能なカリキュラム。
- 2 多様な分野からの入学者に対応したカリキュラム。
- 3 専門分野だけに偏らない広い視野を修得可能なカリキュラム。
- 4 研究者として必要な英語力を修得可能なカリキュラム。
- 5 プレゼンテーション・コミュニケーション能力の向上を目指した教育。
- 6 専門分野における問題発見・解決能力の修得を目指した教育。

(博士後期課程)

博士後期課程では、以下の方針に沿って教育を行います。

- 1 ディスカッションや講義を通じた専門分野に関する深い学識の修得。
- 2 研究プロジェクトを主体的に企画立案・遂行する能力の修得。
- 3 国際的に活躍できるためのプレゼンテーション・コミュニケーション能力の修得。
- 4 専門分野だけに留まらない長期的な広い視野の修得。
- 5 未知の問題にも取り組める解決能力の修得。

○バイオサイエンス研究科

(博士前期課程)

博士前期課程では、以下の方針に沿って教育を行います。

《バイオエキスパートコース》

- 1 バイオサイエンスに関連する幅広い知識を修得させるカリキュラムを編成する。
- 2 バイオサイエンスの基盤となる研究力を養成する。
- 3 科学英語能力の向上を目指した教育を行う。
- 4 プレゼンテーション能力やコミュニケーション能力の向上を目指した少人数クラス

の教育方法を取り入れる。

- 5 産業活動・社会活動における科学技術の問題点やあるべき姿を考察する能力や倫理観を養成する。

《フロンティアバイオコース》

- 1 バイオサイエンスに関連する幅広く深い知識を修得させるカリキュラムを編成する。
- 2 最先端の機器や技術を使いこなす研究力を養成する。
- 3 科学英語能力の向上を目指した教育を行う。
- 4 プレゼンテーション能力やコミュニケーション能力の向上を目指した少人数クラスの教育方法を取り入れる。
- 5 研究活動における科学技術の問題点やあるべき姿を考察する能力や倫理観を養成する。

(博士後期課程)

博士後期課程では、以下の方針に沿って教育を行います。

- 1 バイオサイエンスに関連するより深く幅広い高度な専門知識を修得させる。
- 2 解決すべき問題を自ら探し出す探査能力を育成する。
- 3 問題解決に向けた方策を提案できる思考力と論理力を養成する。
- 4 提案した方策を自らの力で実行できる高度な研究能力を養成する。
- 5 他の研究者と日本語のみならず英語でも有用な情報を交換し、議論できるコミュニケーション能力を育成する。
- 6 得られた成果を幅広く情報発信できるプレゼンテーション能力を向上させる。

○物質創成科学研究科

(博士前期課程)

博士前期課程では、以下の方針に沿って教育を行います。

- 1 物質科学に関連する幅広い知識及び専門知識を修得させるカリキュラムを編成する。
- 2 物質科学の基盤となる研究・開発能力を養成する。
- 3 英語能力の向上を目指した少人数教育を行う。
- 4 プレゼンテーション・コミュニケーション能力の向上を目指した教育を提供する。
- 5 社会との関わりを深めるための一般科目が充実した教育を提供する。

(博士後期課程)

博士後期課程では、以下の方針に沿って教育を行います。

- 1 物質科学に関する先端研究や講義を通して先端研究能力、物質科学に関連する幅広く深い知識及び高度な先端知識を修得させる。
- 2 多様な視点からの多角的な討論を経験する教育を提供する。
- 3 得られた研究成果のプレゼンテーションを重視した教育を提供する。
- 4 英語力を含めた国際性を強化する教育を提供する。
- 5 研究プロジェクトを主体的に企画提案・運営する能力を養成する。

奈良先端科学技術大学院大学における研究活動上の行動規範

平成20年2月21日

研究活動とは、先人達が行った研究の諸業績を踏まえた上で、調査、観察、実験等によって知り得た事実やデータを素材としつつ、自分自身の省察、発想、アイデア等に基づく新たな知見を創造し、知の体系を構築していく行為である。

その成果は、人類共通の知的資産を築くものであり、人類の幸福、経済及び社会の発展を支えている。

このような研究活動は、研究活動に対する研究者の誠実さが前提となっており、データや結果の捏造、改ざん、及び他者の研究成果の盗用に加え、同じ研究成果の重複発表、論文著作者が適正に公表されない不適切なオーサーシップ等の不正行為は、研究活動の本質に反するものであり、絶対に許されるものではなく、厳しい姿勢で臨まなければならない。

奈良先端科学技術大学院大学は、このような研究活動に関する基本的認識の下に、“本学で研究活動に携わるすべての者”（以下「研究者」という。）が研究を遂行する上で求められる行動規範を定める。

1. 研究者の責任

研究者は、自らが生み出す専門知識や技術の質を担保する責任を有し、更に自らの専門知識、技術及び経験を活かして、社会の安全と安寧、そして環境の保全に対する責任を有する。

2. 研究者の行動

科学の自律性が社会からの信頼と負託の上に成り立つことを自覚し、自らの研究姿勢を常に点検しつつ正しい信念に基づいて誠実に行動する。また、研究によって生み出される知の正確さや正当性を、科学的にかつ客観的に示す最善の努力をするとともに、科学者コミュニティ、特に自らの専門領域における研究者相互の評価に積極的に参加する。

3. 自己の研鑽

自らの専門知識・能力・技芸の維持向上に努めるとともに、科学技術と社会・自然環境の関係を広い視野から理解できるようにたゆまず努力する。

4. 説明と公開

自ら携わる研究の意義と役割を積極的に公開して説明し、その研究が人間、社会、環境に及ぼし得る影響並びに起こし得る変化を評価し、その結果を中立性・客観性をもって公表するとともに、社会との建設的な対話を築くように努める。

5. 研究活動

自らの研究の立案・計画・申請・実施・報告等の過程において、この規範の趣旨に沿って誠実に行動する。研究・調査データの記録保存や厳正な取扱いを徹底し、捏造、改ざん、盗用等の不正行為を行わず、また加担もしない。

6. 研究環境の整備

責任ある研究の実施と不正行為の防止を可能にする公正な環境の確立・維持も自らの重要な責務であることを自覚し、科学者コミュニティ及び自らの所属する組織の研究環境の質的向上に積極的に取り組む。また、これを達成するために社会の理解と協力が得られるよう努める。

7. 研究費の適正な使用

研究費の使用に当たっては、関係法令、学内諸規約等並びに各種外部資金による研究において定められた条件及び使用ルール等を遵守する。

8. 研究対象、環境、安全等への配慮及び生命倫理の尊重

研究への協力者の人格・人権を尊重し、福利に配慮する。また、研究実施上、環境及び安全に対して有害となる可能性のあるもの（放射線、放射性同位元素、遺伝子組換え生物、核燃料物質、外来生物、毒劇物、環境汚染物資等）を取り扱う場合には、関係法令、学内諸規約及び学会等の指針等を遵守し、ヒトや動物を対象とした研究においては、生命倫理を最大限尊重する。

9. 他者との関係

他者の成果を適切に評価すると同時に、自らの研究に対する批判には謙虚に耳を傾け、誠実な態度で意見を交える。また、他者の知的財産権に係るものに関しては、守秘義務を遵守する。中でも、論文や研究費の審査の過程で知り得たものについては、守秘義務の遵守に厳密に注意を払わなくてはならない。さらに、研究の過程で入手した他者の個人情報への保護に努め適正な取扱いを行う。

10. 差別・ハラスメントの排除

人種、性別、地位、思想・宗教等によって個人を差別せず、公平に対応して、個人の自由と人格を尊重する。また、立場や権限を利用して、その指示・指導等を受ける者に不利益を与えるような言動は取らない。

11. 利益相反

自らの研究、審査、評価、判断等において、個人と所属組織又は異なる組織間の利益の衝突に十分に注意を払い、公共性に配慮しつつ適切に対応する。さらに、国立大学法人奈良先端科学技術大学院大学利益相反ポリシー等を遵守する。

2 情報科学研究科の概要

情報科学研究科の目的

コンピュータ本体及び情報ネットワークに関する技術、コンピュータと人間のインタラクション及びメディアに関する技術、ロボット等コンピュータを駆使する各種システム及び生命現象や生命機能を解き明かすバイオ情報処理に関する技術などの分野で、最先端の研究を推進するとともに、その成果に基づく体系的な教育プログラムの実施により、高度情報化社会を支える研究開発を担う研究者や高度な専門性を持った技術者を養成することを目的とする。

情報科学研究科の特色

「ユビキタス情報社会を実現する最先端の教育研究拠点」です。

情報と通信の科学と技術は、先端科学技術分野における創造活動の基盤として、様々なシステムを構築して運用する技術を支え、社会を動かす原動力となっています。今後、その役割と影響力は益々大きくなり、社会環境の変化に伴う多様な要求に柔軟に対応する能力と、新しいものを産み出す活力が、一層強く求められてきます。

このような観点から、情報科学に関わる高度な基盤研究を推進するとともに、定評のある教育カリキュラムと抜群の研究力で、感覚と判断を支援する情報処理技術、大規模な情報システムや安心できる情報ネットワークの構築・運用技術、情報科学と生命科学が関わる広汎な融合領域などで高度情報社会をリードする人材を育成しています。

◇ 世界最高水準の大学院づくりを推進

これまでに培ってきた人材育成の実績をもとに、現在は、特色ある三つの人材育成事業を実施しています

- **Geiot: IoT 分野におけるグローバルアントレプレナー育成促進事業 (27年度より学生受入開始)**

産官学連携推進本部や大阪イノベーションハブ等の外部機関と連携して、IoT (Internet of Things: モノのインターネット) 分野を対象に、ビジネス化やイノベーション創出までを視野にいれた製品の企画・開発を行うことのできる人材の育成を行います。基礎技術の講義と、ビジネスプランや技術開発などといった役割分担を意識したチーム構成による演習中心のカリキュラムを実施します。他大学院の学生や社会人の受け入れも行われます。プログラムの詳細については <http://geiot.naist.jp/> を参照してください。

- **SecCap: セキュリティ分野における情報技術者育成のための実践教育ネットワーク**

形成事業（25年度より学生受入開始）

複数の大学と産業界による全国的なネットワークを形成し、情報セキュリティにおける実際の課題に基づく課題解決型学習等の実践的な教育を実施・普及することを目的とした人材育成事業です。暗号理論からネットワークセキュリティ、リスクマネジメントなどを学び、その実践としていくつかの演習プログラムを提供します。プログラムの詳細については <https://www.seccap.jp/naist/> を参照してください。

● IT-Triadic(IT3) : サイバーメディア社会におけるマルチスペシャリスト育成プログラム（24年度より学生受入開始）

ソフトウェア、セキュリティ、ロボティクス、三分野のスペシャリスト、および、これらの技術を複合的に修得した統合型人材の育成に取り組んでいます。本プログラムは、マルチスペシャリスト育成（Triadic コース）、次世代ロボティクス技術者育成（RT コース）、高度ソフトウェア技術者育成（Spiral コース）、情報セキュリティ技術者・管理者育成（Keys コース）の4コースに分かれています。各コースの詳細については <http://it3.naist.jp/> を参照してください。

◇柔軟な教育研究システムを整備

● 配属では学生の希望を優先

高い問題意識と研究分野の希望を持ってきた学生の意欲を尊重し、学生の希望を最優先して所属研究室や研究内容を決定します。研究室の内容が期待に沿わなかったり、自分の希望が変わったりしたときには、研究室変更も可能です。

● 情報科学の広い領域にわたる柔軟なカリキュラム

◇ 経済産業省の大学活動評価手法で最高ランクの A+評価を受けた教育カリキュラムで、社会のニーズに合致した教育を実施しています。

◇ カリキュラムは、広範な情報科学の分野を網羅して、かつ、基礎から最先端までの理論や技術が修得できるよう配慮しています。それには、多様な分野からの入学者に対応できるように「基礎科目」「基幹となる専門科目」「先端的な専門科目」「学際科目」などの幅広い講義、プレゼンテーション能力を磨く「ゼミナール」、学外の研究機関での実習も組み込んだ「プロジェクト実習」、国際的な場で情報発信できる人間を育てる「英語プレゼンテーション法」「英語ライティング法」「英語コミュニケーション法」「英語プロジェクトマネジメント法」「英語論文検索法」「英語デジタルメディア活用法」「異文化間コミュニケーション」、および、複数の教員が指導する「研究論文」や「課題研究」があります。

◇ 講義は、集中的な履修ができるように、1年を4期に分割しています。とくに「専門科目」では、急速に進展する情報科学の状況に対応するために、授業科目や授業内容を毎年見直し、必要に応じて改訂しています。

- 短期修了

- ◇ 博士前期課程の標準修業年限は2年、博士後期課程は3年ですが、優れた研究業績を修めた者は、博士前期課程は1年以上の在学で、博士後期課程は前期課程と併せて3年以上の在学で短期修了することができます。これまでに（平成28年1月現在）、前期課程で162名、後期課程で185名の短期修了を認めています。

- ◇ 優秀な学生への豊富な支援プログラムの展開

- ティーチング・アシスタント（TA）制度

- 大学院学生に対するきめ細かい指導を実現して大学院教育を充実すること、学生が将来教員や研究者になるためのトレーニングの機会を提供すること、および、教育補助業務に対する手当を支給して大学院学生の経済的自立の支援に資することなどを目的として、平成6年度から博士前期課程2年次以上の学生に対してTA制度を積極的に活用するよう努めています。（平成28年度実績：前期課程学生延べ96名、後期課程学生延べ25名）。

- TAの業務内容は、講義資料の収集・整理・作成の補助や、レポートの採点補助、および、実験の指導補助に従事することです。TAに採用された学生の報告書から「講義や実験の進め方の参考になった」「指導方法が学べて有意義であった」などの感想があげられています。

- リサーチ・アシスタント（RA）制度

- RA制度は、大学などにおける研究支援体制を充実して強化すること、ならびに、若手研究者を養成して確保することを促進する方策として、優れた博士後期課程在学者を研究プロジェクトの研究補助者として参画させ、学術研究の一層の推進を図るために、文部科学省が平成8年度から導入したものです。

- 本学では、平成7年度からRA制度を全国の大学に先駆けて自主財源で実施しており、上で述べた文部科学省のRA制度やその他の財源と併せて研究支援体制などの一層の充実・強化を図ってきました。平成20年度からは博士前期課程在学者も対象としています。（平成28年度実績：前期課程学生延べ22名、後期課程学生延べ105名。なお、研究員雇用は前期課程学生28名、後期課程学生49名。）

- 国際交流活動支援制度

国際的に活動し、社会をリードする人材を育てるために、広く海外の大学等との間で学術交流協定を締結し（現在、大学として84校、情報科学研究科のみで14校）、教員や学生の交流活動を支援しています。また、学生の国際研究集会での発表等も経費支援を行っています（平成27年度実績延べ176名）。

博士後期課程においてはダブルディグリー制度やスカラーシップ制度によって1年間、海外の大学において研究に取り組むことが可能です。欧州委員会によるスカラーシップ制度の詳細については <http://www.team-mundus.eu/> を参照してください。

- **NAIST 最優秀学生賞と最優秀学生賞**

- 博士前期課程および博士後期課程を修了した者の中から、その年度の最優秀学生を選出しています。最優秀学生には、本学支援財団より NAIST 最優秀学生賞として賞金が、本学より最優秀学生賞として記念の盾が贈呈されます。
- 博士前期課程では、学業成績、修士論文、および、研究業績を評価します。博士後期課程では、研究業績と博士論文を評価します。また、前期課程・後期課程ともに、各種の受賞や社会での活躍を評価に加味しています。

- ◇ **オープンで活気に満ちた教授陣と多彩な研究室構成**

- **活力あふれた多様な教授陣**

大学や研究所において精力的に先端的研究の実績をあげた若手研究者を教員として積極的に採用し、その若さを基盤に活力ある研究科を作っています。なお、専任教授は半数以上が大学以外の研究所に在職経験をもち、ほとんどが海外の大学での研究教育に従事した経験をもっています。

- **情報科学に関する広範囲な分野を網羅し充実した研究室構成**

情報科学研究科は平成23年度より専攻再編され、1専攻3領域となりました。コンピュータ科学領域は基幹研究室8（教授8、准教授6、助教12）および協力研究室1、メディア情報学領域は基幹研究室7（教授6、准教授7、助教10）および協力研究室1、システム情報学領域は基幹研究室6（教授6、准教授6、助教10）および協力研究室1で、計21基幹研究室、3協力研究室があります。これにより情報科学に関するほとんどの研究領域をカバーしています。これらの3つの領域は相互に繋がりが強くそれぞれの境界を意識することなく一体として教育と研究を行っています。

- **教育連携研究室等による産官学の共同研究・教育の積極的推進**

先端的な情報科学にかかわる高度な基礎研究を産官学共同で推進するため、学外の最先端の研究機関に13の**教育連携研究室**を設置しています。これらの研究室では、本学の教員や学生と、公的研究機関や企業研究所の研究員が共同で研究と教育を行っています。また、この他にも数多くの産官学共同プロジェクトを推進しています。

- ◇ **最先端の「曼陀羅」情報環境の完備**

- **最新の統合情報処理環境「曼陀羅」**

- 本学が世界に誇る統合情報処理環境「曼陀羅」（曼陀羅ネットワーク及び曼陀羅

システム)は、基幹ネットワークに40Gビット/秒の交換速度を持つネットワークスイッチを採用し、各研究室のフロアにも1G~10Gビット/秒の速度帯域を提供しています。また、キャンパスの屋内外で50M~100Mビット/秒の無線LANも運用されています。更に、国内外の学術研究ネットワークとの高速な接続も実現しており、広域ネットワークにおけるさまざまなサービスが利用可能です。

- ▶ 情報処理装置としては、1人1台のワークステーションと4ペタバイトを超えるファイルサーバ、また情報科学研究に不可欠な多様な高機能サーバ群を配置し、情報通信関連研究や生命情報関連研究など情報科学の先端的な研究を遂行していくための基盤環境を提供しています。

- **電子図書館とマルチメディア情報環境高度化の研究推進**

- ▶ 本学の電子図書館は、最新の統合情報処理環境システムと融合することにより、いつでもどこでも雑誌や文献の内容が閲覧できる環境を実現した24時間稼働しているデジタルアーカイブです。
- ▶ 講義・講演や教育用ビデオなどのマルチメディア情報も収録しているので、情報ネットワークを介してどこからでも授業アーカイブを含む動画像などを閲覧できます。また、より高度な機能をもった最先端電子図書館の研究開発プロジェクトも推進されています。

コンピュータ科学 Computer Science

コンピュータ本体及び情報ネットワークに関する技術領域についての研究・教育を行っています。

	研究室及び教員	教 育 研 究 分 野
基	■ コンピューティング・アーキテクチャ 教授 中島 康彦 准教授 中田 尚 助教 Tran Thi Hong 助教 張 任 遠	次世代超小型・低電力・高性能コンピュータシステム開発に必要となる、ハードウェアからソフトウェアまでの幅広い先端基盤技術と、これらを最適化するアーキテクチャを追求しています。対象とするテクノロジー階層は、デバイス、アナログ回路、無線通信回路、デジタル回路、FPGA、LSI、コンパイラ、OS、アプリケーションなど。 ● 人工知能搭載IoT向け小型・低消費電力・高性能コンピュータアーキテクチャ、粗粒度再構成可能アーキテクチャ、Light-Field画像処理アクセラレータ、画像認識アクセラレータ、超低消費電力802.11ah無線通信回路、ARM-FPGA連携、ハードウェア設計と高位合成、メモリインテンシブコンピューティング、新素材ガラスコンピュータ、アナログニューラルネットワークコンピュータ、超高速学習LSIアーキテクチャ、画像認識LSIの探索システム応用
	■ ディペンダブルシステム学 教授 井上 美智子 准教授 大下 福仁	誰もが信頼して利用できるディペンダブルなシステムのために、分散システム・アルゴリズムに関する理論的研究からVLSIのテスト・信頼性・安全性に関する実用的研究まで多角的にディペンダビリティの研究・教育を行う。 ● アルゴリズム：分散アルゴリズム、共有メモリ分散システム、自己安定アルゴリズム、モバイルエージェント、センサネットワーク、アドホックネットワーク、P2Pネットワーク、ナノスケール分散システム
	■ ユビキタスコンピューティングシステム 教授 安本 慶一 准教授 荒川 豊 助教 諏訪 博彦 助教 藤本 まなと 特任助教 水本 旭洋	あらゆる場所に情報技術が溶け込んだユビキタスコンピューティング社会の実現を目標に、様々な要素技術に関する基礎研究から、それらを用いた実システムの構築に至るまで、理論と実践の両面から教育・研究を行う。 ● スマートホーム（見守り・省エネ）、情報家電連携システム、コンテキストウェアシステム（コンシェルジュ）、健康支援システム（e-healthウェアラブル）、ユーザ参加型センシング（ゲーミフィケーション）、サイバーフィジカルシステム（CPS）、高度交通システム（ITS、カーシェア）、災害時通信システム（DTN）、社会情報システム（ソーシャルセンシング・ビッグデータ分析）、コンテキスト推定（位置推定・行動認識）、モノのセンサ化（IoT）、分散処理システム、情報流、行動変容、スマートオフィス（ストレスセンシング）、スマートスポーツ
	■ モバイルコンピューティング 教授 伊藤 実 准教授 柴田 直樹 助教 Juntao Gao 助教 川上 朋	高度交通システム（ITS）、モバイル通信、ナビゲーション、分散システム、センサネットワークなどの分野において、対象問題のモデル化、問題解決のためのアルゴリズムの設計・評価およびアプリケーションソフトウェアの設計・開発を目標とした研究・教育を行う。 ● 高度交通システム（ITS）、モバイルコンピューティング、センサネットワーク、プロトコルの統計的解析、P2P型通信システム、地理情報システム、コンテキストウェアサービス、分散並列コンピューティング、クラウドコンピューティング、暗号プロトコル、GPU向けアルゴリズム
研	■ ソフトウェア工学 教授 松本 健一 准教授 石尾 隆 助教 伊原 彰紀 助教 畑 秀明 特任助教 Raula G. Kula	ソフトウェアの開発・利用・管理・教育を支援する技術について、理論面での議論と共に技術の有用性を確かめる実証実験の両面から研究・教育を行う。 ● ソフトウェア品質評価、ソフトウェアロボティマイニング、協調ソフトウェア開発支援、ソフトウェア開発支援 Web サービス、オープンソースソフトウェア工学、実験ソフトウェア工学、ソフトウェアエコシステムデザイン、ソフトウェア再利用・剽窃分析、ソフトウェア実行モニタリング・実行状況再現・障害分析、ソフトウェアからの設計情報の抽出・復元、生体情報を用いた開発活動解析、ソフトウェア可視化・実体化、ソースコード検証の自動化、ソフトウェア検索、ソフトウェア言語処理
	■ ソフトウェア設計学 教授 飯田 元 准教授 市川 昊平 ☆准教授 田中 康 ☆准教授 高井 利憲 助教 渡場 康弘 助教 崔 恩 滯	大規模で複雑なソフトウェア・インフラストラクチャやソフトウェア・インテンシブシステム、クラウドシステムの設計・開発に必要とされる基盤技術や、設計法・開発管理手法について研究・教育を行う。 ● ソフトウェア・プロセス、ソフトウェア解析、コードクローン、リファクタリング、クラウド基盤システム、仮想計算機、仮想ネットワーク、開発支援環境、プロジェクト管理、ソフトウェア開発の見える化、ソフトウェア・ユーザビリティ、ソフトウェア教育、超上流分析、ソフトウェアの安全性・信頼性保証（アシュアランス）、ソフトウェアリスク分析手法、オープンソースプロジェクトのソーシャルネットワーク解析
	■ サイバーレジリエンス構成学 教授 門林 雄基 特任准教授 宮本 大輔 助教 檜原 茂 助教 Doudou Fall	サイバースペースおよびそれを構成するインターネットを高度化し、レジリエンスを向上させていくための実証的な技術開発と、社会に対する積極的な技術移転を目指す研究・教育を行う。 ● サイバーセキュリティ、サイバーレジリエンス、ネットワークセキュリティ、インシデントレスポンス、SDN/NFV、認証技術、オペレーティングシステム、通信プロトコル、仮想マシン、クラウドサービス構成技術、クラウドセキュリティ、ネットワーク模擬実験技術、オペレイメントワーク、モバイルネットワーク、センサネットワーク、IoTセキュリティ、位置情報サービス、Delay-/Disruption-Tolerant Network、デバイス間通信、ドローン検知、災害情報システム
室	■ 情報セキュリティ工学 教授 林 優一 助教 藤本 大介	情報セキュリティ工学研究室では、情報セキュリティをシステムに実現する際、セキュリティアランカーとなるハードウェアの安全性確保及び、それを基礎として構成されるセキュアなシステムを構築・運用するための研究・教育を行う。 ● ハードウェアセキュリティの理論と応用、組み込みシステムのセキュリティ設計・評価技術、サイドチャネル解析、故障利用解析、電磁波セキュリティ、テンペスト、ハードウェアアトローゼーション、意図的電磁妨害（IEMI）、計測・センサセキュリティ、サイバーフィジカルシステム、脅威可視化、脅威シナリオ検討、大規模電磁界計算、ハードウェアの信頼性保証、暗号アルゴリズム、乱数生成、秘密鍵共有、電磁界計測、電磁環境、機構デバイス
	■ (協力)情報基盤システム学 教授 藤川 和利 ☆教授 猪俣 敦夫 准教授 新井 伊三 助教 垣内 正年 助教 油谷 暁	インフラストラクチャとしてのインターネットを支える基盤技術や運用技術からインターネットを利用したさまざまなサービス技術といった情報基盤に関連する研究・教育を行う。 ● コンピュータネットワーク運用管理、パーベイシブコンピューティング/ユビキタスコンピューティング（環境センシング、モビリティセンシング、大規模センサデータ解析）、位置情報サービス（屋内測位、屋内ビッグデータ解析、ナビゲーションシステム）、P2Pネットワーク、クラウドコンピューティング、仮想化技術、ネットワーク/IoTセキュリティ、マルウェア解析、暗号実装、超臨場感空間IP伝送、超高精細4K/8K映像ストリーミング技術、電子図書館システム技術、分散オンラインストレージ、ネットワーク設定自動化、災害時ネットワーク（衛星ネットワーク、メッセージフェリヤ）

基幹研究室名、協力研究室名、教育連携研究室及び教育研究分野

メディア情報学 Media Informatics

コンピュータと人間のインタラクション及びメディアに関する技術領域についての研究・教育を行っています。

研究室及び教員		教 育 研 究 分 野
基 幹 研 究 室	■ 自然言語処理学 教 授 松 本 裕 治 准 教 授 新 保 仁 助 教 進 藤 裕 之 助 教 能 地 宏	人間の知能の本質である自然言語の計算機による解析と理解を中心的なテーマとし、言語の構造の解明と定式化、また、その応用及び関連の研究・教育を行う。 ● 言語解析、言語知識獲得、機械学習、テキストマイニング、言語の意味解析、言語資源データベース、リンク解析、探索、文書からの情報抽出／知識獲得、機械翻訳、言語学習、言語教育支援、多言語情報処理
	■ 知能コミュニケーション 教 授 中 村 哲 准 教 授 須 藤 克 仁 特 任 准 教 授 鈴 木 優 助 教 Sakriani Sakti 助 教 吉 野 幸 一 郎 特 任 助 教 田 中 宏 季 ☆ 准 教 授 Graham Neubig	多言語コミュニケーション、対話システム、コミュニケーションQoL技術などの人間のコミュニケーション・知識を支援する知能コミュニケーション基盤技術に関する研究・教育を行う。また、2014年度から全学多元ビッグデータ解析プロジェクトを統括。 ● 多言語音声翻訳、同時音声翻訳、機械翻訳、言語コミュニケーション支援、対話システム、音声言語認識・理解、話し言葉自然言語処理、人間の音声言語個人性モデリング、脳信号解析(Affective Computing)、概念学習、及び、これらの研究を推進するための深層学習に関する研究・教育を行う。2014年度から情報、バイオ、物質情報に関するデータサイエンス、Web複合メディア自動分析、マルチメディアデータマイニング、および、産業界のデータ分析を行う多元ビッグデータアナリティクスプロジェクトを統括。
	■ ネットワークシステム学 教 授 岡 田 実 准 教 授 東 野 武 史 助 教 Duong Quang Thang	センシング、ブロードバンドワイヤレス、ワイヤレス給電といったワイヤレスネットワークの基盤技術の実現と、これらの基礎となる信号処理論や通信理論に関する研究・教育を行う。 ● 信号処理、変復調方式、無線通信、移動通信、デジタル放送、衛星通信、光ファイバ無線、ワイヤレス給電、高信頼制御通信、電力線通信、モバイルマルチメディア、多元接続技術、OFDM、センサネットワーク、無線LAN、MIMO、デジタル回路設計、ソフトウェア無線
	■ インタラクティブメディア設計学 教 授 加 藤 博 一 准 教 授 Christian Sandor ☆ 准 教 授 山 本 豪 志 朗 助 教 Plopski Alexander 助 教 武 富 貴 史	普段の生活の中で誰もがその恩恵に預かることができる未来のインタラクティブメディアのあり方を考え、それを実現するために必要となる、メディア処理、ヒューマンインタフェースに関する研究・教育を行う。 ● ヒューマンインタフェース、拡張現実感、三次元ユーザインタフェース、バーチャルリアリティ、画像計測、コンピュータビジョン、コンピュータグラフィックス、パターン認識
	■ 光メディアインタフェース 教 授 向 川 康 博 准 教 授 船 富 卓 哉 助 教 久 保 尋 之 助 教 田 中 賢 一 郎	人間と機械が光を媒体として視覚情報を共有できる新しいインタフェースの実現を目指し、カメラで撮影した画像からシーン中で生じる光学現象を解析するためのアルゴリズム開発や光学システム設計等に関する研究・教育を行う。 ● コンピュータビジョン、コンピュータグラフィックス、質感表現、コンピュータショナルフォトグラフィ、光学システム設計
	■ サイバネティクス・リアリティ工学 教 授 清 川 清 准 教 授 佐 藤 智 和 ☆ 准 教 授 中 島 悠 太 助 教 河 合 紀 彦	使うことで新たな能力を獲得し、より安全、安心、便利な生活が送れるような、人間に対するブラグイン、エクステンションモジュールとしての情報システムに関する研究・教育を行う。 ● 人間拡張、感覚再設計、ウェアラブルコンピューティング、拡張現実感、複合現実感、バーチャルリアリティ、コンピュータビジョン、コンテキストウェアネス、人間や環境の理解、ディスプレイデバイス、生体情報処理
	■ 環境知能学 ☆ 教 授 萩 田 紀 博 准 教 授 神 原 誠 之	あらゆるものがIoT化・知能化・ロボット化する社会において、人・もの・ことの適切な関係性を実現する技術に関する研究・教育を行う。 ● ヒューマンロボットインタラクション(HRI)、ネットワークロボット、対話センシング、対話ロボット、クラウドネットワークロボティクス、自動走行車両、快適知能、IoT、拡張/複合現実感、ユビキタスコンピューティング、パターン認識、画像認識、位置計測、行動・意図の認識・理解
	■ (協力)ソーシャル・コンピューティング 特 任 准 教 授 荒 牧 英 治	ウェブ工学、ソーシャルメディア解析を中心とした情報技術を用いたアプローチで、医療を始めとした実社会への応用を目指し、実用性の高い応用成果と科学指向の両面を併せ持つ新しいタイプの情報学の研究・教育を行う。 ● ソーシャルメディア、ウェブサイエンス、自然言語処理、医療情報

注) ☆印:客員

システム情報学 Applied Informatics

生命現象や生命機能などを解き明かすバイオ情報処理や環境共生に関するシステム解析などの技術領域に関する研究・教育を行っています。

研究室及び教員		教 育 研 究 分 野
基 幹 研 究 室	■ ロボティクス 教授 小笠原 司 准教授 高松 淳明 助教 丁	視覚情報・触覚情報などのリアルタイムセンシングに基づいて知的システムを構成するために必要なロボット技術、ならびに、その応用に関して研究・教育を行う。 ● ロボットシステム、生活ロボティクス、リアルタイムシステム、人間機械協調、ヒューマンインタフェース、移動ロボット、マニピュレーション、ロボットハンド、ヒューマンモデリング、トレーニングシステム、介護・リハビリテーション、バイオメカニクス、ロボットビジョン、触覚情報処理、技能・感性評価、機械学習、認知・心理
	■ 知能システム制御 教授 杉本 謙二 准教授 松原 崇 ☆准教授 南 裕 助教 小蔵 正泰 教 小 林 泰 介	コンピュータ制御やその知能化・システム最適化などの先進的な情報科学技術に対して、数理的な手法を駆使し、実験による検証やロボット・メカトロニクスへの応用などの研究・教育を行う。 ● システム制御、機械学習、強化学習、ロボット制御、ヒューマンロボットインタフェース、運動スキル学習、ロボパスト制御、最適化、システムの知能化、ネットワーク科学、複雑ネットワークの制御、数理生物学、オンラインソーシャルネットワーク、自律システム、非線形ダイナミクス、リザーバコンピューティング、制御応用、数理科学
	■ 大規模システム管理 教授 笠原 正治 准教授 笹部 昌弘 助教 川原 純 助 教 張 元 玉	情報システムに代表される大規模複雑システムの設計・制御・構成法に向けた数理的な手法と情報処理技術を開発し、現実システムに応用する研究・教育を行う。 ● システム・アナリティクス、人間行動知覚型ネットワーク、ネットワーク・デザイン(IoT、P2P、DTN)、災害情報システム(避難誘導、被災状況推定、リスク分析)、分散型仮想通貨(ブロックチェーン)、意思決定(ゲーム理論、待ち行列理論、機械学習)、クラウド・コンピューティング(データセンタ)、アルゴリズム(グラフ理論、マイニング、ビッグデータ)
	■ 数理情報学 教授 池田 和司 准教授 吉本 潤一郎 特任准教授 久保 孝富 助教 爲井 智也 助 教 佐々木 博昭	数理モデルにもとづいた問題解決、特に機械学習アルゴリズムの開発と解析、脳神経活動を中心とした生体信号の解析やモデル化に基づく知識発見や診断支援、ヒューマン・マシン・システムの開発に関する研究・教育を行う。 ● 数理情報学、機械学習、データマイニング、逆問題、時系列解析、ビッグデータ解析、適応ロボティクス、ヒューマンモデリング、生体情報処理、システム生物学、脳情報科学、計算神経科学、計算論的精神医学
	■ 生体医用画像 教授 佐藤 嘉伸 准教授 大竹 義人 助教 横 田 太	医用画像の解析を中心として、統計的学習や生体シミュレーションを統合して、人体の構造・機能の数理モデル化、および医療診断・治療の高度知能化を目指す“計算医学”に関する研究・教育を行う。 ● 医用画像解析、コンピュータ外科、仮想人体、計算解剖学、計算医学、統計的人体モデル、医療意思決定支援システム、診断・治療支援システム、手術ナビゲーション、手術シミュレーション、生体シミュレーション、ネットワーク医療、医療ビッグデータ、画像処理・拡張現実感・機械学習の医療応用
	■ 計算システムズ生物学 教授 金谷 重彦 ☆教授 杉浦 忠男 准教授 Md.ALTAf-UL- ☆准教授 佐藤 哲大 助教 小野 直亮 助 教 黄 銘	生命現象を情報科学により解明する。ナノからマクロに至る様々な生命機能に対する計測手法と、それによる生命機能解明のための情報処理技術に関する研究・教育を行う。 ● バイオデータベース、バイオネットワーク、バイオインフォマティクス、メタボロミクス、システムズバイオロジー、データサイエンス、医療情報学、生命機能計測、生体医工学、バイオイメージング、インシリコバイオロジー、医用画像工学、無拘束生体計測、ヘルスケアインフォマティクス、深部体温計
	■ (協力)ロボットビジョン ☆教授 金出 武雄 特任助教 伍 洋	海外の研究者とも密接に連携しながら、コンピュータビジョンの技術を通して、ロボットの性能を強化したり生活の質を向上するような研究・教育を行う。 ● コンピュータビジョン、深層学習、ウェアラブルカメラ、First Person Vision、画像処理、映像処理、パターン認識、ロボティクス、映像監視、モバイルコンピューティング、機械学習

(注) ☆印:客員

基幹研究室名、協力研究室名、教育連携研究室及び教育研究分野

教育連携研究室

研究室及び教員		教育研究分野
教	■ コミュニケーション学 ☆教授 澤田 宏 ☆准教授 岩田 具治	インターネット上の大量のテキスト情報やSNS情報などとセンサーデータなどの実世界の情報とを結び付け、人間の社会的・経済的活動をモデル化、分析、予測し、コミュニケーションの本質に迫る研究・教育を行う。 ● 機械学習、データマイニング、トピックモデル、センサ情報処理 (連携機関名: 日本電信電話(株)NTTコミュニケーション科学基礎研究所)
	■ 計算神経科学 ☆教授 川人 光男 ☆准教授 森本 淳	脳機能の情報処理の観点からの解明と、それに基づく新たな人工知能の実現を目指し、ブレイン・デコーディング、ブレイン・マシン・インタフェース、ニューロフィードバック、ロボット学習などの方法論をもとに最新の機械学習手法を駆使した計算理論的神経科学の研究・教育を行う。 ● 計算神経科学、人工知能、脳活動計測、動的モデル、脳活動デコーディング、脳機能結合解析、ブレインマシンインタフェース、強化学習、ロボティクス (連携機関名: (株)国際電気通信基礎技術研究所)
育	■ ヒューマンウェア工学 ☆教授 井上 剛	ネットワーク社会における人間中心の情報処理をめざすヒューマンウェアを、ヒューマンセンシング技術で実現する研究・教育を行う。 ● ヒューマンウェア、ユーザインタフェース、ヒューマンセンシング、生体電位計測、動作予測、アシストロボット (連携機関名: パナソニック(株)先端研究本部)
	■ シンビオティックシステム ☆教授 田谷 紀彦	人、社会、環境の共生・調和を実現するために、環境適応力や省エネ性に優れ、使う人にやさしく、次世代のIoTインフラを支える新たなコンピューティングシステム(Brain-Inspired Computing System)の研究・教育を行う。 ● IoT、環境適応、脳、生物、可塑性、学習、制御、システム、ネットワーク、プログラマビリティ、インタラクティブ性、ヒューマンファクター、ユーザビリティ (連携機関名: 日本電気(株))
携	■ ヒューマン・インタフェース ☆教授 早川 昭二 ☆准教授 鄭 育昌	ヒューマンセントリックな社会を実現するためのIGTの基礎研究として、テキストを媒体とした人対人の円滑なコミュニケーションを可能とする対話支援技術、およびコミュニケーションの「質」を評価するための手法やツールについての研究・教育を行う。 ● ヒューマン・インタフェース、自然言語処理、多言語情報処理、テキストベースコミュニケーション、セマンティック処理、対話分析、脳科学、心理学 (連携機関名: (株)富士通研究所)
	■ マルチメディア移動通信 ☆教授 奥村 幸彦 ☆准教授 今井 哲朗	超広帯域なマルチメディア情報が伝達できる次世代移動通信方式の無線回線設計、アンテナ・電波伝搬、無線回路、MIMO技術、移動無線アクセス、端末技術についての教育・研究を行う。 ● 移動通信、ブロードバンド、ダイバーシチ、適応アレー信号処理、アンテナ・電波伝搬、無線回路、回線設計、移動無線アクセス、可変ビットレート伝送、無線中継、MIMO (連携機関名: (株)NTTドコモ)
究	■ 光センシング ☆教授 諏訪 正樹 ☆准教授 井尻 善久	新しいイメージング技術の創出や、画像処理によるパターンや立体物の認識、あるいは人間の行動や動作の認識などを中心に、人間の視覚機能に迫るビジョンセンシングの研究・教育を行う。 ● ビジョンセンシング、画像意味理解、3次元画像計測・認識、Time of Flight Sensor、画像処理、FA画像処理、ひとの動作理解 (連携機関名: オムロン(株)技術本部・知財本部)
	■ 生体分子情報学 ☆教授 上野 豊彦 ☆教授 福井 一彦	タンパク質など生体分子の機能とそのメカニズムを探るための、バイオインフォマティクス的手法を研究する。大規模計算機を活用したデータベースからの網羅的な探索、さらに実験的データにおける情報の欠損を補う分子シミュレーションなど、情報工学的な手法により生命科学における知識発見を目指す研究・教育を行う。 ● バイオインフォマティクス、タンパク質、分子間相互作用、分子シミュレーション、単粒子解析、スクリプト言語 (連携機関名: 国立研究開発法人 産業技術総合研究所)
室	■ デジタルヒューマン学 ☆教授 多田 充徳 ☆准教授 村井 昭彦	ヒトの運動生成・制御の解明を目指し、形体や解剖学に基づいた標準・個人デジタルヒューマン生成のためのモデル化技術、ヒトの体性感覚情報推定・動作解析のための運動・動力学計算技術、及び運動計測からフィードバックを行うためのデバイス・システム開発技術について、研究・教育を行う。 ● デジタルヒューマンモデリング、コンピュータグラフィクス、運動・動力学計算、体性感覚情報推定、光学式モーションキャプチャ、視覚・触覚フィードバック (連携機関名: 国立研究開発法人 産業技術総合研究所)

教 育 連 携 研 究 室	■ 放射線機器学 ☆教授 樋口 隆弘 ☆准教授 越野 一博	新しい画像診断技術の開発、および最先端の画像診断機器(PET,SPECT,MRI装置など)を利用した組織、細胞、生体分子の機能を正確に観察するために情報工学的な新規技術の開発を行い、さらに臨床応用分野での評価にかかる研究・教育を行う。 ● 医用放射線機器、放射線画像処理、PET、SPECT、MRI、診断支援システム (連携機関名: 国立研究開発法人 国立循環器病研究センター研究所)
	■ セキュアソフトウェアシステム ☆教授 大岩 寛 ☆准教授 Affeldt Reynald	IoT時代のインフラやシステムに要求される信頼性・安全性の高まりを踏まえ、ソフトウェアを含むIoTシステム全体の安全性の確保に必要な技術や、安全性を「目に見える」形で提示し説明できるようにする技術、またそれらをソフトウェアシステム開発に具体的に適用するために必要な手法を研究開発し、産業としての安全なソフトウェア構築手段の体系化を目指します。 ● セキュリティ、ディペンダビリティ、ソフトウェア解析、仕様記述、形式検証 (連携機関名: 国立研究開発法人 産業技術総合研究所)
	■ ネットワーク統合運用 ☆教授 小林 和真 ☆准教授 河合 栄治	未来のインターネットを実現するための、ネットワーク基盤・アーキテクチャ・サービス技術ならびにその検証・展開・普及に関する研究・教育を行う。 ● 通信インフラ技術(光、無線、アクセスなど)、大規模ネットワーク基盤技術、次世代インターネット技術、新技術の実展開に関わる統合、移行技術 (連携機関名: 国立研究開発法人情報通信研究機構)
	■ 超高信頼ソフトウェアシステム検証学 ☆教授 片平 真史 ☆准教授 石濱 直樹	極限環境で正しい動作が求められるソフトウェアの超高信頼性・安全性を実現するためのソフトウェア検証方法論を研究する。特に、複雑分散ソフトウェアシステムの検証 網羅性保証(End-to-End評価)に必要な以下の方法論を研究・教育する。 ● 高信頼性・安全性検証手法(ロバスト性検証及、検証自動化のアルゴリズム・方法論)、高信頼性・安全性評価手法(ソフトウェアシステム全体の欠陥モードの体系化及びそのシステムへの影響度評価手法) (連携機関名: 国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構)

注) ☆印:客員

3 情報科学研究科の教育及び研究指導方針

現在の社会において、有益な情報の創出とその安全な利用の重要性は増す一方です。このような社会の進展に応じて、情報科学研究科では、情報科学に係る高度な基礎研究を推進するとともに、感覚と判断を支援する情報処理技術、大規模な情報システムを構成する技術、安心できる情報ネットワークの構築と運用の技術、情報科学と生命科学が関わる広汎な融合研究など、情報科学に関する広範囲な領域をカバーした体系的な教育プログラムを実施して、将来の研究開発を担う研究者や高度に専門的な技術者を養成します。また、実社会におけるイノベーション創出や具体的な問題解決に役立つスキルを身につけることのできる、実践的人材育成プログラムを機動的に企画し、実施しています。

博士前期課程

教育目標

情報科学は、人間の思考や学習を基盤にして、社会活動に大きな影響を与えます。そのため、情報分野の学部を卒業した人だけでなく、さまざまな分野の多様な経歴を持った人を大学院生として受け入れます。周到に準備されたカリキュラムによる学習と、多様な経歴を持った人々の中での研究活動により、広い視野と着実な技術を備えた修士（工学または理学）を育成します。

進路としては、博士後期課程に進んで研究を深めること、企業において産業活動や社会活動に携わること、あるいは、自ら起業して新しい息吹を直接社会に活かすことなど、いろいろな可能性を選択できるようにしています。いずれの方向であっても、情報科学に関連する幅広い知識と関心がある専門分野の先端の知識を修得すること、プレゼンテーションやコミュニケーションの能力を高めること、国際的に活躍するために英語の能力を高めること、適正な倫理感をもつことなどが不可欠です。これらの能力を備えて、社会の変化に柔軟に対応して活躍できる人材の育成を目指しています。

指導計画と方針

1. 多様な経歴と志望分野にあわせた授業の選択に応えるカリキュラム

情報科学は社会のあらゆる分野において基盤となり、その技術はいたるところで利用されています。先端の技術は競争が激しく、変化が速く、社会に及ぼす影響も大です。

そのため、カリキュラムとして、長期にわたって基盤となる科目、専門的な科目、先端的・学際的な科目を体系的に揃えています。科目が対象とする分野は「コンピュータ科学」「メディア情報学」「システム情報学」に分けて、選択の指針としています。なお、本章の冒頭で紹介した種々の人材育成プログラムに関連する科目は一般の学生も受講可能な場合がありますが、詳細についてはそれぞれの注意点を別途、説明します。

情報科学以外の分野の経歴をもつ人が、この分野で学習と研究を進め易いように、計算機科学と数学の基礎科目を履修して、論理的な思考能力を向上できるように準備しています。また、情報科学分野出身者も含めて、専門科目の履修や研究で必要となる基礎的な知識を効率よく学習できるよう、平成25年度から、数学系、計算機科学系の基礎科目を大幅に拡充しています。

先端領域の科目には、連携研究室の教員や企業での開発経験者、学際領域の科目には、他大学や法律事務所の方に、授業担当をお願いしています。現実社会の問題や技術的な課題に対する認識を一層深めることをねらっています。

2. 研究室配属

多くの学生が高い問題意識と研究分野の志望を持って入学してきます。そのため、入学式の前後に、連携研究室を含めて各研究室の紹介をして、見学の期間を設け、学生の希望調査をもとにして、入学後2週間余りで所属する研究室を決定します。受け入れ人数は研究室によって均等にするのではなく、学生の希望を最優先して、殆どの学生を第一希望の研究室に配属しています。

いったん配属が決まってから、自分の希望が変わったり、研究室の内容が希望に合わなかったことが判ったりしたときには、状況が許す限り研究室の変更を認めています。関心をもって自主的に研究を進めていける状態を作ることが重要です。

3. ゼミナールにおける討論と発表

ゼミナール (I, II) では、情報科学の見識を広め、問題点を探るとともに、コミュニケーション能力とプレゼンテーション能力を涵養します。ゼミナール I は国内外の一流の研究者や技術者から先端研究の紹介や技術の動向を伺い、質問や意見を積極的に述べる訓練をします。ゼミナール II では、各自の修士論文の研究計画や研究経過を報告して、指導教員や学生のコメントを受けます。これは、学友の発表に対して質問や意見を述べて、互いに切磋琢磨する機会になります。それが、修士論文の完成度を上げる手がかりとなり、最終審査に臨む練習となります。また、学会などでの研究発表に対する自信をもたらします。

4. プロジェクト実習

プロジェクト実習では、授業では扱えなかった問題や課題について、実習や実験を行います。それによって、実際の開発における問題点を考察し、実用化における設計能力を養います。また、インターンシップとして、他研究機関や企業で、与えられたテーマの研究や開発に携わって、現場での問題解決を体験します。これらの実験や実習を通じて、授業で修得した知識の活用を学ぶとともに、新たに何を修得する必要があるかを知ります。実習の結果を報告書にまとめることにより、成果と課題を明らかにすることの重要性を認識します。

5. 修士論文研究

大学院の教育は、授業を通じて多くを学ぶことと、自ら研究することが2つの柱です。後者を修士論文研究と呼ぶことにします。修士論文研究では、「研究論文」または「課題研究」のいずれかを選択します。「研究論文」では、未知の問題について研究を進め、創意を發揮して問題解決することを目指し、その成果を論文の形に総括します。解決方法における創造性、有用性、あるいは、実用性が評価されます。「課題研究」では、特定の課題あるいは研究分野の概観、技術動向の調査、製品の開発などを行い、報告書の形にまとめます。課題や解決法の体系化、将来に向けての見通しなどが評価されます。

修士論文研究では、主指導教員の指導に加えて、副指導教員など複数の教員が協力して指導に当たります。研究の任意の時点でアドバイスを求めることができますが、とくに、ゼミナール II における中間発表では、研究の進行と問題点について意見とアドバイスを受けます。

6. 英語教育の充実

研究者を目指すか、企業での技術者を目指すかに関わらず、情報科学分野で国際的に活動するためには、英語能力が不可欠です。「英語プレゼンテーション法入門」、「英語コミュニケーション法 I, II」、「英語ライティング法」および、「英語プレゼンテーション法」を通じて、英語によるコミュニケーションと表現の能力を養います。さらに、より進んだ内容の科目としては「英語プロジェクトマネジメント法」、「英語論文検索法」、「英語デジタルメディア活用」があります。また、年2回、TOEIC 英語試験を学内で実施しています。必須ではありませんが、英語能力の重要性を認識して積極的な履修と受験を勧めます。各自の英語能力を把握して、英語科目を受講し、能力の向上に努めることが大切です。さらに、ネットワークを介した「英語学習システム (ALC Net Academy 2)」を利用して、実践的な英語能力の向上を図ることができます。

ゼミナール I では、外国人研究者の講演をできるだけ多くして、生きた英語に接する機会を作るようにしています。

また、平成 23 年度から国際コースが設置され、24 の専門科目が英語で講義されるようになりました。これにより、英語による講義のみで前期課程修了に必要な専門科目単位が修得できるようになっています。

博士後期課程

教育目標

博士後期課程では、長期的な広い視野と、専門とする分野の深い知識を持って、独立して研究を進めることができる研究者を育成します。それには、学術面あるいは社会において解決または改良が求められている問題を見つけ出して、それを遂行するための研究計画を立案し、解決の方法や改良の方法を考え出す能力が必要です。さらには、提案した方法によって解を実現し、評価することが求められます。修了後は、大学や企業等の研究機関において、未知の問題に取り組む研究者や高度な技術者、あるいは、後進を指導できる教育者としての活躍が期待されています。

情報科学に関連する分野は、進歩が激しく変化が絶えませんが、それに依らない普遍的方法（普遍性）、あるいは、それに対応できる柔軟な方法（柔軟性）、信頼できる方法（信頼性）と、それを保証する尺度が求められます。これらの能力を備えて、国際的に活躍する人材の育成を目指しています。

指導計画と方針

1. 博士論文研究

博士後期課程では博士論文の研究を進めることが課題の中心です。問題を見つけ出して、研究計画を立て、創意を持った研究を遂行して解法を提案し、さらには、開発あるいは実装します。関連研究を調査すること、自分の提案を客観的に評価すること、残された課題を明らかにすることも欠かせません。これらの過程で、教員が適切な指導と助言をして、研究を支援します。得られた成果を学術論文あるいは国際会議に公表します。

2. 中間発表

課程の中間で博士論文研究の経過と結果、および、その後の計画を発表します。複数の指導教員が、それに対して質問をし、意見やアドバイスを述べ、研究の有効な推進を支援します。質問に適切に応答することは、自分の研究を見直す良い機会になります。

3. TA あるいは RA の担当

TA は前期課程の授業の補助や研究指導の補助を担当します。それによって、授業や研究の中から新しい課題を発見することができ、将来の教育者として必要な素養が身に付きます。RA は指導教員の研究補助を担当します。自分の研究と並行して、関連した課題に取り組むことにより、視野と考察の範囲を広げることができます。いずれも、研究者として独立する場合の貴重な経験になります。

4. 英語教育

前期課程の科目の中で、とくに、「英語ライティング法」および「英語プレゼンテーション法」の履修を推奨しています。研究の成果を英語で発表して、国際的に活動するために必要な能力を一層向上させます。また、ネットワークを介したオンラインの「英語学習システム (ALC Net Academy 2)」や、オフラインの英語教材 (CD-ROM) を利用して、常に英語能力の向上に努めること、年 2 回の TOEIC 英語試験を受験して、自己の英語能力を把握することなどの環境を整えています。ゼミナール I での外国人研究者の講演、研究科を訪問された外国人研究者との討論の機会を活用することを勧めています。

5. 授業科目の履修

博士論文研究を進めるに際して、必要があれば、前期課程の授業を自由に履修することができます。研究の背景を学び直すことにより、問題の位置付けが明らかになることがあります。一方、後期課程への入学の条件によって、授業を履修して学力や知識の向上を求めることがあります。それによって、研究についての輪講や討論の意義を深めることができます。

6. 単位認定

平成 22 年度から、博士後期課程での研究指導、ゼミナール発表などの単位認定を行っています。海外の大学での学位取得（ダブルディグリー等）を想定しています。

4 情報科学研究科履修要件等

修了要件

博士前期課程

修了要件一覧 [平成29年度入学者用]

授業科目の区分	設置 単位数	必要修得単位数	
		研究論文の場合	課題研究の場合
基礎科目	17	6	6
一般科目	30		
専門科目	83	14 ^{※1}	14 ^{※1}
ゼミナールⅠ	1	1	1
ゼミナールⅡ	1	1	1
研究室特論Ⅰ ^{※2}	21	1	1
研究室特論Ⅱ ^{※2}	21	1	1
研究室特論Ⅲ ^{※2}	21	1	1
研究室特論Ⅳ ^{※2}	21	1	1
研究論文	4	4	0
課題研究	4	0	4
合計		30	

※1 ただし、講義科目8単位以上、演習科目2単位以上をそれぞれ含むこと。

※2 配属研究室の特論に限る。

博士後期課程

学則第42条及び学位規程に関連

1. 博士後期課程の修了要件

博士後期課程を修了して、博士の学位を取得しようとする者は、定められた授業科目の必要な単位を修得し、必要な研究指導を受けた上、博士論文を提出して、その内容を公聴会で発表し、論文審査及び最終試験に合格しなければならない。なお、必要と認めるときは、上記授業科目に加えて、所要の授業科目の単位の修得を課すことがある。なお、博士後期課程に入学してから1年6か月後に、副指導教員の出席のもとで、研究の中間報告をする。

2. 博士論文を提出するときの目安は概ね次のとおりである。

- (a) 博士論文の研究内容に、独創性、新規性あるいは有効性があること。
- (b) 博士論文の主題に相当する内容が、査読付きの論文 (full paper) あるいは査読付きの国際会議での発表論文 (full paperに準ずるもの) として、発表されているか又は近々発表予定であること。

3. 博士の学位を授与する条件

論文審査により、博士論文を提出した者が、独立した研究者又は技術者として、研究・開発活動を続けていく十分な素養を備えていると判断できること。

修了要件一覧 [平成29年度入学者用]

授業科目の種類	設置単位数	必要修得単位数
国際化科目Ⅰ(A、B)	2	2
国際化科目Ⅱ(A、B、C)	6	
先進学際領域特論Ⅰ、Ⅱ	2	
先進情報科学特別講義(Ⅰ～Ⅳ)	4	
先進情報科学考究	2	
先進ゼミナール	2	2
博士学位論文研究(Ⅰ～Ⅵ)	18	6
合計		10

(注) 出願資格審査により修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められ、情報科学研究科博士後期課程に入学した者については、別に修了要件を課す場合がある(次頁を参照すること)。

修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者が
情報科学研究科の博士後期課程に入学した場合の修了要件

学則第42条第3項及び情報科学研究科履修規程第4条第2項に関連し、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者が、博士後期課程に入学した場合の履修要件（授業科目、単位数及び履修方法等）については、前頁の博士後期課程の修了要件に加え、次のとおり定める。

区 分		履 修 要 件
大学（外国の大学を含む）を卒業した者	情報系学科 卒業生	前頁の修了要件以外の単位の修得は課さない。
	情報系学科以 外の卒業生	前頁の修了要件に加え、原則として、情報科学研究科教育課程表(博士前期課程)に定める授業科目のうち、一般科目を除く授業科目から6単位以上を修得すること。 ただし、ゼミナールⅠ、Ⅱ、研究論文、課題研究、博士後期課程修了要件の科目(先進情報科学特別講義等)を除く。
大学（外国の大学を含む）を卒業していない者		前頁の修了要件に加え、原則として、情報科学研究科教育課程表(博士前期課程)に定める授業科目のうち、一般科目を除く授業科目から10単位以上を修得すること。 ただし、ゼミナールⅠ、Ⅱ、研究論文、課題研究、博士後期課程修了要件の科目(先進情報科学特別講義等)を除く。

(注) 前頁の修了要件に加え、上表の履修要件により、単位の修得の必要な者については、情報科学研究科教授会に諮り決定する。

情報科学研究科におけるダブルディグリープログラム

本研究科のダブルディグリープログラムとは、連携先の大学に同時に籍を置き、両大学の教員から研究指導を受け、それぞれの大学から学位の認定を受けるプログラムです。現在、博士後期課程において、以下の2つの大学とプログラムを実施中です。

いずれの連携先大学においても、学位の認定を受けるためには、最低1年間それぞれの大学に滞在し学習することが必要です。詳しくは、以下を参照してください。

http://www.naist.jp/en/international_students/prospective_students/admission_information/double_degree/index.html

1. オウル大学情報処理科 (フィンランド)

オウル大学は、1958年に設立され、約16,000人の学生と3,000人の教職員からなるフィンランドで最も大きな総合大学の一つです。10の学部といくつかの研究所で構成され、学際的科学技術の研究を推進しています。本学とは、以前より研究的側面に関係があり、数多くの共同研究プログラムを実施してきました。最近では、頭脳循環プログラムやメディカルサイエンス分野での共同研究を実施し、短期の学生交流を活発に行ってきました。オウル大学での教育・研究においては、国際化が進んでおり、フィンランド語を学ぶ必要はなく、英語でのコミュニケーションで十分です。

2012年に博士後期課程を対象に本学初のダブルディグリープログラムを開始し、これまでにオウル大学から2名の学生を受け入れています。本学からオウル大学への派遣は今のところありません。本ダブルディグリープログラムにおけるオウル大学の博士後期課程の修業年限は4年で、最低1年はオウル大学に滞在し、研究指導を受ける必要があります。

● 入学定員

受入(オウル大からNAIST): 若干名

派遣(NAISTからオウル大): 若干名

● 出願資格・入学試験の実施方法など

(1) 本学が受け入れる場合

(i) 出願資格

下記の全てに該当していること

(1) オウル大において、修士の学位を取得している者または入学時までに修士の学位を授与される見込みの者

(2) オウル大の博士課程への入学を許可されている者

(ii) その他

(1) 入学者の選考は、原則として出願書類の審査により判定します。但し、必要に応じて、口頭試問を行う場合があります。

(2) 入学時期については、2017年度秋学期、2018年度の春学期とします。

(2) 本学が派遣する場合

(i) 出願資格

下記の全てに該当していること

(1) NAISTにおいて、修士の学位を取得している者または入学時までに修士の学位を授与

される見込みの者

- (2) 本学の博士後期課程の学生であること
- (3) 授業に参加し研究を遂行するのに必要な言語能力を有していること
- (ii) その他
 - (1) 入学者の選考は、出願書類の審査と口頭試問により判定します。
 - (2) 入学時期は 2017 年度秋学期、2018 年度の春学期とします。

2. ユニテック工科大学 Department of Computing (ニュージーランド)

奈良先端科学技術大学院大学情報科学研究科とユニテック工科大学 Department of Computing(以下「ユニテック」という。)は、博士後期課程学生が、将来の研究開発を担う研究者や高度な専門性をもった技術者として養成され、国際的視野を持った有用な人材として育成されるとともに、国際交流に資することを目的として、ダブルディグリー制度を実施しています。

●入学定員

受入(ユニテックからNAIST): 若干名
派遣(NAISTからユニテック): 若干名

●出願資格・入学試験の実施方法など

(1) 本学が受け入れる場合

(i) 出願資格

下記の全てに該当していること

- (1) 修士の学位を取得している者または入学時までに修士の学位を授与される見込みの者
- (2) ユニテックの博士課程への入学を許可されている者

(ii) その他

- (1) 入学者の選考は、原則として出願書類の審査により判定します。但し、必要に応じて、口頭試問を行う場合があります。
- (2) 入学時期については、2017 年度秋学期、2018 年度春学期とします。

(2) 本学が派遣する場合

(i) 出願資格

下記の全てに該当していること

- (1) 修士の学位を取得している者または入学時までに修士の学位を授与される見込みの者
- (2) 本学博士後期課程への入学を許可された者または本学博士後期課程入試に出願している者

(ii) その他

- (1) 入学者の選考は、出願書類の審査と口頭試問により判定します。
- (2) 入学時期については、2017 年度秋学期、2018 年度春学期とします。

授業科目の履修等

・履修方法等

1. 履修手続

授業科目の履修については、指導教員とよく相談をして、各期に履修計画をたててください。なお、履修にあたっては、次の点に注意してください。

- (1) 情報科学研究科で開講している授業科目については、それぞれの授業科目の1回目あるいは2回目の授業に必ず出席して、授業担当者の指示に従ってください。(研究科事務室への「履修届」の提出は必要ありません。)
- (2) バイオサイエンス研究科及び物質創成科学研究科で開講している授業科目については、「履修届」を研究科事務室へ提出してください。
- (3) 同じ時間帯に行われている授業を重複して履修することは、原則として認めません。
- (4) 重複して単位を修得したことが判明したときは、学生がどちらかの単位を選んで、他方の単位の認定を取り消します。

2. 入学前の既修得単位の認定について

本研究科教授会において教育上有益と認めるときは、10単位を超えない範囲で本研究科入学前の他大学院での既修得単位を認定することができます。認定を願い出る者は次の書類を添えて教育支援課学務係まで願い出てください。

- (1) 入学前の既修得単位認定願出書(教育支援課にあります。)
- (2) 単位を修得した大学院の単位修得・成績証明書
- (3) 認定を希望する授業科目の講義内容が説明できる書類(講義概要等の写)

※願出手続き等の日時については、掲示等により連絡しますので注意してください。詳しくは教育支援課学務係までお問い合わせください。

3. 他の研究科との間における授業交流

本研究科とバイオサイエンス研究科及び物質創成科学研究科との間において授業交流を実施していますので、履修希望者は次の事項を熟読の上、所定の手続きをとってください。詳細については、教育支援課学務係に照会してください。

(1) 履修方法等について

- ① 履修希望学生は、所定の履修願を提出してください。
- ② 履修することができる授業科目は、次のとおりです。

研究科名	授業科目の種類
バイオサイエンス研究科	一般科目、基礎科目及び専門科目
物質創成科学研究科	一般科目、基礎科目及び専門科目

- ③ 履修希望学生は、相手研究科の学生ハンドブックのシラバス及び時間割を参考に履修科目を選定し、主指導教員の承諾及び履修しようとする当該授業科目担当教員の許可を得てください。
 - ④ 授業科目によっては、相手研究科の授業収容人数その他の都合により、履修が許可されないことがあります。
- (2) 単位の認定について

相手研究科で認定された単位は、一般科目として6単位まで修了の要件となる単位として充当することができます。

(3) 履修願取扱期間

履修願の提出期間及び提出先等手続きに関する詳細については、後日掲示等にて連絡します。

4. 他の大学院との間における授業交流

本研究科は、以下の大学院、研究科と授業交流を実施しています。

- ・大阪大学大学院工学研究科
- ・大阪大学大学院基礎工学研究科
- ・奈良女子大学大学院人間文化研究科 (情報科学専攻)
- ・Cloud Spiral「情報技術人材育成のための実践教育ネットワーク形成事業」
(大阪大学大学院情報科学研究科)
- ・SecCap「情報技術人材育成のための実践教育ネットワーク形成事業」(東北大学大学院情報科学研究科、北陸先端科学技術大学院大学情報科学研究科、慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科、情報セキュリティ大学院大学情報セキュリティ研究科)

履修希望者は次の事項を熟読の上、所定の手続きをとってください。詳細については、教育支援課学務係に照会してください。

(1) 履修方法等について

- ① 履修希望学生は、所定の履修願及び理由書を提出してください。
- ② 履修総単位数は、博士前期課程において、10単位以下とします。
- ③ 履修科目の範囲は、原則として講義のみとし、演習、実習、実験、研究等は含みません。
- ④ 授業科目によっては、相手先大学院研究科の授業収容人数その他の都合により、履修が許可されないことがあります。

(2) 単位の認定について

当該授業科目を履修する前に、本研究科教授会で修了に必要な単位として認められた場合は、相手先大学院研究科で修得した単位は、本研究科所定の単位に認定します。

(3) 履修願及び理由書取扱期間

詳しい日程は、各大学により取扱いが異なりますので、後日掲示等にて連絡します。

(4) 履修願及び理由書提出手続

- ① 履修願及び理由書の用紙は、教育支援課学務係で交付します。
- ② 履修希望学生は、相手大学院研究科の講義内容及び開講時期等を参考に履修科目を選定し、指導教員の承認(承認印を必要とする)を得て、履修願及び理由書を教育支援課学務係に提出してください。

5. 成績表の交付について

成績の結果については、附属図書館玄関ロビーの証明書自動発行機により成績表(交付用)を出力し、本人自らが確認する方法を取っています。

6. 他の大学院等における研究指導

他の大学院や研究所等において研究指導を受けることが教育上有益であると認められた場合には、該当する他の大学院等と協議の上、他の大学院等において必要な研究指導を受けることができます。研究指導を受けられる期間は、博士前期課程、博士後期課程ともそれぞれ通算して1年以内ですが、博士後期課程については、期間の延長を認められることがあります。他の大学院等における研究指導を希望される場合は、事前に指導教員と相談の上、指導を受ける予定月の2ヶ月前までに教育支援課学務係に連絡してください。

・教育職員免許状（専修免許状）について

現に高等学校教諭一種免許状（情報）を有する者（免許状申請に必要な単位取得者含む）は、本学の博士前期課程を修了する時に次に掲げる「教科に関する科目」を24単位修得していれば当該校種の専修免許状（情報）を取得することができます。

奈良県教育委員会への申請は、教育支援課学務係が一括して行います。手続き等の詳細については、10月中旬に申請予定を照会後、1月頃に電子メールにより通知します。

（教科に関する科目）

・「情報」専修免許取得用

授 業 科 目 名	
基礎科目	計算機システム、アルゴリズム、情報理論、形式言語理論基礎、信号処理論、数値計算法、データ解析基礎
専門科目	計算理論Ⅰ、計算理論Ⅱ、高性能計算基盤、アルゴリズム設計論、分散システムとミドルウェア、ソフトウェア設計論、システム要求工学、仮想化システム基盤、ソフトウェア工学Ⅰ、ソフトウェア工学Ⅱ、音情報処理、人工知能、環境知能、自然言語処理、コンピュータビジョンⅠ、コンピュータビジョンⅡ、コンピュータグラフィックス、バーチャルリアリティ、画像情報処理、符号理論、情報ネットワーク論Ⅰ、情報ネットワーク論Ⅱ、無線通信システム、信号検出理論、ネットワークシミュレーション、系列データモデリング、ヒューマンコンピュータインタラクション、パターン認識、ゲーム理論、機械学習と知能制御、モデルベース制御、ロボティクスⅠ、ロボティクスⅡ、数理モデル論、計算神経科学、ユビキタス情報処理、生命機能計測学、システムズバイオロジⅠ、システムズバイオロジⅡ、生体医用画像解析、生体医用メディア情報学、ビッグデータアナリティクス、現代情報セキュリティ論、データマイニング、モバイルコンピューティング論、先端複合技術論

以上の授業科目から、24単位を修得すること。

・交通機関運休及び気象警報発令の場合の授業の取扱いについて

1. 交通機関運休の場合

大規模な災害、事故等の発生により、通学路線のうち「近鉄電車（けいはんな線、奈良線、京都線）」あるいは「奈良交通バス（学研北生駒駅、学園前駅、高の原駅路線）」が運休した場合、授業は休講とします。

なお、運休が解除された場合の取扱いは次表のとおりです。

2. 気象警報発令の場合

奈良市・生駒市のいずれか又はこれらの市を含む地域に「暴風警報（又は暴風雪警報）」又は「特別警報」が発令された場合、授業は休講とします。

なお、同警報が解除された場合の取扱いは次表のとおりです。

運休及び警報解除時刻	授業の取扱い
午前7時以前に解除された場合	全日授業実施
午前10時以前に解除された場合	午後授業実施
午前10時を経過しても解除されない場合	全日授業休講

(注) 運休（運行）及び発令（解除）の確認は、テレビ・インターネット等の報道によります。

奈良先端科学技術大学院大学情報科学研究科履修規程

平成16年4月1日
規程第 20 号

(趣旨)

第1条 この規程は、奈良先端科学技術大学院大学学則（平成16年学則第1号。以下「学則」という。）第34条に基づき、情報科学研究科における学生の履修に関し必要な事項を定める。

(指導教員)

第2条 授業科目の履修指導及び学位論文の作成等に対する指導（以下「研究指導」という。）を行うため、学生1人ごとに2人以上の指導教員を定める。

- 2 指導教員のうち、1人を主指導教員とし、教授をもって充てる。
- 3 学修上又は研究指導上必要がある場合は、指導教員を変更することができる。

(研究指導)

第3条 研究指導の内容は、学生1人ごとに定めるものとする。

(授業科目及び単位数)

第4条 博士前期課程における授業科目、単位数及び履修方法は、別表第1のとおりとする。

- 2 博士後期課程における授業科目、単位数及び履修方法は、別表第2のとおりとする。

(履修手続き)

第5条 学生は、主指導教員の指導に基づき、履修する授業科目を選ばなければならない。

- 2 同じ時間に開講される複数の授業科目を同時に履修することは原則として認めない。

(履修の認定)

第6条 授業科目履修の認定は、試験又は研究報告により行う。ただし、平常の学修活動の評価をもって試験に代えることがある。

- 2 試験又は研究報告の成績は、100点を満点とする点数によって評価し、60点以上を合格、59点以下を不合格とする。この場合において次の区分により、優、良、可及び不可をもって表すことができる。

- (1) 80点以上 優
- (2) 70点～79点 良

- (3) 60点～69点 可
- (4) 59点以下 不可
- 3 前項の点数をもって評価し難い場合は、合格又は不合格をもってこれに代えることができる。
- 4 前2項により合格とされたものには、所定の単位を与える。
- 5 既に単位を修得した授業科目については、再履修することはできない。

(研究指導の履修の認定)

第7条 研究指導の履修(研究論文又は課題研究)の認定は、主指導教員が行い、研究科長に報告するものとする。

(学位論文の題目)

第8条 学生は、学位論文の題目について主指導教員の承認を得て、指定する期日までに申告しなければならない。

(学位論文の提出)

- 第9条 学生は、学位論文について主指導教員の承認を得て、指定する期日までに提出しなければならない。
- 2 学位論文は、課程修了に必要な単位を修得した者又は修得見込みの者で、かつ、指導教員による必要な研究指導が修了した者でなければ提出することができない。

(授業料未納により除籍された者の単位の不認定)

第10条 学則第53条の2第4号の規定により除籍された者については、授業料未納期間に係る単位は認定しない。

(雑則)

第11条 この規程に定めるもののほか、学生の履修に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

(施行期日)

- 1 この規程は、平成16年4月1日から施行する。

(経過措置)

- 2 平成15年度以前に入学した学生(以下「在學生」という。)については、旧奈良先端科学技術大学院大学情報科学研究科履修規則は、この規程の施行後も、なおその効力を有する。ただし、在學生がこの規程の授業科目を履修した場合は、別に定めるところにより旧授業科目に読み替えるものとする。

附 則

(施行期日)

1 この規程は、平成17年4月1日から施行する。

(経過措置)

2 平成16年度以前に入学した学生（以下「在學生」という。）については、改正後の規程にかかわらず、なお従前の例による。ただし、在學生がこの規程の授業科目を履修した場合は、別に定めるところにより旧授業科目に読み替えるものとする。

附 則

(施行期日)

1 この規程は、平成18年4月1日から施行する。

(経過措置)

2 平成17年度以前に入学した学生（以下「在學生」という。）については、改正後の規程にかかわらず、なお従前の例による。ただし、在學生がこの規程の授業科目を履修した場合は、別に定めるところにより旧授業科目に読み替えるものとする。

附 則

(施行期日)

1 この規程は、平成18年7月27日から施行する。

(経過措置)

2 平成17年度以前に入学した学生（以下「在學生」という。）については、改正後の規程にかかわらず、なお従前の例による。ただし、在學生がこの規程の授業科目を履修した場合は、別に定めるところにより旧授業科目に読み替えるものとする。

附 則

(施行期日)

1 この規程は、平成19年4月1日から施行する。

(経過措置)

2 平成18年度以前に入学した学生（以下「在學生」という。）については、改正後の規程にかかわらず、なお従前の例による。ただし、在學生がこの規程の授業科目を履修した場合は、別に定めるところにより旧授業科目に読み替えるものとする。

附 則

(施行期日)

1 この規程は、平成20年4月1日から施行する。

(経過措置)

2 平成19年度以前に入学した学生（以下「在學生」という。）については、改正後の規程にかかわらず、なお従前の例による。ただし、在學生がこの規程の授業科目を履修した場合は、別に定めるところにより旧授業科目に読み替えるものとする。

附 則

(施行期日)

1 この規程は、平成21年4月1日から施行する。

(経過措置)

2 平成20年度以前に入学した学生（以下「在学生」という。）については、改正後の規程にかかわらず、なお従前の例による。ただし、在学生がこの規程の授業科目を履修した場合は、別に定めるところにより旧授業科目に読み替えるものとする。

附 則

(施行期日)

1 この規程は、平成22年4月1日から施行する。

(経過措置)

2 平成21年度以前に入学した学生（以下「在学生」という。）については、改正後の規程にかかわらず、なお従前の例による。ただし、在学生がこの規程の授業科目を履修した場合は、別に定めるところにより旧授業科目に読み替えるものとする。

附 則

(施行期日)

1 この規程は、平成23年4月1日から施行する。

(経過措置)

2 平成22年度以前に入学した学生（以下「在学生」という。）については、改正後の規程にかかわらず、なお従前の例による。ただし、在学生がこの規程の授業科目を履修した場合は、別に定めるところにより旧授業科目に読み替えるものとする。

附 則

(施行期日)

1 この規程は、平成24年4月1日から施行する。

(経過措置)

2 平成23年度以前に入学した学生（以下「在学生」という。）については、改正後の規程にかかわらず、なお従前の例による。ただし、在学生がこの規程の授業科目を履修した場合は、別に定めるところにより旧授業科目に読み替えるものとする。

附 則

(施行期日)

1 この規程は、平成25年4月1日から施行する。

(経過措置)

2 平成24年度以前に入学した学生（以下「在学生」という。）については、改正後の規程にかかわらず、なお従前の例による。ただし、在学生がこの規程の授業科目を履修した場合は、別に定めるところにより旧授業科目に読み替えるものとする。

附 則

(施行期日)

- 1 この規程は、平成26年4月1日から施行する。

(経過措置)

- 2 平成25年度以前に入学した学生（以下「在學生」という。）の授業科目、単位数及び履修方法については、改正後の別表第1の規定にかかわらず、なお従前の例による。ただし、在學生がこの規程の授業科目を履修した場合は、別に定めるところにより旧授業科目に読み替えるものとする。

附 則

(施行期日)

- 1 この規程は、平成27年4月1日から施行する。

(経過措置)

- 2 平成26年度以前に入学した学生（以下「在學生」という。）の授業科目、単位数及び履修方法については、改正後の別表第1及び別表第2の規定にかかわらず、なお従前の例による。ただし、在學生がこの規程の授業科目を履修した場合は、別に定めるところにより旧授業科目に読み替えるものとする。

附 則

(施行期日)

- 1 この規程は、平成27年4月21日から施行し、平成27年4月1日から適用する。

(経過措置)

- 2 平成26年度以前に入学した学生（以下「在學生」という。）の授業科目、単位数及び履修方法については、改正後の別表第1の規定にかかわらず、なお従前の例による。ただし、在學生がこの規程の授業科目を履修した場合は、別に定めるところにより旧授業科目に読み替えるものとする。

附 則

(施行期日)

- 1 この規程は、平成28年4月1日から施行する。

(経過措置)

- 2 平成27年度以前に入学した学生（以下「在學生」という。）の授業科目、単位数及び履修方法については、改正後の別表第1及び別表第2の規定にかかわらず、なお従前の例による。ただし、在學生がこの規程の授業科目を履修した場合は、別に定めるところにより旧授業科目に読み替えるものとする。

附 則

(施行期日)

- 1 この規程は、平成29年4月1日から施行する。

(経過措置)

- 2 平成28年度以前に入学した学生（以下「在學生」という。）の授業科目、単位数及び履修方法については、改正後の別表第1の規定にかかわらず、なお従前の例による。ただし、在學生がこの規程の授業科目を履修した場合は、別に定めるところにより旧授業科目に読み替えるものとする。

別表第1 (第4条第1項関係)

情報科学研究科教育課程表 (案)

(1) 授業科目名等

(博士前期課程)

区分	授業科目名	授業番号	単位数	履修区分	備考
基礎科目	計算機システム	000101	1	○	全学共通科目
	アルゴリズム	000102	1	○	全学共通科目
	バイオサイエンス概論	000202	1	○	全学共通科目
	物質創成科学概論	000301	1	○	全学共通科目
	情報理論	120001	1	○	
	形式言語理論基礎	120002	1	○	
	プログラミング基礎演習 I	120003	1	○	
	プログラミング基礎演習 II	120004	1	○	
	信号処理論	120005	1	○	
	数値計算法	120006	1	○	
	応用解析学	120007	1	○	
	最適化数学	120008	1	○	
	多変量解析	120009	1	○	
	データ解析基礎	120010	1	○	
	確率過程論基礎	120011	1	○	
組合せ数学	120012	1	○		
代数の構造	120013	1	○		
専門科目	計算理論 I	130001	1	○	
	計算理論 II	130002	1	○	
	高性能計算基盤	130003	1	○	
	アルゴリズム設計論	130004	1	○	
	分散システムとミドルウェア	130005	1	○	
	ソフトウェア設計論	130006	1	○	
	システム要求工学	130007	1	○	
	仮想化システム基盤	130008	1	○	
	ソフトウェア工学 I	131009	1	○	
	ソフトウェア工学 II	132010	1	○	
	音情報処理	130011	1	○	
	人工知能	130012	1	○	
	環境知能	130013	1	○	
	自然言語処理	130014	1	○	
	コンピュータビジョン I	131015	1	○	
	コンピュータビジョン II	132016	1	○	
	コンピュータグラフィックス	130017	1	○	
	バーチャルリアリティ	130018	1	○	
	画像情報処理	130019	1	○	
	符号理論	130020	1	○	
	情報ネットワーク論 I	131021	2	○	
	情報ネットワーク論 II	132022	2	○	
	無線通信システム	130023	1	○	
	信号検出理論	130024	1	○	
	ネットワークシミュレーション	130025	1	○	
	系列データモデリング	130026	1	○	
	ヒューマンコンピュータインタラクション	130027	1	○	
パターン認識	130028	1	○		
ゲーム理論	130029	1	○		
機械学習と智能制御	131030	1	○		

専門科目	モデルベース制御	132031	1	○	
	ロボティクスⅠ	131032	1	○	
	ロボティクスⅡ	132033	1	○	
	数理モデル論	130034	1	○	
	計算神経科学	130035	1	○	
	ユビキタス情報処理	130036	1	○	
	生命機能計測学	130037	1	○	
	システムズバイオロジⅠ	130038	1	○	
	システムズバイオロジⅡ	130039	1	○	
	生体医用画像解析	130040	1	○	
	生体医用メディア情報学	130041	1	○	
	ビッグデータアナリティクス	130042	1	○	
	現代情報セキュリティ論	130043	2	○	
	データマイニング	130044	1	○	
	モバイルコンピューティング論	130045	1	○	
	先進情報科学特別講義Ⅰ	130046	1	○	
	先進情報科学特別講義Ⅱ	130047	1	○	
	先進情報科学特別講義Ⅲ	130048	1	○	
	先進情報科学特別講義Ⅳ	130049	1	○	
	プロジェクト実習Ⅰ	130050	2	○	
	プロジェクト実習Ⅱ	130051	2	○	
	プロジェクト実習Ⅲ	130052	2	○	
	プロジェクト実習Ⅳ	130053	2	○	
	ソフトウェア開発演習Ⅰ	130054	2	○	
	ソフトウェア開発演習Ⅱ	130055	2	○	
	先端複合技術論	130056	1	○	
	先端複合演習Ⅰ	130057	2	○	
	先端複合演習Ⅱ	130058	2	○	
	先端ロボット概論	130059	1	○	
	先端ロボット構成論	130060	2	○	
	先端ロボット開発論Ⅰ	131061	1	○	
	先端ロボット開発論Ⅱ	132062	1	○	
	情報セキュリティ運用リテラシーⅠ	130063	1	○	
	情報セキュリティ運用リテラシーⅡ	130064	1	○	
	情報セキュリティPBL演習A	130065	1	○	
	情報セキュリティPBL演習B	130066	1	○	
	情報セキュリティPBL演習C	130067	1	○	
	情報セキュリティPBL演習D	130068	1	○	
	情報セキュリティPBL演習E	130069	1	○	
	情報セキュリティPBL演習F	130070	1	○	
	情報セキュリティPBL演習G	130071	1	○	
	ハードウェアセキュリティ	130072	1	○	
	一般科目	科学技術論・科学技術者論	000201	1	○
科学コミュニケーション		000203	1	○	
英語プレゼンテーション法入門		110001	1	○	
英語コミュニケーション法Ⅰ		110002	1	○	
英語コミュニケーション法Ⅱ		111003	1	○	
英語ライティング法		112004	1	○	
英語プレゼンテーション法		110005	1	○	
英語プロジェクトマネジメント法		110006	1	○	
英語論文検索法		110007	1	○	
英語デジタルメディア活用法		110008	1	○	
異文化間コミュニケーション		110009	1	○	
知的財産権		110010	1	○	
グローバルアントレプレナーⅠ		111011	1	○	
グローバルアントレプレナーⅡ		111012	1	○	
グローバルアントレプレナーⅢ		112013	1	○	

一般科目	グローバルアントレプレナーⅣ	112014	1	○	全学共通科目 全学共通科目 全学共通科目 全学共通科目 全学共通科目 全学共通科目 全学共通科目 全学共通科目 全学共通科目
	グローバルアントレプレナーⅤ	112015	1	○	
	科学哲学	000103	1	○	
	技術と倫理	000104	1	○	
	環境と情報	110016	1	○	
	日本文化入門	000105	2	○	
	日本語初級Ⅰ	000303	2	○	
	日本語初級Ⅱ(1)	000204	1	○	
	日本語初級Ⅱ(2)	000205	1	○	
	日本語初級Ⅲ(1)	000206	1	○	
	日本語初級Ⅲ(2)	000207	1	○	
	アカデミックボランティアⅠ	110017	1	○	
	アカデミックボランティアⅡ	110018	1	○	
	研究室特論	コンピューティングアーキテクチャ特論Ⅰ	140001	1	
コンピューティングアーキテクチャ特論Ⅱ		140002	1	□	
コンピューティングアーキテクチャ特論Ⅲ		140003	1	□	
コンピューティングアーキテクチャ特論Ⅳ		140004	1	□	
ディペンダブルシステム学特論Ⅰ		140005	1	□	
ディペンダブルシステム学特論Ⅱ		140006	1	□	
ディペンダブルシステム学特論Ⅲ		140007	1	□	
ディペンダブルシステム学特論Ⅳ		140008	1	□	
ユビキタスコンピューティングシステム特論Ⅰ		140009	1	□	
ユビキタスコンピューティングシステム特論Ⅱ		140010	1	□	
ユビキタスコンピューティングシステム特論Ⅲ		140011	1	□	
ユビキタスコンピューティングシステム特論Ⅳ		140012	1	□	
モバイルコンピューティング特論Ⅰ		140013	1	□	
モバイルコンピューティング特論Ⅱ		140014	1	□	
モバイルコンピューティング特論Ⅲ		140015	1	□	
モバイルコンピューティング特論Ⅳ		140016	1	□	
ソフトウェア工学特論Ⅰ		140017	1	□	
ソフトウェア工学特論Ⅱ		140018	1	□	
ソフトウェア工学特論Ⅲ		140019	1	□	
ソフトウェア工学特論Ⅳ		140020	1	□	
ソフトウェア設計学特論Ⅰ		140021	1	□	
ソフトウェア設計学特論Ⅱ		140022	1	□	
ソフトウェア設計学特論Ⅲ		140023	1	□	
ソフトウェア設計学特論Ⅳ		140024	1	□	
サイバーレジリエンス構成学特論Ⅰ		140025	1	□	
サイバーレジリエンス構成学特論Ⅱ		140026	1	□	
サイバーレジリエンス構成学特論Ⅲ		140027	1	□	
サイバーレジリエンス構成学特論Ⅳ		140028	1	□	
情報セキュリティ工学特論Ⅰ		140029	1	□	
情報セキュリティ工学特論Ⅱ		140030	1	□	
情報セキュリティ工学特論Ⅲ		140031	1	□	
情報セキュリティ工学特論Ⅳ		140032	1	□	
情報基盤システム学特論Ⅰ		140033	1	□	
情報基盤システム学特論Ⅱ		140034	1	□	
情報基盤システム学特論Ⅲ		140035	1	□	
情報基盤システム学特論Ⅳ		140036	1	□	
自然言語処理学特論Ⅰ		140037	1	□	
自然言語処理学特論Ⅱ		140038	1	□	
自然言語処理学特論Ⅲ		140039	1	□	
自然言語処理学特論Ⅳ		140040	1	□	
知能コミュニケーション特論Ⅰ		140041	1	□	
知能コミュニケーション特論Ⅱ		140042	1	□	
知能コミュニケーション特論Ⅲ		140043	1	□	
知能コミュニケーション特論Ⅳ		140044	1	□	
ネットワークシステム学特論Ⅰ		140045	1	□	
ネットワークシステム学特論Ⅱ		140046	1	□	
ネットワークシステム学特論Ⅲ		140047	1	□	

研究室特論	ネットワークシステム学特論Ⅳ	140048	1	<input type="checkbox"/>	
	インタラクティブメディア設計学特論Ⅰ	140049	1	<input type="checkbox"/>	
	インタラクティブメディア設計学特論Ⅱ	140050	1	<input type="checkbox"/>	
	インタラクティブメディア設計学特論Ⅲ	140051	1	<input type="checkbox"/>	
	インタラクティブメディア設計学特論Ⅳ	140052	1	<input type="checkbox"/>	
	光メディアインタフェース特論Ⅰ	140053	1	<input type="checkbox"/>	
	光メディアインタフェース特論Ⅱ	140054	1	<input type="checkbox"/>	
	光メディアインタフェース特論Ⅲ	140055	1	<input type="checkbox"/>	
	光メディアインタフェース特論Ⅳ	140056	1	<input type="checkbox"/>	
	サイバネティクス・リアリティ工学特論Ⅰ	140057	1	<input type="checkbox"/>	
	サイバネティクス・リアリティ工学特論Ⅱ	140058	1	<input type="checkbox"/>	
	サイバネティクス・リアリティ工学特論Ⅲ	140059	1	<input type="checkbox"/>	
	サイバネティクス・リアリティ工学特論Ⅳ	140060	1	<input type="checkbox"/>	
	環境知能学特論Ⅰ	140061	1	<input type="checkbox"/>	
	環境知能学特論Ⅱ	140062	1	<input type="checkbox"/>	
	環境知能学特論Ⅲ	140063	1	<input type="checkbox"/>	
	環境知能学特論Ⅳ	140064	1	<input type="checkbox"/>	
	ロボティクス特論Ⅰ	140065	1	<input type="checkbox"/>	
	ロボティクス特論Ⅱ	140066	1	<input type="checkbox"/>	
	ロボティクス特論Ⅲ	140067	1	<input type="checkbox"/>	
	ロボティクス特論Ⅳ	140068	1	<input type="checkbox"/>	
	知能システム制御特論Ⅰ	140069	1	<input type="checkbox"/>	
	知能システム制御特論Ⅱ	140070	1	<input type="checkbox"/>	
	知能システム制御特論Ⅲ	140071	1	<input type="checkbox"/>	
	知能システム制御特論Ⅳ	140072	1	<input type="checkbox"/>	
	大規模システム管理特論Ⅰ	140073	1	<input type="checkbox"/>	
	大規模システム管理特論Ⅱ	140074	1	<input type="checkbox"/>	
	大規模システム管理特論Ⅲ	140075	1	<input type="checkbox"/>	
	大規模システム管理特論Ⅳ	140076	1	<input type="checkbox"/>	
	数理情報学特論Ⅰ	140077	1	<input type="checkbox"/>	
	数理情報学特論Ⅱ	140078	1	<input type="checkbox"/>	
	数理情報学特論Ⅲ	140079	1	<input type="checkbox"/>	
	数理情報学特論Ⅳ	140080	1	<input type="checkbox"/>	
	生体医用画像特論Ⅰ	140081	1	<input type="checkbox"/>	
	生体医用画像特論Ⅱ	140082	1	<input type="checkbox"/>	
	生体医用画像特論Ⅲ	140083	1	<input type="checkbox"/>	
	生体医用画像特論Ⅳ	140084	1	<input type="checkbox"/>	
	計算システムズ生物学特論Ⅰ	140085	1	<input type="checkbox"/>	
	計算システムズ生物学特論Ⅱ	140086	1	<input type="checkbox"/>	
	計算システムズ生物学特論Ⅲ	140087	1	<input type="checkbox"/>	
計算システムズ生物学特論Ⅳ	140088	1	<input type="checkbox"/>		
ゼミナールⅠ	140101	1	<input checked="" type="checkbox"/>		
ゼミナールⅡ	140102	1	<input checked="" type="checkbox"/>		
研究論文	150001	4	<input type="checkbox"/>		
課題研究	150002	4	<input type="checkbox"/>		
履修区分欄の◎は必修科目を、□は選択必修科目を、○は選択科目を示す。					

(2) 履修方法

ア 授業科目のうち、専門科目から14単位以上（講義形式の科目8単位以上及び演習形式の科目2単位以上をそれぞれ含む。）及び一般科目又は基礎科目から6単位以上の計20単位以上に加え、研究室特論から4単位（Ⅰ～Ⅳの各単位）以上並びに「ゼミナールⅠ」（1単位）及び「ゼミナールⅡ」（1単位）を履修すること。

ただし、研究室特論については、配属研究室が担当する授業科目の単位のみを修了に必要な単位として算入する。

イ 「研究論文」(4単位)又は「課題研究」(4単位)を履修すること。

ウ 学則第37条の規程により他の研究科の授業科目を履修し、修得した単位については、一般科目として6単位まで修了の要件となる単位として充当することができる。

エ 情報系学科（情報工学科、情報科学科、計算機工学科、情報システム工学科、システム工学科、制御工学科等）を卒業した者及び3年次を修了した者については、基礎科目のうち「計算機システム」、「アルゴリズム」、「プログラミング基礎演習Ⅰ」、「プログラミング基礎演習Ⅱ」の単位を修了に必要な単位としては算入しない。

オ 生物科学系学科を卒業した者及び3年次を修了した者については、「バイオサイエンス概論」の単位を修了に必要な単位としては算入しない。

カ 「日本語初級Ⅰ」、「日本語初級Ⅱ(1)・Ⅱ(2)」、「日本語初級Ⅲ(1)・Ⅲ(2)」の単位は、留学生のみ修了に必要な単位として算入する。

(3) 授業番号の見方

授業番号は、授業科目の水準・難易度等に基づく6桁の数字で構成される。
以下を参照の上、授業科目の履修を決める際の目安にすること。

1桁目：授業科目の開設研究科もしくは全学共通科目の区分を示す。

0XXXXX = 全学共通科目
1XXXXX = 情報科学研究科
2XXXXX = バイオサイエンス研究科
3XXXXX = 物質創成科学研究科

2桁目：授業科目の水準を示す。

X0XXXX = 共通科目（博士前期課程）
X1XXXX = 一般科目（博士前期課程）
X2XXXX = 基礎科目（博士前期課程）
X3XXXX = 専門科目（博士前期課程）
X4XXXX = 研究室特論、ゼミナール科目（博士前期課程）
X5XXXX = 修士論文・特別課題研究・課題研究（博士前期課程）
X6XXXX = 博士科目（博士後期課程）
X7XXXX = 博士論文、研究活動（博士後期課程）

3桁目：授業科目の難易度を示す。

XX0XXX = 区分なし
XX1XXX = 初級
XX2XXX = 中級
XX3XXX = 上級

4、5、6桁目：3桁目の区分毎の通し番号を示す。

XXXXXX = 001～999の通し番号

ただし、全学共通科目及び他研究科開設の授業科目の4～6桁目については以下のとおり。

- ・全学共通科目（1桁目が0）
 - 4桁目：授業提供元研究科を示す。
 - XXX1XX = 情報科学研究科
 - XXX2XX = バイオサイエンス研究科
 - XXX3XX = 物質創成科学研究科
 - 5、6桁目：4桁目の区分毎の通し番号を示す。
 - XXXXXX = 01～99の通し番号
- ・他研究科開設の授業科目（1桁目が2もしくは3）
開設研究科のルールに拠る。

別表第2 (第4条第2項関係)

情報科学研究科教育課程表

(1) 授業科目名等

(博士後期課程)

授業科目名	授業番号	単位数	履修区分	修了要件単位数	備考
国際化科目ⅠA	160001	1	○	2	学内語学講義
国際化科目ⅠB	160002	1	○		
国際化科目ⅡA	160003	2	○		短期派遣(国際会議等)、 長期派遣(国内企業インターン、 海外インターン等)
国際化科目ⅡB	160004	2	○		
国際化科目ⅡC	160005	2	○		
先進学際領域特論Ⅰ	160006	1	○		学内講義
先進学際領域特論Ⅱ	160007	1	○		
先進情報科学特別講義Ⅰ	160008	1	○		指導教員指定の博士前期課程講義
先進情報科学特別講義Ⅱ	160009	1	○		
先進情報科学特別講義Ⅲ	160010	1	○		
先進情報科学特別講義Ⅳ	160011	1	○		
先進情報科学考究	160012	2	○		プロジェクトマネジメント
先進ゼミナール	160013	2	◎	2	研究進捗ヒアリング
博士学位論文研究Ⅰ	170001	3	○	6	博士学位論文研究(第1半期)
博士学位論文研究Ⅱ	170002	3	○		博士学位論文研究(第2半期)
博士学位論文研究Ⅲ	170003	3	○		博士学位論文研究(第3半期)
博士学位論文研究Ⅳ	170004	3	○		博士学位論文研究(第4半期)
博士学位論文研究Ⅴ	170005	3	○		博士学位論文研究(第5半期)
博士学位論文研究Ⅵ	170006	3	○		博士学位論文研究(第6半期)
修了要件単位数				10	

履修区分欄の◎は必修科目を、○は選択科目を示す。

※ ダブル・ディグリー・プログラムにおける本学の授業科目等についても上記のとおりとする。

(2) 履修方法

ア 「先進ゼミナール」を2単位、「博士学位論文研究(Ⅰ～Ⅵ)」を計6単位以上、その他の科目を2単位以上、計10単位以上を履修すること。

イ 修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者が情報科学研究科の博士後期課程に入学した場合の修了要件については別に定める。

ウ 博士前期課程の教育課程表(別表第1)の「英語プレゼンテーション法」、「英語コミュニケーション法Ⅰ・Ⅱ」、「英語ライティング法」、「英語プロジェクトマネジメント法」、「英語論文検索法」、「英語デジタルメディア活用法」、「日本語初級Ⅰ」、「日本語初級Ⅱ(1)・Ⅱ(2)」、「日本語初級Ⅲ(1)・Ⅲ(2)」のうち、博士前期課程において修得していない科目を修得順に「国際化科目ⅠA」、「国際化科目ⅠB」として単位認定する。

ただし、「日本語初級Ⅰ・Ⅱ(1)・Ⅱ(2)・Ⅲ(1)・Ⅲ(2)」については2単位の単位修得につき、国際化科目1単位として単位認定する。

エ 「先進情報科学特別講義Ⅰ～Ⅳ」を履修する場合、博士前期課程の教育課程表(別表第1)の「先進情報科学特別講義Ⅰ～Ⅳ」のうち、指導教員が指定した講義を履修すること。ただし、博士前期課程において既に修得している旧「先端情報科学特論Ⅰ～Ⅳ」(現「先進情報科学特別講義Ⅰ～Ⅳ」)の講義については単位認定しない。

(3) 授業番号の見方

授業番号は、授業科目の水準・難易度等に基づく6桁の数字で構成される。
以下を参照の上、授業科目の履修を決める際の目安にすること。

1桁目：授業科目の開設研究科もしくは全学共通科目の区分を示す。

0XXXXX = 全学共通科目
1XXXXX = 情報科学研究科
2XXXXX = バイオサイエンス研究科
3XXXXX = 物質創成科学研究科

2桁目：授業科目の水準を示す。

X0XXXX = 共通科目（博士前期課程）
X1XXXX = 一般科目（博士前期課程）
X2XXXX = 基礎科目（博士前期課程）
X3XXXX = 専門科目（博士前期課程）
X4XXXX = 研究室特論、ゼミナール科目（博士前期課程）
X5XXXX = 修士論文・特別課題研究・課題研究（博士前期課程）
X6XXXX = 博士科目（博士後期課程）
X7XXXX = 博士論文、研究活動（博士後期課程）

3桁目：授業科目の難易度を示す。

XX0XXX = 区分なし
XX1XXX = 初級
XX2XXX = 中級
XX3XXX = 上級

4、5、6桁目：3桁目の区分毎の通し番号を示す。

XXXXXX = 001～999の通し番号

ただし、全学共通科目及び他研究科開設の授業科目の4～6桁目については以下のとおり。

・全学共通科目（1桁目が0）

4桁目：授業提供元研究科を示す。

XXX1XX = 情報科学研究科
XXX2XX = バイオサイエンス研究科
XXX3XX = 物質創成科学研究科

5、6桁目：4桁目の区分毎の通し番号を示す。

XXXXXX = 01～99の通し番号

・他研究科開設の授業科目（1桁目が2もしくは3）
開設研究科のルールに拠る。

5 学位審査基準等

学位審査基準

博士前期課程

修士論文あるいは課題研究報告書の内容とその口頭発表、および、口頭試問により審査を行います。修士論文は新規性や有効性が重視されますが、それに加えて次の項目についても審査を行います。

1. 研究の背景や目的を理解している

2. 研究課題に関する知識の整理がなされている

論文の序論、基本的な知識の解説、関連する研究、研究課題の意義など

3. 研究の進め方や研究方法について吟味がなされている

研究課題の解決に参考にした原理や方法

新たに提案した方法は正しく適切である

新たに提案した方法の有効性と評価

4. 提案した式や採用したデータが含まれている場合、それらが正確で、適切にまとめられている

データは研究目的や研究方法に適合している

図表が研究結果を適切に表現している

5. 得られた結果と残された課題について考察している

研究の目的が達成された

結論について新規性や重要性がある

今後の研究の必要性や方向を述べている

6. 引用文献は適切である

7. 論文および口頭発表は論理的に分かりやすく構成されている

博士後期課程

博士論文は新規性や有効性があり、その内容は、査読のある学術論文、査読のある国際会議、あるいは、著書などに公表されているか、公表される予定であるものとします。そのためには、前期課程の項目（1-7）は当然満たされているだけでなく、新たに社会に普及・貢献できる水準のものであることが要求されます。

審査は、博士論文の内容と公聴会での口頭発表、および、最終審査により行われます。審査の項目は次のものです。

1. 博士論文の内容は公表されている
2. 論文の内容には、国際的に新規性がある
3. 新たに提案した原理や方法は、社会で有効に適用されると期待できる
4. 将来への発展の可能性がみられる

奈良先端科学技術大学院大学学位規程

平成16年4月1日

規程第19号

(趣旨)

第1条 この規程は、奈良先端科学技術大学院大学学則(平成16年学則第1号。以下「学則」という。)第44条第3項の規定に基づき、奈良先端科学技術大学院大学(以下「本学」という。)において授与する学位に関し必要な事項を定める。

(学位の種類及び専攻分野の名称)

第2条 本学において授与する学位は、修士及び博士とする。

2 学位には、次表の研究科名欄に掲げる研究科ごとに、同表専攻分野の名称欄の名称を付記するものとする。

研究科名	専攻分野の名称
情報科学研究科	理学又は工学
バイオサイエンス研究科	バイオサイエンス
物質創成科学研究科	理学又は工学

(学位授与の要件)

第3条 修士の学位は、本学の博士前期課程を修了した者に授与する。

2 博士の学位は、本学の博士後期課程を修了した者に授与する。

3 前項に定めるもののほか、博士の学位は、博士論文の審査に合格し、かつ、本学の博士後期課程を修了した者と同等以上の学力を有することを確認(以下「学力の確認」という。)された者に授与することができる。

(学位論文の提出等)

第4条 本学研究科の博士前期課程を修了しようとする者は、所定の学位論文審査願に修士論文を添えて、当該研究科長に提出し、最終試験を受けるものとする。

2 特定の課題についての研究の成果を、前項の修士論文に代えることができる。

3 本学研究科の博士後期課程を修了しようとする者は、所定の学位論文審査願に博士論文、論文目録、論文内容の要旨及び履歴書を添えて、当該研究科長に提出し、最終試験を受けるものとする。

4 前条第3項の規定により、博士の学位の授与を受けようとする者は、学位申請書に博士論文、論文目録、論文内容の要旨、履歴書及び学位論文審査手数料を添え、学位に付記する専攻分野を指定して学長に提出するものとする。

5 学位論文審査手数料は、57,000円とする。

6 学長は、第4項の申請書類を受理したときは、専攻分野に応じて、当該研究科長に回付するものとする。

7 提出した学位論文等及び納付した学位論文審査手数料は、返還しない。

(学位論文)

第5条 学位論文は、1編とし、修士論文は1通、博士論文は3通を提出するものとする。ただし、参考として他の論文を添付することができる。

2 当該研究科長は、学位論文の審査のため必要があるときは、学位論文の訳文、模型、標本その他必要な資料の提出を求めることができる。

(最終試験及び学力の確認)

第6条 最終試験は、学位論文に関連のある専門分野について、筆記又は口述により行うものとする。

2 第3条第3項に規定する学力の確認は、博士論文に関連のある科目及び外国語について、筆記又は口述により行うものとする。

(審査委員会)

第7条 当該研究科の教授会は、論文の審査、最終試験及び学力の確認を行うため、審査委員会を設ける。

2 審査委員会は、当該研究科及び学内共同教育研究施設の教員のうちから2名以上で構成する。ただし、教授2人を構成員としなければならない。

3 審査委員会に主査を置く。

4 前項の規定にかかわらず、当該研究科の教授会において、審査のため必要があると認めるときは、他の研究科の教員又は他の大学院若しくは研究所等の教員等を審査委員に加えることができる。

5 第4条第4項の規定により提出のあった者の論文の審査及び学力の確認は、博士論文が提出された日から1年以内に終了しなければならない。ただし、特別の事由があるときは、当該研究科の教授会の議を経て、その期間を延長することができる。

(審査結果の報告)

第8条 修士の学位に係る審査委員会は、論文の審査及び最終試験が終了したときは、直ちに、学位を授与できるか否かの意見を当該研究科の教授会に文書で報告しなければならない。

2 博士の学位に係る審査委員会は、論文の審査及び最終試験又は学力の確認が終了したときは、直ちに、次の各号に定める書類に、学位を授与できるか否かの意見を添え、当該研究科の教授会に文書で報告しなければならない。

(1) 第4条第3項の規定による提出論文の内容の要旨、審査の結果の要旨及び最終試験の結果の要旨

(2) 第4条第4項の規定による提出論文の内容の要旨、審査の結果の要旨及び学力の確認の結果の要旨

(学位授与の審議)

第9条 当該研究科の教授会は、前条の報告に基づいて、学位の授与について審議する。

(審議結果の報告)

第10条 当該研究科長は、当該研究科の教授会の審議結果を文書で学長に報告しなければならない。

（学位の授与）

第11条 学長は、前条の報告に基づいて学位を授与できると決定した者に学位記を授与する。

2 学位記の様式は、様式第1号、様式第2号及び様式第3号までのとおりとする。

3 学長は、学位を授与できないと決定した者には、その旨通知する。

（博士論文の要旨等の公表等）

第12条 学長は、博士の学位を授与したときは、当該博士の学位を授与した日から3月以内に文部科学大臣に報告するとともに、その論文の内容の要旨及び論文審査の結果の要旨をインターネットの利用により公表するものとする。

（博士論文の公表）

第13条 博士の学位を授与された者は、当該博士の学位を授与された日から1年以内に当該博士論文の全文を公表しなければならない。ただし、当該博士の学位を授与される前に既に公表したときは、この限りでない。

2 前項の規定にかかわらず、博士の学位を授与された者は、やむを得ない事由がある場合には、本学の承認を得て、当該博士論文の全文に代えてその内容を要約したものを公表することができる。この場合において、本学は、当該博士論文の全文を求めに応じて閲覧に供するものとする。

3 博士の学位を授与された者が行う前2項の規定による公表は、本学を通じて、インターネットの利用により行うものとする。

（学位名称の使用）

第14条 本学の学位を授与された者が、学位の名称を用いるときは、本学の名称を付記するものとする。

（学位授与の取消）

第15条 学長は、学位を授与された者が、不正の方法により学位の授与を受けた事実が判明したときは、当該研究科の教授会の議を経て、学位授与を取り消し、学位記を返還させ、かつ、その旨を公表するものとする。

（雑則）

第16条 この規程に定めるもののほか、学位の授与に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

この規程は、平成16年4月1日から施行する。

附 則

（施行期日）

1 この規程は、平成25年6月1日から施行する。

（経過措置）

2 この規程による改正後の学位規程（以下「新学位規程」という。）第12条の規定は、この規程の施行の日以後に博士の学位を授与した場合について適用し、同日前に博士の学位を授与した場合については、なお従前の例による。

3 新学位規程第13条の規定は、この規程の施行の日以後に博士の学位を授与された者について適用し、同日前に博士の学位を授与された者については、なお従前の例による。

様式第1号（第11条関係）（博士前期課程を修了した場合）

修第 号	
学 位 記	
氏 名	
年 月 日生	
本学大学院○○○研究科○○○専攻の博士前期課程を修了したので修士(○○)の学位を授与する	
平成 年 月 日	
奈良先端科学技術大学院大学長	
大学の印	学長名 学長の印

(注1) 用紙の大きさは、A4版とする。

NARA INSTITUTE OF SCIENCE AND TECHNOLOGY	
Hereby confers the degree of Master of (専攻分野の名称)	
Upon	
(氏 名) (Surname) (Givenname)	
(Date of Birth)	
for having successfully completed the Master's Program in the Graduate School of (研究科名) on this day, (年月日)	
Official Seal of the Institute	President's Seal
	(学長署名) (学長名) President
Masterdom No. : (番号)	

(注1) 用紙の大きさは、A4版とする。

様式第2号（第11条関係）（博士後期課程を修了した場合）

博第 号	
学 位 記	
氏 名	
年 月 日生	
本学大学院○○○研究科○○○専攻の博士後期課程を修了したので博士(○○)の学位を授与する	
平成 年 月 日	
奈良先端科学技術大学院大学長	
大学の印	学長名 学長の印

(注1) 用紙の大きさは、A4版とする。

NARA INSTITUTE OF SCIENCE AND TECHNOLOGY	
Hereby confers the degree of Doctor of (専攻分野の名称)	
Upon	
(氏 名) (Surname) (Givenname)	
(Date of Birth)	
for having successfully completed the Doctorate Program in the Graduate School of (研究科名) on this day, (年月日)	
Official Seal of the Institute	President's Seal
	(学長署名) (学長名) President
Doctorate No. : (番号)	

(注1) 用紙の大きさは、A4版とする。

様式第3号 (第11条関係) (第3条第3項の規定により授与する場合)

博第 号	
学位記	
氏名	
年月日生	
本学に学位論文を提出し所定の審査に合格したの で博士(〇〇)の学位を授与する	
平成 年 月 日	
奈良先端科学技術大学院大学長	
大学の印	学長名 学長の印

(注1) 用紙の大きさは、A4版とする。

NARA INSTITUTE OF SCIENCE AND TECHNOLOGY
Hereby confers the degree of Doctor of (専攻分野の名称)
Upon
(氏 名) (Surname) (Givenname)
(Date of Birth)
for having submitted a Doctoral Dissertation and having passed the Prescribed Evaluation on this day, (年月日)
Official Seal of the Institute President's Seal
(学長署名) (学長名) President
Doctorate No. : (番号)

(注1) 用紙の大きさは、A4版とする。

論文の提出から論文審査の日程

学位授与は、3か月毎（3月、6月、9月、12月の下旬）に行われる。

論文の提出から論文審査及び学位授与のおおよその日程を、3月に学位授与を行う場合を例として、次の表に示す。

番号	手続き	3月の学位授与を例とした場合
1	指導教員は博士論文が提出されることを予告する 博士論文の原稿に基づいて、審査委員の候補者を選出する	10月、11月又は12月の 研究科懇談会
2	公聴会の日程を決める	公聴会のほぼ2週間前まで
3	学生が審査委員候補者へ博士論文を提出する	公聴会の10日前まで
4	公聴会を開催する 発表40分、質疑20分	遅くとも1月中旬までに
5	学生が、学位論文審査願、博士論文、論文目録、論文内容の要旨、履歴書を各1部、大学（情報事務室）に提出する	2月の研究科教授会の 1週間前までに
6	審査委員を決定する	2月上旬の研究科教授会
7	審査委員は論文審査と最終試験を行う	
8	審査委員が審査結果を報告する それにより、合否の判定を行う	2月下旬の研究科教授会
9	合格者に対して学位授与を行う 博士後期課程修了	3月下旬

平成29年度情報科学研究科授業科目及び担当教員一覧

区分	授業科目名	領域	授業形態	授業番号	単位数	担当教員	毎週授業時間数				総授業時間数	英語科目	備考
							I	II	III	IV			
基礎科目	計算機システム		L	000101	1	中島 康彦, 安本 慶一, 荒川 豊, 藤本 まなと	4		4		15	全学共通科目 III期原則秋入学対象	
	アルゴリズム		L	000102	1	井上 美智子, 大下 福仁, 松本 裕治, 新保 仁, 進藤 裕之, 能地 宏, Duong Quang Thang	2		2		15	全学共通科目 III期原則秋入学対象	
	バイオサイエンス概論		L	000202	1	真木 壽治	2				15	全学共通科目	
	物質創成科学概論		L	000301	1	香月 浩之		2			15	全学共通科目	
	情報理論		L	120001	1	(楢 勇一)		2			15		
	形式言語理論基礎		L	120002	1	伊藤 実	2				15		
	プログラミング基礎演習 I		P	120003	1	石尾 隆, 伊原 彰紀	4				30		
	プログラミング基礎演習 II		P	120004	1	松本 健一, 畑 秀明		4			30		
	信号処理論		L	120005	1	加藤 博一, 武富 貴史	2				15		
	数値計算法		L	120006	1	加藤 博一, 武富 貴史	2				15		
	応用解析学		L	120007	1	佐藤 嘉伸, 大竹 義人	2				15		
	最適化数学		L	120008	1	杉本 謙二	2				15		
	多変量解析		L	120009	1	—					15	H29年度不開講	
	データ解析基礎		L	120010	1	金谷 重彦	2				15		
	確率過程論基礎		L	120011	1	笠原 正治		2			15		
	組合せ数学		L	120012	1	(丸尾 健二)	2				15		
代数的構造		L	120013	1	(丸尾 健二)			2		15			
専門科目	計算理論 I	C	L	130001	1	伊藤 実		2			15		
	計算理論 II	C	L	130002	1	井上 美智子, 大下 福仁		2			15	○	
	高性能計算基盤	C	L	130003	1	中島 康彦, 中田 尚		2			15		
	アルゴリズム設計論	C	L	130004	1	大下 福仁, 井上 美智子		2			15		
	分散システムとミドルウェア	C	L	130005	1	安本 慶一	2				15	○	
	ソフトウェア設計論	C	L	130006	1	飯田 元, (吉田 則裕), 崔 恩瀾	集中講義				15		
	システム要求工学	C	L	130007	1	(高井 利憲), (田中 康), (片平 真史), (石濱 直樹), (川口 真司)	集中講義				15		
	仮想化システム基盤	C	L	130008	1	市川 昊平, 渡場 康弘				2	15	○	
	ソフトウェア工学 I	C	L	131009	1	松本 健一, 伊原 彰紀	2				15		
	ソフトウェア工学 II	C	L	132010	1	石尾 隆, 畑 秀明			2		15		
	音情報処理	M	L	130011	1	中村 哲, 吉野 幸一郎, (高道 慎之介), Sakti Sakriani Watiasri			2		15		
	人工知能	M	L	130012	1	新保 仁, 能地 宏	2				15	○	
	環境知能	M	L	130013	1	(萩田 紀博), 神原 誠之			2		15	○	
	自然言語処理	M	L	130014	1	松本 裕治, (柏岡 秀紀), 進藤 裕之			2		15		
	コンピュータビジョン I	M	L	131015	1	佐藤 智和			2		15	○	
	コンピュータビジョン II	M	L	132016	1	向川 康博			2		15		
	コンピュータグラフィックス	M	L	130017	1	松富 卓哉	2				15	○	
	バーチャルリアリティ	M	L	130018	1	清川 清				2	15		
	画像情報処理	M	L	130019	1	河合 紀彦		2			15		
	符号理論	C	L	130020	1	(楢 勇一)				2	15	○	
	情報ネットワーク論 I	C	L	131021	2	門林 雄基, Doudou Fall	4				30	○	
	情報ネットワーク論 II	C	L	132022	2	藤川 和利, 新井 イスマイル, 垣内 正年, (猪俣 敦夫)			4		30		
	無線通信システム	M	L	130023	1	岡田 実, 東野 武史, Duong Quang Thang		2			15		
	信号検出理論	M	L	130024	1	岡田 実, 東野 武史, Duong Quang Thang			2		15	○	
	ネットワークシミュレーション	M	L	130025	1	岡田 実, 東野 武史, Duong Quang Thang			2		15		
	系列データモデリング	M	L	130026	1	(須藤 克仁), 吉野 幸一郎, Sakti Sakriani Watiasri		2			15	○	
	ヒューマンコンピュータインタラクション	M	L	130027	1	Christian Sandor, Alexander Plopski				2	15	○	
	パターン認識	M	L	130028	1	松富 卓哉, 神原 誠之		2			15		
	ゲーム理論	A	L	130029	1	笹部 昌弘		2			15		
	機械学習と知能制御	A	L	131030	1	松原 崇充		2			15	○	
	モデルベース制御	A	L	132031	1	杉本 謙二			2		15		
	ロボティクス I	A	L	131032	1	小笠原 司, 高松 淳	2				15		
	ロボティクス II	A	L	132033	1	小笠原 司, 高松 淳, (松本 吉央), (多田 充徳)			2		15	○	
	数理モデル論	A	L	130034	1	池田 和司, 佐々木 博昭		2			15		
計算神経科学	A	L	130035	1	吉本 潤一郎, 爲井 智也, (森本 淳), (銅谷 賢治)			2		15	○		
ユビキタス情報処理	C	L	130036	1	荒川 豊	2				15			
生命機能計測学	A	L	130037	1	(杉浦 忠男), (飯田 秀博), (銭谷 勉)			2		15			
システムズバイオロジ I	A	L	130038	1	金谷 重彦, Md.Altaf-Ul-Amin	2				15	○		
システムズバイオロジ II	A	L	130039	1	金谷 重彦, Md.Altaf-Ul-Amin			2		15			
生体医用画像解析	A	L	130040	1	佐藤 嘉伸				2	15	○		
生体医用メディア情報学	A	L	130041	1	大竹 義人		2			15			
ビッグデータアナリティクス	共	L	130042	1	中村 哲, 鈴木 優, 吉野 幸一郎, 田中 宏季, (岩爪 道昭), (石川 信行)			2		15			
現代情報セキュリティ論	C	L	130043	2	(村井 純), 門林 雄基		2	2		30	○		
データマイニング	A	L	130044	1	Md.Altaf-Ul-Amin			2		15			
モバイルコンピューティング論	C	L	130045	1	柴田 直樹		2			15	○		

専 門 科 目	先進情報科学特別講義 I	共	L	130046	1	川上 朋也, 渡場 康弘, 能地 宏, 吉野 幸一郎, Duong Quang Thang, Alexander Plopski, 小林 泰介, 川原 純, 佐々木 博昭, 黄 銘				2	15	○	10クラス実施(2クラスで1単位)	
	先進情報科学特別講義 II	共	L	130047	1	—						15	○	平成29年度不開講
	先進情報科学特別講義 III	共	L	130048	1	川上 朋也, 渡場 康弘, 能地 宏, 吉野 幸一郎, Duong Quang Thang, Alexander Plopski, 小林 泰介, 川原 純, 佐々木 博昭, 黄 銘				2	15	○	10クラス実施(2クラスで1単位)	
	先進情報科学特別講義 IV	共	L	130049	1	—						15	○	平成29年度不開講
	プロジェクト実習 I	共	P	130050	2	各テーマ担当教員及び学外講師	テーマ毎に異なる					60		数クラス実施
	プロジェクト実習 II	共	P	130051	2	—	—					60		平成29年度不開講
	プロジェクト実習 III	共	P	130052	2	各テーマ担当教員及び学外講師	テーマ毎に異なる					60		数クラス実施
	プロジェクト実習 IV	共	P	130053	2	—	—					60		平成29年度不開講
	ソフトウェア開発演習 I	共	P	130054	2	飯田 元, 渡場 康弘, 崔 恩潯, 横田 太			2			30		
	ソフトウェア開発演習 II	共	P	130055	2	—	—					30		平成29年度不開講
	先端複合技術論	共	L	130056	1	—	—					15		平成29年度不開講
	先端複合演習 I	共	P	130057	2	高松 淳, (田中 康), (高井 利憲)	テーマ毎に異なる					30		
	先端複合演習 II	共	P	130058	2	高松 淳, (田中 康), (高井 利憲)	テーマ毎に異なる					30		
	先端ロボット概論	A	L	130059	1	—	—					15		平成29年度不開講
	先端ロボット構成論	A	P	130060	2	高松 淳, 神原 誠之, 松原 崇充, 丁 明	集中講義					60		
	先端ロボット開発論 I	A	P	131061	1	高松 淳, 丁 明	集中講義					30		
	先端ロボット開発論 II	A	P	132062	1	高松 淳, 丁 明, (山口 明彦)	集中講義					30		
	情報セキュリティ運用リテラシー I	C	L	130063	1	(高木 浩光), (松本 隆), (上原 哲太郎)	集中講義					15		(大阪大学中之島センター)
	情報セキュリティ運用リテラシー II	C	L	130064	1	藤川 和利, (歌代 和正), (猪俣 敦夫), (岡村 久道), (山川 智彦)	集中講義					15		(大阪大学中之島センター)
	情報セキュリティPBL演習A	C	P	130065	1	藤川 和利, (猪俣 敦夫), 奥田 剛, (岡村 真吾)	集中講義					15		
	情報セキュリティPBL演習B	C	P	130066	1	藤川 和利, (猪俣 敦夫), 奥田 剛, (岡村 真吾)	集中講義					15		
	情報セキュリティPBL演習C	C	P	130067	1	藤川 和利, (猪俣 敦夫), 奥田 剛	集中講義					15		
	情報セキュリティPBL演習D	C	P	130068	1	門林 雄基, 奥田 剛, (篠田 陽一), (三輪 信介)	集中講義					15		
	情報セキュリティPBL演習E	C	P	130069	1	藤川 和利, (猪俣 敦夫), 奥田 剛	集中講義					15		
情報セキュリティPBL演習F	C	P	130070	1	(猪俣 敦夫), 奥田 剛, (曾根 秀昭), 林 優一, (本間 尚文)	集中講義					15			
情報セキュリティPBL演習G	C	P	130071	1	藤川 和利, (猪俣 敦夫), 奥田 剛, (岡村 真吾)	集中講義					15			
ハードウェアセキュリティ	C	L	130072	1	林 優一			2			15			
一 般 科 目	科学技術論・科学技術者論			000201	1	担当教員				2		15		全学共通科目
	科学コミュニケーション			000203	1	担当教員				4		15		全学共通科目
	英語プレゼンテーション法入門			110001	1	(David Sell)			2			15	○	TOEICにより火金の2クラスから選択
	英語コミュニケーション法 I			110002	1	Micheal Barker				2		15	○	
	英語コミュニケーション法 II			111003	1	Micheal Barker					2	15	○	
	英語ライティング法			112004	1	Micheal Barker				2		15	○	
	英語プレゼンテーション法			110005	1	Micheal Barker			2			15	○	
	英語プロジェクトマネジメント法			110006	1	Micheal Barker				2		15	○	
	英語論文検索法			110007	1	Micheal Barker					2	15	○	
	英語デジタルメディア活用法			110008	1	Micheal Barker					2	15	○	
	異文化間コミュニケーション			110009	1	(David Sell)					2	15	○	先進学際領域特論II
	知的財産権			110010	1	久保 浩三					2	15	○	
	グローバルアントレプレナー I			111011	1	担当教員	集中講義					15		
	グローバルアントレプレナー II			111012	1	担当教員	集中講義					15		
	グローバルアントレプレナー III			112013	1	担当教員	集中講義					15		
	グローバルアントレプレナー IV			112014	1	担当教員	集中講義					15		
	グローバルアントレプレナー V			112015	1	担当教員	集中講義					15		
	科学哲学			000103	1	(中尾 央)				4		15		全学共通科目
	技術と倫理			000104	1	(上田 修史)					2	15	○	全学共通科目
	環境と情報			110016	1	—	—					15		H29年度不開講
	日本文化入門			000105	2	(Adarsh Bala Sharma)		2	2	2	2	30	○	全学共通科目
	日本語初級 I			000303	2	(岩崎 美紀子), (國井 紀子), (笠井 章代)					4	30		全学共通科目 留学生対象
	日本語初級 II(1)			000204	1	(中尾 紀子)					2	15		全学共通科目 留学生対象
	日本語初級 II(2)			000205	1	(中尾 紀子)			2			15		全学共通科目 留学生対象
日本語初級 III(1)			000206	1	(橋本 昌子)					2	15		全学共通科目 留学生対象	
日本語初級 III(2)			000207	1	(橋本 昌子)			2			15		全学共通科目 留学生対象	
アカデミックボランティア I			110017	1	担当教員	テーマ毎に異なる					30			
アカデミックボランティア II			110018	1	担当教員	テーマ毎に異なる					30			
研 究 室 特 論	コンピューティングアーキテクチャ特論 I			140001	1	中島 康彦, 中田 尚, Tran Thi Hong, 張 任遠	特論毎に異なる							
	コンピューティングアーキテクチャ特論 II			140002	1	中島 康彦, 中田 尚, Tran Thi Hong, 張 任遠	特論毎に異なる							
	コンピューティングアーキテクチャ特論 III			140003	1	中島 康彦, 中田 尚, Tran Thi Hong, 張 任遠	特論毎に異なる							
	コンピューティングアーキテクチャ特論 IV			140004	1	中島 康彦, 中田 尚, Tran Thi Hong, 張 任遠	特論毎に異なる							
	ディバッドブルシステム学特論 I			140005	1	井上 美智子, 大下 福仁	特論毎に異なる							
	ディバッドブルシステム学特論 II			140006	1	井上 美智子, 大下 福仁	特論毎に異なる							
	ディバッドブルシステム学特論 III			140007	1	井上 美智子, 大下 福仁	特論毎に異なる							
	ディバッドブルシステム学特論 IV			140008	1	井上 美智子, 大下 福仁	特論毎に異なる							
ユビキタスコンピューティングシステム特論 I			140009	1	安本 慶一, 荒川 豊, 諏訪 博彦, 藤本 まなと	特論毎に異なる								

研究室特論	ユビキタスコンピューティングシステム特論II	140010	1	安本 慶一, 荒川 豊, 諏訪 博彦, 藤本 まなと	特論毎に異なる		
	ユビキタスコンピューティングシステム特論III	140011	1	安本 慶一, 荒川 豊, 諏訪 博彦, 藤本 まなと	特論毎に異なる		
	ユビキタスコンピューティングシステム特論IV	140012	1	安本 慶一, 荒川 豊, 諏訪 博彦, 藤本 まなと	特論毎に異なる		
	モバイルコンピューティング特論I	140013	1	伊藤 実, 柴田 直樹	特論毎に異なる		
	モバイルコンピューティング特論II	140014	1	伊藤 実, 柴田 直樹	特論毎に異なる		
	モバイルコンピューティング特論III	140015	1	伊藤 実, 柴田 直樹	特論毎に異なる		
	モバイルコンピューティング特論IV	140016	1	伊藤 実, 柴田 直樹	特論毎に異なる		
	ソフトウェア工学特論I	140017	1	松本 健一, 石尾 隆, 伊原 彰紀, 畑 秀明	特論毎に異なる		
	ソフトウェア工学特論II	140018	1	松本 健一, 石尾 隆, 伊原 彰紀, 畑 秀明	特論毎に異なる		
	ソフトウェア工学特論III	140019	1	松本 健一, 石尾 隆, 伊原 彰紀, 畑 秀明	特論毎に異なる		
	ソフトウェア工学特論IV	140020	1	松本 健一, 石尾 隆, 伊原 彰紀, 畑 秀明	特論毎に異なる		
	ソフトウェア設計学特論I	140021	1	飯田 元, 市川 昊平	特論毎に異なる		
	ソフトウェア設計学特論II	140022	1	飯田 元, 市川 昊平	特論毎に異なる		
	ソフトウェア設計学特論III	140023	1	飯田 元, 市川 昊平	特論毎に異なる		
	ソフトウェア設計学特論IV	140024	1	飯田 元, 市川 昊平	特論毎に異なる		
	サイバーレジリエンス構成学特論I	140025	1	門林 雄基	特論毎に異なる		
	サイバーレジリエンス構成学特論II	140026	1	門林 雄基	特論毎に異なる		
	サイバーレジリエンス構成学特論III	140027	1	門林 雄基	特論毎に異なる		
	サイバーレジリエンス構成学特論IV	140028	1	門林 雄基	特論毎に異なる		
	情報セキュリティ工学特論I	140029	1	林 優一	特論毎に異なる		
	情報セキュリティ工学特論II	140030	1	林 優一	特論毎に異なる		
	情報セキュリティ工学特論III	140031	1	林 優一	特論毎に異なる		
	情報セキュリティ工学特論IV	140032	1	林 優一	特論毎に異なる		
	情報基盤システム学特論I	140033	1	藤川 和利, 新井 イスマイル, 垣内 正年, 油谷 暁	特論毎に異なる		
	情報基盤システム学特論II	140034	1	藤川 和利, 新井 イスマイル, 垣内 正年, 油谷 暁	特論毎に異なる		
	情報基盤システム学特論III	140035	1	藤川 和利, 新井 イスマイル, 垣内 正年, 油谷 暁	特論毎に異なる		
	情報基盤システム学特論IV	140036	1	藤川 和利, 新井 イスマイル, 垣内 正年, 油谷 暁	特論毎に異なる		
	自然言語処理学特論I	140037	1	松本 裕治, 新保 仁, 進藤 裕之, 能地 宏	特論毎に異なる		
	自然言語処理学特論II	140038	1	松本 裕治, 新保 仁, 進藤 裕之, 能地 宏	特論毎に異なる		
	自然言語処理学特論III	140039	1	松本 裕治, 新保 仁, 進藤 裕之, 能地 宏	特論毎に異なる		
	自然言語処理学特論IV	140040	1	松本 裕治, 新保 仁, 進藤 裕之, 能地 宏	特論毎に異なる		
	知能コミュニケーション特論I	140041	1	中村 哲	特論毎に異なる		
	知能コミュニケーション特論II	140042	1	中村 哲	特論毎に異なる		
	知能コミュニケーション特論III	140043	1	中村 哲	特論毎に異なる		
	知能コミュニケーション特論IV	140044	1	中村 哲	特論毎に異なる		
	ネットワークシステム学特論I	140045	1	岡田 実, 東野 武史, Duong Quang Thang	特論毎に異なる		
	ネットワークシステム学特論II	140046	1	岡田 実, 東野 武史, Duong Quang Thang	特論毎に異なる		
	ネットワークシステム学特論III	140047	1	岡田 実, 東野 武史, Duong Quang Thang	特論毎に異なる		
	ネットワークシステム学特論IV	140048	1	岡田 実, 東野 武史, Duong Quang Thang	特論毎に異なる		
	インタラクティブメディア設計学特論I	140049	1	加藤 博一, Christian Sandor, 武富 貴史, Alexander Plopski	特論毎に異なる		
	インタラクティブメディア設計学特論II	140050	1	加藤 博一, Christian Sandor, 武富 貴史, Alexander Plopski	特論毎に異なる		
	インタラクティブメディア設計学特論III	140051	1	加藤 博一, Christian Sandor, 武富 貴史, Alexander Plopski	特論毎に異なる		
	インタラクティブメディア設計学特論IV	140052	1	加藤 博一, Christian Sandor, 武富 貴史, Alexander Plopski	特論毎に異なる		
	光メディアインタフェース特論I	140053	1	向川 康博	特論毎に異なる		
	光メディアインタフェース特論II	140054	1	向川 康博	特論毎に異なる		
	光メディアインタフェース特論III	140055	1	向川 康博	特論毎に異なる		
光メディアインタフェース特論IV	140056	1	向川 康博	特論毎に異なる			
サイバネティクス・リアリティ工学特論I	140057	1	清川 清	特論毎に異なる			
サイバネティクス・リアリティ工学特論II	140058	1	清川 清	特論毎に異なる			
サイバネティクス・リアリティ工学特論III	140059	1	清川 清	特論毎に異なる			
サイバネティクス・リアリティ工学特論IV	140060	1	清川 清	特論毎に異なる			
環境知能学特論I	140061	1	(萩田 紀博)	特論毎に異なる			
環境知能学特論II	140062	1	(萩田 紀博)	特論毎に異なる			
環境知能学特論III	140063	1	(萩田 紀博)	特論毎に異なる			
環境知能学特論IV	140064	1	(萩田 紀博)	特論毎に異なる			
ロボティクス特論I	140065	1	小笠原 司, 高松 淳, 丁 明	特論毎に異なる			
ロボティクス特論II	140066	1	小笠原 司, 高松 淳, 丁 明	特論毎に異なる			
ロボティクス特論III	140067	1	小笠原 司, 高松 淳, 丁 明	特論毎に異なる			
ロボティクス特論IV	140068	1	小笠原 司, 高松 淳, 丁 明	特論毎に異なる			
知能システム制御特論I	140069	1	杉本 謙二, 松原 崇充, 小林 泰介, 小蔵 正輝	特論毎に異なる			
知能システム制御特論II	140070	1	杉本 謙二, 松原 崇充, 小林 泰介, 小蔵 正輝	特論毎に異なる			
知能システム制御特論III	140071	1	杉本 謙二, 松原 崇充, 小林 泰介, 小蔵 正輝	特論毎に異なる			
知能システム制御特論IV	140072	1	杉本 謙二, 松原 崇充, 小林 泰介, 小蔵 正輝	特論毎に異なる			
大規模システム管理特論I	140073	1	笠原 正治, 笹部 昌弘, 川原 純	特論毎に異なる			
大規模システム管理特論II	140074	1	笠原 正治, 笹部 昌弘, 川原 純	特論毎に異なる			
大規模システム管理特論III	140075	1	笠原 正治, 笹部 昌弘, 川原 純	特論毎に異なる			
大規模システム管理特論IV	140076	1	笠原 正治, 笹部 昌弘, 川原 純	特論毎に異なる			
数理情報学特論I	140077	1	池田 和司	特論毎に異なる			
数理情報学特論II	140078	1	池田 和司	特論毎に異なる			
数理情報学特論III	140079	1	池田 和司	特論毎に異なる			

研究室特論	数理情報学特論IV	140080	1	池田 和司	特論毎に異なる						
	生体医用画像特論 I	140081	1	佐藤 嘉伸, 大竹 義人	特論毎に異なる						
	生体医用画像特論 II	140082	1	佐藤 嘉伸, 大竹 義人	特論毎に異なる						
	生体医用画像特論 III	140083	1	佐藤 嘉伸, 大竹 義人	特論毎に異なる						
	生体医用画像特論 IV	140084	1	佐藤 嘉伸, 大竹 義人	特論毎に異なる						
	計算システムズ生物学特論 I	140085	1	金谷 重彦	特論毎に異なる						
	計算システムズ生物学特論 II	140086	1	金谷 重彦	特論毎に異なる						
	計算システムズ生物学特論 III	140087	1	金谷 重彦	特論毎に異なる						
計算システムズ生物学特論 IV	140088	1	金谷 重彦	特論毎に異なる							
研究指導	ゼミナール I	140101	1	所属研究室担当教員	2				15		
	ゼミナール II	140102	1	所属研究室担当教員	2				15		
	研究論文	150001	4	所属研究室担当教員							
	課題研究	150002	4	所属研究室担当教員							
博士後期課程科目	国際化科目 I A	160001	1	Micheal Barker, (David Sell)	2	2	2	2	15	○	各期から選択
	国際化科目 I B	160002	1	Micheal Barker, (David Sell)	2	2	2	2	15	○	各期から選択
	国際化科目 II A	160003	2	所属研究室担当教員	テーマ毎に異なる				30	○	10クラス実施(クラスで1単位)
	国際化科目 II B	160004	2	所属研究室担当教員	テーマ毎に異なる				30	○	10クラス実施(クラスで1単位)
	国際化科目 II C	160005	2	所属研究室担当教員	テーマ毎に異なる				30	○	10クラス実施(クラスで1単位)
	先進学際領域特論 I	160006	1	—	—				15	○	H29年度不開講
	先進学際領域特論 II	160007	1	(David Sell)				2	15	○	
	先進情報科学特別講義 I	160008	1	担当教員				2	15	○	
	先進情報科学特別講義 II	160009	1	担当教員				2	15	○	
	先進情報科学特別講義 III	160010	1	担当教員				2	15	○	
	先進情報科学特別講義 IV	160011	1	担当教員				2	15	○	
	先進情報科学考究	160012	2	所属研究室担当教員	随時実施				30		
	先進ゼミナール	160013	2	所属研究室担当教員	随時実施				30		
	博士学位論文研究 I	170001	3	所属研究室担当教員	随時実施				45		
	博士学位論文研究 II	170002	3	所属研究室担当教員				随時実施	45		
	博士学位論文研究 III	170003	3	所属研究室担当教員	随時実施				45		
博士学位論文研究 IV	170004	3	所属研究室担当教員				随時実施	45			
博士学位論文研究 V	170005	3	所属研究室担当教員	随時実施				45			
博士学位論文研究 VI	170006	3	所属研究室担当教員				随時実施	45			

- ・講義形態のLは講義科目、Pは演習科目を示す。
- ・領域のCはコンピュータ科学領域、Mはメディア情報学領域、Aはシステム情報学領域、共は各領域に共通の授業科目を示す。
- ・担当教員の()は、非常勤講師を示す。集中講義日程の詳細は電子シラバスに掲載。
- ・研究室特論について、修了に必要な単位としては算入しないが、所属する研究室以外の特論も一部履修可能である。他研究室からの履修が可能かどうかは電子シラバスに掲載。

授業番号に関する情報（ナンバリング）

授業番号は、授業科目の水準・難易度等に基づく6桁の数字で構成されます。
以下を参照の上、授業科目の履修を決める際の目安にしてください。

[ナンバリングの見方]

1桁目：授業科目の開設研究科もしくは全学共通科目の区分を示す。

- 0XXXXX = 全学共通科目
- 1XXXXX = 情報科学研究科
- 2XXXXX = バイオサイエンス研究科
- 3XXXXX = 物質創成科学研究科

2桁目：授業科目の水準を示す。

- X0XXXX = 共通科目（博士前期課程）
- X1XXXX = 一般科目（博士前期課程）
- X2XXXX = 基礎科目（博士前期課程）
- X3XXXX = 専門科目（博士前期課程）
- X4XXXX = 研究室特論、ゼミナール科目（博士前期課程）
- X5XXXX = 修士論文・特別課題研究・課題研究（博士前期課程）
- X6XXXX = 博士科目（博士後期課程）
- X7XXXX = 博士論文、研究活動（博士後期課程）

3桁目：授業科目の難易度を示す。

- XX0XXX = 区分なし
- XX1XXX = 初級
- XX2XXX = 中級
- XX3XXX = 上級

4、5、6桁目：3桁目の区分ごとの通し番号を示す。

- XXXXXX = 001～999 の通し番号

ただし、全学共通科目及び他研究科開設の授業科目の4～6桁目については以下のとおり。

- ・全学共通科目（1桁目が0）

4桁目：授業提供元研究科を示す。

- XXX1XX = 情報科学研究科
- XXX2XX = バイオサイエンス研究科
- XXX3XX = 物質創成科学研究科

5、6桁目：4桁目の区分毎の通し番号を示す。

- XXXXXX = 01～99 の通し番号

- ・他研究科開設の授業科目（1桁目が2もしくは3）
開設する研究科のルールに拠る。

第 I 期 (4月6日(木) ~ 6月2日(金))

授業時間割一覧

	月	火	水	木	金
1限 9:20 10:50	研究室特論 I / II / III / IV	* システムズバイオロジ I [L2]	研究室特論 I / II / III / IV	信号処理論 [L1] 形式言語理論基礎 [L2] * 分散システムとミドルウェア [L3]	データ解析基礎 [L1] * 情報ネットワーク論 I [L2] システム要求工学 ※8 [L3]
2限 11:00 12:30	研究室特論 I / II / III / IV	ソフトウェア工学 I [L1] * 人工知能 [L2] 最適化数学 [L3]	研究室特論 I / II / III / IV	ロボティクス I [L1] * コンピュータグラフィックス [L2]	数値計算法 [L1] * 情報ネットワーク論 I [L2] システム要求工学 ※8 [L3]
3限 13:30 15:00	ゼミナール I / II [L1, L2, L3]	応用解析学 [L1] * 英語プレゼンテーション法入門 ※1 [L3]	ゼミナール I / II [L1, L2, L3]	組合せ数学 [L1] ユビキタス情報処理 [L2]	* 英語プレゼンテーション法 [L2] * 英語プレゼンテーション法入門 ※1 [L3]
4限 15:10 16:40	研究論文/課題研究	計算機システム ※2※3 [L1, L2, L3] バイオサイエンス概論 ※5 [バイオ大講義室] 日本語初級 II (2) ※9 [バイオL13]	研究論文/課題研究	プログラミング基礎演習 I [A207] プロジェクト実習 I / III ※7 [テーマ毎に異なる]	計算機システム ※2※3 [L1, L2, L3] バイオサイエンス概論 ※5 [バイオ大講義室] * 日本文化入門 ※6 [L3]
5限 16:50 18:20	研究論文/課題研究	計算機システム ※2※3 [L1, L2, L3] アルゴリズム ※2※4 [L1, L2, L3] 日本語初級 III (2) ※10 [バイオL13]	研究論文/課題研究	プログラミング基礎演習 I [A207] プロジェクト実習 I / III ※7 [テーマ毎に異なる]	計算機システム ※2※3 [L1, L2, L3] アルゴリズム ※2※4 [L1, L2, L3]
備考	<p>* : 英語科目</p> <p>※1 英語プレゼンテーション法入門 : 火曜日は TOEIC 400点以上が受講の目安。400点未満の場合は金曜日を推奨</p> <p>※2 計算機システム、アルゴリズム : 秋入学者のみビデオアーカイブとして第III期に履修可能 (第III期の第1週終了までに第I期講義担当に問い合わせること)</p> <p>※3 計算機システム 日程 : 4/18 (火)、4/21 (金)、4/25 (火)、4/28 (金) (4,5限、全8回)</p> <p>※4 アルゴリズム 日程 : 5/2 (火)、5/9 (火)、5/12 (金) 5/16 (火)、5/19 (金)、5/26 (金)、5/30 (火)、6/2 (金) (全8回)</p> <p>※5 バイオサイエンス概論 日程 : 5/2 (火)、5/9 (火)、5/12 (金) 5/16 (火)、5/19 (金)、5/26 (金)、5/30 (火)、6/6 (火) (全8回)</p> <p>※6 日本文化入門 日程 : 4/7 (金)、4/14 (金)、4/15 (土) 校外、4/21 (金)、4/22 (土) 校外、4/28 (金)、5/12 (金)、5/19 (金)、5/26 (金)、6/2 (金)、6/9 (金)、6/16 (金)、6/30 (金)、7/14 (金)、7/21 (金)、7/28 (金) (全16回)</p> <p>※7 プロジェクト実習 I / III : テーマ毎に異なる</p> <p>※8 システム要求工学 日程 : 未定</p> <p>※9 日本語初級 II (2) は留学生対象科目 日程 : 4/18 (火)、4/25 (火)、5/2 (火)、5/9 (火)、5/16 (火)、5/23 (火)、5/30 (火)、6/6 (火) (全8回)</p> <p>※10 日本語初級 III (2) は留学生対象科目 日程 : 4/18 (火)、4/25 (火)、5/2 (火)、5/9 (火)、5/16 (火)、5/23 (火)、5/30 (火)、6/6 (火) (全8回)</p> <p>☆ 以下の集中講義の日程については別途詳細を通知</p> <p>先端複合演習 I / II 先端ロボット構成論 先端ロボット開発論 I / II 情報セキュリティ運用リテラシー I / II 情報セキュリティPBL演習 A/B/C/D/E/F/G グローバルアントレプレナー I / II / III / IV / V アカデミックボランティア I / II</p>				

第Ⅱ期 (6月5日(月)～8月2日(水))

(6月21日(水)は健康診断のため、7月5日(水)～8日(土)は博士前期課程第1回入学者選抜試験のため授業休止
7月31日(月)は木曜日、8月1日(火)は金曜日の授業を行う。)

	月	火	水	木	金
1限 9:20 10:50	研究室特論 I / II / III / IV	高性能計算基盤 [L1] * 系列データモデリング [L2] 生体医用メディア情報学 [L3]	研究室特論 I / II / III / IV	計算理論 I [L1] * モバイルコンピューティング論 [L2] ゲーム理論 [L3]	画像情報処理 [L1] アルゴリズム設計論 [L2] システム要求工学 ※8 [L3]
2限 11:00 12:30	研究室特論 I / II / III / IV	パターン認識 [L1] ハードウェアセキュリティ [L2]	研究室特論 I / II / III / IV	無線通信システム [L1] * 計算理論 II [L2] 数理モデル論 [L3]	情報理論 ※12 [L1] * 機械学習と知能制御 [L2] ソフトウェア設計論 ※13 [L3]
3限 13:30 15:00	ゼミナール I / II [L1, L2, L3]	* 英語プロジェクトマネジメント法 [L2] 確率過程論基礎 [L3]	ゼミナール I / II [L1, L2, L3]	多変量解析 [L1]	情報理論 ※12 [L1] * 英語ライティング法 [L2] ソフトウェア設計論 ※13 [L3]
4限 15:10 16:40	研究論文/課題研究	科学哲学 ※14 [L1] バイオサイエンス概論 ※5 [バイオ大講義室] 科学技術論・科学技術者論 ※15 [ミレニアムホール]	研究論文/課題研究	プログラミング基礎演習 II [A207] プロジェクト実習 I / III ※7 [テーマ毎に異なる]	科学哲学 ※14 [L1] * 日本文化入門 ※6 [L3] 科学技術論・科学技術者論 ※15 [ミレニアムホール]
5限 16:50 18:20	研究論文/課題研究	科学哲学 ※14 [L1] 物質創成科学概論 ※11 [物質大講義室]	研究論文/課題研究	プログラミング基礎演習 II [A207] プロジェクト実習 I / III ※7 [テーマ毎に異なる]	科学哲学 ※14 [L1] 物質創成科学概論 ※11 [物質大講義室]
備考	<p>*: 英語科目</p> <p>※5 バイオサイエンス概論 日程: 5/2 (火)、5/9 (火)、5/12 (金) 5/16 (火)、5/19 (金)、5/26 (金)、5/30 (火)、6/6 (火) (全8回)</p> <p>※6 日本文化入門 日程: 4/7 (金)、4/14 (金)、4/15 (土) 校外、4/21 (金)、4/22 (土) 校外、4/28 (金)、5/12 (金)、5/19 (金)、5/26 (金)、6/2 (金)、6/9 (金)、6/16 (金)、6/30 (金)、7/14 (金)、7/21 (金)、7/28 (金) (全16回)</p> <p>※7 プロジェクト実習 I / III: テーマ毎に異なる</p> <p>※8 システム要求工学 日程: 未定</p> <p>※11 物質創成科学概論 日程: 6/6 (火)、6/9 (金)、6/13 (火)、6/16 (金)、6/27 (火)、6/30 (金)、7/11 (火)、7/14 (金) (全8回)</p> <p>※12 情報理論 日程: 未定</p> <p>※13 ソフトウェア設計論 日程: 未定</p> <p>※14 科学哲学 日程: 7/18 (火)、7/21 (金)、7/25 (火)、7/28 (金) (4, 5限、全8回)</p> <p>※15 科学技術論・科学技術者論 日程: 6/9 (金)、6/13 (火)、6/16 (金)、6/27 (火)、6/30 (金)、7/4 (火)、7/11 (火)、7/14 (金) (全8回)</p> <p>☆ 以下の集中講義の日程については別途詳細を通知 先端複合演習 I / II 先端ロボット構成論 先端ロボット開発論 I / II 情報セキュリティ運用リテラシー I / II 情報セキュリティPBL演習 A / B / C / D / E / F / G グローバルアントレプレナー I / II / III / IV / V アカデミックボランティア I / II</p>				

第Ⅲ期（10月3日（火）～ 11月29日（水））

（10月10日（火）～11日（水）は博士前期課程第2回入学者選抜試験のため授業休止
11月27日（月）は木曜日、11月29日（水）は金曜日の授業を行う。）

授業時間割一覧

	月	火	水	木	金
1限 9:20 10:50	研究室特論 I / II / III / IV	情報ネットワーク論Ⅱ [L1] * 信号検出理論 [L2] コンピュータビジョンⅡ [L3]	研究室特論 I / II / III / IV	自然言語処理 [L2]	情報ネットワーク論Ⅱ [L1] * 計算神経科学 [L2] ネットワークシミュレーション [L3]
2限 11:00 12:30	研究室特論 I / II / III / IV	ソフトウェア工学Ⅱ [L1] * 環境知能 [L2] システムズバイオロジⅡ [L3]	研究室特論 I / II / III / IV	* ロボティクスⅡ [L1] * 現代情報セキュリティ論 [L2] 音情報処理 [L3]	生命機能計測学 [L1] * コンピュータビジョンⅠ [L2]
3限 13:30 15:00	ゼミナールⅠ / II [L1, L2, L3]	* 知的財産権 [L1] モデルベース制御 [L2]	ゼミナールⅠ / II [L1, L2, L3]	データマイニング [L1] * 英語コミュニケーション法Ⅰ [L2] 代数的構造 [L3]	* 英語論文検索法 [L1] ビッグデータアナリティクス [L3]
4限 15:10 16:40	研究論文/課題研究	科学コミュニケーション ※16 [バイオL12] 日本語初級Ⅰ ※19 [物質F105] 日本語初級Ⅱ(Ⅰ) ※20 [バイオL13]	研究論文/課題研究	ソフトウェア開発演習Ⅰ [A207] プロジェクト実習Ⅰ/Ⅲ ※7 [テーマ毎に異なる]	* 日本文化入門 ※18 [L3]
5限 16:50 18:20	研究論文/課題研究	科学コミュニケーション ※16 [バイオL12] 日本語初級Ⅰ ※19 [物質F105] 日本語初級Ⅲ(Ⅰ) ※21 [バイオL13]	研究論文/課題研究	ソフトウェア開発演習Ⅰ [A207] プロジェクト実習Ⅰ/Ⅲ ※7 [テーマ毎に異なる]	* 技術と倫理 ※17 [L1]
備考	*: 英語科目 ※7 プロジェクト実習Ⅰ/Ⅲ：テーマ毎に異なる ※16 科学コミュニケーション 日程:10/24(火)、10/31(火)、11/7(火)、11/14(火) (4,5限、全8回) ※17 技術と倫理 日程:10/13(金)、10/20(金)、10/27(金)、11/10(金)、11/17(金)、11/24(金)、12/1(金)、12/8(金) (全8回) ※18 日本文化入門(秋学期) 日程: 10/13(金)、10/20(金)、10/21(土)校外、10/27(金)、10/28(土)校外、11/10(金)、 11/17(金)、11/24(金)、12/1(金)、12/8(金)、12/15(金)、12/22(金)、1/5(金)、 1/12(金)、1/19(金)、1/26(金) (全16回) ※19 日本語初級Ⅰは留学生対象科目 日程:10/17(火)、10/24(火)、10/31(火)、11/7(火)、11/14(火)、11/21(火)、 11/28(火)、12/5(火) (4, 5限 全16回) ※20 日本語初級Ⅱ(Ⅰ)は留学生対象科目 日程:10/17(火)、10/24(火)、10/31(火)、11/7(火)、11/14(火)、11/21(火)、 11/28(火)、12/5(火) (全8回) ※21 日本語初級Ⅲ(Ⅰ)は留学生対象科目 日程:10/17(火)、10/24(火)、10/31(火)、11/7(火)、11/14(火)、11/21(火)、 11/28(火)、12/5(火) (全8回) ☆ 以下の集中講義の日程については別途詳細を通知 先端複合演習Ⅰ/Ⅱ 先端ロボット構成論 先端ロボット開発論Ⅰ/Ⅱ 情報セキュリティ運用リテラシーⅠ/Ⅱ 情報セキュリティPBL演習A/B/C/D/E/F/G グローバルアントレプレナーⅠ/Ⅱ/Ⅲ/Ⅳ/V アカデミックボランティアⅠ/Ⅱ				

第IV期 (11月30日(木)～ 2月1日(木))

(12月23日(土)～1月3日(水)は冬季休業、2月2日(金)～2月9日(金)は補講等の予備期間、2月1日(木)は火曜日の授業を行う。)

	月	火	水	木	金
1限 9:20 10:50	研究室特論 I / II / III / IV	* 先進情報科学特別講義I/III [L1,L2,L3]	研究室特論 I / II / III / IV	* 先進情報科学特別講義I/III [L1,L2,L3]	* 仮想化システム基盤 [L1] * 符号理論 [L2]
2限 11:00 12:30	研究室特論 I / II / III / IV	* ヒューマンコンピュータインタラクション [L1]	研究室特論 I / II / III / IV	バーチャルリアリティ [L1] * 現代情報セキュリティ論 [L2]	* 生体医用画像解析 [L1] * 符号理論 [L2]
3限 13:30 15:00	ゼミナール I / II [L1,L2,L3]	* 英語デジタルメディア活用法 [L2]	ゼミナール I / II [L1,L2,L3]	* 英語コミュニケーション法 II [L3]	* 異文化間コミュニケーション [L3]
4限 15:10 16:40	研究論文/課題研究	研究論文/課題研究 日本語初級 I ※19 [物質F105] 日本語初級 II (1) ※20 [バイオL13]	研究論文/課題研究	プロジェクト実習 I / III ※7 [テーマ毎に異なる]	研究論文/課題研究 * 日本文化入門 ※18 [L3]
5限 16:50 18:20	研究論文/課題研究	研究論文/課題研究 日本語初級 I ※19 [物質F105] 日本語初級 III (1) ※21 [バイオL13]	研究論文/課題研究	プロジェクト実習 I / III ※7 [テーマ毎に異なる]	研究論文/課題研究
備考	<p>*: 英語科目</p> <p>※7 プロジェクト実習 I / III : テーマ毎に異なる</p> <p>※18 日本文化入門(秋学期) 日程: 10/13(金)、10/20(金)、10/21(土)校外、10/27(金)、10/28(土)校外、11/10(金)、11/17(金)、11/24(金)、12/1(金)、12/8(金)、12/15(金)、12/22(金)、1/5(金)、1/12(金)、1/19(金)、1/26(金) (全16回)</p> <p>※19 日本語初級 I は留学生対象科目 日程:10/17(火)、10/24(火)、10/31(火)、11/7(火)、11/14(火)、11/21(火)、11/28(火)、12/5(火) (4, 5限 全16回)</p> <p>※20 日本語初級 II (1) は留学生対象科目 日程:10/17(火)、10/24(火)、10/31(火)、11/7(火)、11/14(火)、11/21(火)、11/28(火)、12/5(火) (全8回)</p> <p>※21 日本語初級 III (1) は留学生対象科目 日程:10/17(火)、10/24(火)、10/31(火)、11/7(火)、11/14(火)、11/21(火)、11/28(火)、12/5(火) (全8回)</p> <p>☆ 以下の集中講義の日程については別途詳細を通知 先端複合演習 I / II 先端ロボット構成論 先端ロボット開発論 I / II 情報セキュリティ運用リテラシー I / II 情報セキュリティPBL演習A/B/C/D/E/F/G グローバルアントレプレナー I / II / III / IV / V アカデミックボランティア I / II</p>				

電子シラバスについて

情報科学研究科では研究科ホームページでシラバスを公開しています。

シラバスについては以下のアドレス、もしくは「大学ホームページ→情報科学研究科ホームページ→教育→電子シラバス」からページを開くことができます。

電子シラバス : <http://is-education.naist.jp/>

成績評価について

1. 成績評価を終了したときには、その旨をホームページや掲示板等により、各講義の終了後3週間以内に受講者にお知らせします。

成績は、附属図書館1階に設置している証明書自動発行機により確認することができます。

2. 通知された成績評価に異議がある場合は、成績が通知された日から1ヶ月以内に「成績評価に対する異議申立書」を教育支援課学務係に提出してください。

(※) 成績評価の異議申立てが可能な範囲は、学生が次の各号に該当すると判断する場合のみとする。

(1) 誤記入等、明らかに採点の誤りであると思われるもの

(2) シラバス等により周知している成績評価の方法から、明らかに評価方法等について疑義があると思われるもの

3. 申立てに対する回答は、研究科の教務委員会（教務部会）で検討の後、教育支援課学務係を通じて文書で伝達します。

なお、異議申立書の様式や異議申立てのフローなどについては、下記のWebページに掲載しています。

○成績評価の異議申立てについて

https://ad-info.naist.jp/gakusei/gakumu_kankei/seisekituuti/seisekituuti.htm

1

研究倫理教育講習会の受講について

1. 本学では、入学時に研究者として必要とされる最低限の研究倫理習得のため、新入生を対象とした本講習会を実施しています。（日英同時開講）
2. 平成29年度研究倫理教育講習会の実施日程は、以下のとおりです。

春学期入学者	平成29年4月14日（金）5時限目（16:50～18:20）
秋学期入学者	平成29年10月3日（火）4時限目（15:10～16:40）

3. 新入生は、この講習会を受講しなかった場合、各研究科において、以後の修学上、不利益が発生することがありますので、必ず受講してください。

英語教育について

情報科学研究科での取組み

情報科学分野で国際的な活動をするためには、英語能力が不可欠です。英語能力を向上させるため、授業科目、年2回の TOEIC 英語試験の受験機会、ネットワークを介した「英語学習システム(ALC NetAcademy 2)」、オフラインの英語教材(CD-ROM、雑誌)など、自主的に選択して学習できる準備を整えています。

科学英語を学ぶための授業科目には、聞くことと話すことのコミュニケーション能力を養う「英語プレゼンテーション法入門」および「英語コミュニケーション法 I, II」、英語による論文執筆や研究発表法を学ぶ「英語ライティング法」および「英語プレゼンテーション法」があります。さらに、より高度なスキルを学ぶ「英語プロジェクトマネジメント法」「英語論文検索法」「英語デジタルメディア活用法」があります。他に、バイオサイエンス研究科の「科学英語科目」の履修も可能です。いずれの科目も、専門科目と同じように、各自の選択に任せています。

年2回の TOEIC-IP 試験も、各自が自主的に受験するようにしています。企業での技術者を目指すか、研究者を目指すかに関わらず、情報科学分野における英語能力の重要性を認識して積極的に履修することと受験することを勧めています。

また、多くの専門科目、一般科目が英語で開講されていますので、積極的に受講することを勧めています。さらに、外国人研究者の講演や、研究室での英語による討論の機会を作るようにして、専門分野での質疑応答のマナーを身に付けるようにしています。

グローバル人材を目指して

本学は平成26年9月に文部科学省の「スーパーグローバル大学創成支援」事業に採択されました。本プログラムを通して、カリフォルニア大学デービス校等85の海外学術交流協定校を中心とした世界の学術機関との連携の元、海外留学を推進しています。さらに、海外インターンシップや国際ワークショップへの参加についても推奨しています。

また、博士前期課程では英語論文を読解し、英語で行われる講義・セミナーを理解できる力を身に付けさせ、博士後期課程では英語で研究発表や質疑応答、交渉やトラブルに対処できる英語力を修得させることを目標としており、各研究科でTOEICテストの実施も行っています。

現在、31カ国からの233名の留学生が本学で学んでおり、多様な出身国、文化を背景にした留学生と日本人学生が協同で学べる環境にもあり、多くの国際感覚、実践的なコミュニケーション能力及び専門知識・研究技術を併せ持つグローバル人材の養成を目指しています。

【留学奨学金について】

本学の学生の多くは、以下の留学奨学金を活用し海外留学しています。個人で応募できる奨学金もありますが大学（研究科）のプログラムとして実施しているものが多いため、留学にあたっては、事前に指導教員または国際課にご相談ください。

1. 日本学生支援機構（JASSO）海外留学支援制度
http://www.jasso.go.jp/ryugaku/study_a/scholarship.html
2. トビタテ！留学 JAPAN
<http://www.tobitate.mext.go.jp/>
3. その他日本学生支援機構（JASSO）が収集・提供している奨学金サイト
<http://ryugaku.jasso.go.jp/scholarship/>

【海外渡航前の学内手続きについて】

外国の大学院又は研究所等の教育研究機関で授業科目の履修や、研究指導を受ける場合は、事前に教授会で審議する必要がありますので、「留学願」に添えて「特別聴講派遣学生履修願」又は「特別研究派遣学生申請書」を渡航の2ヶ月前までに国際課に提出してください。「留学願」が不要の海外渡航であっても、渡航先での災害・事件・事故等があった場合の学生の安否確認等を行う目的で、「海外渡航届」の提出を義務づけていますので、忘れないように提出してください。詳しくは、「留学/海外渡航の取扱いについて」（P.68）をご確認ください。

【ビザ（査証）について】

海外渡航する場合は、できるだけ早く渡航先の国の情報を集めて、ビザ取得申請を行う必要があります。

短期渡航であっても渡航目的によりビザ免除に該当しない場合があります。また、各国によってビザの取得方法が異なります。主要国を例にあげると、米国では、大学に留学する場合はF-1 ビザ(学生ビザ)が必要で、申請書類の作成、補足書類の準備、パスポート取得、面接等、留学出発2ヶ月前程度から準備を開始する必要があります。フランスでは、オンライン申請が可能で交換留学であれば面接も免除されるなど、国によって事情が異なりますので、留学先や国内にある渡航国の大使館・領事館に確認するなど早めに情報を収集して動く必要があります。

事前にビザ取得申請をしない場合、国によっては入国できないなどの不利益を受ける可能性がありますので、わからないことがあれば、事前に国際課に相談してください。

【海外渡航前の安全確認について】

海外渡航をする場合には、外務省のWeb ページ（海外渡航安全情報）などを参照して渡航先の情勢等を事前に調査し、安全を確認してから渡航するよう心がけてください。

また、外務省では、海外に3か月以上滞在を予定している邦人には「在留届」提出の徹底を、3か月未満の滞在を予定している邦人には外務省海外旅行登録「たびレジ」への登録を呼びかけています。

海外へ渡航する際は、本学での手続きとは別に、外務省へ提出又は登録をしてください。

詳しくは外務省 Web ページをご覧ください。

留学/海外渡航の取扱いについて

海外派遣の種類	学籍上の留学※		旅行依頼をとまなう海外渡航	
	外国の大学院又は研究所等の教育研究機関で授業科目の履修や、研究指導を受けるもの	ダブルディグリープログラム	左記「学籍上の留学」以外の、外国の大学院又は研究所等と連携して行われる各種学修プログラム	学会・シンポジウム・セミナー出席等
内容	・外国の大学院又は研究所等の教育研究機関で授業科目の履修や、研究指導を受ける場合	・ダブルディグリープログラムに基づく海外大学滞在学习修	・外国の大学院又は研究所等での研修等 ・外国の研究所等でのインターンシップ(本学の学修プログラムとして行うもの)	・学会・シンポジウム・セミナー等への参加・発表を行う場合
期間	原則3ヶ月以上		原則3ヶ月未満	
提出書類	留学願 特別聴講派遣学生履修願 ※授業科目を履修する場合 特別研究派遣学生申請書 ※研究指導委託を行う場合	留学願	海外渡航届	海外渡航届
統計上の取扱い	留学	留学	留学	—
海外旅行保険の適用	○	○	○	○
学研災の適用	○	○	○	○

※学則第48条 外国の大学院又は研究所等に留学しようとする者は、学長の許可を受けなければならない。

私事渡航について

1: 私事の旅行で一時的に居住地を離れる場合は、家族や友人や研究室などに緊急連絡先を伝えてください。

2: 私事で3ヶ月以上海外渡航する場合は、遅くとも海外渡航する2週間前に休学願及び海外渡航届の提出が必要です。

平成29年度バイオサイエンス研究科授業科目及び担当教員一覧

博士前期課程

区分	授業科目名	授業番号	単位数	担当教員	授業時期	総授業時間数	備考
共通科目	科学技術論・科学技術者論	000201	1	担当教員	1年次春学期	15	全学共通科目
	計算機システム	000101	1	中島康彦	春学期	15	全学共通科目
	アルゴリズム	000102	1	井上、他	春学期	15	全学共通科目
	物質創成科学概論	000301	1	香月、荒谷	春学期	15	全学共通科目
	科学コミュニケーション	000203	1	別所、他	秋学期	15	全学共通科目
	科学哲学	000103	1	(中尾)	春学期	15	全学共通科目
	技術と倫理	000104	1	(上田)	秋学期	15	全学共通科目
	バイオサイエンス概論	000202	1	真木(壽)、他	春学期	15	全学共通科目
一般科目	グローバルアントレプレナーI	111011	1	担当教員	(集中講義)	15	情報科学研究科開設科目
	グローバルアントレプレナーII	111012	1	担当教員	(集中講義)	15	情報科学研究科開設科目
	グローバルアントレプレナーIII	112013	1	担当教員	(集中講義)	40	情報科学研究科開設科目
	グローバルアントレプレナーIV	112014	1	担当教員	(集中講義)	15	情報科学研究科開設科目
	グローバルアントレプレナーV	112015	1	担当教員	(集中講義)	25	情報科学研究科開設科目
	実践キャリア英語 I	210001	1	McAleese	1年次春学期	15	
	実践キャリア英語 II	210002	1	McAleese	1年次秋学期	15	
	実践キャリア英語 III	210003	1	McAleese	2年次秋学期	15	
	グローバルコミュニケーションの手法	210004	1	McAleese	秋学期	15	
	発音とリズムのコミュニケーション技術	210005	1	McAleese	春学期	15	
	英語による科学的発見の思考法	210006	1	稲垣	秋学期	15	
	社会生命科学	210007	1	別所	1年次	15	
	ゲノム先端科学	210008	1	別所	1年次	15	
基礎科目	現代生物学概論	220001	1	橋本、他	1年次春学期	24	
	先端科学のための実践生物学 I	220002	1	秋山、他	1年次春学期	15	
	先端科学のための実践生物学 II	220003	1	木俣、他	1年次春学期	15	
	バイオゼミナール基礎 I	220004	1	出村、他	1年次春学期	15	
	バイオゼミナール基礎 II	220005	1	駒井、他	1年次春学期	15	
	応用生命科学・微生物バイオテクノロジー	220006	1	高木、他	1年次春学期	15	
	応用生命科学・環境植物科学	220007	1	中島、他	1年次春学期	15	
	応用生命科学・バイオメディカルサイエンス	220008	1	加藤、他	1年次春学期	15	
	応用生命科学・情報生命科学	220009	1	別所、他	1年次春学期	15	
	バイオゼミナール実践 I	220010	1	河野、他	1年次春学期	15	
	バイオゼミナール実践 II	220011	1	真木(壽)、他	1年次	15	
	プロジェクト演習	220012	1	別所、他	1年次秋学期	15	
	フロンティアプロジェクト演習	220013	1	出村、他	1年次秋学期	15	
専門科目	発生生物学特別講義	230001	1	別所、他	春学期	15	
	バイオインダストリー特論	230002	1	高木、他	1年次春学期	15	
	バイオインダストリー特論演習	230003	1	高木、他	1年次春学期	15	H29年度不開講
	動物科学特論	230004	1	磯谷、他	1、2年次	15	
	植物科学特論	230005	1	伊藤、他	1、2年次	15	
	統合システム生物学特論	230006	1	稲垣、他	1、2年次	15	
	知的財産特論	230007	1	久保	秋学期	15	
	情報生命科学特論	230008	1	別所	秋学期	15	隔年開講科目
	生命機能計測学	130037	1	(杉浦)、他	秋学期	15	情報科学研究科開設科目
	システムズバイオロジII	130039	1	金谷、他	秋学期	15	情報科学研究科開設科目
	国際バイオ特論 I	230009	1	塩崎、他	1、2年次	15	
	国際バイオ特論 II	230010	1	塩崎、他	1、2年次	15	
	フロンティアバイオチュートリアル	230011	1	出村、他	2年次	15	

区分	授業科目名	授業番号	単位数	担当教員	授業時期	総授業時間数	備考
	ゼミナールⅠ	240001	2	配属研究室教員	1年次春学期	60	
	ゼミナールⅡ	240002	2	配属研究室教員	1年次秋学期	60	
	ゼミナールⅢ	240003	2	配属研究室教員	2年次春学期	60	
	ゼミナールⅣ	240004	2	配属研究室教員	2年次秋学期	60	
	研究実験Ⅰ	240005	3	配属研究室教員	1年次春学期	90	
	研究実験Ⅱ	240006	3	配属研究室教員	1年次秋学期	90	
	研究実験Ⅲ	240007	3	配属研究室教員	2年次春学期	90	
	研究実験Ⅳ	240008	3	配属研究室教員	2年次秋学期	90	
	研究論文	250001	2	配属研究室教員	1、2年次		
	課題研究Ⅰ	240009	2	配属研究室教員	1年次春学期	60	
	課題研究Ⅱ	240010	2	配属研究室教員	1年次秋学期	60	
	課題研究Ⅲ	240011	2	配属研究室教員	2年次春学期	60	
	課題研究Ⅳ	240012	2	配属研究室教員	2年次秋学期	60	
	課題論文	250002	2	配属研究室教員	1、2年次		

平成29年度バイオサイエンス研究科授業科目及び担当教員一覧

博士前期課程国際コース

区分	授業科目名	授業番号	単位数	担当教員	授業時期	総授業時間数	備考
共通科目	Japanese Class for Beginners I	000303	2	(岩崎、他)	1年次秋学期	30	全学共通科目
	Japanese Class for Beginners II (1)	000204	1	(中尾)	1年次秋学期	15	全学共通科目
	Japanese Class for Beginners II (2)	000205	1	(中尾)	1年次春学期	15	全学共通科目
	Japanese Class for Beginners III (1)	000206	1	(橋本(昌))	2年次	15	全学共通科目
	Japanese Class for Beginners III (2)	000207	1	(橋本(昌))	2年次	15	全学共通科目
	Japanese Culture	000105	2	(Adarsh)	1年次	30	年2回開講 全学共通科目
	Technology and Professional Ethics	000104	1	(上田)	1年次秋学期	15	隔年英語開講 全学共通科目
一般科目	Professional English I	210301	1	McAleese	1年次春学期	15	
	Professional English II	210302	1	McAleese	1年次秋学期	15	
	Professional English III	210303	1	McAleese	2年次秋学期	15	
	Communication Strategies	210304	1	McAleese	秋学期	15	
	Communication Quality through Phonology	210305	1	McAleese	春学期	15	
	Logic in Scientific Discovery	210306	1	稲垣	秋学期	15	
基礎科目	Molecular Cell Biology	220301	1	真木(壽)、他	1年次	15	
	Advanced Topics in Bioscience	220302	1	高木、他	1年次	15	
	Laboratory Rotation I	220303	1	中島、他	1年次	15	
	Laboratory Rotation II	220304	1	中島、他	1年次	15	
	Literature in Bioscience Research I	220305	1	別所、他	1年次	15	
	Literature in Bioscience Research II	220306	1	塩崎、他	1年次	15	
	Research Presentation Forum	220307	1	別所、他	2年次	15	
専門科目	International Forefront in Bioscience I	230301	1	塩崎、他	1, 2年次	15	
	International Forefront in Bioscience II	230302	1	塩崎、他	1, 2年次	15	
	Bioscience Colloquium	230303	1	出村、他	1, 2年次	15	
	UCD Online Seminar	230304	1	中島、他	1, 2年次	15	
	Systems Biology I	130038	1	金谷 他	春学期	15	情報科学研究科開設科目
	Bioresource Research Proposal	230305	1	出村、他	2年次	15	
Seminar I	240301	2	配属研究室教員	1年次春学期	30		
Seminar II	240302	2	配属研究室教員	1年次秋学期	30		
Seminar III	240303	2	配属研究室教員	2年次春学期	30		
Seminar IV	240304	2	配属研究室教員	2年次秋学期	30		
Research Experiment I	240305	3	配属研究室教員	1年次春学期	90		
Research Experiment II	240306	3	配属研究室教員	1年次秋学期	90		
Research Experiment III	240307	3	配属研究室教員	2年次春学期	90		
Research Experiment IV	240308	3	配属研究室教員	2年次秋学期	90		
Thesis	250301	2	配属研究室教員				

授業時期は4月入学の場合を記載。

平成29年度バイオサイエンス研究科授業科目及び担当教員一覧

博士後期課程

授業科目名	授業番号	単位数	担当教員	授業時期	総授業時間数	備考
仮想研究プロジェクト	260001	1	アドバイザーコミティー教員	1年次	15	
海外ラボインターンシップ I	260002	3	塩崎	1年次秋学期	45	
海外ラボインターンシップ II	260003	3	塩崎、他	各年次	45	
国際バイオゼミナール I	260004	1	塩崎、他	各年次	15	
国際バイオゼミナール II	260005	1	塩崎、他	各年次	15	
国際バイオゼミナール III	260006	1	塩崎、他	各年次	15	
国際バイオゼミナール IV	260007	1	塩崎、他	各年次	15	
国際バイオゼミナール V	260008	1	塩崎、他	各年次	15	
国際バイオゼミナール VI	260009	1	塩崎、他	各年次	15	
研究プロジェクトプレゼンテーション	260010	1	橋本、他	2年次	15	
国際学生ワークショップ	260011	1	笹井、他	2年次	15	
UCDリトリート	260012	1	塩崎、他	3年次	15	
グローバルコミュニケーションの手法	260013	1	McAleese	秋学期	15	
発音とリズムのコミュニケーション技術	260014	1	McAleese	春学期	15	
実践キャリア英語 I	260015	1	McAleese	春学期	15	
実践キャリア英語 II	260016	1	McAleese	秋学期	15	
実践キャリア英語 III	260017	1	McAleese	秋学期	15	
研究者倫理	260018	1			15	H28年度不開講
UCDオンラインゼミナール	260019	1	中島、他	各年次	15	
研究実験 I	270001	6	アドバイザーコミティー教員	1年次	180	
研究実験 II	270002	6	アドバイザーコミティー教員	2年次	180	
研究実験 III	270003	6	アドバイザーコミティー教員	3年次	180	

平成29年度物質創成科学研究科授業科目及び担当教員一覧

博士前期課程

区分	授業科目名	授業 番号	単 位 数	担当教員	授業時期	総授 業時 間数	備考
共通 科目	計算機システム	000101	1	中島、他	4月	15	全学共通科目
	アルゴリズム	000102	1	井上、他	5～6月	15	全学共通科目
	バイオサイエンス概論	000202	1	真木(壽)、他	5～6月	15	全学共通科目
	物質創成科学概論	000301	1	香月・荒谷	6～7月	15	全学共通科目
	科学技術論・科学技術者論	000201	1	担当教員	6～7月	15	全学共通科目
	科学哲学	000103	1	(中尾)	7月	15	全学共通科目
	技術と倫理	000302	1	(高橋・三井)	5～7月	15	全学共通科目
	科学コミュニケーション	000203	1	別所、他	10～11月	15	全学共通科目
一般 科目	物質科学解析	311001	1	石墨・富田・武田・野田・ 上沼・笹川・長尾・山崎	4月	15	
	物質科学英語 I	311002	1	McDowell・(中山)	5～7月	15	
	物質科学英語 II A	312003	1	McDowell	10～11月	15	単位修得した場合、博士後期 課程で「物質科学英語 II B」 は単位認定しない。
	物質科学英語 III A	313004	1	McDowell	11～12月	15	単位修得した場合、博士後期 課程で「物質科学英語 III B」 は単位認定しない。
	科学技術政策と知的財産	310005	1	久保・(大竹・松尾)	7月	15	
	サイエンスリテラシー	310006	1	菊池・河合・山田	秋学期	15	
	グローバルアントレプレナー I	111011	1	担当教員	集中講義	15	情報科学研究科開設科目
	グローバルアントレプレナー II	111012	1	担当教員	集中講義	15	情報科学研究科開設科目
	グローバルアントレプレナー III	112013	1	担当教員	集中講義	15	情報科学研究科開設科目
	グローバルアントレプレナー IV	112014	1	担当教員	集中講義	15	情報科学研究科開設科目
	グローバルアントレプレナー V	112015	1	担当教員	集中講義	15	情報科学研究科開設科目
基礎 科目	光ナノサイエンス概論 I	320001	1	各研究室教員	4月	15	
	光ナノサイエンス概論 II	320002	1	各研究室教員	4月	15	
	光ナノサイエンスコア I	321103	1	中村・服部・小林・鈴木・ 重城・片山	4月	15	
	光ナノサイエンスコア II	321104	1	細川・服部・細糸・谷本・ 岡田	4～5月	15	
	光ナノサイエンスコア III	321305	1	柳・河合・上久保・山中・ 野々口・林	4月	15	
	光ナノサイエンスコア IV	321306	1	柳・柳田・安原・寺田	4～5月	15	
	光と電子特講 I	321107	1	(EC)中村・細川・松井 (AC)大門・服部・細糸	5月	15	
	光と電子特講 II	321108	1	(EC)徳田・松井 (AC)大門・香月・細糸	5～6月	15	
	光と分子特講 I	321309	1	(EC)垣内・森本・安藤 (AC)藤木・廣田・中嶋	5月	15	
	光と分子特講 II	321310	1	(EC)廣田・細川・松尾 (AC)垣内・菊池・中嶋	5～6月	15	

区分	授業科目名	授業 番号	単 位 数	担当教員	授業時期	総授 業時 間数	備考
基礎 科目	先端融合物質科学 I	321111	1	(EC)中村・細川・松井 (AC)大門・服部・細糸	5月	15	
	先端融合物質科学 II	321312	1	(EC)垣内・森本・安藤 (AC)藤木・廣田・中嶋	5月	15	
	先端融合物質科学 III	321113	1	(EC)徳田・松井 (AC)大門・香月・細糸	5~6月	15	
	先端融合物質科学 IV	321314	1	(EC)廣田・細川・松尾 (AC)垣内・菊池・中嶋	5~6月	15	
	現代量子力学特論	321115	1	柳田・河口	6~7月	15	
	先端半導体工学	321216	1	浦岡・石河	6~7月	15	
	先端光電子工学	321217	1	太田	6~7月	15	
	先端電子材料工学	321218	1	浦岡・石河・三宅	6~7月	15	
	現代有機化学特論	321319	1	山田・森本	6~7月	15	
	先端高分子化学特論	321320	1	藤木・安藤	6~7月	15	
	現代無機化学特論	321321	1	松尾・辨天	6~7月	15	
	先端生化学	321622	1	廣田・安藤・上久保	6~7月	15	
	専 門 科 目	光・磁気物性特論	332101	1	柳・細川・香月・細糸	10~11月	15
電子原子物性特論		332102	1	大門・柳田・服部・松井	10~11月	15	
フォトニクス特論		332203	1	太田・徳田	10~11月	15	
情報素子工学特論		332204	1	浦岡・中村・石河	10~11月	15	
分子フォトサイエンス特論		332305	1	河合・山田・中嶋・荒谷	10~11月	15	
先端反応構造化学特論		332306	1	藤木・垣内・森本・谷本	10~11月	15	
生体機能物質特論		332607	1	菊池・安藤・安原・寺田	10~11月	15	
生物物質科学特論		332608	1	廣田・松尾・上久保	10~11月	15	
先端物質科学技術特論		332009	1	連携研究室教員	10~11月	15	
物質科学特論 I		332110	1	(壬生・堀田)	秋学期	15	
物質科学特論 II		332211	1	(西岡・木下)	秋学期	15	
物質科学特論 III		332312	1	(加藤・川村・戸部)	秋学期	15	
物質科学特論 IV		332613	1	(木村・中)	秋学期	15	
物質科学実験・実習	340001	2	配属研究室教員	4~5月	60		
ゼミナール A	340002	1	配属研究室教員		15		
ゼミナール B	340003	2	配属研究室教員		30		
融合ゼミナール A	340004	1	各研究室教員		15		
融合ゼミナール B	340005	2	各研究室教員		30		
研究論文	350001	6	配属研究室教員				
特別課題研究	350002	5	配属研究室教員				
課題研究	350003	4	配属研究室教員				

担当教員の()は、非常勤講師を示す。

(注)：日程の詳細は、後日発表する。

List of subjects and faculty members in charge for the Graduate School of Materials Science in academic year 2017

Master's Course (i course)

Category	Subject	Subject Number	Number of credits	Lecturer	Class period	Total number of classes	Remarks
Common Subjects	Technology and Professional Ethics (i)	000104	1	(Ueda)	Autumn semester in first academic year	15	Common Subjects for All Graduate Schools
	Japanese Class for Beginners I (i)	000303	2	(Iwasaki etc.)	Autumn semester in first academic year	30	Common Subjects for All Graduate Schools
	Japanese Class for Beginners II (1) (i)	000204	1	(Nakao)	Autumn semester in first academic year	15	Common Subjects for All Graduate Schools
	Japanese Class for Beginners II (2) (i)	000205	1	(Nakao)	Spring semester in second academic year	15	Common Subjects for All Graduate Schools
	Japanese Class for Beginners III (1) (i)	000206	1	(Hashimoto)	Second academic year	15	Common Subjects for All Graduate Schools
	Japanese Class for Beginners III (2) (i)	000207	1	(Hashimoto)	Second academic year	15	Common Subjects for All Graduate Schools
	Japanese Culture (i)	000105	2	(Adarsh)	First academic year	30	Common Subjects for All Graduate Schools
General Subjects	Mathematical Analysis for Materials Science (i)	311051	1	Ishizumi・Tomita・Takeda・Noda・Uenuma・Fuji・Nagao・Yamazaki	Autumn semester	15	
	Materials Science English I (i)	311052	1	(Nakayama)	Autumn semester	15	
	Materials Science English II (i)	312053	1	McDowell	Autumn semester	15	
	Materials Science English III (i)	313054	1	McDowell	Autumn semester	15	
	Science Literacy (i)	310055	1	Faculty members of assigned laboratory	Autumn semester	15	
	Intellectual Property Rights (i)	110010	1	Kubo	Autumn semester	15	"Intellectual Property Rights" provided by Information Science
	Intercultural Communication (i)	110009	1	(Sell)	Autumn semester	15	"Intercultural Communication" provided by Information Science
Basic Subjects	Photonic Nanoscience I (i)	320051	1	Faculty members of respective laboratories	Autumn semester	15	
	Photonic Nanoscience II (i)	320052	1	Faculty members of respective laboratories	Autumn semester	15	
	Photon and Condensed Matters I (i)	321153	1	Hosokawa・Jujo	Autumn semester	15	
	Photon and Condensed Matters II (i)	321154	1	(Okano)	Autumn semester	15	
	Photon and Molecules I (i)	321355	1	Kamikubo・Yamazaki	Autumn semester	15	
	Photon and Molecules II (i)	321356	1	(Koe)	Autumn semester	15	
Specialized Subjects	Quantum Molecular Science (i)	332151	1	Yanagi・Katsuki	Autumn semester	15	
	Surface Science (i)	332152	1	Daimon・Hattori・Takeda・Taguchi	Autumn semester	15	
	Advanced Photonic Devices (i)	332253	1	Ohta・Tokuda	Autumn semester	15	
	Information Device Science (i)	332254	1	Uraoka・Ishikawa	Autumn semester	15	
	Technology for Advanced Measurement(i)	332255	1	Yanagida・Nakamura・Kawaguchi・Okada	Autumn semester	15	
	Electronic and Magnetic Structure (i)	332156	1	Hosoito・Matsui	Autumn semester	15	
	Synthetic Organic Chemistry (i)	332357	1	Morimoto・Tanimoto・(Mizuno)	Autumn semester	15	
	Biomolecular Chemistry (i)	332658	1	Hirota・Matsuo	Autumn semester	15	

Category	Subject	Subject Number	Number of credits	Lecturer	Class period	Total number of classes	Remarks
Specialized Subjects	Advanced Biomaterials (i)	332659	1	Ando・Terada・Kobayashi	Autumn semester	15	
	Photochemical Materials (i)	332360	1	Kawai・Nakashima	Autumn semester	15	
	Organic Functional Materials (i)	332361	1	Yamada・Aratani	Autumn semester	15	
	Advanced Polymers and Molecular Assemblies (i)	332362	1	Fujiki・Kikuchi	Autumn semester	15	
	Materials Science Special I (i)	332063	1	(Yvan・Tiphaine・Bermundo)	Autumn semester	15	
	Materials Science Special II (i)	332064	1	(Rapenne・Miyazawa)	Autumn semester	15	
	Experiments in Materials Science (i)	340051	3	Faculty members of assigned laboratory	Autumn semester	90	
	Seminar (i)	340052	2	Faculty members of assigned laboratory		30	
	Interdisciplinary Seminar (i)	340053	2	Faculty members		30	
	Research Thesis (i)	350051	6	Faculty members of assigned laboratory			

Lecturers in charge (shown in parentheses) are part-time instructors
 Note: The detailed schedule will be released at a later date.

平成29年度物質創成科学研究科授業科目及び担当教員一覧

博士後期課程

区分	授業科目名	授業番号	単位数	担当教員	授業時期	総授業時間数	備考
国際化科目	物質科学英語 II B	362001	1	McDowell	10月	15	博士前期課程で「物質科学英語 II A」を単位修得した者は単位認定しない。
	物質科学英語 III B	363002	1	McDowell	11～12月	15	博士前期課程で「物質科学英語 III A」を単位修得した者は単位認定しない。
	物質科学英語研修	363003	2	教務委員長	1月	30	
	サイエンスリテラシー上級 I	360004	1	配属研究室教員	通年	15	
	サイエンスリテラシー上級 II	360005	1	配属研究室教員	通年	15	
	国際インターンシップ	360006	2	教務委員長	通年	30	
	融合インターンシップ	360007	1	配属研究室教員	通年	15	
	光ナノサイエンス特講	360008	1	教務委員長	通年	15	
融合専門科目	物質科学融合特講	360009	1	大門・浦岡・香月 徳田・中嶋・荒谷 (杉山)	10月 - 12月	15	
提案型演習科目	リサーチマネジメント演習 A	370001	1	教務委員長	通年	15	
	リサーチマネジメント演習 B	370002	1	教務委員長	通年	15	
	リサーチマネジメント演習 C	370003	1	配属研究室教員	通年	15	
	先端物質科学演習	370004	2	配属研究室教員	通年	30	
融合ゼミナール	特別融合科学ゼミナール A	370005	1	教務委員長	秋学期	15	
	特別融合科学ゼミナール B	370006	1	教務委員長	秋学期	15	
	特別融合科学ゼミナール C	370007	1	教務委員長	秋学期	15	
総合探求	特別物質科学講究	370008	6	配属研究室教員	通年		

担当教員の()は、非常勤講師を示す。
(注)：日程の詳細は、後日発表する。

9 各種相談受付体制



授業内容に関する相談

本学では、授業に対する理解をより深めることを目的として、オフィスアワーの時間帯を設定しています。

オフィスアワーでは、学生が授業担当教員の研究室を訪問し、授業についての質問又は相談をすることができます。

各授業担当教員のオフィスアワーの時間帯及び連絡方法については、各授業科目のシラバスの頁を参照してください。

各教員の部屋番号および電話番号については以下のアドレス、もしくは「情報科学研究科ウェブサイトトップページ→学内専用ページ→情報科学研究科事務室HP→情報科学研究科事務室→研究室別電話番号表」を参照してください。

研究室別電話番号表：<http://isw3.naist.jp/IS/Local/IsOffice/announce/tel-list.pdf>

研究指導に関する相談

教育・研究上の悩み等については、指導教員（本学では、複数教員指導制を採用しています）が相談に応じます。

就職に関する相談

専攻長が、就職の相談に応じます。相談に当たっては、各研究室の指導教員とも連携しつつ、柔軟に対応します。（10 学修支援「キャリア支援室」の頁も参照してください。）

健康に関する相談

体のことや心の悩み等については、保健管理センターで相談に応じます。保健管理センターには専門のカウンセラーが月に数回来ていますので、日程調整のうえ相談に応じています。（詳しくは、10 学修支援「保健管理センター」の頁を参照してください。）

障害（身体・精神・発達障害等）に関することは障害学生支援室で相談に応じます（詳しくは、10 学修支援「障害学生支援室」の頁を参照してください。）

学生なんでも相談窓口

みなさんが、大学院生活を送るうえで、さまざまな問題や悩みに直面することがあると思います。

本学では、そういった学生を支援するため、各研究科、保健管理センター、教育支援課に相談員を配置し、「学生なんでも相談」窓口を設けています。

相談員が、問題解決へのアドバイスのほか、相談内容によってはさらに適切な相談窓口を紹介しています。

悩み事が生じた場合は、一人で抱え込まず「学生なんでも相談」窓口を訪ねてください。

相談内容の秘密は厳守します。

なお、相談員等の詳細は、本学ホームページを参照してください。

<https://ad-info.naist.jp/gakusei/member/campus/soudan.html>

ハラスメントに関する相談

ハラスメントとは、相手の意に反する言動や行為により、相手の人格を傷つけ、人権を侵害する行為をいいます。

ハラスメントには、主に以下の形態があります。

◎セクシュアル・ハラスメント

勉学、教育その他の場面において、優位な立場や権限を利用し、逆らえない立場にある者に対して性的な強要や働きかけで、相手や周囲に不快感や屈辱感を抱かせること。

◎アカデミック・ハラスメント

勉学、教育、研究に関連する場面において、教育等の権威的地位を有する者が、優位な立場や権限を利用して、精神的な面を含めて教育を受ける権利の侵害や学業の妨害、教育及び研究の妨害、教育研究に関わる職務の妨害等を生じさせる不適切な言動及び差別的待遇行為。

◎パワー・ハラスメント

上司又はこれに準ずる者が職務権限を利用して、職務とは関係のない事項又は職務上であっても適正な範囲を超えた事項について、有形無形に圧力を加える行為。

本学では、セクシュアル・ハラスメントに関する相談窓口を設けております。

セクシュアル・ハラスメントに関する苦情や相談がある場合は、各研究科・各センター・保健管理センター・事務局に相談員をおいていますので、遠慮なく電話やメール等で連絡してください。なお、相談員等の詳細は、本学ホームページのイントラネット／学生用ホームページの中にあるハラスメント関係を参照してください。

10 学修支援

保健管理センター（キャンパスマップ③）

学生の心身の健康を保持するため、**check** 機能として健康診断を、**cure** 機能としては日常診療を行い、**care** 機能として生活指導・健康教育を充実させ、これらを相乗させ健康増進(health promotion)を目指すよう、大学会館の2階に保健管理センターがあります。

センターには、診察室・健康相談室・学生懇話室・休養室が配置され、内科医師・看護師各1名が常勤しています（他に、2名のカウンセラー、1名の看護師が非常勤）。

1. 利用時間：

診察

診察時間	月	火	水	木	金
10:30～13:30	○(～12:00)	○	×	○	○
14:30～16:30	×	○	○	○	○

(13:30～14:30 休診時間)

2. **診療**：身体的に異常があれば、遠慮なくセンターを受診して下さい。簡単な診断機器での対応や必要時は薬を処方します。当センターで対処出来ない病気や病態については、専門医や病院を紹介します。
3. **からだと心の相談**：心の悩みがあれば、医師と看護師で相談に応じます。週に4回、専門のカウンセラー2名によるカウンセリングも行っています。秘密は厳守しますので、気軽に相談して下さい。
4. **健康診断**：一般定期健康診断（6月）やRI、エックス線、遺伝子組換え、有機溶剤、特定化学物質の特殊定期健康診断を行っています。日程など必要な事項は、電子メール・案内状・掲示板で連絡します。
（なお、当該年度内に人間ドックを受けられる方は、コピーを必ず保健管理センターにご提出ください）
5. **健康診断書の発行**：就職や進学に必要な健康診断書を発行します。一般定期健康診断時の全項目を検査していることが条件となります。発行は、附属図書館玄関ロビーにある証明書自動発行機または保健管理センターで行います。
6. **セルフチェック**：センター受付前に、自動身長体重計・自動血圧計・自動視力計を常置しています。健康チェックに役立てて下さい。
7. **学生懇話室**：リラクゼーション、団欒・交流に活用下さい。
8. **休養室**：からだの不調などで休養をとりたい時は利用して下さい。
9. **無料と守秘義務**：センターの利用は全て無料です。設備・機器類は大切に扱って下さい。ただし、紹介された医療機関を受診される場合の医療費は、健康保険証扱いの自己負担となります。身体的・精神的相談も含め、全ての医療行為には守秘義務があり秘密は厳守します。
10. **HCC NEWS（保健管理センターだより）**：年1回、冊子で配布してきた HCC NEWS（保健管理センターだより）を、今後は web ページを開設して情報発信していく予定です。
11. **連絡先**
 - センター所長室：医 師 寶學英隆（内線5105）
 - 診察室受付：看護師 西山絹代（内線5108）

健康保持・増進のため、保健管理センターを活用下さい。

健康診断及び健康・安全教育

本学構成員に対し、健康の保持増進を図るため学校保健安全法に則り一般健康診断を、安全・衛生を確保するため労働安全衛生法に則り特殊健康診断を実施しています。

1. 健康診断

名称	区分	日程	対象	内容
一般健康診断 (※1)	情報科学研究科	6月21日(水)	学生全員	問診・診察、身体計測、視力・聴力検査、血圧測定、胸部X線検査、尿検査、血液検査
	バイオサイエンス研究科	6月22日(木)		
	物質創成科学研究科	6月23日(金)		
特殊健康診断	RI・X線健康診断 (※2)	(年2回) 第1回は一般定期健康診断時に、第2回は12月に予定	放射線実験従事者として登録の学生	問診、診察、血液検査
	遺伝子組換え健康診断 (※3)	(年1回) 一般定期健康診断時に併せて実施	遺伝子組換え実験従事者として登録の学生	問診、診察、血液検査
	有機溶剤健康診断	(年2回) 第1回は一般定期健康診断時に、第2回は12月に予定	有機溶剤実験従事者で、使用頻度・取扱量から産業医が必要と判断した学生	問診、診察、血液検査、尿検査など
	特定化学物質健康診断	(年2回) 第1回は一般定期健康診断時に、第2回は12月に予定	特定化学物質実験従事者で、使用頻度・取扱量から産業医が必要と判断した学生	各特定化学物質に定められた問診、診察、血液検査、尿検査など

※1：健康診断証明書の交付には、この一般健康診断時の全項目を受検していることが条件となります。

※2：RI・X線健康診断を受検していないと放射線実験はできません。

※3：遺伝子組換え健康診断を受検していないと遺伝子組換え実験はできません。

2. 健康・安全教育

健康の保持増進を図り、安全・衛生を確保し、安全意識の高い学生を世に送り出すため全学的な健康・安全教育を行っています。

名称	区分	日程	対象
健康教育	フィジカルヘルス・メンタルヘルス	5月23日(火) 4時限	新入学生全員
安全教育	安全教育(共通編)	4月6日(木) 4～5時限	
	安全教育(実験編)		

障害学生支援室

本学では、障害のある学生が自立的な学生生活を送る上でのサポートを行うため、障害学生支援室を設置しています。本室には、障害やカウンセリングに関する専門知識を有するスタッフがおり、スタッフが関連部局や教職員等と連携しながら、障害のある学生の修学支援と学生相談(心理・生活相談)を行います。

キャリア支援室

本学では、学生及び博士研究員のキャリア形成をサポートするために、キャリア支援室を設置しています。事務局棟1階（教育支援課隣り）に位置し、室内には求人票、就職関連本（SPI 対策本や会社四季報など）を取り揃え、キャリア支援室担当者が皆さんのキャリア形成に関する様々なサポートを行っています。

1. 開室時間：9:30～17:30（12:00～13:00を除く）

土曜、日曜、祝日、その他大学が定める休日は閉室。

2. キャリア相談

キャリアビジョンや就職活動を進めていく上での悩み・不安などについて相談を受け付けています。相談には、キャリア支援室担当者のほか、就職支援機関のキャリア・アドバイザーが対応します。相談は予約制で、予約方法の詳細はキャリア支援室ホームページに掲載しています。なお、相談内容の秘密は厳守されます。

[予約用 URL] <http://www.supersaas.jp/schedule/naist-career/>

3. 就職ガイダンス

学生の就職活動を支援するために、就職ガイダンスを実施しています。日程等の詳細は、後日、キャリア支援室ホームページやメールによりお知らせします。

●平成29年度実施予定（案）

第1回	平成29年度就職活動の進め方	9月～翌年6月で 第1～8回実施
第2回	自己分析・自己PR対策講座	
第3回	エントリーシート・履歴書講座	
第4回	業界・企業研究のやり方講座	
第5回	個人面接対策・マナー講座	
第6回	グループ面接講座	
第7回	グループディスカッション講座	
第8回	直前対策講座	
模擬エントリーシート添削、模擬試験（SPI対策テスト）、公務員試験対策		

NO.1-NO.6については、
英語でも実施予定

4. 就職関連図書の貸出

就職活動やキャリアビジョン策定に役立つ図書の貸出を行っています。

図書貸出のルール

①貸出期間：原則1週間以内

※ただし、次の貸出を希望する学生がいない場合は1週間の延長が可能です。

その際、返却日までにキャリア支援室まで連絡してください。

※長期間返却しない場合は、次回の貸出を受け付けません。

②貸出可能な冊数：2冊まで

※閲覧用図書、雑誌の貸出は行いません。

※貸出の際には、本人確認のため学生証が必要です。

③貸出および返却場所：キャリア支援室

5. 連絡先

内線番号 5921/5922

E-mail : career@ad.naist.jp

URL : <http://www.naist.jp/career/>

総合情報基盤センター：ITC（キャンパスマップ⑧）

総合情報基盤センター（ITC：Information Initiative Center）は、本学の情報基盤、及び情報ネットワークシステム（曼陀羅システム）の整備・運用・管理、情報セキュリティ管理、情報メディアを活用した教育研究の支援等を行なっています。

曼陀羅システムとは

総合情報基盤センターでは、大学の情報基盤・情報ネットワークシステムのことを、**曼陀羅システム**と呼んでいます。“曼陀羅”とは密教における無限小の求心が逆に無限大の拡散に繋がる心理を意味しています。本学ではこれを基本理念として、利用者のニーズに基づいたシステム展開と、先進的な環境構築のために戦略的なアーキテクチャ構成を行っています。また“曼陀羅”が表す「過不足の無い充実した状態」の達成を目指し、曼陀羅システムの構築を進めています。

曼陀羅システムを利用するには

曼陀羅システムの利用方法や注意については、次のページにある「情報環境利用ガイド」と「セキュリティガイド及び不正利用の禁止について」をお読みください。

また、“情報ネットワーク利用に関する倫理規定”、及び下記 URL にある基本ルールを必ず読み、ルールを守った上で利用してください。

- 情報ネットワーク利用に関する倫理規定

<http://reiki.naist.jp/kiyaku/pdf/12020.pdf>

- 全学情報環境システム運用方針

http://itcw3.naist.jp/ITC-local/policy/mandara_operation_policy_ja.pdf

- PC のセキュリティ対策について

<http://itcw3.naist.jp/ITC-local/policy/security/>

使用する PC においてはセキュリティ対策を必ず実施してください。

- P2P ソフトウェア利用に関して

<http://itcw3.naist.jp/ITC-local/policy/p2p/>

P2P ソフトウェアは学内および学生宿舎での利用を禁止しています。

情報環境利用ガイド（利用サービス）

情報環境の利用について

アカウント・パスワード

総合情報基盤センターから配布されるアカウント（ユーザID）とパスワードは、**曼陀羅システム**と呼ばれる大学の様々な情報環境を利用する際に必要となります。このアカウントはガイダンスやオリエンテーションの受講後に配布しています。なお、初期パスワードはパスワード変更ページから他人に推測されないものに必ず変更し、友達や家族であっても決して教えないようにしてください。

<http://itcw3.naist.jp/about/mandara-system.html>（曼陀羅システムの紹介）
<http://itcw3.naist.jp/ITC-local/password/good-passwd.html>（パスワードについて）

電子メール、Webメール

大学での活動に電子メールの利用は不可欠です。Windows や macOS のメールソフトで利用できるほか、各種ブラウザからWebメールを利用することもできます。各種メールソフトで設定を行うには、以下の表の値を使用してください。

	サーバ名 / URL	プロトコル	認証方式	ポート番号
受信サーバ	mailbox.naist.jp	IMAP over SSL	ブレインパスワード	993
送信サーバ	mailpost.naist.jp	SMTP over TLS	ブレインパスワード	587
Webメール	https://mailbox.naist.jp	HTTPS	ブレインパスワード	

<http://itcw3.naist.jp/ITC-local/Mail/mailenv.html>（NAISTメール環境について）

曼陀羅ネットワーク

曼陀羅システムは「曼陀羅ネットワーク」と呼ばれる本学の基盤ネットワークに接続され、個人常用ワークステーション等を通じて高速専用回線でインターネットを利用できます。

<http://itcw3.naist.jp/about/mandara-system.html#network>（曼陀羅ネットワーク）

曼陀羅無線LAN

キャンパス内のほぼ全域で曼陀羅無線LAN（ESSID：mm2010）を利用できます。曼陀羅無線LANは、WPA2による暗号化通信を採用しています。接続時に曼陀羅システムにおけるアカウント名とパスワードによる認証を行うことにより、いつでも利用することができます。

ESSID	暗号キー(WPA2-PSK AES)
mm2010	B6djfS0uBbsLx8xM01BoAjs2e45CGdw9jr/ScdLB10d8kSA

<http://itcw3.naist.jp/ITC-local/wireless/>（曼陀羅無線LANについて）

情報環境利用ガイド（利用サービス）

個人常用ワークステーション（個人常用WS）

各研究室や情報機器室に学生、教職員が利用できる個人常用WSと呼ばれるデスクトップ環境を用意しています。個人常用WSでは、ブラウザやメールソフト、文書作成、表計算などのアプリケーションを利用することができます。

キャンパスライセンスソフトウェア

本学ではキャンパスライセンスソフトウェアとして Microsoft 社製品やウイルス対策ソフトウェアのほか、開発環境ソフトウェア（Microsoft Imagine Premium, Apple iOS Developer Enterprise Program）を提供しており、教職員や学生が利用することができます。

<http://itcw3.naist.jp/ITC-local/campuslicense/>（キャンパスライセンスウェアについて）

プリンタ（複合機）

学内の各エリアにカラープリンタ（カラー複合機）を設置しています。共同利用の機器ですので利用者がお互いに気持ちよく使えるよう利用してください。また、両面印刷やモノクロ出力の利用など、資源節約のご協力もお願いします。

<http://itcw3.naist.jp/ITC-local/manual/printer/printer.html>（複合機の使い方について）

小規模計算サーバ

小規模計算サーバを利用することで、1台のパーソナルコンピュータ上では演算に時間を要するプログラムを複数のコンピュータ上で実行したりできるほか、MATLAB, R, Java SE, CUDA, Hadoop, Materials Studio などのプログラムを利用することができます。

<http://trac.naist.jp/trac/grid/>（小規模計算サーバについて）

情報環境利用ガイド（連絡先）

困ったときは

曼陀羅システムを利用する際にサービスの利用方法や利用ルールを知りたいときは、総合情報基盤センターのWebページの情報を参照してください。

<http://itcw3.naist.jp/ITC-local/>（曼陀羅システムの利用）

障害報告

総合情報基盤センターではメール、及びWebの報告受付フォームから障害報告を受け付けています。

<http://itcw3.naist.jp/ITC-local/ITC-mail-lists/itc-trouble.html>（ITCへのトラブル報告）

※ バイオサイエンス研究科、物質創成科学研究科では、研究室内に担当の管理者がいますので、まず研究室内の管理者に相談してください。

マルウェア（ウイルス）感染・セキュリティインシデント報告

情報機器において急を要する障害（マルウェア感染、セキュリティに関する問題、情報環境の不審な動作など）を発見した場合には、直ちに総合情報基盤センターや研究室内の担当者に連絡してください。

報告・連絡先

所属	一次連絡先	ITC 連絡窓口
情報科学研究科	Email: itc-trouble@itc.naist.jp http://itcw3.naist.jp/ITC-local/ITC-mail-lists/itc-trouble.html	総合情報基盤センター 情報棟 B207
バイオサイエンス研究科	所属する研究室のコンピュータ係	バイオ技術職員室 バイオ棟 D214
物質創成科学研究科	所属する研究室の情報機器管理者	物質技術職員室 物質棟 E202
事務局の各課	学術情報課 情報企画係	事務局棟2階 学術情報課 情報企画係

奈良先端科学技術大学院大学 総合情報基盤センター
ITC: Information iniTiative Center

NAIST 曼陀羅

🔍 検索

ITC: 総合情報基盤センター

情報環境利用ガイド（セキュリティガイド・不正利用の禁止）

情報環境を正しく利用するために

本学の情報環境（曼陀羅システム）は教育、研究、事務処理に利用するためのものです。情報環境には、学内（学生宿舎を含む）のネットワーク環境に接続したすべての情報機器（パソコン、スマートフォンなど）も含まれます。すべての利用者は、健全な曼陀羅システムが維持できるよう常に注意する義務があります。

また、情報セキュリティを軽視した行動、あるいは法律で禁止されている行為を行うことは、本人が被害者にもなり加害者にもなりえます。さらに、これらの行為は、刑事罰や民事賠償の対象になるだけでなく、家族や友人、研究室や大学に多大な迷惑をかけ、本学の社会的信用の失墜を招くこととなります。

曼陀羅システムの利用にあたっては、利用者一人一人が常に最新の情報に基いてセキュリティ対策を実施し、不正利用の防止を心がけてください。

不正利用の禁止

意図的、偶発的にかかわらず、学内規定や法律で禁止されている行為によって他の者に迷惑をかける行為を曼陀羅システム及び学外の情報ネットワークや機器に対して行ってはいけません。

社会に迷惑をかける行為をしないこと

法律に反する反しないにかかわらず、他の者に迷惑をかける行為あるいは他の者を傷つける行為、およびマナーに反する行為をしてはいけません。

不正アクセスをしないこと

情報機器やサービスに対して、他の者のID・パスワードを入力したり、脆弱性（ぜいじゃくせい）を突いたりなどして、本来は利用権限がないのに、不正に利用できる状態にする行為をしてはいけません。

不正コピーをしないこと

OSやソフトウェアの使用許諾契約で許されていないデータやソフトウェアのコピーは刑事罰および民事賠償の対象となります。このような不正コピーをしてはいけません。

不正なコンテンツを配信しないこと

写真、イラスト、動画、音楽などのほとんどは著作権を有する権利者がいます。権利者の許諾を得ないで複製することや、インターネット上に掲載して誰でもアクセスできる状態にすることなどは、著作権侵害にあたります。権利者の許諾なく、著作権のあるコンテンツを配信してはいけません。

大学の定める利用規定の遵守

不正利用の禁止に加えて大学では「情報ネットワーク利用に関する倫理規程」「全学情報環境システム運用方針」を定めています。また、学内（学生宿舎を含む）においてP2Pソフトウェアをインストール、及び使用しないことについても定めています。これらの大学の利用規定を守って、曼陀羅システムを利用してください。

<http://reiki.naist.jp/kiyaku/pdf/12020.pdf>（情報ネットワーク利用に関する倫理規程）
http://itcw3.naist.jp/ITC-local/policy/mandara_operation_policy_ja.pdf（全学情報環境システム運用方針）
<http://itcw3.naist.jp/ITC-local/policy/p2p/p2p-request.html>（P2Pソフトウェア利用に関して）

情報環境利用ガイド（セキュリティガイド・不正利用の禁止）

「情報ネットワーク利用に関する倫理規定」より抜粋

1. 他者の通信の秘密を侵害しないこと。
2. プライバシー等の他の者の人権を侵害しないこと。
3. 著作権等の知的財産権を侵害しないこと。
4. わいせつな画像の流布に係る通信行為その他法令に違反し、又は公序良俗に反する通信を行わないこと。
5. 有害なプログラムやデータによる情報ネットワークシステムや機器類の損傷その他情報ネットワークシステムの運用を妨害する行為をしないこと。
6. 許可された利用権限以外のアクセスを行わないこと。
7. 宗教的又は政治的な目的のために利用しないこと。
8. 個人的な営利を目的として利用しないこと。
9. 情報ネットワークシステムの円滑な利用を妨害しないこと。
10. その他個人、本学や社会の利益を不当に損なう行為をしないこと。

セキュリティ対策の実施

ネットワークに接続されたすべての情報機器は、コンピュータウイルス（マルウェア）や不正アクセス、情報漏洩などの脅威にさらされています。曼陀羅システムを含む全ての情報環境を利用する際には、ルールやモラルを守り、これらの脅威から自身や機器を守る対策を行う必要があります。

パスワードの管理

様々な情報サービスの利用において使用するユーザアカウント（ユーザID）とパスワードはあなたがあなたであることを証明するものです。他者に推測されないパスワードを設定し、管理者を含め誰にも教えてはいけません。なお、もし自身のパスワードが漏洩した疑いがある場合には、速やかに総合情報基盤センターへ連絡してください。

曼陀羅ネットワークへ接続する際には

曼陀羅ネットワーク（大学宿舍ネットワークを含む）にPC、及び情報機器を接続する際は、OSやアプリケーションのアップデートを行い、ウイルス対策ソフトウェアのインストールやファイアウォールの有効化等のセキュリティ対策を必ず実施してください。また、常にこれらを最新の状態に保ってください。

ウイルス対策

コンピュータウイルスにはウイルス対策ソフトのインストールやアップデートが必須です。また、OSやアプリケーションのアップデートを適切に実施すること重要な対策となりますので必ず実施してください。なお、もしウイルス感染が疑われるPCを発見した場合には、直ちに総合情報基盤センターへ連絡してください。

大学（学生宿舍を含む）で使用するPC、及び情報機器は上記セキュリティ対策を必ず実施することが義務付けられています。

<http://itcw3.naist.jp/ITC-local/policy/security/>（PCのセキュリティ対策について）

国立大学法人奈良先端科学技術大学院大学情報ネットワーク利用に関する倫理 規程

平成16年4月1日
規程第 86 号

(目的)

第1条 この規程は、国立大学法人奈良先端科学技術大学院大学（以下「本学」という。）における情報ネットワークの利用に関して、通信の秘密、人権若しくは知的財産権を侵害する行為、倫理上問題となる行為又は情報ネットワークの適切な運用を妨害する行為を防止し、情報ネットワークシステムの円滑な運用を図り、もって教育研究及び管理運営の活性化に資することを目的とする。

(定義)

第2条 この規程において用いる用語の定義は、次のとおりとする。

- (1)「情報ネットワークシステム」とは、本学が管理・運用する情報ネットワーク設備、それらに接続されたコンピュータ、情報関連機器及びそれらにおいて用いられるソフトウェアをいう。
- (2)「利用者」とは、役員、職員、学生その他本学において教育研究又は事務若しくは技術に従事する者で、本学の情報ネットワークシステムを利用する者をいう。
- (3)「システム管理者」とは、総合情報基盤センター長その他本学の情報ネットワークシステムを管理する者をいう。

(利用目的の限定)

第3条 情報ネットワークシステムの利用は、教育研究及び大学運営に関する目的に限られる。

(遵守事項)

第4条 利用者は、情報ネットワークシステムが社会に対して強くかつ広い影響力を持つものであることを認識し、その適切かつ円滑な運用に努め、次に掲げる事項を遵守しなければならない。この場合において、利用者は、個人情報又は業務上知り得た情報を適切に取り扱わなければならない。

- (1) 他の者の通信の秘密を侵害しないこと。
- (2) プライバシー等の他の者の人権を侵害しないこと。
- (3) 著作権等の知的財産権を侵害しないこと。
- (4) わいせつな図画の流布に係る通信行為その他法令に違反し、又は公序良俗に反する通信を行わないこと。
- (5) 有害なプログラムやデータによる情報ネットワークシステムや機器類の

- 損傷その他情報ネットワークシステムの運用を妨害する行為をしないこと。
- (6) 許可された利用権限以外のアクセスを行わないこと。
 - (7) 宗教的又は政治的な目的のために利用しないこと。
 - (8) 個人的な営利を目的として利用しないこと。
 - (9) 情報ネットワークシステムの円滑な利用を妨害しないこと。
 - (10) その他個人、本学や社会の利益を不当に損なう行為をしないこと。

(システム管理者の責務)

第5条 システム管理者は、この規程の趣旨及び前条に規定する遵守事項を利用者に周知するとともに、情報ネットワークシステムの利用に関する倫理について啓発活動に努めなければならない。

- 2 システム管理者は、この規程に違反する行為又は状態があるときは、違反した者の情報ネットワークシステムの利用を停止するなど必要な措置を講ずることができる。

(実情調査等)

第6条 第4条に規定する遵守事項に違反する行為又は状態がある場合、発見者は、総合情報基盤センター（以下「センター」という。）に通知しなければならない。

- 2 センターは、実情を調査し、第4条に規定する遵守事項に違反した者が判明した場合は、学長及び当該違反者が所属する長に調査結果の報告を行うものとする。
- 3 センターは、当該事案に他の学内委員会の所掌に属する事項が含まれる場合には、前項の報告に併せて、当該委員会に調査結果を通知するものとする。
- 4 センターは、第2項の実情調査を行うに当たって、当事者その他の関係者のプライバシー、名誉その他人権に十分配慮して公正な事情聴取を行わなければならない。

(処分等)

第7条 学長は、前条第2項の報告に基づき、所定の手続を経て、違反の行為の程度に応じて、懲戒処分その他必要な措置を厳正に講ずる。

(雑則)

第8条 この規程に定めるもののほか、情報ネットワークの利用に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

この規程は、平成16年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成17年10月20日から施行する。

附 則

この規程は、平成22年8月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成23年3月1日から施行する。

附属図書館 (キャンパスマップ②)

本学附属図書館は教育・学術研究活動（情報科学、バイオサイエンス、物質創成科学）を支援する電子図書館サービスを提供しています。本学の電子図書館は、図書・雑誌を冊子体だけではなくデジタル技術により曼陀羅ネットワークを介して、いつでもどこでも自由に利用できることをコンセプトにスタートしました。現在では、電子化図書・雑誌だけでなく、授業ビデオ・学位論文などの大学生産物を提供するとともに、世界レベルの情報を統合的にフルテキストまで容易にアクセスできます。

また、図書や雑誌を冊子体で提供する来館型図書館サービスについても、本学の教職員および学生は、閲覧室の利用と貸出サービスが24時間利用できます。折々のテーマに沿った図書を展示する「知の森コーナー」、グループ学習タイプの閲覧室「マルチメディアラウンジ」・「シアターラウンジ」を備え、また、他大学図書館・国立国会図書館・奈良県立図書情報館とも連携し、幅広いサービスの充実に努めています。

1. 電子図書館（図書館ポータル）から利用できる主なサービスおよび資料 所蔵検索（図書、雑誌、DVD など）

NAIST 電子化資料

※NAIST 電子化資料の利用にあたっては、事前に誓約書をご提出ください。

電子化図書・電子化雑誌

学内論文・・・博士論文や修士論文など

授業アーカイブ

講演・講座ビデオ

講義資料

電子ジャーナル、電子ブック、データベース

※学内から利用できます。また、一部は学外からのリモートアクセスが可能です。

naistar（学術リポジトリ）・・・学術論文や報告書など、学内で生産された教育・研究成果を電子的に蓄積・保存し、無償で学内外に発信・提供するインターネット上の保存書庫

2. 貸出と閲覧

- 貸出冊数は10冊以内、貸出期間は2週間です。（参考図書、雑誌類は貸出不可。）
- 貸出および返却は自動貸出返却装置で行ってください。
- 貸出中図書の予約や、現在借りている図書の貸出期間の延長は、図書館ポータルにログインして行うことができます。

※本学の学生は24時間利用することができます。ただし、午後7時から翌日の午前8時の間の入館には「学生証」が必要です。（年末年始および臨時休館を除く。）

その他のサービスについては、図書館ポータル (<http://library.naist.jp/>) または図書館利用案内をご参照ください。



英語Eラーニングシステム(ALC NetAcademy 2)



1. ALC NetAcademy 2 とは

ALC NetAcademy 2はLAN環境で使用するネットワーク型の英語学習システムです。英語力の向上、TOEICテスト対策、理工系の論文読解等、自学自習に役立ててください。

学習者は各自の英語レベル、興味ある教材、リスニング・リーディングなど強化したい分野を選んで学習が可能です。

2. 利用対象者

本学の学生・教職員であれば「在学生の方へ(学内専用)」ホームページから利用することができます。学内はもちろん、自宅などの学外からも24時間利用することができます。利用登録等は必要ありません。

3. アクセス

「在学生の皆様へ(学内専用)」ホームページのその他「ALC NetAcademy」からログインしてください。
(<https://itcw3.naist.jp/NetAcademy/index.ja.html>)

<ログイン方法について>

アカウント：MANDARA-DOMAIN¥曼陀羅アカウント名

パスワード：曼陀羅パスワード

4. コース

スーパースタANDARDコース、STANDARDコース、初中級コース プラス、技術英語<基礎>コース、技術英語パワーアップコースの5つのコースを利用できます。

5. 動作環境

NetAcademy2は以下の環境で動作確認ができています。

OS	Windows Vista SP2 / 7 SP1 / 8 , 8.1 ※
WWW ブラウザ	InternetExplorer 8 / 9 / 10 / 11
その他	FlashPlayer 12.0

※対象OS以外でもFlashPlayerが動作すれば利用できるようです。ただし、表示がおかしい等の不具合が発生する可能性があります。

※MacOS X 10.3/10.4では『[初中級コース]の[TOEIC(R) テスト演習]で学習できない』という症状が確認されています。





11 キャンパスライフ

授業料の額及び納付方法

1. 授業料の額及び口座振替による引落日

区分	授業料の額(※1)	引落日(※2)
博士前期課程	535,800 円	春学期(4月～9月)分:平成29年 5月29日(月)
博士後期課程	(半期267,900 円)	秋学期(10月～3月)分:平成29年 11月27日(月)

※1: 在学中に授業料改訂が行われた場合には、新授業料が適用されます。

(5月及び11月に、電子メールにより授業料金額を通知しますので、ご確認願います。)

※2: 5月及び11月の授業料の引落日は27日ですが、27日が金融機関休業日の場合、翌営業日の引き落としとなります。(引き落とし日の前営業日の15時に残高照会が行われます)

2. 納付方法

本学で定める春学期分及び秋学期分の引落日に、それぞれ半期分を口座振替(代行納付)により引落しします。(春学期分と併せて秋学期分も納入を希望される方は、4月28日(金)までに申し出てください。なお、免除申請者は申請の結果がわかるまで猶予されます。)口座振替の手続き等の詳細については会計課資金係(内線6227)まで問い合せてください。

授業料の納付を2期分怠ると除籍となりますので、ご注意ください。

学生証

本学の学生証はカードになっています。このカードは、学生の身分を証明すると同時に、各建物への時間外の入室(午後7時以降翌朝午前7時30分までの間、土曜、日曜、祝日)や証明書自動発行機の操作、図書館の本を貸し出しするための電子キーとしての働きもしますので、学内では常時着用してください。カードには、各学生の所属研究科、入学年、学生番号が入力されていますので、各建物への入室許可条件を自動判別することになります。

カード所持にあたっての注意事項

- ① 学内では学生証入れ等を使用し、常時着用すること。
- ② 他人に貸与又は譲渡しないこと。
- ③ 紛失した場合あるいは磁気不良等でカードが使用できない場合は、直ちに教育支援課学務係へ届け出ること。
当該建物に入る際、カードリーダーを通して作動しない場合は、インターホンで所属と氏名を告げてロックを解除してもらうこと。(事務局棟1階:防災センターで対応)
- ④ 有効期間が満了したとき及び退学等により学生の身分を失ったときは、直ちに教育支援課学務係へ返却すること。
- ⑤ 学生証の取扱いについては以下の事項に注意すること。
 - ・高磁場・磁気(NMR等)に近づけない
 - ・高温な場所(夏場の車内等)に放置しない
 - ・折り曲げない

学生個人報告書

入学手続き時に提出していただいた「学生個人報告書」の情報は、緊急時における連絡用として使用しますので、以下の記載事項に変更が生じた場合は、速やかに教育支援課学務係へ届け出てください。

●記載事項

- ・入学後の住所、電話番号、携帯電話番号
- ・勤務先の情報（有職者のみ）
- ・緊急時の連絡先欄の連絡先氏名、続柄、住所、電話番号

●届出方法

教育支援課窓口（学務係）で受け付けます。

諸手続・諸証明書

1. 諸手続

手続きには、大学があらかじめ掲示等で通知をし、一定の期間内に行うものと、必要となった都度自発的に行うものがあります。手続きを怠ったり時期を失したりした場合には、本人の不利益となるばかりでなく、多方面に支障をきたすことがあるので、十分注意してください。

提出書類	内容	問合せ・提出窓口
休学願	3ヶ月以上修学できない場合 (個人留学を含む。病気の場合は診断書添付) ※2週間前までに提出	教育支援課学務係 (内線 5085)
復学願	休学期間の途中で復学する場合 (病気の場合は診断書添付)	
復学届	休学期間満了時に復学する場合 (病気を理由に休学し、指導教員の指示があった場合は診断書添付)	
退学願	退学する場合 ※2週間前までに提出	
改姓(名)届	姓名が変更した場合 ※住民票等、姓名の変更を確認できるものを添えて提出すること	
学生証再交付願	学生証を紛失したとき、汚損により使用不能となったとき	
海外渡航届	海外に渡航するとき	教育支援課教育企画係 (内線 6247)
留学願	海外に留学するとき ※2ヶ月前までに提出	国際課国際連携係 (内線 6246)
旅行(一時帰国)届	外国人留学生が一時帰国・出国する時 ※事前に提出すること。所定用紙については留学生交流係まで問い合わせてください。	国際課留学生交流係 (内線 5909, 5087)
進路・就職(内定)届	修了等により本学の学籍がなくなる時	キャリア支援室 (内線 5921)

教育支援課関係の各種の願・届出書等の所定用紙は、教育支援課窓口及び学内専用ホームページ[在学生の皆様へ]-[各種申請・願・届出書等覧]
(<https://ad-info.naist.jp/gakusei/shinsei.html>)から入手できます。

●休学・退学の手続きに関する注意事項

(1) 休学

- 病気その他やむを得ない事由により、引き続き 3ヶ月以上 修学できない場合に申請することができます。
- 休学期間は 1年以内 です。ただし、特別の理由がある場合は 1年 を限度として延長を申請できます。休学期間の延長を申請する場合には、休学期間終了の2週間前までに再度休学(延長)願を提出してください。
- 休学期間が終了すると、自動的に復学となります。復学届を提出してください。
- 休学期間は標準修業年限及び在学年限に算入しません。
- 復学後の修了の見込み等もお知らせください。
- 一部の証明書(修了見込証明書、健康診断証明書、学割証)について発行することはできません。
- 図書館の利用はできません。
- 休学期間中の授業料は徴収しません。

(2) 退学

- 博士後期課程に3年以上在籍し、指導教員から研究指導を認定された上で退学される場合は、学籍(履歴)上は「研究指導認定退学」となります。
- すでに納付した授業料は返還できません。

(3) 共通

- 授業料の納付が許可の条件となります。
- 納付済みの授業料は返還しません。ただし、次に該当する場合は授業料を返還します。
 - ・休学が許可された場合、休学期間中の授業料相当額
 - ・春学期の授業料を徴収するときに当該年度の秋学期の授業料を併せて納付した方が、秋学期開始までに退学が許可された場合、秋学期に係る授業料相当額
- 学籍異動希望日の 2週間前 が締切となります。願出の提出が遅れた場合は許可日が翌月となります。
- 原則学期単位で申請してください。
休学：開始日は原則4月または10月から。終了日は9月末または3月末。
退学：許可希望日は原則9月末または3月末。
- 願出書の理由欄には具体的にご記入ください。「一身上の都合」では申請できません。
 - ・休学：病気療養の場合には診断書を添付、業務多忙の場合には勤務先名称をご記入ください。
- 学生宿舍等の退去、奨学金受給停止手続きなども考慮してください。

2. 諸証明書

●証明書自動発行機で交付する証明書等

在学証明書、修了見込証明書、成績証明書、修了証明書、健康診断証明書及び学生旅客運賃割引証（学割証）については、学生証があれば証明書自動発行機により、即日交付します。なお、交付条件のあるものについては、次表（備考欄）を参照してください。

証明書の名称	交付条件等	証明書自動発行機 取扱時間及び設置場所
在学証明書 英文在学証明書	研究生等の非正規生を除く	取扱時間： 月曜日から金曜日 （祝日及び年末年始は除く） 7:30～19:00 まで ※早朝夜間に機器故障 が発生する可能性が ありますので、証明 書類の発行は余裕を もって行ってくださ い。 設置場所： 附属図書館玄関ロビー
修了見込証明書 英文修了見込証明書	博士前期課程については半年間在学後、 博士後期課程については D2 から交付可能	
（博士前期課程在籍時の） 修了証明書 英文修了証明書 成績証明書 英文成績証明書	本学学内進学者のみ対象	
成績証明書／ 英文成績証明書	研究科長名で交付される証明書で、修得した 科目のみ記載され、不合格科目は記載されま せん。	
成績表／英文成績表	自身の成績を確認するものです。修得した科 目及び不合格科目について記載しています。	
健康診断証明書	一般定期健康診断時の全項目を検査してい る者に限る。なお、秋学期入学者は翌年に実 施される同健康診断を受検後に発行	
学校学生生徒旅客運賃割 引証（学割証）	・年間割当数 1 人当たり 10 枚 ・有効期間 3 か月 （研究生等の非正規生、休学者を除く）	

●窓口で交付する証明書

証明書自動発行機により発行していない証明書については、所定の証明書交付申請書を使用し、教育支援課窓口申し込んでください。交付に日時を要するものがあるので、あらかじめ余裕をもって申し込んでください。

証明書の名称	交付条件	問合せ・申請窓口
国費外国人留学生証明書等 留学生に係る証明書	交付申請受付日の翌日午後交付 （土曜・日曜・祝日を除く）	国際課留学生交流係 （内線 5909, 5087）
学生宿舍入居証明書	交付申請受付日の翌日午後交付 （土曜・日曜・祝日を除く）	教育支援課学生支援係 （内線 5920）
学研災・学研賠償加入証 明書	交付申請受付日の翌日午後交付 （土曜・日曜・祝日を除く）	教育支援課学生支援係 （内線 5920）

通学証明書

（1）通学定期券について

自宅から本学間の通学定期券を購入する場合は、入学（進学）時に配布しています通学定期乗車券発行控に学生番号、氏名及び住所を記入の上、定期券売り場で定期券購入申込書、学生

証及び通学定期乗車券発行控を提示してください。(記入欄がなくなりましたら教育支援課学生支援係窓口に申し出てください。)

なお、本学が指定している近鉄の最寄り駅は、京都線は「高の原」駅、奈良線は「学園前」駅、けいはんな線は「学研北生駒」駅です。

(2) 実習用通学定期券について

外部研究機関等における実習のため、実習用通学定期券を購入する場合は、通学証明書を発行しますので、実習開始の1ヶ月前までに教育支援課学生支援係に申し出てください。(鉄道会社等の承認が必要なため、発行に日数を要します。)

※研究生等の非正規生や休学中の学生は通学定期券を購入することはできません。

日本学生支援機構奨学金制度

学業・人物ともに優秀であり、かつ経済的理由により、修学が困難であると認められる場合には、本人の出願に基づいて選考の上、奨学金が貸与されます。

日本学生支援機構奨学金制度には、無利子の第一種奨学金制度と有利子の第二種奨学金制度があります。第一種奨学金の貸与をうけ、在学中に特に優れた業績をあげた者として支援機構が認定した方には、貸与期間終了時に、奨学金の全部または一部の返還が免除される制度があります。

区 分	貸与月額		貸与期間
	第一種奨学金	第二種奨学金	
博士前期課程	月額50,000円、88,000円の 選択可能	申請者が次の貸与月額から 選択(5・8・10・13・15万円)	当該課程の標準(最 短)修業年限以内
博士後期課程	月額80,000円、122,000円 の選択可能		

申請手続き等詳細については、教育支援課学生支援係へ問い合わせください。

民間育英団体の奨学金

民間の育英奨学団体から奨学生の募集があった場合は、その都度通知します。

授業料免除

経済的理由により授業料の納付が困難であり、かつ、学業優秀と認められる方及び入学前1年以内に、学資負担者が死亡し、又は学生若しくは学資負担者が風水害等の被害を受けたこと等により、授業料の納付が著しく困難であると認められる方に対し、選考の上、授業料の全額又は一部を免除する制度があります。申請手続き等詳細については、教育支援課学生支援係へ問い合わせください。

海外への留学制度

日本学生支援機構では、大学間交流協定などにより海外の大学等に短期間(1年以内)留学をする学生を対象とした海外留学支援制度(協定派遣:月額6~10万円)や修士または博士の学位取得を目指し、海外の大学に1年以上留学する学生等を対象とした海外留学支援制度(大学院学位取得型:月額9~15万円程度)、官民協働海外留学支援制度~トビタテ!留学JAPAN日本代表プログラム~(留学期間28日以上2年以内、月額12~16万円)などがあります。詳細は、日本学生支援機構のHPをご覧ください。<http://www.jasso.go.jp/>

その他、外国政府奨学金や民間団体の奨学金の募集案内は、国際課留学生交流係より電子メールで通知いたします。

学生教育研究災害傷害保険（略称：学研災）

学生教育研究災害傷害保険は、学生が正課中、学校行事中、課外活動中、キャンパス内の休憩中及び通学中や学外実習等の移動中に被った不慮の災害事故に対する救済措置として全国の国・公・私立大学等の学生を対象とした傷害保険です。本学では、入学手続き時に加入手続きを行い、全員加入となっています。

詳細については、「学生教育研究災害傷害保険加入者のしおり」を参照してください。

区分	保険料	保険期間（※）
博士前期課程	1,750 円	2 年間
博士後期課程	2,600 円	3 年間

※4月入学者は所定修了年次3月31日まで、10月入学者は所定修了年次9月30日まで

学研災付帯賠償責任保険（略称：付帯賠償）

学研災付帯賠償責任保険は、学生が正課中、学校行事、課外活動及びその往復中で、他人にけがをさせたり、他人の財物を損壊したことにより被る法律上の損害賠償を補償する保険制度です。本学では、入学手続き時に加入手続きを行い、全員加入となっています。

詳細については、「学研災付帯賠償責任保険加入者のしおり」を参照してください。

区分	保険料	保険期間（※）
博士前期課程	680 円	2 年間
博士後期課程	1,020 円	3 年間
対人賠償・対物賠償／1事故1億円限度		

※4月入学者は所定修了年次3月31日まで、10月入学者は所定修了年次9月30日まで

学研災付帯学生生活総合保険（略称：学研災付帯学総）

学研災付帯学生生活総合保険は、学生生活全般を補償する保険制度です。

本学では、任意加入としていますので、加入を希望する場合は各自で申し込みを行ってください。なお、詳細パンフレットは教育支援課学生支援係に設置しています。

国民年金への加入について

20才以上の学生には、国民年金への加入が義務づけられています。厚生年金、共済組合等の年金制度に加入している方を除いて、全員加入することになっています。学生の場合は、個人加入となりますので、未加入の方は各自手続をしてください。

- ・ 手続の窓口は居住地の市役所、町村役場の国民年金の係または、日本年金機構・年金事務所です。保険料等の詳細は同事務所で確認してください。
- ・ 保険料を納めることが困難な場合は、納付が猶予される制度があります。なお、申請書の関係書類は教育支援課学生支援係に置いています。

学生宿舎 (キャンパスマップ③)

本学キャンパス内には次のとおり学生宿舎が設置されています。

[学生宿舎の概要]

区分	単 身 用	夫 婦 用	家 族 用
建物構造	鉄筋 5 階建	鉄筋 5 階建	鉄筋 5 階建
居室数	559 室	50 室	10 室
居室面積	13 m ²	36.98～41.45 m ²	51.56 m ²
設備等	机, ベッド, ミニキッチン, トイレ等	机, キッチン, トイレ, 浴室, 洗濯機, エアコン等	机, キッチン, トイレ, 浴室, 洗濯機, エアコン等
共用設備	浴室, ランドリー室, ラウンジ等	—————	—————
寄宿料	月額 5,900 円	月額 11,900 円	月額 14,200 円
共益費	月額 4,100 円	月額 600～1,100 円	月額 1,100 円
光熱水料	入居者負担	入居者負担	入居者負担

大学借り上げ住宅

(独)都市再生機構の賃貸住宅(UR住宅)を大学が借り上げ、希望者に提供しています。対象団地は中登美第三団地、富雄団地、平城第一団地の3団地です。

詳細は教育支援課学生支援係へ問い合わせてください。

駐車場及び駐輪場の利用

1. 自動車に通学する場合

大学構内に自動車を駐停車することはできません。大学北側の高山地区公共駐車場に駐車してください。駐車場は有料で、現金(1日300円)を用意し又は予め定期券(駐車券)を購入して駐車してください。

なお、定期券(駐車券)は、初回のみ高山地区公共駐車場北側の大学支援財団(高山サイエンスプラザ内)で購入してください。2回目以降は、大学会館1階コンビニエンスストアで購入することができます。

- ・定期券料金(学生): 1ヶ月1,500円、3ヶ月4,000円、6ヶ月7,500円

2. 自転車及びバイクに通学する場合

大学構内に自転車及びバイクを駐車することはできません。大学北側の高山地区公共駐車場内にある駐輪場に駐輪してください。駐輪料金は無料です。

なお、駐輪場を利用する場合は、教育支援課学生支援係で登録手続きを行ってください。登録のない自転車やバイクは、放置自転車として撤去されます。

国立博物館キャンパスメンバーズ

大学と国立博物館が連携を図ることによって、博物館が所蔵する文化財を核として、文化や歴史を学ぶ場や機会を提供することを目的としています。本学では現在、奈良国立博物館・京都国立博物館とキャンパスメンバーズの提携を結んでいます。

本制度により、本学学生（正規生・非正規生）は、学生証を提示すると各博物館が開催する平常展・特別陳列が無料で何度でも観覧できます。また、各博物館が開催する特別展が特別割引料金等で観覧できます。その他の特典等の詳細については本学ホームページ (http://www.naist.jp/campus-student/e02_06_j.html) をご覧ください。

学生の文化活動行事

文化活動の一環として、日本の文化・歴史を学び、研究者や科学技術者である前に、人間として備えておくべき倫理観等の涵養を図ることを目的に、毎年、奈良県内の歴史的建造物や神社・仏閣、博物館などの見学を行っています。

毎回、外国人留学生の参加も多く、日本人学生との間の国際交流の場の一つになっています。積極的な参加を募ります（メールで開催案内します）。

【過去3年間の開催場所】

- [平成28年度（秋）] 奈良・東大寺・春日大社・奈良国立博物館
- [平成28年度（春）] 奈良・法隆寺・西大寺
- [平成27年度（秋）] 奈良・東大寺・春日大社・興福寺
- [平成27年度（春）] 奈良・飛鳥地域の高松塚古墳・石舞台古墳
- [平成26年度（秋）] 奈良・薬師寺（法話、写経体験、拝観）
- [平成26年度（春）] 奈良・法隆寺・中宮寺・法起寺

福利厚生施設

1. 大学会館（キャンパスマップ③）

学生及び教職員の厚生施設である大学会館に、食堂、喫茶室、コンビニエンスストア、保健管理センターを設けています。

2. 研究者交流施設「ゲストハウスせんたん」（キャンパスマップ⑦）

本学学生・教職員も利用できます。申込み方法等は次のとおりです。詳しくは本学ホームページ (<http://www.naist.jp/campuslife/information/welfare.html>) をご覧ください。

区分	利用時間	申込み方法
宿泊施設	チェックイン：15時から チェックアウト：11時まで	人事課福利厚生係まで利用を申し出てください。（内線 5033） 電子メール：fukuri@ad.naist.jp
集会施設	午前9時から午後9時まで (12月29日～1月3日利用不可)	
フィットネス室	午前9時から午後10時まで	特に必要ありません

3. 各種運動施設

本学学生・教職員が利用できます。申込み方法等は次のとおりです。

区分	利用時間	申込み方法
グラウンド	午前7時から日没まで	毎月20日（土、日、祝日の場合は翌平日）に翌月分を抽選。 ・場所：学際融合領域研究棟2号館 1階ロビー ・時間：午前9時
バレー・バスケットコート	午前7時から午後10時まで	
テニスコート	午前7時から日没まで	
テニスコート（照明付き）	午前7時から午後9時まで	

テニス、ソフトボール等スポーツ用具類、バーベキューセットの貸出しも行っています。利用についての詳細は、教育支援課学生支援係に問い合わせてください。

4. 高山サイエンスプラザ

大学の隣接地に、本学の支援財団が運営する高山サイエンスプラザがあり、その施設内にもレストラン、研修室等が設けられています。

その他

1. 教育支援課窓口業務取扱時間

8:30～17:30（土、日、祝日、創立記念日、夏期一斉休業の期間及び12月29日～1月3日の期間を除く。）

上記時間外でも緊急の場合は、事務室入口から申し出てください。

2. 大学からの通知事項

本学学生への通知事項は、電子メールもしくは掲示により行いますが、個人あての通知事項は、主に電子メールで行います。諸手続の通知の確認を怠ったために、不利益が生じることがないように各自で充分注意してください。

3. 学生向けHPの開設【<https://ad-info.naist.jp/member/>】

本学ホームページ内に「在学生の皆様へ（学内専用）」を開設しています。お知らせ（新着情報）や、学務関係（履修・成績評価終了通知・時間割変更）、オンライン型英語学習システム（ALC NetAcademy）、就職関連情報など様々なコンテンツを用意しています。

4. 公共交通機関の遅延、学会の登壇発表、就職試験、忌引き、感染症など、やむを得ない理由による欠席のため単位修得に支障が出る場合には、担当教員に相談してください。

・キャンパスマップ



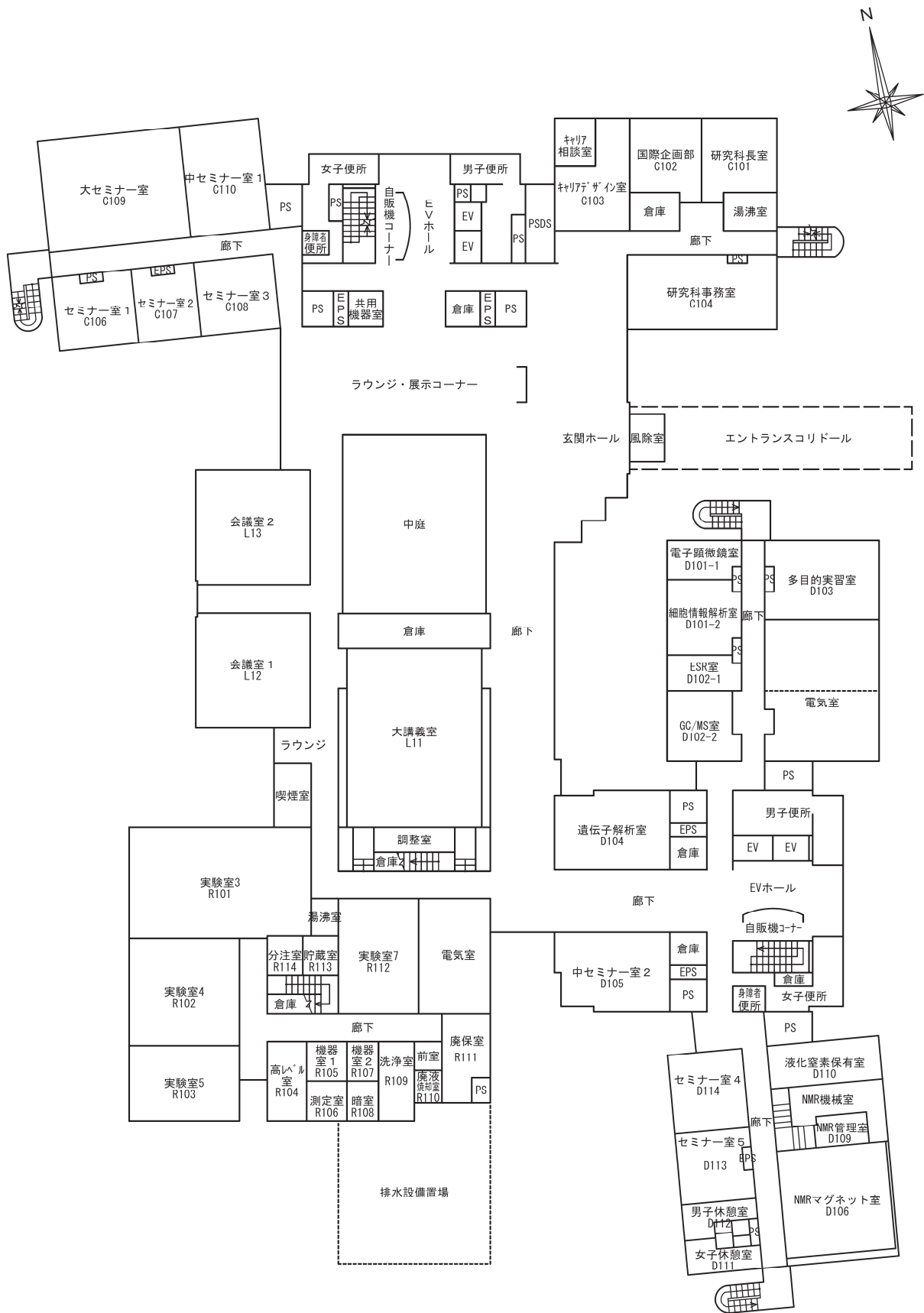
- | | |
|------------------------------|-----------------------------|
| ①事務局 | ⑨動物飼育実験施設 |
| ②附属図書館(電子図書館) | ⑩植物温室 |
| ③大学会館・保健管理センター | ⑪物質創成科学研究科・
物質科学教育研究センター |
| ④学際融合領域研究棟 2号館 | ⑫バイオナノプロセス実験施設 |
| ⑤ミレニアムホール | ⑬学際融合領域研究棟 1号館 |
| ⑥ゲストハウスせんたん | ⑭学生宿舎・職員宿舎 |
| ⑦情報科学研究科・総合情報基盤センター | ⑮グリーンラボ |
| ⑧バイオサイエンス研究科・
遺伝子教育研究センター | ⑯正門 |
| | ⑰事務局別館 |

・情報科学研究科平面図

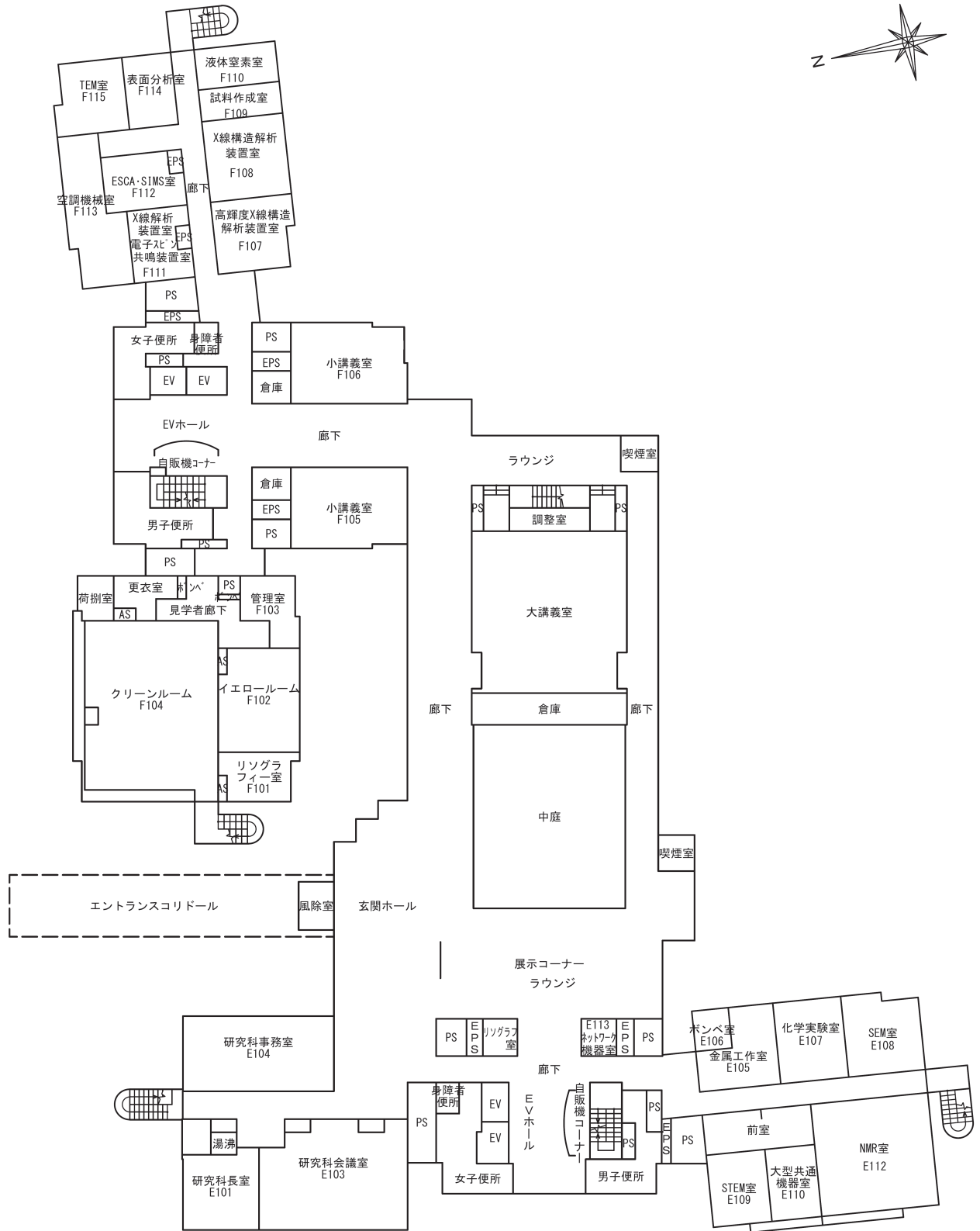


建物平面図

・バイオサイエンス研究科平面図



・物質創成科学研究科平面図



建物平面図

奈良先端科学技術大学院大学学則

平成16年4月1日
学則第 1 号

目次

- 第1章 総則（第1条－第3条）
- 第2章 教育研究組織等（第4条－第11条）
- 第3章 学長、副学長及び研究科長等（第12条－第19条）
- 第4章 教授会（第20条）
- 第5章 入学定員及び収容定員（第21条）
- 第6章 学年、学期及び休業日（第22条－第24条）
- 第7章 入学（第25条－第30条）
- 第8章 標準修業年限及び在学年限（第31条・第32条）
- 第9章 教育方法等（第33条－第40条）
- 第10章 修了の要件及び学位等（第41条－第46条）
- 第11章 休学、留学、再入学、転入学、転学、転研究科、退学及び除籍（第47条－第53条の2）
- 第12章 検定料、入学料及び授業料等（第54条－第65条）
- 第13章 特別聴講学生、特別研究学生、科目等履修生、研究生及び特別学修生（第66条－第69条の2）
- 第14章 賞罰（第70条）
- 第15章 学生宿舎（第71条）
- 第16章 公開講座（第72条）
- 第17章 特別の課程（第73条）
- 附則

第1章 総則

（目的）

第1条 奈良先端科学技術大学院大学（以下「本学」という。）は、最先端の研究を推進するとともに、その成果に基づく高度な教育により人材を養成し、もって科学技術の進歩及び社会の発展に寄与することを目的とする。

（自己評価等）

第2条 本学は、その教育研究水準の向上を図り、前条の目的及び社会的使命を達成するため、本学における教育研究活動等の状況について自ら点検及び評価（以下「自己評価等」という。）を行い、その結果を公表するものとする。

- 2 本学は、自己評価等の結果について、学外者による検証を行う。
- 3 自己評価等の実施に関し必要な事項は、別に定める。

(情報の積極的な提供)

第3条 本学は、教育研究活動等の状況について、刊行物への掲載その他広く周知を図ることができる方法によって、積極的に情報を提供するものとする。

第2章 教育研究組織等

(大学院)

第4条 本学に、大学院を置く。

(研究科、専攻)

第5条 大学院に、次に掲げる研究科及び専攻を置く。

研 究 科	専 攻
情報科学研究科	情報科学専攻
バイオサイエンス研究科	バイオサイエンス専攻
物質創成科学研究科	物質創成科学専攻

(研究科の目的)

第6条 研究科ごとに、次に掲げる教育研究上の目的を定める。

(1) 情報科学研究科

コンピュータ本体及び情報ネットワークに関する技術、コンピュータと人間のインタラクション及びメディアに関する技術、ロボット等コンピュータを駆使する各種システム及び生命現象や生命機能を解き明かすバイオ情報処理に関する技術などの分野で、最先端の研究を推進するとともに、その成果に基づく体系的な教育プログラムの実施により、高度情報化社会を支える研究開発を担う研究者や高度な専門性を持った技術者を養成することを目的とする。

(2) バイオサイエンス研究科

生命現象の基本原則と生物の多様性を分子・細胞・個体レベルで解明し、また、その成果を人類社会の諸問題の解決に活用するための最先端の研究を推進するとともに、バイオサイエンスが関わる広範な領域をカバーした体系的な教育を行い、バイオサイエンスの深化とその活用を担う、創造的かつ先端的な研究者及び高度な専門性を持った技術者を養成することを目的とする。

(3) 物質創成科学研究科

物質の構造と機能を分子・原子・電子レベルまでに立ち返って解明し、物質科学の創造的な研究を推進するとともに、物質科学の広範な領域をカバーした体系的な教育を通じて、人類社会の諸問題や産業界の要請に強い関心を持ち、物質科学や融合領域の創造的かつ先端的研究を担う人材及び技術革新の場や幅広い科学技術分野で活躍する人材を養成することを目的とする。

(教員組織)

第7条 研究科に、教員組織を置く。

2 教員組織に関し必要な事項は、別に定める。

(課程及び課程の目的)

第8条 研究科の課程は、博士課程とする。

2 博士課程は、これを前期の課程（以下「博士前期課程」という。）及び後期の課程（以下「博士後期課程」という。）に区分し、博士前期課程は、これを修士課程として取り扱うものとする。

3 博士前期課程は、広い視野に立って精深な学識を授け、専攻分野における研究能力又は高度の専門性を要する職業等に必要な高度の能力を養うことを目的とする。

4 博士後期課程は、専攻分野について、研究者として自立して研究活動を行い、又はその他の高度に専門的な業務に従事するに必要な高度の研究能力及びその基礎となる豊かな学識を養うことを目的とする。

(総合情報基盤センター)

第9条 本学に、総合情報基盤センターを置く。

2 総合情報基盤センターに、附属図書館を置く。

3 総合情報基盤センターに関し必要な事項は、別に定める。

(学内共同教育研究施設)

第10条 本学に、次に掲げる学内共同教育研究施設を置く。

(1) 遺伝子教育研究センター

(2) 物質科学教育研究センター

2 学内共同教育研究施設に関し必要な事項は、別に定める。

(保健管理センター)

第11条 本学に、保健管理センターを置く。

2 保健管理センターに関し必要な事項は、別に定める。

第3章 学長、副学長及び研究科長等

(構成員)

第12条 本学の構成員は、次のとおりとする。

学長

副学長

研究科長

副研究科長

総合情報基盤センター長

学内共同教育研究施設の長

遺伝子教育研究センター長

物質科学教育研究センター長

保健管理センター所長

教員

一般職員

その他必要な職員

2 教員は、教授、准教授、講師、助教及び助手とする。

3 一般職員は、事務職員、技術職員、看護職員及び教務職員とする。

(学長)

第13条 学長は、本学の校務をつかさどり、所属職員を統督する。

(副学長)

第14条 副学長は、学長を補佐し、又は学長の命を受けて校務をつかさどる。

(研究科長)

第15条 研究科長は、当該研究科及び研究科に関係する学内共同教育研究施設の運営をつかさどる。

(副研究科長)

第16条 副研究科長は、当該研究科長を補佐する。

(総合情報基盤センター長)

第17条 総合情報基盤センター長は、総合情報基盤センターの業務をつかさどる。

(学内共同教育研究施設の長)

第18条 各学内共同教育研究施設の長は、当該学内共同教育研究施設の業務をつかさどる。

(保健管理センター所長)

第19条 保健管理センター所長は、保健管理センターの業務をつかさどる。

第4章 教授会

(教授会)

第20条 各研究科に、教授会を置く。

- 2 教授会は、学長が次に掲げる事項について決定を行うに当たり意見を述べるものとする。
 - (1) 学生の入学及び課程の修了
 - (2) 学位の授与
 - (3) 教育課程の編成
 - (4) 学生の表彰及び懲戒
- 3 教授会は、前項に規定するもののほか、学長及び研究科長（以下この項において「学長等」という。）がつかさどる教育研究に関する次に掲げる事項について審議し、及び学長等の求めに応じ、意見を述べるができる。
 - (1) 学生の他大学等における履修及び既修得単位等に関する事項
 - (2) 特別聴講学生、特別研究学生、科目等履修生、研究生及び特別学修生の受入れ等に関する事項
 - (3) 学外との部局間協定に関する事項
 - (4) 研究室の設置及び改廃に関する事項
 - (5) 法令等に定める評価に係る研究科での自己点検及び評価に関する事項
 - (6) 前各号に掲げるもののほか、教育及び研究に関する事項
- 4 各研究科に置く教授会は、当該研究科の教育又は研究に携わる専任の教授及び准教授で組織する。ただし、研究科長は、必要に応じて、その他教育又は研究に携わる教員を教授会の構成員とすることができる。
- 5 前項にかかわらず、外国出張中の者、休職中の者その他の者を構成員から除くことができる。
- 6 教授会に議長を置き、研究科長をもって充てる。
- 7 議長は、教授会を主宰する。
- 8 議長に事故があるときは、副研究科長が議長の職務を代行する。
- 9 教授会は、構成員の過半数の出席がなければ、議事を開き、議決することができない。
- 10 教授会の議事は、出席構成員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。
- 11 研究科長が必要と認めたときは、構成員以外の者を教授会に出席させることができる。

第5章 入学定員及び収容定員

(入学定員及び収容定員)

第21条 入学定員及び収容定員は、別表のとおりとする。

第6章 学年、学期及び休業日

(学年)

第22条 学年は、4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

2 前項の規定にかかわらず、秋学期に入学した者の学年は、10月1日に始まり、翌年9月30日に終わる。

(学期)

第23条 前条の学年を、次の学期に分ける。

- (1) 春学期 4月1日から9月30日まで
- (2) 秋学期 10月1日から翌年3月31日まで

(休業日)

第24条 休業日は、次のとおりとする。

- (1) 日曜日及び土曜日
 - (2) 国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に定める休日
 - (3) 創立記念日（10月1日）
 - (4) 春季、夏季及び冬季の休業日
- 2 前項第4号の休業日については、別に定める。
- 3 学長は、必要があると認めるときは、臨時の休業日を定めることができる。
- 4 第1項の規定にかかわらず、研究科長が教育上の必要があると認めるときは、休業日に授業を行うことができる。

第7章 入学

(入学資格)

第25条 博士前期課程に入学することのできる者は、次の各号のいずれかに該当する者とする。

- (1) 学校教育法（昭和22年法律第26号）第83条第1項に定める大学を卒業した者
- (2) 学校教育法第104条第4項の規定により学士の学位を授与された者
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとし

- て当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- (6) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- (7) 学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第155条第1項第6号に定める文部科学大臣の指定した者
- (8) 次のいずれかに該当し、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと、本学において認めた者
- ア 大学に3年以上在学した者
- イ 外国において、学校教育における15年の課程を修了した者
- ウ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における15年の課程を修了した者
- エ 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における15年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- (9) 学校教育法第102条第2項の規定により大学院に入学したことがある者であって、本学において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの
- (10) 本学において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、22歳に達したもの
- 2 博士後期課程に入学することのできる者は、次の各号のいずれかに該当する者とする。
- (1) 修士の学位又は専門職学位（学校教育法第104条第1項の規定に基づき学位規則（昭和28年文部省令第9号）第5条の2に規定する専門職学位をいう。以下同じ。）を有する者
- (2) 外国において、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者
- (4) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者
- (5) 国際連合大学本部に関する国際連合と日本国との間の協定の実施に伴う特別措置法（昭和51年法律第72号）第1条第2項に規定する1972年12月11日の国際連合総会決議に基づき設立された国際連合大学（以下「国際連合大学」という。）の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者

- (6) 外国の学校、第4号の指定を受けた教育施設又は国際連合大学の教育課程を履修し、大学院設置基準（昭和49年文部省令第28号）第16条の2に規定する試験及び審査に相当するものに合格し、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者
- (7) 学校教育法施行規則第156条第6号に定める文部科学大臣の指定した者
- (8) 本学において、個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、24歳に達したもの
- 3 第1項第10号及び前項第8号に定める入学資格審査の実施方法等については、各研究科において、別に定める。

(入学の時期)

第26条 入学の時期は、学期の始めとする。

(入学の出願)

第27条 本学に入学を志願する者は、入学願書に所定の書類等を添えて、学長に願い出なければならない。

(入学者の選抜)

第28条 本学に入学を志願する者については、別に定めるところにより選抜を行う。

(入学手続き及び入学許可)

第29条 前条の選抜の結果に基づき合格の通知を受け、入学しようとする者は、所定の書類等を提出しなければならない。

2 学長は、前項の手続きを完了した者に入学を許可する。

(博士後期課程への進学)

第30条 本学の博士前期課程を修了し、引き続き博士後期課程に進学を志願する者については、研究科の教授会において選考の上、学長が進学を許可する。

第8章 標準修業年限及び在学年限

(標準修業年限)

第31条 博士前期課程の標準修業年限は2年、博士後期課程の標準修業年限は3年とする。

(在学年限)

第32条 博士前期課程の学生は4年、博士後期課程の学生は6年を超えて在

学することができない。

第9章 教育方法等

(教育方法)

第33条 研究科における教育は、授業科目の授業及び学位論文の作成等に対する指導（以下「研究指導」という。）によって行う。

(授業科目及びその単位数並びに履修方法等)

第34条 前条の授業科目及びその単位数並びに履修方法等は、各研究科において別に定める。

(単位の計算方法)

第35条 各授業科目の単位数は、1単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、授業の方法に応じ、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して、次の基準により計算するものとする。

- (1) 講義及び演習については、15時間から30時間までの範囲の授業をもって1単位とする。
 - (2) 実験及び実習については、30時間から45時間までの範囲の授業をもって1単位とする。
 - (3) 一の授業科目について、講義、演習、実験又は実習のうち2以上の方法の併用により行う場合については、その組み合わせに応じ、前2号に規定する基準を考慮した時間の授業をもって1単位とする。
- 2 前項の規定にかかわらず、研究論文及び課題研究の授業科目については、これらの学修の成果を評価して単位を授与することが適切と認められる場合には、これらに必要な学修等を考慮して、単位数を定めることができる。

(成績評価基準等の明示等)

第35条の2 各研究科は、学生に対して、授業及び研究指導の方法及び内容並びに1年間の授業及び研究指導の計画をあらかじめ明示するものとする。

- 2 各研究科は、学修の成果及び学位論文に係る評価並びに修了の認定に当たっては、客観性及び厳格性を確保するため、学生に対してその基準をあらかじめ明示するとともに、当該基準にしたがって適切に行うものとする。

(教育内容等の改善のための組織的な研修等)

第35条の3 本学は、授業及び研究指導の内容及び方法の改善を図るための組織的な研修及び研究を実施するものとする。

- 2 教育内容等の改善のための組織的な研修等に関し必要な事項は、別に定める。

(単位の授与)

第36条 授業科目を履修し、その試験又は研究報告に合格した者には、所定の単位を与える。

(他の研究科の授業科目の履修等)

第37条 学生が他の研究科の授業科目を履修することについて、当該研究科長が教育上有益であると認めるときは、他の研究科の授業科目を履修することができる。

- 2 前項の規定により履修した授業科目について修得した単位は、当該研究科において定める範囲内で第41条又は第42条に規定する単位に充当することができる。
- 3 他の研究科の授業科目の履修に関し必要な事項は、別に定める。

(他の大学院における授業科目の履修等)

第38条 学生が他の大学院の授業科目を履修することについて、研究科の教授会の議を経て、当該研究科長が教育上有益であると認めるときは、あらかじめ、当該他の大学院と協議の上、当該他の大学院の授業科目を履修することを認めることがある。

- 2 前項の規定により履修した授業科目について修得した単位は、本学において修得したものとみなす。ただし、本学において修得したものとみなすことができる単位数は、10単位を超えないものとする。
- 3 第1項の規定により授業科目を履修した期間は、在学期間に算入する。
- 4 前3項の規定は、外国の大学院が行う通信教育における授業科目を我が国において履修する場合、外国の大学院の教育課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該教育課程における授業科目を我が国において履修する場合及び国際連合大学の教育課程における授業科目を履修する場合について準用する。
- 5 他の大学院における授業科目の履修等に関し必要な事項は、別に定める。

(休学期間中に外国の大学院において修得した授業科目の単位の認定)

第38条の2 学生が休学期間中に外国の大学院において修得した授業科目の単位について、研究科の教授会の議を経て、当該研究科長が教育上有益であると認めるときは、本学において修得したものとみなすことができる。

- 2 前項の規定により本学において修得したものとみなすことができる単位数は、前条第2項及び第4項により修得したものとみなす単位数と合わせて10単位を超えないものとする。

(入学前の既修得単位の認定)

- 第39条 学生が本学に入学する前に大学院において修得した授業科目の単位（大学院設置基準第15条において準用する大学設置基準（昭和31年文部省令第28号）第31条に定める科目等履修生として修得した単位を含む。）について、研究科の教授会の議を経て、当該研究科長が教育上有益であると認めるときは、本学に入学した後の本学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。
- 2 前項の規定により本学において修得したものとみなすことができる単位数は、本学において修得したものの以外については、10単位を超えないものとする。
 - 3 入学前の既修得単位の認定に関し必要な事項は、別に定める。

（他の大学院等における研究指導等）

- 第40条 学生が他の大学院又は研究所等において研究指導を受けることについて、研究科の教授会の議を経て、当該研究科長が教育上有益であると認めるときは、あらかじめ、当該他の大学院又は研究所等と協議の上、当該他の大学院又は研究所等において必要な研究指導を受けることを認めることがある。ただし、博士前期課程の学生が当該研究指導を受ける期間は、1年を超えないものとする。
- 2 前項の規定により他の大学院又は研究所等において受けた研究指導は、本学の研究科において受けた研究指導とみなすことができる。
 - 3 第1項の規定により研究指導を受けた期間は、在学期間に算入する。
 - 4 他の大学院等における研究指導等に関し必要な事項は、別に定める。

第10章 修了の要件及び学位等

（博士前期課程の修了の要件）

- 第41条 博士前期課程の修了の要件は、博士前期課程に標準修業年限以上在学し、各研究科の定めるところにより、所要の授業科目について30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査及び最終試験に合格することとする。ただし、在学期間に関しては、優れた研究業績を上げた者については、博士前期課程に1年以上在学すれば足りるものとする。
- 2 前項の場合において、当該研究科長が適当と認めるときは、特定の課題についての研究の成果の審査をもって修士論文の審査に代えることができる。

（博士後期課程の修了の要件）

- 第42条 博士後期課程の修了の要件は、博士後期課程に標準修業年限以上在学し、各研究科の定めるところにより、所要の単位以上を修得し、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び最終試験に合格することとする。ただし、在学期間に関しては、優れた研究業績を上げた者については、1年以上在学すれば足りるものとする。

- 2 前条第1項ただし書の規定による在学期間をもって博士前期課程を修了した者及び他の大学院の修士課程又は博士前期課程を1年以上2年未満で修了した者の博士後期課程の修了の要件は、前項ただし書中「1年」とあるのは「3年から博士前期課程又は修士課程における在学期間を減じた期間」と読み替えて、同項の規定を適用する。
- 3 前2項の規定にかかわらず、学校教育法施行規則第156条の規定により、大学院への入学資格に関し修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者が、博士後期課程に入学した場合の博士後期課程の修了の要件は、博士後期課程に3年以上在学し、各研究科の定めるところにより、所要の単位以上を修得し、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び最終試験に合格することとする。ただし、在学期間に関しては、優れた研究業績を上げた者については、博士後期課程に1年以上在学すれば足りるものとする。

(修了の認定)

第43条 修了の認定は、研究科の教授会の議を経て、学長が行う。

(学位)

第44条 研究科の課程を修了した者には、修了した課程に応じて修士又は博士の学位を授与する。

- 2 前項に定めるもののほか、博士の学位は、本学に博士論文を提出して、その審査に合格し、かつ、本学の博士後期課程を修了した者と同等以上の学力を有することを確認された者にも授与することができる。
- 3 学位に関し必要な事項は、別に定める。

(修了の時期)

第45条 修了の時期は、学期の終りとする。

- 2 前項の規定にかかわらず、学長が必要と認めた場合は、学期の途中において修了させることができる。

(教育職員の免許状授与の所要資格の取得)

第46条 教育職員の免許状授与の所要資格（以下「授与資格」という。）を取得しようとする者は、教育職員免許法（昭和24年法律第147号）及び教育職員免許法施行規則（昭和29年文部省令第26号）に定める所要の単位を修得しなければならない。

- 2 本学において、授与資格を取得できる教育職員の免許状の種類及び免許教科等は、次の表に掲げるとおりとする。

研究科	専攻	免許状の種類	免許教科
情報科学研究科	情報科学専攻	高等学校教諭専修 免許状	情報

バイオサイエンス 研究科	バイオサイエンス 専攻	中学校教諭専修免 許状 高等学校教諭専修 免許状	理科 理科
物質創成科学研究 科	物質創成科学専攻	中学校教諭専修免 許状 高等学校教諭専修 免許状	理科 理科

第11章 休学、留学、再入学、転入学、転学、転研究科、退学及び 除籍

(休学)

- 第47条 病気その他のやむを得ない事由又は学長が認める事由により、引き続き3月以上修学できない者は、学長の許可を得て、休学することができる。
- 2 病気のため修学することが適当でないと認められる者については、学長は休学を命ずることができる。
- 3 休学期間中に休学の事由が消滅したときは、学長の許可を得て、復学することができる。
- 4 休学期間は、1年以内とする。ただし、特別の理由がある場合は、1年を限度として休学期間の延長を認めることができる。
- 5 休学期間は、博士前期課程及び博士後期課程ごとに、それぞれ通算して2年を超えることができない。
- 6 前2項の規定にかかわらず、学長が特に認める休学の事由については、休学期間を別に定めることができる。
- 7 休学期間は、第31条に規定する標準修業年限及び第32条に規定する在学年限に算入しない。

(留学)

- 第48条 外国の大学院又は研究所等に留学しようとする者は、学長の許可を受けなければならない。
- 2 留学期間中における授業科目の履修等の取扱いについては、第38条及び第40条の規定を準用する。

(再入学)

- 第49条 本学を退学した者又は除籍された者で、同一研究科に再入学を志願する者がある場合は、当該研究科の教育研究に支障がないときに限り、当該研究科の教授会において選考の上、学長が再入学を許可することができる。
- 2 前項の場合において、既に修得した授業科目の単位及び在学期間の認定は、当該研究科の教授会の議を経て、研究科長が行う。

(転入学)

第50条 他の大学院に在学する者又は外国の大学院に在学する者で、本学に転入学を志願する者がある場合は、本学の教育研究に支障がないときに限り、在籍を希望する研究科の教授会において選考の上、学長が転入学を許可することがある。

- 2 前項の場合において、既に修得した授業科目の単位及び在学期間の認定は、当該研究科の教授会の議を経て、研究科長が行う。
- 3 前2項の規定は、我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程に在学する者（学校教育法第102条第1項に規定する者に限る。）及び国際連合大学の課程に在学する者の場合について準用する。

(転学)

第51条 他の大学院又は外国の大学院に転学を志願する者は、学長の許可を受けなければならない。

- 2 前項の規定は、我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するもの及び国際連合大学の場合について準用する。

(転研究科)

第52条 転研究科を志願する者がある場合は、在籍を希望する研究科の教育研究に支障がないときに限り、当該研究科の教授会において選考の上、当該研究科長が転研究科を許可することがある。

- 2 前項の場合において、既に修得した授業科目の単位及び在学期間の認定は、当該研究科の教授会の議を経て、研究科長が行う。

(退学)

第53条 退学しようとする者は、学長の許可を受けなければならない。

(除籍)

第53条の2 学長は、次の各号のいずれかに該当する者があるときは、これを除籍する。

- (1) 第32条に規定する在学年限を超えた者
- (2) 第47条第5項に規定する休学期間又は同条第6項に基づき別に定める休学期間を超えてなお修学できない者
- (3) 入学料の免除を許可されなかった者及び一部の免除を許可された者並びに徴収を猶予された者又は免除の許可を取り消された者で、その納付すべき入学料を所定の期日までに納付しなかったもの

- (4) 授業料の納付を怠り、督促を受けてなお納付しなかった者
- (5) 行方不明の届出があった者
- (6) 死亡した者

第12章 検定料、入学料及び授業料等

(検定料、入学料及び授業料の額)

第54条 検定料、入学料及び授業料の額は、次の表のとおりとする。

検定料	入学料	授業料（年額）
30,000円	282,000円	535,800円

(検定料の納付)

第55条 入学、再入学及び転入学を志願する者は、入学願書提出と同時に、検定料を納付しなければならない。

- 2 前項の規定にかかわらず、国費外国人留学生制度実施要項（昭和29年3月31日文部大臣裁定。以下「実施要項」という。）第4条の推薦による入学志望者は、検定料の納付を要しない。

(入学料の納付)

第56条 入学、再入学及び転入学しようとする者は、所定の期日までに、入学料を納付しなければならない。

- 2 前項の規定にかかわらず、国費外国人留学生（実施要項第2条に定めるものをいう。以下同じ。）は、入学料の納付を要しない。

(授業料の納付)

第57条 授業料は、春学期（4月から9月まで）及び秋学期（10月から翌年3月まで）の2期に分けて、年額の2分の1ずつ納付しなければならない。

- 2 納付の時期は、第63条の規定により授業料の徴収猶予を許可された場合を除き、5月及び11月とする。
- 3 前2項の規定にかかわらず、学生の申出があったときは、春学期の授業料を徴収する時に、当該年度の秋学期に係る授業料を併せて徴収するものとする。
- 4 入学年度の春学期又は春学期及び秋学期に係る授業料については、第1項及び第2項の規定にかかわらず、入学を許可される者の申出があったときは、入学を許可する時に徴収するものとする。
- 5 第1項の規定にかかわらず、国費外国人留学生は、授業料の納付を要しない。

(復学等における授業料の額及び徴収方法)

第58条 春学期又は秋学期の中途において復学、転入学又は再入学（以下「復

学等」という。)をした者から春学期又は秋学期において徴収する授業料の額は、授業料の年額の12分の1に相当する額(以下「月額」という。)に復学等当月から次の徴収の時期前までの月数を乗じて得た額とし、復学等当月に徴収するものとする。

(学年の途中で修了する場合における授業料の額)

第59条 特別の事情により、学年の途中で修了する者から徴収する授業料の額は、月額に在学する月数を乗じて得た額とする。

(休学する場合における授業料の額)

第60条 休学期間の授業料は、徴収しない。

2 徴収しない授業料の額は、月額に休学当月の翌月(休学開始日が月の初日の場合は、休学当月)から復学当月の前月までの月数を乗じて得た額とする。

(退学等の場合における授業料の額)

第61条 春学期又は秋学期の途中で退学し、転学し、除籍され、又は退学を命ぜられた者の授業料は、当該期分を徴収する。

2 停学を命ぜられた者の停学期間中の授業料は、これを徴収する。

3 第1項の規定にかかわらず、死亡又は行方不明のために除籍された者から徴収すべき授業料の額は、月額に在学した月数を乗じて得た額とする。

(入学料及び授業料の免除等)

第62条 入学料の全額若しくは一部を免除し、又はその徴収を猶予することのできる者は、次の各号のいずれかに該当する者とする。

- (1) 経済的理由によって、入学料の納付が困難であり、かつ、学業優秀と認められる者又はその他やむを得ない事情があると認められる者
- (2) 学業成績が特に優秀であり、かつ、人物が優れていると認められる者
- (3) その他学長が必要と認める者

第63条 授業料の全額若しくは一部を免除し、又はその徴収を猶予することのできる者は、次の各号のいずれかに該当する者とする。

- (1) 経済的理由によって、授業料の納付が困難であり、かつ、学業優秀と認められる者又はその他やむを得ない事情があると認められる者
- (2) 学業成績が特に優秀であり、かつ、人物が優れていると認められる者
- (3) その他学長が必要と認める者

第64条 入学料及び授業料の免除及び徴収猶予に関し必要な事項は、別に定める。

(納付済みの検定料、入学料及び授業料)

第65条 納付済みの検定料、入学料及び授業料は返還しない。

2 前項の規定にかかわらず、次の各号に掲げる場合には、当該各号に定める授業料を返還する。

- (1) 第57条第3項の規定により春学期及び秋学期に係る授業料を併せて納付した者が、当該年度の9月30日までに退学し、転学し、除籍され、又は退学を命ぜられた場合 秋学期に係る授業料相当額
- (2) 第57条第4項の規定により入学を許可する時に授業料を納付した者が、入学する月の前月の末日までに入学を辞退した場合 当該授業料相当額
- (3) 第57条に基づき授業料を納付した者が、特別の事情により、学年の途中で修了する場合 当該者が支払った授業料から、月額に在学する月数を乗じた額を減じて得た授業料相当額
- (4) 授業料を納付している者が休学する場合 第60条第2項に該当する授業料相当額
- (5) 死亡又は行方不明のために除籍された場合 当該者が支払った授業料から、月額に在学した月数を乗じた額を減じて得た授業料相当額

第13章 特別聴講学生、特別研究学生、科目等履修生、研究生及び特別学修生

(特別聴講学生)

第66条 研究科の教授会の議を経て、当該研究科長が教育上有益であると認めるときは、他の大学院又は外国の大学院との協議に基づき、当該他の大学院又は外国の大学院に在学中の者を特別聴講学生として入学を許可し、当該研究科の授業科目を履修させることができる。

2 前項の規定は、我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するもの及び国際連合大学の場合について準用する。

3 特別聴講学生に関し必要な事項は、別に定める。

(特別研究学生)

第67条 研究科の教授会の議を経て、当該研究科長が教育上有益であると認めるときは、他の大学院又は外国の大学院との協議に基づき、当該他の大学院又は外国の大学院に在学中の者を特別研究学生として入学を許可し、当該研究科の研究指導を受けさせることができる。

2 特別研究学生に関し必要な事項は、別に定める。

(科目等履修生)

第68条 本学の学生以外の者で研究科の授業科目中1科目又は複数科目を選択し履修しようとする者がある場合は、研究科の教授会の議を経て、当該研究科長が当該研究科の教育研究に支障がないと認めるときに限り、科目等履修生として入学を許可し、単位を与えることができる。

2 科目等履修生に関し必要な事項は、別に定める。

(研究生)

第69条 研究科において特定事項について研究しようとする者がある場合は、研究科の教授会の議を経て、当該研究科長が当該研究科の教育研究に支障がないと認めるときに限り、研究生として入学を許可することができる。

2 研究生に関し必要な事項は、別に定める。

(特別学修生)

第69条の2 研究科の教授会の議を経て、当該研究科長が教育上有益であると認めるときは、他の大学(外国の大学を含む。)又は高等専門学校との協議に基づき、当該他の大学の学部若しくはこれに相当する組織又は高等専門学校の専攻科に在学中の者を特別学修生として入学を許可し、当該研究科の学修指導を受けさせることができる。

2 特別学修生に関し必要な事項は、別に定める。

第14章 賞罰

(賞罰)

第70条 学長は、表彰に価する行為を行った者があるときは、研究科の教授会の議を経て、表彰することができる。

2 学長は、本学の規約に違反し又は本学の教育研究活動を著しく阻害する行為を行った者があるときは、研究科の教授会の議を経て、懲戒することができる。

3 前項に規定する懲戒は、退学、停学及び訓告とする。

4 停学期間は、第32条に規定する在学年限に算入し、第31条に規定する標準修業年限に算入しない。ただし、停学期間が3月を超えないときは、当該停学期間を標準修業年限に算入する。

第15章 学生宿舎

(学生宿舎)

第71条 本学に、学生宿舎を置く。

2 学生宿舎に関し必要な事項は、別に定める。

第16章 公開講座

(公開講座)

第72条 本学に、社会人の教養を高め、文化の向上に資するため、公開講座を開設することができる。

2 公開講座に関し必要な事項は、別に定める。

第17章 特別の課程

(特別の課程)

- 第73条 本学は、本学の学生以外の者を対象とした特別の課程を編成し、これを修了した者に対し、修了の事実を証する証明書を交付することができる。
- 2 前項の実施に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

(施行期日)

- 1 この学則は、平成16年4月1日から施行する。

(経過措置)

- 2 平成16年3月31日現在において本学に在学している者（以下この項で「在学者」という。）及び平成16年4月1日以後において在学者の属する年次に再入学及び転入学する者については、旧奈良先端科学技術大学院大学学則は、この学則の施行後も、なおその効力を有する。

附 則

この学則は、平成17年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成17年4月21日から施行し、この学則による改正後の奈良先端科学技術大学院大学学則の規定は、平成17年4月1日から適用する。

附 則

この学則は、平成17年11月17日から施行する。

附 則

この学則は、平成19年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成20年1月24日から施行し、この学則による改正後の奈良先端科学技術大学院大学学則の規定は、平成19年12月26日から適用する。

附 則

この学則は、平成21年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成22年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成22年12月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成22年12月1日から施行する。

附 則

(施行期日)

- 1 この学則は、平成23年4月1日から施行する。
- 2 情報科学研究科の情報処理学専攻、情報システム学専攻及び情報生命科学専攻並びにバイオサイエンス研究科の細胞生物学専攻及び分子生物学専攻は、改正後の第5条の規定にかかわらず、平成23年3月31日に当該専攻に在学する者が当該専攻に在学しなくなるまでの間、存続するものとする。
(平成23年度及び平成24年度の収容定員)
- 3 第21条の規定にかかわらず、平成23年度及び平成24年度の収容定員は、次の表に掲げるとおりとする。

年度	研究科	専攻	入学定員		収容定員
			博士前期課程	博士後期課程	
平成23年度	情報科学研究科	情報科学専攻	135人	40人	175人
		情報処理学専攻			96人
		情報システム学専攻			77人
		情報生命科学専攻			59人
		計	135人	40人	407人
	バイオサイエンス研究科	バイオサイエンス専攻	125人	37人	162人
	細胞生物学専攻			81人	
		分子生物学専攻			101人
		計	125人	37人	344人
平成24年度	情報科学研究科	情報科学専攻	135人	40人	350人
		情報処理学専攻			18人
		情報システム学専攻			14人
		情報生命科学専攻			11人
		計	135人	40人	393人

バイオサイ エンス研究 科	バイオサイ エンス専攻 細胞生物学 専攻 分子生物学 専攻	125人	37人	324人
				15人
				19人
	計	125人	37人	358人

(研究科において所要資格を取得できる教育職員の免許状の種類に関する経過措置)

4 附則第2項の専攻において取得できる教育職員の免許状の種類及び免許教科は、改正後の第46条第2項の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則

この学則は、平成23年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成24年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成24年6月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成25年2月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成25年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成26年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成26年12月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成27年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成27年11月26日から施行する。

別表（第21条関係）

研究科	専攻	入学定員		収容定員
		博士前期 課程	博士後期 課程	
情報科学研究科	情報科学専攻	135人	40人	390人
バイオサイエンス 研究科	バイオサイエンス専 攻	125人	37人	361人
物質創成科学研究 科	物質創成科学専攻	90人	30人	270人
合 計		350人	107人	1,021人

奈良先端科学技術大学院大学学生表彰規程

平成16年12月7日
規程第89号

(趣旨)

第1条 この規程は、奈良先端科学技術大学院大学学則第70条の規定に基づき、奈良先端科学技術大学院大学（以下「本学」という。）の学生（学生団体を含む。）の表彰に関し必要な事項を定める。

(表彰の基準)

第2条 表彰は、次の各号のいずれかに該当する者に行うことができる。

- (1) 学業において、研鑽に励み、他の学生の模範となった者
- (2) 学術研究活動において、特に優れた成果を挙げた者
- (3) 社会活動において、特に顕著な業績を挙げた者
- (4) 課外活動その他の活動において、特に顕著な業績を挙げた者
- (5) その他表彰に値する行為等があったと認められる者

2 前項に規定する者には、表彰の時点において、死亡等の者を含むものとする。

(表彰候補者の推薦)

第3条 役員又は研究科長は、前条に該当すると認められる者がある場合は、推薦書（別紙様式第1号）を、学長に提出するものとする。

(表彰者の決定)

第4条 学長は、前条の推薦に基づき、表彰者を決定する。

(表彰の方法)

第5条 学長は、前条の表彰者を決定したときは、表彰状（別紙様式第2号）を授与する。

2 学長は、前項の表彰状に添えて、記念品等を贈呈することができる。

(表彰の時期)

第6条 表彰の時期は、学位記授与式又は当該表彰の内容を勘案し、学長が決定する。

(事務)

第7条 学生の表彰に関する事務は、企画・教育部教育支援課が行う。

(雑則)

第8条 この規程に定めるもののほか、学生の表彰に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

この規程は、平成16年12月7日から施行する。

附 則

この規程は、平成18年11月15日から施行し、平成18年4月1日から適用する。

附 則

この規程は、平成19年7月26日から施行し、平成19年4月1日から適用する。

附 則

この規程は、平成23年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成27年4月1日から施行する。

奈良先端科学技術大学院大学優秀学生奨学制度規程

平成22年9月21日

規程第4号

(目的)

第1条 この規程は、奈良先端科学技術大学院大学（以下「本学」という。）の学生のうち、特に優秀な学生を奨励・支援することにより、優れた人材の養成に資することを目的とする奨学制度に関し、必要な事項を定める。

(名称)

第2条 奨学制度の名称は、奈良先端科学技術大学院大学優秀学生奨学制度とする。

(奨学対象者)

第3条 奨学制度の対象者（以下「奨学対象者」という。）は、奨学対象者を決定する年度（以下「当該年度」という。）に本学の博士後期課程1年次に在籍する学生で、学業成績が特に優秀であり、かつ、人物が優れた者とする。ただし、国費外国人留学生及び奈良先端科学技術大学院大学留学生特別支援制度に採用された者を除くものとする。

(奨学対象枠)

第4条 奨学制度の対象枠は、毎年度15名以内とする。

(奨学の方法)

第5条 奨学支援の方法は、当該年度の授業料の全額免除の方法とする。

(奨学対象者の決定時期)

第6条 奨学対象者を決定する時期は、4月とする。

(奨学対象候補者推薦枠の通知)

第7条 学長は、研究科ごとに奨学対象者の候補者（以下「奨学対象候補者」という。）の推薦枠を決定し、あらかじめ、研究科長に通知する。

(奨学対象候補者の決定)

第8条 研究科長は、奨学対象候補者を選考するための基準（以下「選考基準」という。）を定め、推薦枠とともに学内に公表し、奨学対象候補者を公募する。

2 研究科長は、前項の選考基準に基づき、応募者のうちから奨学対象候補者を決定し、選考基準と推薦順位を添えて、学長に推薦する。

(奨学対象者の選考)

第9条 学長は、研究科長の推薦に基づき奨学対象者の選考を行うため、奈良先端科学技術大学院大学優秀学生選考委員会（以下「委員会」という。）を置く。

2 委員会は、次に掲げる委員をもって組織する。

- (1) 学長
- (2) 学長が指名する理事
- (3) 学長が指名する副学長
- (4) 各研究科長

3 委員会に委員長を置き、学長をもって充てる。

4 委員長は、委員会を主宰する。

5 委員長に事故があるときは、あらかじめ委員長が指名する委員が委員長の職務を代行する。

6 委員長が必要と認めるときは、第2項に規定する委員以外を出席させることができる。

(奨学対象者の決定)

第10条 学長は、委員会の選考に基づき、奨学対象者を決定する。

2 学長は、各研究科長に選考結果を通知するとともに、学内に選考結果を公表する。

(表彰及び報告会)

第11条 学長は、奨学対象者を表彰し、奨学対象者による報告会を開催する。

(事務)

第12条 奨学制度に関する事務は、企画・教育部教育支援課が行う。

(雑則)

第13条 この規程に定めるもののほか、奨学制度に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

(施行期日)

1 この規程は、平成22年10月1日から施行する。

(経過措置)

2 平成22年度に限り、奨学支援の方法は、第5条の規定に関わらず、当該年度の授業料の半額免除の方法とし、奨学対象者を決定する時期は、第6条の規定に関わらず、10月とする。

附 則

この規程は、平成27年4月1日から施行する。

I n d e x

I	Educational policies of the Nara Institute of Science and Technology	
	· Objectives, Educational mission, Objectives for each individual student, Educational policy	1
	· Admission Policy	2
	· Diploma Policy	3
	· Curriculum Policy	4
	· Code of Conduct for Research Activities at NAIST	7
II	Concept of the Graduate School of Information Science	
	· Objectives	11
III	Policies for Education and Research Guidance at the Graduate School of Information Science	
	· Master's course	13
	· Doctoral course	16
IV	Completion requirements, etc. for the Graduate School of Information Science	
	· Completion requirements	19
	· Double-Doctoral Degree Program of the Graduate School of Information Science	22
	· Registering for courses, etc.	24
	· Registration Regulations for the Graduate School of Information Science at the Nara Institute of Science and Technology	28
V	Degree examination criteria, etc.	
	· Degree examination criteria	41
	· Degree Regulations of Nara Institute of Science and Technology	43
	· Schedule from thesis submission to thesis examination	49
VI	List of subjects and faculty members in charge for the Graduate School of Information Science in academic year 2017	51
	· Numbering Information	56
	· Timetable for 2017	58
VII	Syllabus, etc.	
	· How to access the electronic syllabus	63
	· Evaluation of academic performance	64
	· Research Ethics Training Session	64
	· English Language Education	65
	· Toward Cultivating Globally-Aware Human Resources	66
VIII	List of subjects and faculty members in charge for other Graduate Schools of NAIST	69
IX	Our various counseling service systems	79
X	Study Support	
	· Health Care Center	81
	· Medical Checkups and Health & Safety Education	82
	· Office for Students with Disabilities	83
	· Career Services Office	83
	· Information iniTiative Center	84
	· NAIST Library	93
	· English E-Learning System (ALC NetAcademy 2)	94

XI	Campus Life	
	· Tuition and payment	95
	· Student ID Card	95
	· Student Personal Report	96
	· Procedures and issuance of certificates	96
	· Commuter certificate	100
	· Scholarships of private organizations	100
	· Tuition fee exemption	100
	· Personal Accident Insurance for Students Pursuing Education and Research (PAS)	100
	· Liability Insurance coupled with PAS	101
	· General Insurance for Students supplementary to Gakkensai	101
	· Student dormitories (Campus map 13)	101
	· Dwellings rented by NAIST for students	102
	· Parking a car and bicycle	102
	· National museums campus members	102
	· Students' Cultural Activities and Events	102
	· Student welfare facilities	103
	· Other matters	104
	· Campus Map	105
XII	Regulations of Nara Institute of Science and Technology, etc	
	· Regulations of Nara Institute of Science and Technology	107
	· Regulations for Student Commendation	131
	· Regulations for NAIST Excellent Student Scholarship Program	133

I Educational policies of the Nara Institute of Science and Technology

Objectives

As a university composed solely of graduate schools, NAIST promotes cutting edge research and offers a sophisticated outcome-based education for each student so as to promote advances in science and technology and in society as a whole.

Educational mission

NAIST was founded in October 1991 as a graduate university which nurtures individuals who will contribute to the development of advanced science and technology. Research and education at NAIST cover the three core areas: Information Science, Biological Sciences and Materials Science.

In order to promote a suitable standard of living for people throughout the world in the 21st century, and indeed to secure our very survival, the coming generation of leading researchers must possess the highest scientific and technical competence, along with a clear grounding in professional ethics. At NAIST, we aim to cultivate such researchers and educators.

Therefore, in addition to the areas of Information Science, Biological Sciences and Materials Science, we actively encourage interdisciplinary research and provide educational training in the principles of ethics and intellectual property.

Objectives for each individual student

Education and research in NAIST Master's Courses cultivate sophisticated expertise and personal initiative to support society and the economy. The Doctoral Courses are designed to nurture in researchers and engineers a drive to seek new frontiers in science and technology and to take on leading roles internationally.

Educational policy

In addition to a specialized education, a wide-ranging curriculum cultivates ethical thinking, vision, theoretical thinking, comprehensive judgment and sharpened writing skills.

A coordinated educational program is offered by the three Graduate Schools to promote interdisciplinary research and cooperative programs are offered with centers of education and research institutions abroad.

The quality of education is maintained through external evaluations, student-evaluations, improved research environments, and economic assistance for competent students.

Nara Institute of Science and Technology Admission Policy

【Prospective Students】

NAIST welcomes applications from highly motivated individuals seeking a world-class, inter-disciplinary graduate education based on information, biological, or materials sciences. Promising candidates are welcomed regardless of their nationality or their research background during undergraduate studies. The university also welcomes scientists, engineers and others currently engaged in researches who demonstrate a unique enthusiasm for scientific pursuit.

○Graduate School of Information Science

The Graduate School of Information Science seeks people who are able to think logically and articulate their thoughts, and who seek an ability to respond flexibly to change in the science and technology of information and communications.

1. Applicants to the master's courses must demonstrate a strong curiosity and a willingness to take on entirely new challenges.
2. Applicants to the doctoral courses must demonstrate the potential to identify problems in specialized fields and approach them with practical solutions.

○Graduate School of Biological Sciences

The Graduate School of Biological Sciences seeks the following types of students:

1. Those with enthusiasm and drive for discovering the basic principles underlying life phenomena and biotic diversity at the molecular and cellular levels.
2. Those with a keen interest in applying their expertise in biological sciences toward solving society's problems while working in one of the many fields of science and technology.

○Graduate School of Materials Science

The Graduate School of Materials Science seeks the following type of students:

1. Those who are highly motivated to conduct creative research in materials science or interdisciplinary scientific pursuit.
2. Those with a keen interest in technological innovation related to social problems and the needs of industry.

【Admission Policy】

Qualified candidates are evaluated based primarily on their potential through interview. In addition, NAIST utilizes a variety of measures in the admission process, including entrance examinations based on recommendation.

Nara Institute of Science and Technology

Diploma Conferment Policy (Diploma Policy)

Nara Institute of Science and Technology (NAIST), a national graduate university without undergraduate departments, promotes cutting-edge research, offers advanced education based on research accomplishments, trains human resources, and thereby contributes to the progress of science and technology and social development. To this end, NAIST defines its diploma policy as follows.

Master's course

Students who receive a master's degree from NAIST must have attained (i) a broad perspective that is necessary for contributing to society and the economy, (ii) knowledge in specialized fields, (iii) research techniques in their majors, and (iv) capabilities that are required for professional occupations such as researchers and engineers. A master's degree (engineering, physical science, or bioscience) shall be conferred on individuals who have acquired the following knowledge and abilities:

1. Extensive knowledge related to information science (in the Graduate School of Information Science), bioscience (in the Graduate School of Biological Sciences) or materials science (in the Graduate School of Materials Science), and advanced knowledge in specialized fields
2. The ability to undertake research and development processes
3. Presentation and communication skills

Doctoral course

Students who earn a doctoral degree from NAIST must have (i) the ability to conduct research as independent researchers or to engage in other professional activities, (ii) extensive knowledge as the basis of such ability, and (iii) the ability to play leading roles in the international community. A doctoral degree (engineering, physical science, or bioscience) shall be conferred on individuals who have acquired the following knowledge and abilities:

1. Extensive and profound knowledge related to information science (in the Graduate School of Information Science), biosciences (in the Graduate School of Biological Sciences), or materials science (in the Graduate School of Materials Science), and advanced knowledge in specialized fields required of highly creative researchers
2. The ability to identify and solve problems, and to plan and promote research
3. Presentation skills
4. An international mindset (including English proficiency) and communication skills

Nara Institute of Science and Technology
Curriculum Development and Implementation Policy (Curriculum Policy)

Master's course

This systematic curriculum for specialized education is designed to train human resources who will be engaged in the research, utilization, and/or popularization of advanced science and technology at education and research institutions, companies, etc. in Japan and abroad. The curriculum facilitates students develop the required ethical awareness, as well as a broad perspective, logical thinking abilities, and excellent linguistic skills.

Doctoral course

In addition to the policy for the master's course, this curriculum facilitates students developing advanced research abilities and an international mindset, in order to train ambitious human resources who are committed to science and technology and will play leading roles in the international community.

○Graduate School of Information Science

Master's course

The educational policy of the master's course is as follows:

1. To enable students to acquire extensive knowledge about information science and advanced knowledge in specialized fields
2. To accommodate students from various fields with appropriate curriculum
3. To facilitate the development of broad student perspectives, without focusing solely on specialized fields
4. To foster the attainment of English proficiency required of researchers
5. To facilitate student development of presentation and communication skills
6. To cultivate in students the ability to identify and solve problems in specialized fields

Doctoral course

The educational policy of the doctoral course is as follows:

1. To facilitate student acquisition of profound knowledge in specialized fields through discussion and lectures
2. To facilitate the development of student initiative-taking abilities in planning and implementing research projects
3. To facilitate student development in presentation and communication skills required of international scientists

4. To facilitate student development of a broad, far-reaching perspective, without focusing solely on specialized fields
5. To facilitate student development of the ability to tackle unknown problems

○Graduate School of Biological Sciences

Master's course

The educational policy of the master's course is as follows:

Bio-Expert course

1. To develop curricula that facilitate student acquisition of extensive knowledge related to bioscience
2. To facilitate student development of research capabilities as the foundation of bioscience
3. To provide education toward improving English proficiency in science
4. To employ small-group classes to improve presentation and communication skills
5. To facilitate student development of (i) the ability to consider issues and ideal models of science and technology in industry and society and (ii) ethical ideals

Frontier Bio course

1. To develop curricula to foster student acquisition of extensive and profound knowledge related to bioscience
2. To facilitate student acquisition of research capabilities to take full advantage of the latest equipment and technologies
3. To provide education toward improving English proficiency in science
4. To employ small-group classes to help improve presentation and communication skills
5. To facilitate student development of (i) the ability to consider issues and ideal models of science and technology in research activities and (ii) ethical ideals

Doctoral course

The educational policy of the doctoral course is as follows:

1. To facilitate student acquisition of more profound, extensive, and advanced expertise related to bioscience
2. To facilitate student development of investigative abilities to identify problems that should be solved
3. To facilitate student development of thinking and logical abilities so that they can propose solutions to problems
4. To facilitate student acquisition of advanced research abilities so that they can implement measures they propose

5. To facilitate student development of communication skills to exchange useful information and have discussions with other researchers in both Japanese and English
6. To facilitate student improvement of presentation skills so they can promote their accomplishments

○ Graduate School of Materials Science

Master's course

The educational policy of the master's course is as follows:

1. To develop curricula that facilitate student acquisition of extensive knowledge and expertise related to materials science
2. To facilitate student acquisition of research and development abilities as the foundation of materials science
3. To provide small-group education toward improving English proficiency
4. To offer education to facilitate student improvement of presentation and communication skills
5. To offer an extensive range of general subjects to raise student awareness of social developments

Doctoral course

The educational policy of the doctoral course is as follows:

1. To facilitate student development of advanced research abilities and acquire extensive, profound, and advanced knowledge related to materials science through advanced research activities and lectures related to materials science
2. To offer education that enables students to experience discussions from various aspects
3. To offer education that underscores the importance of presenting research accomplishments
4. To offer education that fosters students' international mindset (including English proficiency)
5. To develop student abilities to take initiative in planning and managing research projects

February 21, 2008

Code of Conduct for Research Activities at NAIST

“Research activities” refers to actions that generate new findings and construction of systems of knowledge based on reflections, thinking, and ideas while continually using facts and data obtained by means of surveys, observations, experiments and other activities as raw material, building on the results of studies carried out by previous researchers.

The fruits of such activities form the building blocks for the common intellectual assets of humanity, underpinning human happiness as well as economic and social development.

Such research activities have as their premise the integrity of researchers toward their research activities. Dishonest behavior, including the fabrication or falsification of data or results, plagiarism of the results of others’ work, multiple publication of the same results, and inappropriate authorship whereby the authors of a paper are not attributed correctly, is contrary to the basic character of research activities. Such actions are unacceptable under any circumstances, and will be dealt with severely.

Given this fundamental awareness of research activities, NAIST has set out the following Code of Conduct outlining the behavior expected of all those involved in research activities at the university (hereafter “researchers”) during the performance of research.

1. Responsibilities of Researchers

Researchers shall be responsible for guaranteeing the quality of the specialist knowledge and techniques they themselves generate, and shall also be responsible for using their specialist knowledge, techniques, and experience for social safety and well-being, and for environmental preservation.

2. Actions of Researchers

Researchers shall act with integrity on the basis of correct beliefs, constantly reviewing their attitude toward and approach to research in the awareness that the autonomy of science is built on the trust and mandate of society. They shall both make the utmost efforts to demonstrate the accuracy and appropriateness of the knowledge generated by their research in a scientific and objective manner, and participate actively in the mutual evaluation of researchers within the scientific community, particularly in their own fields of specialization.

3. Self-Improvement

Researchers shall endeavor to maintain and improve their own specialist knowledge, abilities, and skills, and shall also strive unremittingly to understand the relationships of science and technology with society and the natural environment from a broad perspective.

4. Explanation and Disclosure

Researchers shall proactively disclose and explain the significance and role of the research in which they are involved, assessing the potential effect of this research on humanity, society, and the environment as well as any changes it may cause, and shall publish the results in a neutral and objective manner, while striving to build up a constructive dialogue with society.

5. Research Activities

Researchers shall act with integrity and in accordance with the spirit of this Code of Conduct during the process of making proposals, planning, submitting applications, carrying out research, reporting, and conducting other activities connected with their own research. They shall be scrupulous with respect to the recording and storage of research and survey data and strictly impartial treatment, without engaging in dishonest behavior such as fabrication, falsification, or plagiarism, nor shall they be complicit in such behavior.

6. Improvement of Research Environment

Researchers shall be aware that the establishment and maintenance of a fair research environment that enables the implementation of responsible research and the prevention of dishonest behavior is also an important obligation, and shall be actively engaged in improving the quality of the research environment of both the scientific community and the organization to which they belong. They shall also strive to obtain the understanding and cooperation of society in order to achieve this.

7. Appropriate Use of Research Funds

When using research funds, researchers shall comply with all applicable legislation, university regulations and other rules, and conditions, rules for use, and other stipulations set out for all types of externally funded research.

8. Concern for Research Subjects, the Environment, Safety, and Related Issues, and Respect for Bioethics

Researchers shall respect the persons and human rights of those who cooperate in their research, and shall take their well-being into account. When dealing with materials that could have an adverse effect on the environment or safety during the implementation of research (radiation, radioactive isotopes, genetically modified organisms, nuclear fuel material, non-native species, poisonous materials, environmental pollutants, etc.), they shall comply with all applicable legislation, university regulations, guidelines and other stipulations issued by academic societies and other bodies concerned, and shall have the greatest possible respect for bioethics in research on human or animal subjects.

9. Interpersonal Relationships

Researchers shall both evaluate others' results appropriately and listen humbly to criticism of their own research, exchanging opinions with an attitude of sincerity. They shall comply with the obligation of confidentiality concerning the intellectual property rights of others. In particular, they must pay strict attention to compliance with the obligation of confidentiality concerning information obtained during the review process for papers or research funds. They shall also endeavor to protect the personal information of others obtained during the process of research, and take appropriate measures for its handling.

10. Elimination of Discrimination and Harassment

Researchers shall not discriminate against any individual on the basis of his or her race, gender, rank, ideology, religion, or for any other reason, but shall treat each person fairly while respecting the freedom and person of the individual. They shall not use their status or authority to disadvantage any person under their instruction, guidance, or similar circumstances in either word or deed.

11. Conflicts of Interest

Researchers shall pay careful attention to any conflict of interest that may arise between an individual and his or her own institution or another organization in the course of their research, review, evaluation, judgment, or other undertaking, and shall deal with it appropriately while giving due consideration to its public nature. Researchers shall also comply with the NAIST Conflict of Interest Policy and related policies.

2 Concept of the Graduate School of Information Science

Objectives

The Graduate School of Information Science aims to produce researchers who will lead research and development to further support today's information society and engineers with advanced expertise through the promotion of advanced research on information science and the implementation of systematic education programs based upon this diverse research in fields including computers and information network technology, computer and human interaction and media technology, various system technology to freely command computers, robots, etc. and bioinformatics technology for unlocking the phenomena of life and biological functions.

3. Policies for Education and Research Guidance at the Graduate School of Information Science

The creation of useful information and its safe handling are becoming more important in today's society. In response to this societal trend, the Graduate School of Information Science promotes high-level foundational research in information science while carrying out systematic training in a wide range of areas of information science from information processing technologies for supporting sense and judgment to technologies for building massive information systems, technologies for building and managing secure information networks, and broad integrated research on information science and bioscience. Through this research, the Graduate School of Information Science cultivates students' potential to become leaders of future research and development as well as expert engineers. The School is also prepared to design and implement practical training programs to provide opportunities for students to develop skills that are useful for innovation and problem solving in actual situations.

Master's Program

Educational Goals

Information science affects social activities based on people's thinking and learning. The Graduate School of Information Science is composed not only of graduates of information science departments but of people from diverse backgrounds. Students in the master's program (engineering or science) develop broad perspectives and robust techniques based on well-prepared curriculums and through research work with people from diverse backgrounds.

Students will be able to seek different career paths including pursuing further research as doctoral students, engaging in industrial or social activities at a company, or starting a business which applies innovative ideas to society. Regardless of the path, it is essential for students to master extensive knowledge about information science and advanced specialized knowledge, improve presentation and communication skills, improve English ability to succeed internationally, and cultivate proper ethical values. The Graduate School of Information Science prepares students to respond to societal changes in a flexible manner and to succeed based on these skills and capabilities.

Instruction Plans and Policies

1. A Flexible Curriculum for Course Selection according to Diverse Backgrounds and Academic Desires

Information science is the foundation of various fields and information science technologies are used in different scenarios. Competition is fierce in the field of advanced technologies and its impact on

society is significant.

Our curriculum covers a broad range of subjects in a systematic way from subjects that serve as a lasting foundation to specialized subjects and advanced or interdisciplinary subjects. Students can select subjects based on the fields that they are categorized in, including “Computer Science,” “Media Informatics,” and “Applied Informatics.” Some of the human resource development programs introduced in the beginning of this chapter are open to general students. Details will be provided separately.

Students who have not studied information science can take basic computer science and mathematics courses to improve logical thinking so that they can be smoothly integrated into the study and research. Basic subjects in mathematics and computer science related subjects have expanded greatly since 2013 so that all students, including those with an information science background, can attain the basic knowledge required for specialized courses and research projects efficiently.

Advanced field subjects are taught by affiliated lab teachers or corporate development professionals. Interdisciplinary field subjects are taught by instructors from other universities or by law firm professionals. Our aim is to deepen knowledge about actual societal problems and technological challenges.

2. Lab Placement

Many students join the Graduate School with great aspirations and awareness of the challenges in their research fields. Students are placed in labs two weeks after enrollment, based on their preference, following a period of introduction to and observation of affiliated labs and other labs. Capacity at each lab is not decided based on a quota, but on students' wishes. Thus, most of the students are placed in the lab they wish to join.

If individual placement turns out to be unsuitable due to a change of a student's preference or reorganization of the lab content, a change of labs can be approved as long as the situation permits. It is important to create an environment where students take initiative and have a great interest in their research work.

3. Discussion and Presentation at a Seminar

Students enhance communication and presentation skills while gaining broader knowledge about information science and exploring issues during Seminars I and II. In Seminar I, students hear an introduction and learn about technological trends in advanced research from leading researchers and engineers from Japan or abroad and learn to take initiative in asking questions and stating opinions. In Seminar II, students report on their research plan and the progress of their master's thesis and receive feedback from a supervisor and peers. This is an opportunity for peers to share questions and opinions

and encourages friendly competition among them, which gives the students suggestions to polish their master's thesis and prepare for the final thesis defense. It also gives students confidence in their presentation skills at conferences.

4. Project Practice

In the Project Practice course, students engage in practical work or experiments on problems and issues that cannot be addressed in a classroom environment. Students are encouraged to reinforce their ability to examine problems identified in actual development and design models for practical application. They will also engage in problem-solving on site as an intern at other research institutions or companies through research and development on a given theme. Through these experiments and practical training, students learn to apply knowledge gained in the classroom environment to actual scenarios and identify what they still need to learn. Summarizing the results of their practical training in a report helps students recognize the importance of identifying outcomes and challenges.

5. Research Work for a Master's Thesis

Graduate school education has two pillars, solid classroom learning and proactive engagement in research. The latter can be described as research work for a master's thesis. Students choose either a "Research Thesis" or "Theme Research" for their research work for a master's thesis. For the Research Thesis, students are expected to engage in research on new issues and come up with creative solutions. The results will be summarized in a thesis format. The creativity, usefulness, and applicability of the solution are the keys for evaluation. For the Theme Research, students research a specific issue or research field, study technological trends, or engage in product development and write a report on it. The points evaluated will be whether there is a systematic approach to an agenda and a solution, as well as a future vision.

Students are supervised by multiple instructors including their primary and secondary supervisors and other teachers. Students can seek advice as necessary and receive specific opinions and advice from these instructors on their research process and issues in the preliminary presentation during Seminar II.

6. Reinforcing English Language Education

Whether students desire to be researchers or engineers at a company, English ability is essential for them to succeed internationally in the information science domain. The Graduate School of Information Science offers "Skills for English Presentation I and II," "Methods of English Communication I and II," and "Advanced Scientific Writing" to help students build communication and expression capabilities in English. Further advanced subjects include "Project Management for

Research,” “Literature Search,” and “Digital Media.” In addition, TOEIC tests are given on campus twice a year. While the TOEIC is not required, students are encouraged to take these English courses or TOEIC tests as English ability is important. It is important for students to take English courses appropriate to their fluency level to improve their ability. ALC Net Academy 2, which is a network-based system for learning English, helps improve practical English skills.

Seminar I will be taught by as many foreign researchers as possible so that students have more opportunities to hear English in action.

In 2011, the International Course was established and 24 specialized courses have been offered in English since then. Now, the number of credits required for completing a master’s program can be obtained by just taking courses in English.

Doctoral Program

Educational Goals

Students cultivate a broad and long-term perspective and deeper knowledge in their fields by pursuing independent research work during the doctoral program. This requires the ability to identify issues that need to be addressed or improved in the academic or social arenas, to design research plans to address them, and to come up with solutions or ideas for improvements. The ability to provide answers through such solutions and ideas and evaluate them is also part of the desired ability. After completing the program, students are expected to engage in research on unknown issues or advanced engineering at a university or corporate research institution, or in education to provide instruction to their successors.

The information science fields are going through rapid progress and constant change. Now, students are required to develop universal approaches that are not affected by these changes (universality) or flexible approaches that can be adapted to the changes (flexibility), reliable solutions (reliability), and criteria that guarantee these values. The doctoral program aims to equip students with this capability to help them succeed internationally.

Instruction Plans and Policies

1. Research Work for the Doctoral Dissertation

The primary objective of the doctoral program is to conduct research work for the doctoral dissertation. Students identify issues, design research plans, propose solutions based on creative research work, and develop or apply solutions. It is also essential to examine related research work, evaluate their proposal objectively, and elucidate remaining issues. In this process, students receive relevant instructions and advice from their supervisors. Research results will be published in an academic journal or at an international conference.

2. Interim Presentation

Students give a presentation on their research progress and results, as well as their future research plan, for their doctoral dissertation. Multiple instructors support the effective development of their research by asking questions and providing opinions and advice. Students will be able to reflect on their research by answering these questions properly.

3. Working as TAs and RAs

Teaching assistants (TAs) assist with classes and provide research guidance for the master's program. By working as a TA, a Doctoral student will be able to identify new issues during classes or research work and develop capabilities as a future educator. Research assistants (RAs) assist in the research work of their supervisors. By working as an RA on a related subject in parallel with their research, they are able to expand their perspective and thinking. Either as a TA or an RA, doctoral students will have invaluable opportunities to become independent researchers.

4. English Language Education

Among the English courses offered for the master's program, "Advanced Scientific Writing" and "Skills for English Presentation" are recommended for doctoral students. Students will improve the skills that are required for playing a key role internationally. In addition, the doctoral program helps students improve their English ability by offering an online network-based English Learning System (ALC Net Academy 2) and offline English study materials (CD-ROM). Students are also able to take TOEIC tests twice a year on campus to see their English levels. In Seminar I, students are encouraged to attend lectures by foreign researchers and debate opportunities with foreign researchers who are visiting the graduate school.

5. Course Selection

Doctoral students can take master's program courses freely if they need it for their research work. Relearning the background of their research may help highlight issues in relation to their research topic. Some of the courses are required for doctoral students so that students can improve their academic capacity and knowledge. This depends on the conditions of their doctoral admission. Students will take turns leading lectures and making the discussions more meaningful.

6. Accreditation

Since 2010, students have been able to earn credits for receiving research guidance in the doctoral program and presentations at seminars. This envisions accreditation (double degree, etc.) overseas.

4. Completion requirements for the Graduate School of Information Science

Completion requirements

Master's Course

Completion requirements (for students admitted in academic year 2017)

Subject category	Number of credits to be earned	Number of credits to be earned in the Graduate School of Information Science	
		In the case of research thesis	In the case of thematic research
Basic Subjects	17	6	6
General Subjects	30		
Specialized Subjects in Information Science	83	14* ¹	14* ¹
Seminar I	1	1	1
Seminar II	1	1	1
Advanced Topics in Information Science I * ²	21	1	1
Advanced Topics in Information Science II * ²	21	1	1
Advanced Topics in Information Science III * ²	21	1	1
Advanced Topics in Information Science IV * ²	21	1	1
Research Work	4	4	0
Theme Research	4	0	4
Total		30	

* 1 Students should take 8 credits or more from lectures and 2 credits or more from practices out of 14 credits.

* 2 Students should take Advanced Topics in Information Science provided by the laboratories that they belong to.

Doctoral Course

In connection with Article 42 of the Regulations of the Nara Institute of Science and Technology and the Rules on Academic Degrees

1. Completion requirements for the Doctoral Course

Individuals who wish to complete the Doctoral Course and obtain a doctoral degree are required to earn necessary credits in specified courses, receive necessary Research Guidance, submit a doctoral thesis, deliver a presentation at a hearing, and pass the doctoral thesis examination and final examination. If deemed necessary, individuals may be required to earn credits in specified courses in addition to the above courses. Individuals are also required to give an interim report concerning research in the presence of their sub-research advisors 18 months after being admitted to the Doctoral Course.

2. A doctoral thesis should fulfill the requirements below.

- (a) The content of research should be characterized by originality, novelty, or availability.
- (b) The content that corresponds to the theme of the doctoral thesis has been published or will be published in the near future in the form of a paper subject to screening (a full paper) or a paper presented at an international conference and subject to screening (a paper equivalent to a full paper).

3. Conditions to award a doctoral degree

A doctoral degree is awarded to individuals who are recognized to be fully capable of continuing research and development activities as independent researchers or engineers based on the doctoral thesis submitted to the thesis examination.

Completion requirements (for individuals admitted in academic year 2017)

Course	Number of credits earned	Number of credits required to be earned in the Departments of Information Processing, Information Systems, and Bioinformatics and Genomics
International Communications I (A, B)	2	2
International Practice II (A, B, C)	6	
Advanced Interdisciplinary Domain I, II	2	
Advanced Cutting-edge Research Seminar (I–IV)	4	
Advanced Project Management	2	
Research Status Hearing	2	2
Doctoral Research (I–VI)	18	6
Total		10

Note: Individuals who are admitted to the Doctoral Course of the Graduate School of Information Science after having been recognized as having academic ability equivalent to or greater than that of a Master's Degree holder, through the qualification screening in the application process, may be required to fulfill additional completion requirements (refer to the next page).

Completion requirements for students who are admitted to the Doctoral Course of the Graduate School of Information Science after having been recognized as having academic ability equivalent to or greater than that of a Master's Degree holder

In connection with Article 42-3 of the Regulations of the Nara Institute of Science and Technology and Article 4-2 of the Completion Rules for the Graduate School of Information Science, the completion requirements applicable to students admitted to the Doctoral Course after having been recognized as having academic ability equivalent to or greater than that of a Master's Degree holder (courses, credits, and registration procedures) shall be as stated below, in addition to the completion requirements in the Doctoral Course (refer to the previous page).

Category		Completion requirements
Individuals who have graduated from universities (including foreign universities)	Individuals who have graduated from information-related departments	Individuals are not required to earn credits other than the completion requirements on the previous page.
	Individuals who have graduated from departments other than information-related departments	In principle, individuals are required to earn six credits or more in courses set forth on the curriculum table of the Graduate School of Information Science (the Master's Course), except for general subjects, in addition to completion requirements on the previous page. However, this excludes Seminars I and II, thesis writing, thematic research, and subjects covered by completion requirements of the Doctoral Course (such as Advanced Cutting-edge Research Seminar, etc.).
Individuals who have not graduated from universities (including foreign universities)		In principle, individuals are required to earn 10 credits or more in courses set forth on the curriculum table of the Graduate School of Information Science (the Master's Course), except for general subjects, in addition to completion requirements on the previous page. However, this excludes Seminars I and II, thesis writing, thematic research, and subjects covered by completion requirements of the Doctoral Course (such as Advanced Cutting-edge Research Seminar, etc.).

Note: The Faculty Council of the Graduate School of Information Science is responsible for identifying individuals who are required to earn credits to fulfill completion requirements in the table above, in addition to those on the previous page.

Double Degree Doctoral Program Graduate School of Information Science

The double degree (DD) program of Graduate School of Information Science (NAIST-GSIS) gives a doctoral course student to register for the partner university at the same time to obtain PhD degrees from both of NAIST-GSIS and the partner university through guidance of the professors of the two universities. DD Program has been established with the following two partner universities.

The students participating in the program must conduct their studies at each university for at least one academic year. The students are entitled to a waived screening fee, admission fee and tuition fees at their partner university. Please refer to the following web site for details.

http://www.naist.jp/en/international_students/prospective_students/admission_information/double_degree/index.html

1. The University of Oulu Department of Information Processing Science (Finland)

Nara Institute of Science and Technology Graduate School of Information Science (hereinafter referred to as “our graduate school”) and University of Oulu Department of Information Processing Science (hereinafter referred to as “Oulu University”) have established the Double Degree Program for the purpose of cultivating doctoral students into researchers that will contribute to future research and development and highly specialized technicians. Students will be trained to become valuable human resources with an international perspective in order to contribute to international academic exchange.

- **Number of Students for Acceptance and Dispatchment**

Acceptance : Limited

Dispatchment : Limited

- **Qualifications for Application and Entrance Examination**

(1) Acceptance of Students to our Graduate School

- ① Qualifications for Applying

Applicants must fulfill one of the Following Conditions:

- (1) a Master’s student of Oulu University who are accepted into the doctoral program and will have received this degree before entering the doctoral program
- (2) an Oulu University doctoral student

- ② Additional Information

- (1) The selection of applicants is, as a rule, based on the examination of written materials. However, an oral examination may be held if deemed necessary.
- (2) Entrance to the program is the fall semester of 2017 and the spring semester of 2018

(2) Dispatchment from our Graduate School

- ① Qualifications for Applying

Applicant must fulfill the Following Conditions:

- (1) Applicants must be one of the Following:

(a) a master's student of our graduate school who is accepted into the doctoral program and will have received this degree before entering Oulu University

(b) a doctoral student of our graduate school.

(2) Have the necessary language ability to participate in class and carry out research

② Additional Information

(1) Student selection for the program will be based on the reviewing of application materials and interview results at each school

(2) Entrance to the program is the fall semester of 2017 and the spring semester of 2018

2. Unitec Institute of Technology, Department of Computing (New Zealand)

Nara Institute of Science and Technology Graduate School of Information Science (NAIST) and Unitec Institute of Technology Department of Computing (Unitec) have established the Double Degree Program for the purpose of cultivating doctoral students into researchers that will contribute to future research and development and highly specialized technicians. Students will be trained to become valuable human resources with an international perspective in order to contribute to international academic exchange.

- **Number of Students for Acceptance and Dispatchment**

Acceptance (Unitec students to join NAIST doctoral program): Limited

Dispatchment (NAIST students to join Unitec doctoral program): Limited

- **Qualifications for Application and Entrance Examination**

(1) Acceptance

(i) Qualifications for application

Applicants must fulfill all of the following conditions:

- (1) Those who have a master's degree or will have a master's degree before enrollment date
- (2) Those who are admitted to Unitec doctoral program

(ii) Additional information

- (1) The selection of applicants is based on the examination of written materials. However, an oral examination may be held if deemed necessary.
- (2) Entrance to the program is the fall semester of 2017 and the spring semester of 2018

(2) Dispatchment

(i) Qualifications for application

Applicants must fulfill all of the following conditions:

- (1) Those who have a master's degree or will have a master's degree before the enrollment date
- (2) Those who are admitted to NAIST doctoral program or those who are applying for entrance examination for NAIST doctoral course.

(ii) Additional Information

- (1) The selection of applicants is based on the examination of written materials and oral examination.
- (2) Entrance to the program is the fall semester of 2017 and the spring semester of 2018

Registering for courses

• Registration

1. Procedures

Students are required to develop plans to register for subjects for each semester, based on full consultation with their research instructors. Please note the following when choosing subjects.

- (1) For subjects offered by the Graduate School of Information Science, students are required to attend the first or second class of a course and follow the instructions of the faculty members in charge. (It is not required to submit a registration form to the Graduate School Office.)
- (2) For subjects offered by the Graduate Schools of Biological Sciences and Materials Science, students are required to submit a registration form to the Graduate School Office.
- (3) In principle, it is not allowed to take simultaneously two subjects offered in the same time slot.
- (4) If a student is found to have earned credits in subjects that are offered in the same time slot, the student shall be required to choose the credits earned in only one of the subjects. The credits earned in the other subject will be cancelled.

2. About credits earned prior to admission to NAIST

The Faculty Council of this graduate school can give credit for up to 10 credits earned at graduate schools other than NAIST, if deemed educationally beneficial to do so. Students who apply for this procedure are required to apply to the Educational Affairs Section of the Educational Affairs Division with the following documents.

- (1) Application form for this purpose (The form is available at the Educational Affairs Division.)
- (2) Certificate of credits earned, or certificate of academic record, issued by the graduate school other than NAIST at which credits have been earned
- (3) Documents that show in some detail the content of lectures given in subjects to be considered for accreditation by NAIST (a copy of the syllabus, etc.)

* The schedule for application procedures, etc. will be posted on the bulletin board or provided by other means. Please check the information carefully. For more information, please contact the Educational Affairs Section of the Educational Affairs Division.

3. Credit transfer program with other NAIST graduate schools

A credit transfer program is in place between this graduate school and the Graduate Schools of Biological Sciences and Materials Science. Students who want to make use of the credit transfer program should read the instructions below carefully and follow the prescribed procedures. For more information, please contact the Educational Affairs Section of the Educational Affairs Division.

- (1) Registration method, etc.
 - (i) Students who want to use the credit transfer program are required to submit the prescribed registration application form.
 - (ii) The following types of subjects are available via the credit transfer program.

Graduate school	Subjects
Biological Sciences	General subjects, basic subjects, and special subjects
Materials Science	General subjects, basic subjects, and special subjects

(iii) Students who want to use the credit transfer program are required to select subjects they will take by referring to the syllabus and class schedule in the Student Handbooks issued by the Graduate Schools of Biological Sciences and Materials Science, and obtain approval from their main research instructors and permission from faculty members in charge of the subjects that they want to take.

(iv) Students may be refused permission to take specific subjects due to reasons including lecture room capacity at the Graduate Schools of Biological Sciences and/or Materials Science.

(2) Credit transfer

Up to six credits earned by taking subjects at the Graduate Schools of Biological Sciences and Materials Science may be counted as credits for general subjects in Information Sciences.

(3) Timing of registration application

For more information about the procedures (including the timing of submitting registration application forms and offices to which application forms should be submitted), students will be notified via the bulletin board or by other means at a later date.

4. Credit transfer program with graduate schools of other universities

A credit transfer program is in place between this graduate school and the following graduate schools of other universities:

- Graduate School of Engineering, Osaka University
- Graduate School of Engineering Science, Osaka University
- Graduate School of Humanities and Sciences (Department of Information and Computer Sciences), Nara Women's University
- Cloud-Spiral program (Graduate School of Information Science, Osaka University)
- SecCap program (Graduate School of Information Sciences, Tohoku University, School of Information Science, Japan Advanced Institute of Science and Technology, Graduate School of Media Design, Keio University, Graduate School of Information Security, Institute of Information Security)

Students who want to use the credit transfer program should read the instructions below carefully and follow the prescribed procedures. For more information, please contact the Educational Affairs Section of the Educational Affairs Division.

(1) Registration method, etc.

(i) Students who want to use the credit transfer program are required to submit the prescribed registration application form and a statement of their reasons.

(ii) For the Master's Course, the total number of credits registered shall be a maximum of ten.

(iii) In principle, the scope of registration for subjects shall be lectures only, and shall not cover seminars, practical work, experiments, research, etc.

(iv) Students may be refused permission to take specific subjects due to reasons including lecture room capacity at the graduate school.

(2) Credit transfer

Credits earned at the previous graduate school are counted as credits towards the completion requirements for this graduate school, provided that the Faculty Council of this graduate school recognizes them as such before the student take such subjects.

(3) The period for accepting the registration application form and the statement of reasons

The period for accepting these documents differs depending on the graduate school. Students will be notified via the bulletin board at a later date.

(4) Procedures for submitting a registration application form and a statement of reasons

- (i) Registration application forms and the statement of reason forms are available from the Educational Affairs Section of the Educational Affairs Division.
- (ii) Students who want to use the credit transfer program are required to select subjects they wish to take by referring to the content of the lectures and the class schedule, etc. at the graduate school; obtain approval from their research instructors (a seal of approval is required); and submit a registration application form and a statement of reasons to the Educational Affairs Section of the Educational Affairs Division.

5. Issuance of academic records

Students can confirm their academic performance by means of academic records which can be obtained from the automatic certificate issuing machine in the entrance lobby of the NAIST Library.

6. Research guidance offered at graduate schools of other universities

Students can receive the necessary research guidance at non-NAIST graduate schools and research institutions, etc. (hereinafter referred to as “non-NAIST graduate schools, etc.”) based on consultation with relevant non-NAIST graduate schools, etc., when it is deemed educationally beneficial to do so. Such research guidance is available for up to one year each for the Master’s Course and Doctoral Course, respectively. Permission may be given to extend that duration for the Doctoral Course. Students who want to receive research guidance at non-NAIST graduate schools, etc. are required to consult with their research instructors in advance, and inform the Educational Affairs Section of the Educational Affairs Division at least two months before they would begin to receive guidance.

• Handling of classes when public transport services are suspended, etc.

1. Handling of classes when public transport services are suspended

Classes will be cancelled when the services of the Kintetsu lines (Keihanna, Nara, and Kyoto) and/or Nara Kotsu Bus lines (routes serving Gakken Kita-Ikoma Sta., Gakuenmae Sta., and Takanohara Sta.) are suspended due to a major disaster, accident, etc. The table below shows the handling of classes when public transport services are restored.

2. Handling of classes when a weather warning is issued

Classes will be cancelled when an Emergency Warning and a storm (or snowstorm) warning is issued in Ikoma City, Nara City and the area including those cities. The table below shows the handling of classes when the warning is cancelled.

Status at 7:00 a.m./10:00 a.m.	Handling of classes
Public transport services are restored and the warning is cancelled at or before 7:00 a.m.	Classes are held for the whole day
Public transport services are restored and the warning is cancelled at or before 10:00 a.m.	Classes are held in the afternoon
Public transport services remain suspended and the warning remains in effect after 10:00 a.m.	Classes are cancelled for the whole day

Note: Information on the TV, Internet, etc. is used to check if public transport services are suspended/restored or a warning is issued/cancelled.

Registration Regulations for the Graduate School of Information Science at the Nara Institute of Science and Technology

April 1, 2004
Regulation No. 20

Article 1 (Purpose)

These regulations stipulate matters necessary for registration by students of the Graduate School of Information Science in accordance with Article 34 of the Regulations of Nara Institute of Science and Technology (2004 Regulations No.1) (“NAIST Regulations”).

Article 2 (Research instructors)

1. Two or more research instructors shall be designated for each student to provide guidance on choosing subjects and preparing a degree thesis, etc. (hereinafter referred to as “research guidance”).
2. One of such research instructors, who shall be a professor, shall be designated as the main research instructor.
3. Research instructors may be changed if needed in the course of studying or research guidance.

Article 3 (Research guidance)

The details of research guidance shall be defined for each student.

Article 4 (Subjects and number of credits)

1. The subjects, number of credits, and registration procedures for the Master’s Course shall be as shown in Schedule 1.
2. The subjects, number of credits, and registration procedures for the Doctoral Course shall be as shown in Schedule 2.

Article 5 (Registration procedures)

1. Students are required to select subjects they wish to take based on guidance offered by the main research instructor.
2. In principle, it is not allowed to take simultaneously two or more subjects that are offered in the same time slot.

Article 6 (Awarding of credits)

1. Credits shall be awarded by means of an examination or a research report. Credits may be awarded based on an evaluation of day-to-day study activities, instead of such examination.
2. Academic performance based on an examination or a research report shall be evaluated by points (full score: 100 points); 60 points or more is a “pass”, and 59 points or less is a “fail”. For evaluation purposes, academic performance may be represented as “Excellent,” “Good,” “Fair,” and “Fail” in accordance with the categories below.

80 points or more	Excellent
70–79 points	Good
60–69 points	Fair
59 points or less	Fail

3. In the event that it is difficult to evaluate academic performance based on points as described in the preceding paragraph, “pass” or “fail” may be used instead of such points.
4. The prescribed credits shall be awarded to students whose academic performance is “pass” in accordance with the two preceding paragraphs.
5. Subjects whose credits have been earned cannot be taken again for credit.

Article 7 (Approval of completion of research guidance)

The completion of research guidance (research thesis or thematic research) shall be approved by the main research instructor and reported to the dean of the graduate school.

Article 8 (Theme of the degree thesis)

Students shall be required to report the theme of their degree thesis by a specified date, with the approval of the main research instructor.

Article 9 (Submission of the degree thesis)

1. Students are required to submit a degree thesis by a specified date, with the approval of the main research instructor.
2. A degree thesis can be submitted by students who (i) have earned or who are expected to earn the credits necessary for completion of the course and (ii) have completed the necessary research according to guidance offered by research instructors.

Article 10 (Disqualification of credits for students who have been expelled due to unpaid tuition)

Credits accrued during the period of unpaid tuition will be disqualified when the student has been expelled from school, pursuant to Article 53-2-4 of Regulation.

Article 11 (Miscellaneous provision)

Other matters relating to registration by students shall be stipulated separately.

Supplementary provisions

(Effective date)

1. These Regulations shall come into effect on April 1, 2004.

(Transitional measures)

2. For students who were admitted in academic year 2003 or earlier (hereinafter referred to as “enrolled students”), the former Registration Regulations for the Graduate School of Information Science at the Nara Institute of Science and Technology shall remain in effect even after these Regulations come into effect. In the event that enrolled students take subjects within the scope of these Regulations, such subjects shall be deemed to be replaced with former subjects as set forth separately.

Supplementary provisions

(Effective date)

1. These Regulations shall come into effect on April 1, 2005.

(Transitional measures)

2. For students who were admitted in academic year 2004 or earlier (hereinafter referred to as “enrolled students”), the former Registration Regulations for the Graduate School of Information Science at the Nara Institute of Science and Technology shall supersede these Regulations after revision. In the event that enrolled students take subjects within the scope of these Regulations, such subjects shall be deemed to be replaced with former subjects as set forth separately.

Supplementary provisions

(Effective date)

1. These Regulations shall come into effect on April 1, 2006.

(Transitional measures)

2. For students who were admitted in academic year 2005 or earlier (hereinafter referred to as “enrolled students”), the former Registration Regulations for the Graduate School of Information Science at the Nara Institute of Science and Technology shall supersede these Regulations after revision. In the event that enrolled students take subjects within the scope of these Regulations, such subjects shall be deemed to be replaced with

former subjects as set forth separately.

(an omission)

Supplementary provisions

(Effective date)

1. These Regulations shall come into effect on April 1, 2010.

(Transitional measures)

2. For students who were admitted in academic year 2009 or earlier (hereinafter referred to as “enrolled students”), the former Registration Regulations for the Graduate School of Information Science at the Nara Institute of Science and Technology shall supersede these Regulations after revision. In the event that enrolled students take subjects within the scope of these Regulations, such subjects shall be deemed to be replaced with former subjects as set forth separately.

Supplementary provisions

(Effective date)

1. These Regulations shall come into effect on April 1, 2011.

(Transitional measures)

2. For students who were admitted in academic year 2010 or earlier (hereinafter referred to as “enrolled students”), the former Registration Regulations for the Graduate School of Information Science at the Nara Institute of Science and Technology shall supersede these Regulations after revision. In the event that enrolled students take subjects within the scope of these Regulations, such subjects shall be deemed to be replaced with former subjects as set forth separately.

Supplementary provisions

Supplementary provisions

(Effective date)

1. These Regulations shall come into effect on April 1, 2012.

(Transitional measures)

2. For students who were admitted in academic year 2011 or earlier (hereinafter referred to as “enrolled students”), the former Registration Regulations for the Graduate School of Information Science at the Nara Institute of Science and Technology shall supersede these Regulations after revision. In the event that enrolled students take subjects within the scope of these Regulations, such subjects shall be deemed to be replaced with former subjects as set forth separately.

Supplementary provisions

(Effective date)

1. These Regulations shall come into effect on April 1, 2013.

(Transitional measures)

2. For students who were admitted in academic year 2012 or earlier (hereinafter referred to as “enrolled students”), the former Registration Regulations for the Graduate School of Information Science at the Nara Institute of Science and Technology shall supersede these Regulations after revision. In the event that enrolled students take subjects within the scope of these Regulations, such subjects shall be deemed to be replaced with former subjects as set forth separately.

Supplementary provisions

(Effective date)

1. These Regulations shall come into effect on April 1, 2014.

(Transitional measures)

2. For students who were admitted in academic year 2013 or earlier (hereinafter referred to as “enrolled students”) with regard to subjects, number of credits, and registration, the former Registration Regulations for

the Graduate School of Information Science at the Nara Institute of Science and Technology shall supersede these Regulations after revision notwithstanding the provisions of appended Schedule 1 and 2. In the event that enrolled students take subjects within the scope of these Regulations, such subjects shall be deemed to be replaced with former subjects as set forth separately.

Supplementary provisions

(Effective date)

1. These Regulations shall come into effect on April 1, 2015.

(Transitional measures)

2. For students who were admitted in academic year 2014 or earlier (hereinafter referred to as “enrolled students”) with regard to subjects, number of credits, and registration, the former Registration Regulations for the Graduate School of Information Science at the Nara Institute of Science and Technology shall supersede these Regulations after revision notwithstanding the provisions of appended Schedule 1 and 2. In the event that enrolled students take subjects within the scope of these Regulations, such subjects shall be deemed to be replaced with former subjects as set forth separately.

Supplementary provisions

(Effective date)

1. These Regulations shall come into effect on April 21, 2015 and be applicable from April 1, 2015.

(Transitional measures)

2. For students who were admitted in academic year 2014 or earlier (hereinafter referred to as “enrolled students”) with regard to subjects, number of credits, and registration, the former Registration Regulations for the Graduate School of Information Science at the Nara Institute of Science and Technology shall supersede these Regulations after revision notwithstanding the provisions of appended Schedule 1. In the event that enrolled students take subjects within the scope of these Regulations, such subjects shall be deemed to be replaced with former subjects as set forth separately.

Supplementary provisions

(Effective date)

1. These Regulations shall come into effect on April 1, 2016.

(Transitional measures)

2. For students who were admitted in academic year 2015 or earlier (hereinafter referred to as “enrolled students”) with regard to subjects, number of credits, and registration, the former Registration Regulations for the Graduate School of Information Science at the Nara Institute of Science and Technology shall supersede these Regulations after revision notwithstanding the provisions of appended Schedule 1 and 2. In the event that enrolled students take subjects within the scope of these Regulations, such subjects shall be deemed to be replaced with former subjects as set forth separately.

Supplementary provisions

(Effective date)

1. These Regulations shall come into effect on April 1, 2017.

(Transitional measures)

2. For students who were admitted in academic year 2016 or earlier (hereinafter referred to as “enrolled students”) with regard to subjects, number of credits, and registration, the former Registration Regulations for the Graduate School of Information Science at the Nara Institute of Science and Technology shall supersede these Regulations after revision notwithstanding the provisions of appended Schedule 1. In the event that enrolled students take subjects within the scope of these Regulations, such subjects shall be deemed to be replaced with former subjects as set forth separately.

Schedule 1 (Supplement to Article 4)

Curriculum table of the Graduate School of Information Science

(1) Subjects(Master's Course)

Category	Subject name	Subject Number	Number of credits	Classification	Remarks
Basic Subjects	Computer System	000101	1	○	Common subject for all schools
	Algorithm	000102	1	○	Common subject for all schools
	Introduction to Biological Science	000202	1	○	Common subject for all schools
	Foundation of Materials Science	000301	1	○	Common subject for all schools
	Information Theory	120001	1	○	
	Introduction to Formal Language Theory	120002	1	○	
	Introductory Programming Course I	120003	1	○	
	Introductory Programming Course II	120004	1	○	
	Principles of Signal Processing	120005	1	○	
	Numerical Methods	120006	1	○	
	Applied Analysis	120007	1	○	
	Mathematics for Optimization	120008	1	○	
	Multivariate Analysis	120009	1	○	
	Basic Data Analysis	120010	1	○	
	Introduction to Stochastic Processes	120011	1	○	
Combinatorics	120012	1	○		
Algebraic Structures	120013	1	○		
Specialized Subjects in Information Science	Theory of Computation I	130001	1	○	
	Theory of Computation II	130002	1	○	
	Fandamental of High Performance Computiong	130003	1	○	
	Advanced Algorithm Design	130004	1	○	
	Distributed Systems and Middleware	130005	1	○	
	Software Design	130006	1	○	
	System Requirement Engineering	130007	1	○	
	Virtual Systems Infrastructure	130008	1	○	
	Software Engineering I	131009	1	○	
	Software Engineering II	132010	1	○	
	Speech Processing	130011	1	○	
	Artificial Intelligence	130012	1	○	
	Ambient Intelligence	130013	1	○	
	Natural Language Processing	130014	1	○	
	Computer Vision I	131015	1	○	
	Computer Vision II	132016	1	○	
	Computer Graphics	130017	1	○	
	Virtual Reality	130018	1	○	
	Digital Image Processing	130019	1	○	
	Coding Theory	130020	1	○	
	Information Network I	131021	2	○	
	Information Network II	132022	2	○	
	Wireless Communication Systems	130023	1	○	
	Signal Detection Theory	130024	1	○	
	Network Simulation	130025	1	○	
	Sequential Data Modeling	130026	1	○	
	Human Computer Interaction	130027	1	○	
	Pattern Recognition	130028	1	○	
	Game Theory	130029	1	○	
	Machine Learning and Intelligent Control	131030	1	○	
	Model-base Control	132031	1	○	
	Robotics I	131032	1	○	
	Robotics II	132033	1	○	
Mathematical Modeling	130034	1	○		
Computational Neuroscience	130035	1	○		
Ubiquitous Information Processing	130036	1	○		
Bio-Imaging	130037	1	○		
Systems Biology I	130038	1	○		
Systems Biology II	130039	1	○		
Biomedical Image Analysis	130040	1	○		
Biomedical Media Informatics	130041	1	○		
Big Data Analytics	130042	1	○		

Specialized Subjects in Information Science	Information Security & Our Society	130043	2	○	
	Data Mining	130044	1	○	
	Mobile Computing	130045	1	○	
	Advanced Cutting-edge Research Seminar I	130046	1	○	
	Advanced Cutting-edge Research Seminar II	130047	1	○	
	Advanced Cutting-edge Research Seminar III	130048	1	○	
	Advanced Cutting-edge Research Seminar IV	130049	1	○	
	Project Practice I	130050	2	○	
	Project Practice II	130051	2	○	
	Project Practice III	130052	2	○	
	Project Practice IV	130053	2	○	
	Exercise in Practical Software Development I	130054	2	○	
	Exercise in Practical Software Development II	130055	2	○	
	Theory of Advanced IT	130056	1	○	
	Studio of Advanced IT I	130057	2	○	
	Studio of Advanced IT II	130058	2	○	
	Introduction to Advanced Robot Technology	130059	1	○	
	Advanced Robot Design	130060	2	○	
	Advanced Robot Development Theory I	131061	1	○	
	Advanced Robot Development Theory II	132062	1	○	
	Lecture of Information Security Management Literacy I	130063	1	○	
	Lecture of Information Security Management Literacy II	130064	1	○	
	Exercise for Information Security PBL A	130065	1	○	
	Exercise for Information Security PBL B	130066	1	○	
	Exercise for Information Security PBL C	130067	1	○	
	Exercise for Information Security PBL D	130068	1	○	
	Exercise for Information Security PBL E	130069	1	○	
	Exercise for Information Security PBL F	130070	1	○	
	Exercise for Information Security PBL G	130071	1	○	
	Hardware Security	130072	1	○	
General Subjects	Commentaries on Science and Technology	000201	1	○	Common subject for all schools
	Science Communication	000203	1	○	Common subject for all schools
	Skills for English Presentation I	110001	1	○	
	Methods of English Communication I	110002	1	○	
	Methods of English Communication II	111003	1	○	
	Advanced Scientific Writing	112004	1	○	
	Skills for English Presentation II	110005	1	○	
	Project Management for Research	110006	1	○	
	Literature Search	110007	1	○	
	Digital Media	110008	1	○	
	Intercultural Communication	110009	1	○	
	Intellectual Property Rights	110010	1	○	
	Global Entrepreneur I	111011	1	○	
	Global Entrepreneur II	111012	1	○	
	Global Entrepreneur III	112013	1	○	
	Global Entrepreneur IV	112014	1	○	
	Global Entrepreneur PBL	112015	1	○	
	Philosophy of Science	000103	1	○	Common subject for all schools.
	Technology and Professional Ethics	000104	1	○	Common subject for all schools.
	Information Technology for Environmental Issues	110016	1	○	
	Japanese Culture	000105	2	○	Common subject for all schools.
	Japanese Class for Begginers I	000303	2	○	Common subject for all schools
	Japanese Class for Begginers II (1)	000204	1	○	Common subject for all schools
Japanese Class for Begginers II (2)	000205	1	○	Common subject for all schools	
Japanese Class for Begginers III (1)	000206	1	○	Common subject for all schools	
Japanese Class for Begginers III (2)	000207	1	○	Common subject for all schools	
Academic Volunteer I	110017	1	○		
Academic Volunteer II	110018	1	○		
Advanced Topics in Information Science	Advanced Computing Architecture I	140001	1	□	
	Advanced Computing Architecture II	140002	1	□	
	Advanced Computing Architecture III	140003	1	□	
	Advanced Computing Architecture IV	140004	1	□	
	Advanced Dependable System I	140005	1	□	
	Advanced Dependable System II	140006	1	□	
	Advanced Dependable System III	140007	1	□	
	Advanced Dependable System IV	140008	1	□	
	Advanced Ubiquitous Computing Systems I	140009	1	□	

	Advanced Ubiquitous Computing Systems II	140010	1	<input type="checkbox"/>	
	Advanced Ubiquitous Computing Systems III	140011	1	<input type="checkbox"/>	
	Advanced Ubiquitous Computing Systems IV	140012	1	<input type="checkbox"/>	
	Advanced Mobile Computing I	140013	1	<input type="checkbox"/>	
	Advanced Mobile Computing II	140014	1	<input type="checkbox"/>	
	Advanced Mobile Computing III	140015	1	<input type="checkbox"/>	
	Advanced Mobile Computing IV	140016	1	<input type="checkbox"/>	
	Advanced Software Engineering I	140017	1	<input type="checkbox"/>	
	Advanced Software Engineering II	140018	1	<input type="checkbox"/>	
	Advanced Software Engineering III	140019	1	<input type="checkbox"/>	
	Advanced Software Engineering IV	140020	1	<input type="checkbox"/>	
	Advanced Software Design and Analysis I	140021	1	<input type="checkbox"/>	
	Advanced Software Design and Analysis II	140022	1	<input type="checkbox"/>	
	Advanced Software Design and Analysis III	140023	1	<input type="checkbox"/>	
	Advanced Software Design and Analysis IV	140024	1	<input type="checkbox"/>	
	Advanced Cyber Resilience I	140025	1	<input type="checkbox"/>	
	Advanced Cyber Resilience II	140026	1	<input type="checkbox"/>	
	Advanced Cyber Resilience III	140027	1	<input type="checkbox"/>	
	Advanced Cyber Resilience IV	140028	1	<input type="checkbox"/>	
	Advanced Information Security Engineering I	140029	1	<input type="checkbox"/>	
	Advanced Information Security Engineering II	140030	1	<input type="checkbox"/>	
	Advanced Information Security Engineering III	140031	1	<input type="checkbox"/>	
	Advanced Information Security Engineering IV	140032	1	<input type="checkbox"/>	
	Advanced Internet Architecture and Systems I	140033	1	<input type="checkbox"/>	
	Advanced Internet Architecture and Systems II	140034	1	<input type="checkbox"/>	
	Advanced Internet Architecture and Systems III	140035	1	<input type="checkbox"/>	
	Advanced Internet Architecture and Systems IV	140036	1	<input type="checkbox"/>	
	Advanced Computational Linguistics I	140037	1	<input type="checkbox"/>	
	Advanced Computational Linguistics II	140038	1	<input type="checkbox"/>	
	Advanced Computational Linguistics III	140039	1	<input type="checkbox"/>	
	Advanced Computational Linguistics IV	140040	1	<input type="checkbox"/>	
	Advanced Augmented Human Communication I	140041	1	<input type="checkbox"/>	
	Advanced Augmented Human Communication II	140042	1	<input type="checkbox"/>	
	Advanced Augmented Human Communication III	140043	1	<input type="checkbox"/>	
	Advanced Augmented Human Communication IV	140044	1	<input type="checkbox"/>	
Advanced Topics in Information Science	Advanced Network Systems I	140045	1	<input type="checkbox"/>	
	Advanced Network Systems II	140046	1	<input type="checkbox"/>	
	Advanced Network Systems III	140047	1	<input type="checkbox"/>	
	Advanced Network Systems IV	140048	1	<input type="checkbox"/>	
	Advanced Interactive Media Design I	140049	1	<input type="checkbox"/>	
	Advanced Interactive Media Design II	140050	1	<input type="checkbox"/>	
	Advanced Interactive Media Design III	140051	1	<input type="checkbox"/>	
	Advanced Interactive Media Design IV	140052	1	<input type="checkbox"/>	
	Advanced Optical Media Interface I	140053	1	<input type="checkbox"/>	
	Advanced Optical Media Interface II	140054	1	<input type="checkbox"/>	
	Advanced Optical Media Interface III	140055	1	<input type="checkbox"/>	
	Advanced Optical Media Interface IV	140056	1	<input type="checkbox"/>	
	Cybernetics and Reality Engineering I	140057	1	<input type="checkbox"/>	
	Cybernetics and Reality Engineering II	140058	1	<input type="checkbox"/>	
	Cybernetics and Reality Engineering III	140059	1	<input type="checkbox"/>	
	Cybernetics and Reality Engineering IV	140060	1	<input type="checkbox"/>	
	Advanced Ambient Intelligence I	140061	1	<input type="checkbox"/>	
	Advanced Ambient Intelligence II	140062	1	<input type="checkbox"/>	
	Advanced Ambient Intelligence III	140063	1	<input type="checkbox"/>	
	Advanced Ambient Intelligence IV	140064	1	<input type="checkbox"/>	
	Advanced Robotics I	140065	1	<input type="checkbox"/>	
	Advanced Robotics II	140066	1	<input type="checkbox"/>	
	Advanced Robotics III	140067	1	<input type="checkbox"/>	
	Advanced Robotics IV	140068	1	<input type="checkbox"/>	
	Advanced Intelligent System Control I	140069	1	<input type="checkbox"/>	
	Advanced Intelligent System Control II	140070	1	<input type="checkbox"/>	
	Advanced Intelligent System Control III	140071	1	<input type="checkbox"/>	
	Advanced Intelligent System Control IV	140072	1	<input type="checkbox"/>	
	Advanced Large-Scale Systems Management I	140073	1	<input type="checkbox"/>	
	Advanced Large-Scale Systems Management II	140074	1	<input type="checkbox"/>	
	Advanced Large-Scale Systems Management III	140075	1	<input type="checkbox"/>	
	Advanced Large-Scale Systems Management IV	140076	1	<input type="checkbox"/>	

Advanced Topics in Information Science	Advanced Mathematical Informatics I	140077	1	<input type="checkbox"/>	
	Advanced Mathematical Informatics II	140078	1	<input type="checkbox"/>	
	Advanced Mathematical Informatics III	140079	1	<input type="checkbox"/>	
	Advanced Mathematical Informatics IV	140080	1	<input type="checkbox"/>	
	Advanced Imaging-based Computational Biomedicine I	140081	1	<input type="checkbox"/>	
	Advanced Imaging-based Computational Biomedicine II	140082	1	<input type="checkbox"/>	
	Advanced Imaging-based Computational Biomedicine III	140083	1	<input type="checkbox"/>	
	Advanced Imaging-based Computational Biomedicine IV	140084	1	<input type="checkbox"/>	
	Advanced Computational Systems Biology I	140085	1	<input type="checkbox"/>	
	Advanced Computational Systems Biology II	140086	1	<input type="checkbox"/>	
	Advanced Computational Systems Biology III	140087	1	<input type="checkbox"/>	
	Advanced Computational Systems Biology IV	140088	1	<input type="checkbox"/>	
	Seminar I	140101	1	<input checked="" type="checkbox"/>	
	Seminar II	140102	1	<input checked="" type="checkbox"/>	
	Research Work	150001	4	<input type="checkbox"/>	
	Theme Research	150002	4	<input type="checkbox"/>	

◎, □, and ○ represent required, required-elective, and elective subjects.

(2) Registration methods

1. Students are required to earn 14 credits or more from specialized subjects in information science (including 8 credits or more from lectures and 2 credits or more from practices), six credits or more from general or basic subjects, 20 credits or more in total. They are also required to take Seminar I (one credit) and Seminar II (one credit), Advanced Topics in Information Science I- IV (one credit each).

Advanced Topics in Information Science I- IV provided by the laboratories that students belong to shall count as credits toward completion.

2. Students are required to do a research thesis (4credits) or thematic research (4credits).

3. In accordance with Article 37 of the NAIST Regulations, up to six credits earned by taking subjects of other NAIST graduate schools may count as credits earned as general subjects toward the completion requirements.

4. For students who graduated from information-related undergraduate departments (e.g. department of information engineering, department of information science, department of computer engineering, department of information system engineering, department of system engineering, department of control engineering) and those who have completed the third academic year, credits earned by taking the following basic subjects shall not count as credits toward completion: Computer Systems, Algorithms, Introductory Programming Course I, Introductory Programming Course II.

5. For students who graduated from biological science-related undergraduate departments and those who completed the third academic year, credits earned by taking Introduction to Biological Science shall not count as credits toward completion.

6. Only for students from abroad, credits earned by taking the following general subjects shall count as credits toward completion: Japanese Class for Beginners I, II(1), II(2), III(1), III(2).

(3) How to read the subject numbers

Subject numbers consist of 6-digit numbers based on levels, difficulties, and other elements of courses. Please review the following information carefully before you register for courses.

First digit : The first digit in the 6-digit numbers indicates categories of common subjects or subjects offered by each Graduate School:

- 0XXXXX = Common subjects
- 1XXXXX = Subjects offered by the Graduate School of Information Science
- 2XXXXX = Subjects offered by the Graduate School of Biological Sciences
- 3XXXXX = Subjects offered by the Graduate School of Materials Science

Second digit : The second digit in the 6-digit numbers indicates levels of subjects:

- X0XXXX = Common subjects [For master's course]
- X1XXXX = General subjects [For master's course]
- X2XXXX = Basic subjects [For master's course]
- X3XXXX = Specialized subjects [For master's course]
- X4XXXX = Advanced topics (Laboratory Activities) / Seminar [For master's course]
- X5XXXX = Thesis / Specialized research / Research [For master's course]
- X6XXXX = Doctoral subjects (Except below doctoral subject) [For doctoral course]
- X7XXXX = Dissertation / Research [For doctoral course]

Third digit : The third digit in the 6-digit numbers indicates difficulties of subjects:

- XX0XXX = No category
- XX1XXX = Basic
- XX2XXX = Intermediate
- XX3XXX = Advanced

Fourth, Fifth and Sixth digits: The fourth, fifth and sixth digits in the 6-digit numbers indicate serial numbers in each category indicated by the second digit:

- XXXXXX = Serial numbers (ranging from 001 to 999) based on levels of subjects categorized by second digit.

Regarding the fourth to sixth digits in the 6-digit numbers of common subjects or subjects offered by other Graduate Schools refer to the following.

i) For common subjects with the first digit of "0", please refer to the following guideline.

Fourth digit: The fourth digit in the 6-digit numbers indicates categories of subjects offered by each Graduate School:

- XXX1XX = Subjects offered by the Graduate School of Information Science
- XXX2XX = Subjects offered by the Graduate School of Biological Sciences
- XXX3XX = Subjects offered by the Graduate School of Materials Science

Fifth and Sixth digits: The fifth and sixth digits in the 6-digit numbers indicate serial numbers assigned by each Graduate School.

- XXXXXX = Serial numbers (ranging from 01 to 99) assigned by each Graduate School

ii) For subjects offered by other Graduate Schools with the first digit of "2 or 3", please refer to other Graduate Schools guideline.

Attached Schedule 2 (in connection with Article 4)

Curriculum Table for the Graduate School of Information Science

(1) Course name, etc.

(Doctoral Course)

Course name	Subject Number	Number of credits	Departments of Information Processing, Information Systems, and Bioinformatics and Genomics		Remarks
			Required/elective	Number of credits required for completion	
International Communications I A	160001	1	○	2	Language lectures at NAIST
International Communications I B	160002	1	○		
International Practice II A	160003	2	○		Short-term dispatches (international conferences, etc.), long-term dispatches (corporate internships in Japan, overseas internships, etc.)
International Practice II B	160004	2	○		
International Practice II C	160005	2	○		
Advanced Specific Field Seminar I	160006	1	○		Lectures at NAIST
Advanced Specific Field Seminar II	160007	1	○		
Advanced Cutting-edge Research Seminar I	160008	1	○		Doctoral course subjects designated by academic advisors
Advanced Cutting-edge Research Seminar II	160009	1	○		
Advanced Cutting-edge Research Seminar III	160010	1	○		
Advanced Cutting-edge Research Seminar IV	160011	1	○		
Advanced Project Management	160012	2	○		Project management
Research Status Hearing	160013	2	◎	2	Research status hearing
Doctoral Research I	170001	3	○	6	Research for writing doctoral thesis (1st semester)
Doctoral Research II	170002	3	○		Research for writing doctoral thesis (2nd semester) Doctor thesis research (the second half year)
Doctoral Research III	170003	3	○		Research for writing doctoral thesis (3rd semester) Doctor thesis research (the third half year)
Doctoral Research IV	170004	3	○		Research for writing doctoral thesis (4th semester) Doctor thesis research (the fourth half year)
Doctoral Research V	170005	3	○		Research for writing doctoral thesis (5th semester) Doctor thesis research (the fifth half year)
Doctoral Research VI	170006	3	○		Research for writing doctoral thesis (6th semester) Doctor thesis research (the sixth half year)
Number of credits required for completion				10	
In the "Required/elective" column, ◎ and ○ represent required and elective subjects, respectively.					

※ This curriculum is also used for double degree program students.

(2) Registration procedures

1. Students are required to earn 10 credits or more in total, comprising (i) two credits in the Research Status Hearing, (ii) six credits or more in Doctoral Research (I–VI), and (iii) two credits or more in other subjects.
2. Completion requirements for students who are admitted to the Doctoral Course of the Graduate School of Information Science after having been recognized as having academic ability equivalent to or greater than that of a Master's Degree holder shall be provided for separately.
3. Students who have not earned credits of following classes in master course can take them in doctoral course: Skills for Presentation II, Methods of English Communication I- II, Advanced Scientific Writing, Project Management for Research, Literature Search, Digital Media, Japanese Class for Beginners I, Japanese Class for Beginners II (1)-(2), or Japanese Class for Beginners III (1)-(2). The earned credits will be transferred to International Communications I A, International Communications I B in this order. Note that two credits of Japanese Classes for Beginners are transferred to one credit of International Communications I A or International Communications I B.
4. Students who earn credits in Advanced Cutting-edge Research Seminar I-IV are required to take the courses in Advanced Information Science I-IV on the curriculum table of the Master's Course (Attached Schedule 1) which research advisors specify. Note that students are not admitted to earn credits in the same courses in Advanced Information Science I-IV as they have already taken in the Master's Course.

(3) How to read the subject numbers

Subject numbers consist of 6-digit numbers based on levels, difficulties, and other elements of courses. Please review the following information carefully before you register for courses.

First digit : The first digit in the 6-digit numbers indicates categories of common subjects or subjects offered by each Graduate School:

0XXXXX = Common subjects

1XXXXX = Subjects offered by the Graduate School of Information Science

2XXXXX = Subjects offered by the Graduate School of Biological Sciences

3XXXXX = Subjects offered by the Graduate School of Materials Science

Second digit : The second digit in the 6-digit numbers indicates levels of subjects:

X0XXXX = Common subjects [For master's course]

X1XXXX = General subjects [For master's course]

X2XXXX = Basic subjects [For master's course]

X3XXXX = Specialized subjects [For master's course]

X4XXXX = Advanced topics (Laboratory Activities) / Seminar [For master's course]

X5XXXX = Thesis / Specialized research / Research [For master's course]

X6XXXX = Doctoral subjects (Except below doctoral subject) [For doctoral course]

X7XXXX = Dissertation / Research [For doctoral course]

Third digit : The third digit in the 6-digit numbers indicates difficulties of subjects:

XX0XXX = No category

XX1XXX = Basic

XX2XXX = Intermediate

XX3XXX = Advanced

Fourth, Fifth and Sixth digits : The fourth, fifth and sixth digits in the 6-digit numbers indicate serial numbers in each category indicated by the second digit:

XXXXXX = Serial numbers (ranging from 001 to 999) based on levels of subjects categorized by second digit.

Regarding the fourth to sixth digits in the 6-digit numbers of common subjects or subjects offered by other Graduate Schools refer to the following.

i) For common subjects with the first digit of “0”, please refer to the following guideline.

Fourth digit : The fourth digit in the 6-digit numbers indicates categories of subjects offered by each Graduate School:

XXX1XX = Subjects offered by the Graduate School of Information Science

XXX2XX = Subjects offered by the Graduate School of Biological Sciences

XXX3XX = Subjects offered by the Graduate School of Materials Science

Fifth and Sixth digits : The fifth and sixth digits in the 6-digit numbers indicate serial numbers assigned by each Graduate School.

XXXXXX = Serial numbers (ranging from 01 to 99) assigned by each Graduate School

ii) For subjects offered by other Graduate Schools with the first digit of “2 or 3”, please refer to other Graduate Schools guideline.

5. Degree examination criteria, etc.

Degree examination criteria**Master's Course**

The examination is based on (i) the detailed contents of a master's thesis or thematic research report, and (ii) an oral presentation and (iii) an oral interview based on the thesis or report. Novelty and applicability are important factors in the master's thesis. The examination checks that:

1. Students understand the background and objectives of their research.**2. Knowledge regarding the research project is well organized.**

e.g. introduction in the thesis, explanations of basic knowledge, relevant research, significance of the research project

3. The research procedures and method have been carefully developed.

Principles and methods used as references in solving problems in the research project

Validity and appropriateness of newly proposed methods

Applicability and evaluation of newly proposed methods

4. Proposed equations and obtained data, if any, are accurate and properly organized.

The data is suited for the research objectives and research methods.

Figures and tables represent research results properly.

5. Results obtained and unresolved challenges have been discussed.

Research objectives have been attained.

The conclusion shows novelty and importance.

The necessity and vision of future research have been described.

6. Appropriate references are used.**7. The thesis and oral presentation are organized logically and clearly.**

Doctoral Course

A doctoral thesis requires novelty and applicability, and at least part of the doctoral thesis must have been published or will be published as a peer-reviewed scientific journal or book or at an international conference with a peer review system, etc. A doctoral thesis is expected to fulfill requirements 1–7 set forth in the Master's Course, and also be disseminated to society and make a social contribution.

The examination is based on the detailed contents of the doctoral thesis, an oral presentation at a public hearing, and a final examination. The examination checks that:

1. At least part of the doctoral thesis has been published.
2. The thesis is characterized by novelty on a global scale.
3. Newly proposed principles and methods are expected to be effectively applied in society.
4. The doctoral thesis has the potential for future development.

Degree Regulations of Nara Institute of Science and Technology

April 1, 2004

Regulations No. 19

Article 1 (Purpose)

The purpose of these Regulations is to stipulate matters relating to conferral of degrees by the Nara Institute of Science and Technology (“NAIST”) pursuant to Article 44-3 of the Regulations of the Nara Institute of Science and Technology (2004 Regulations No. 1) (“NAIST Regulations”).

Article 2 (Degree types and majors)

1. Degrees conferred by NAIST shall be master’s degrees and doctoral degrees.
2. The name of the Graduate School and the major shown in the following table shall be specified in the degree certificate.

Graduate School	Major
Information Science	Science or Engineering
Biological Sciences	Biological Sciences
Materials Science	Science or Engineering

Article 3 (Degree requirements)

1. A master’s degree shall be conferred to students who have completed the Master’s Course at NAIST.
2. A doctoral degree shall be conferred to students who have completed the Doctoral Course at NAIST.
3. In addition, a doctoral degree may be conferred to individuals who have passed the doctoral thesis examination and been recognized as having academic ability equivalent to or greater than that of a student who has completed the Doctoral Course at NAIST (individuals who have passed the “Examination of Academic Ability”).

Article 4 (Submission of thesis)

1. To complete the Master’s Course, students shall submit a master’s thesis together with the

- prescribed application form for thesis examination to the Dean of the relevant Graduate School and take the final examination.
2. Examination of research results on specified themes may be conducted in place of the master's thesis examination specified in the foregoing subsection.
 3. To complete the Doctoral Course, students shall submit a doctoral thesis together with the prescribed application form for thesis examination, list of related papers, abstract of the thesis and curriculum vitae to the Dean of the relevant Graduate School and take the final examination.
 4. To receive a doctoral degree pursuant to the provision of subsection 3 of Article 3, students shall specify the major to be indicated in the degree certificate, and pay the thesis examination fee when submitting a degree application form, doctoral thesis, list of related papers, abstract of the thesis, and curriculum vitae to the President.
 5. The thesis examination fee shall be 57,000 yen.
 6. Upon receipt of the documents specified in subsection 4 of this Article, the President shall forward the documents to the Dean of the relevant Graduate School according to the major specified by the student.
 7. Thesis and other documents, once submitted, shall not be returned, and the thesis examination fee, once paid, shall not be refunded.

Article 5 (Thesis)

1. One thesis shall be accepted for degree examination. Students shall submit one copy per master's thesis and three copies per doctoral thesis, provided, however that additional papers may be attached to the thesis for reference.
2. The Dean of the relevant Graduate School may request submission of a translation of the thesis, model, specimen, or other materials if necessary for the thesis examination.

Article 6 (Final examination and Examination of Academic Ability)

1. The final examination shall be conducted by means of a written or oral examination on specialized topics relating to the thesis.
2. The Examination of Academic Ability specified in Article 3-3 above shall be conducted by means of a written or oral examination on the academic subjects relating to the doctoral thesis and on foreign language.

Article 7 (Screening Committee)

1. The Faculty Councils of the respective Graduate Schools shall have a Screening Committee for evaluating theses and conducting the final examination and Examination of Academic Ability.

2. Each of the Screening Committees shall consist of at least two faculty members of the respective Graduate School and common educational and research institution, provided, however, that the Committee members shall include two professors thereof.
3. Each of the Screening Committees shall have a chief referee.
4. Notwithstanding the provision of the foregoing subsection 2, faculty members of other Graduate Schools of NAIST or other graduate schools or research institutions outside of NAIST may be invited to join the Screening Committee if doing so is deemed necessary by the Faculty Council of the Graduate School for screening purposes.
5. Evaluation of doctoral theses submitted pursuant to Article 4-4 and the Examination of Academic Ability shall be completed within one year after the submission thereof, provided, however, that such a period may be extended if there is a special reason, subject to deliberation by the relevant Graduate School.

Article 8 (Notification of results)

1. The Screening Committee involved in conferral of master's degrees shall notify the Faculty Council of the relevant Graduate School of its decision as to whether to confer a master's degree or not in writing, immediately after completion of the evaluation of thesis and final examination.
2. The Screening Committee involved in conferral of doctoral degrees shall notify the Faculty Council of the relevant Graduate School of its decision in writing by specifying whether to confer a doctoral degree or not in the following documents, immediately after completion of the evaluation of thesis and final examination:
 - (1) Abstract of the thesis submitted pursuant to Article 4-3, summary of the evaluation of the thesis and summary of the results of the final examination
 - (2) Abstract of the thesis submitted pursuant to Article 4-4, summary of the evaluation of the thesis and summary of the results of the Examination of Academic Ability

Article 9 (Deliberation by Faculty Council)

The Faculty Council of each of the Graduate Schools shall discuss whether to confer a degree or not based on the notification specified in the foregoing article.

Article 10 (Notification of conclusion)

The Dean of the relevant Graduate School shall notify the President of the conclusion of the deliberation reached by the Faculty Council thereof in writing.

Article 11 (Conferral of degree)

1. The President shall confer a degree to the student who has been approved to receive the degree based on the notification specified in the foregoing article.
2. The format of a degree certificate shall be Form No. 1, Form No. 2 or Form No. 3 shown separately.
3. If it has been decided not to confer a degree to a certain student, the President shall notify the student of the decision.

Article 12 (Publication of abstract of doctoral thesis)

Within three months after conferring a doctoral degree, the President shall notify the Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology of the conferral and make the abstract of the doctoral thesis and the summary of the results of the evaluation of the thesis public via the internet .

Article 13 (Publication of doctoral thesis)

1. The recipient of a doctoral degree shall make his or her doctoral thesis public within one year after receipt thereof, provided, however, that this provision shall not apply if the thesis has been made public prior to the receipt thereof.
2. Notwithstanding the provision of the foregoing subsection, a recipient of a doctoral degree may make the abstract of his or her doctoral thesis public instead of the full text, subject to approval of NAIST, if there is a justifiable reason. In this case, NAIST shall allow access to the full text of the doctoral thesis when requested.
3. The public release established in the previous two clauses for doctoral degree recipient, shall be conducted via NAIST and the internet.

Article 14 (Reference to the degree)

When an individual who has been conferred a degree from NAIST refers to his or her degree, the name of NAIST shall be also mentioned together with the degree.

Article 15 (Withdrawal of a degree)

If it transpires that an individual was conferred a degree by NAIST by fraudulent means, the President shall withdraw the degree, have the degree certificate returned, and make public the fact, following the deliberation by the Faculty Council of the relevant Graduate School.

Article 16 (Miscellaneous provision)

Other matters relating to conferral of degrees shall be provided for separately.

Supplementary provisions

These Regulations shall come into effect on April 1, 2004.

Supplementary provisions

(Effective date)

1. These Regulations shall come into effect on June 1, 2013.

(Transitional measures)

2. The revised degree regulations (hereinafter referred to as “new degree regulations”) outlined in Article 12 shall apply to those who have been conferred the doctoral degree on or after the date of regulation revision. However, for those who were conferred the doctoral degree prior to the date of revision, the regulations in force at the time of conferment shall apply.
3. The revised degree regulations outlined in Article 13 shall apply to those who have been conferred the doctoral degree on or after the date of regulation revision. However, for those who were conferred the doctoral degree prior to the date of revision, the regulations in force at the time of conferment shall apply.

Form No. 1 (Refer to Article 11) (To be issued for the degree conferred upon completion of the Master’s Course)

修第 号
学 位 記
氏 名
年 月 日生
<p>本学大学院□□□研究科○○○専攻の博士前期 課程を修了したので修士(○○)の学位を授与する</p>
平成 年 月 日
奈良先端科学技術大学院大学長
大学長の印
学長名 学長の印

(Note 1) The sheet is A4-sized.

NARA INSTITUTE OF SCIENCE AND TECHNOLOGY	
hereby confers the degree of Master of (専攻分野の名称)	
Upon	
(氏	名)
(Surname)	(Given name)
(Date of birth)	
<p>for having successfully completed the Master’s Program in the Graduate School of (研究科名) on this day, (年月日)</p>	
Official Seal of the Institute	President’s Seal
	(学長署名) (学長名) President
Masterdom No.: (番号)	

(Note 1) The sheet is A4-sized.

Form No. 2 (Refer to Article 11) (To be issued for the degree conferred upon completion of the Doctoral Course)

博第 号
学 位 記
氏 名
年 月 日生
本学大学院○○○研究科○○○専攻の博士後期課程を修了したので博士(○○)の学位を授与する
平成 年 月 日
奈良先端科学技術大学院大学長
大学の印 学長名 学長の印

(Note 1) The sheet is A4-sized.

NARA INSTITUTE OF SCIENCE AND TECHNOLOGY
hereby confers the degree of Doctor of (専攻分野の名称)
Upon
(氏 _____ 名) (Surname) (Given name)
_____ (Date of birth)
for having successfully completed the Doctoral Program in the Graduate School of (研究科名) on this day, (年月日)
Official Seal of the Institute President's Seal
Doctorate No.: (番号) (学長署名) (学長名) President

(Note 1) The sheet is A4-sized.

Form No. 3 (Refer to Article 11.) (To be issued for the degree conferred pursuant to Article 3-3)

博第 号
学 位 記
氏 名
年 月 日生
本学に学位論文を提出し所定の審査に合格したので博士(○○)の学位を授与する
平成 年 月 日
奈良先端科学技術大学院大学長
大学の印 学長名 学長の印

(Note 1) The sheet is A4-sized.

NARA INSTITUTE OF SCIENCE AND TECHNOLOGY
hereby confers the degree of Doctor of (専攻分野の名称)
Upon
(氏 _____ 名) (Surname) (Given name)
_____ (Date of birth)
for having submitted a Doctoral Dissertation and having passed the Prescribed Evaluation on this day, (年月日)
Official Seal of the Institute President's Seal
Doctorate No.: (番号) (学長署名) (学長名) President

(Note 1) The sheet is A4-sized.

Schedule from thesis submission to thesis examination

Degrees will be awarded on a quarterly basis (in late March, June, September, and December).

The table below shows an approximate schedule, as an example, from thesis submission and examination to awarding of a degree. In the example here is for a degree to be awarded in March.

Number	Procedure	For a degree awarded in March
1	The research instructor gives advance notice that doctoral theses will be submitted. Screening Committee member candidates are selected based on the submitted doctoral theses.	At a meeting of the graduate school held in October, November or December
2	The public hearing schedule is set.	At least two weeks before the public hearing
3	Students submit doctoral theses to the Screening Committee member candidates.	At least 10 days before the public hearing
4	The public hearing is held. Presentation: 40 min. Q&A: 20 min.	By mid-January at the latest
5	Students submit a copy of the application form for the thesis examination, doctoral thesis, list of related papers, abstract of the thesis, and curriculum vitae to NAIST (Information Science Office).	At least one week before a meeting of the Faculty Council of the graduate school in February
6	The Screening Committee members are selected.	A meeting of the Faculty Council of the graduate school in early February
7	The Screening Committee members conduct a thesis examination and a final examination.	
8	The Screening Committee members report the examination results. Decisions (pass/fail) are made based on the examination results.	A meeting of the Faculty Council of the graduate school in late February
9	Degrees are awarded to students who pass the examination; such students are deemed to have completed the Doctoral Course.	Late March

List of subjects and faculty members in charge for the Graduate School of Information Science in academic year 2017

Category	Subject	Domain	Type	Subject Number	Number of credit	Faculty member in charge	Number of classes per week				Total number of classes	English subject	Remarks
							I	II	III	IV			
Basic Subjects	Computer System		L	000101	1	Yasuhiko Nakashima, Keiichi Yasumoto, Yutaka Arakawa, Manato Fujimoto	4		4		15		Common subject for all schools. Quarter III is intended for students admitted in autumn.
	Algorithm		L	000102	1	Michiko Inoue, Fukuhito Ooshita, Yuji Matsumoto, Masashi Shimbo, Hiroyuki Shindo, Hiroshi Noji, Duong Quang Thang	2		2		15		Common subject for all schools. Quarter III is intended for students admitted in autumn.
	Introduction to Biological Science		L	000202	1	Hisaji Maki	2				15		Common subject for all schools.
	Foundation of Materials Science		L	000301	1	Hiroyuki Katsuki		2			15		Common subject for all schools.
	Information Theory		L	120001	1	(Yuichi Kaji)		2			15		
	Introduction to Formal Language Theory		L	120002	1	Minoru Ito	2				15		
	Introductory Programming Course I		P	120003	1	Takashi Ishio, Akinori Ihara	4				30		
	Introductory Programming Course II		P	120004	1	Kenichi Matsumoto, Hideaki Hata		4			30		
	Principles of Signal Processing		L	120005	1	Hirokazu Kato, Takafumi Taketomi	2				15		
	Numerical Methods		L	120006	1	Hirokazu Kato, Takafumi Taketomi	2				15		
	Applied Analysis		L	120007	1	Yoshinobu Sato, Yoshito Otake	2				15		
	Mathematics for Optimization		L	120008	1	Kenji Sugimoto	2				15		
	Multivariate Analysis		L	120009	1	—					15		N/A in this academic year
	Basic Data Analysis		L	120010	1	Shigehiko Kanaya	2				15		
	Specialized Subjects in Information Science	Introduction to Stochastic Processes		L	120011	1	Shoji Kasahara		2			15	
Combinatorics			L	120012	1	(Kenji Maruo)	2				15		
Algebraic Structures			L	120013	1	(Kenji Maruo)			2		15		
Theory of Computation I			C L	130001	1	Minoru Ito		2			15		
Theory of Computation II			C L	130002	1	Michiko Inoue, Fukuhito Ooshita		2			15		○
Fundamental of High Performance Computing			C L	130003	1	Yasuhiko Nakashima, Takashi Nakada		2			15		
Advanced Algorithm Design			C L	130004	1	Fukuhito Ooshita, Michiko Inoue		2			15		
Distributed Systems and Middleware			C L	130005	1	Keiichi Yasumoto	2				15		○
Software Design			C L	130006	1	Hajimu Iida, (Norihiko Yoshida), Eunjong Choi				Intensive lectures	15		
System Requirement Engineering			C L	130007	1	(Toshinori Takai), (Yasushi Tanaka), (Masafumi Katahira), (Naoki Ishihama), (Shinji Kawaguchi)				Intensive lectures	15		
Virtual Systems Infrastructure			C L	130008	1	Kohei Ichikawa, Yasuhiro Watahira				2	15		○
Software Engineering I			C L	131009	1	Kenichi Matsumoto, Akinori Ihara	2				15		
Software Engineering II			C L	132010	1	Takashi Ishio, Hideaki Hata			2		15		
Speech Processing			M L	130011	1	Satoshi Nakamura, Koichiro Yoshino, (Shinnosuke Takamichi), Sakti Sakriani Watiasri			2		15		
Artificial Intelligence			M L	130012	1	Masashi Shimbo, Hiroshi Noji	2				15		○
Ambient Intelligence			M L	130013	1	(Norihiko Hagita), Masayuki Kanbara			2		15		○
Natural Language Processing			M L	130014	1	Yuji Matsumoto, (Hideki Kashioka), Hiroyuki Shindo			2		15		
Computer Vision I			M L	131015	1	Tomokazu Sato			2		15		○
Computer Vision II			M L	132016	1	Yasuhiro Mukaigawa			2		15		
Computer Graphics			M L	130017	1	Takuya Funatomi	2				15		○
Virtual Reality			M L	130018	1	Kiyoshi Kiyokawa				2	15		
Digital Image Processing			M L	130019	1	Norihiko Kawai		2			15		
Coding Theory			C L	130020	1	(Yuichi Kaji)				2	15		○
Information Network I			C L	131021	2	Youki Kadobayashi, Doudou Fall	4				30		○
Information Network II			C L	132022	2	Kazutoshi Fujikawa, Ismail Arai, Masatoshi Kakiuchi, (Atsuo Inomata)			4		30		
Wireless Communication Systems			M L	130023	1	Minoru Okada, Takeshi Higashino, Duong Quang Thang		2			15		
Signal Detection Theory			M L	130024	1	Minoru Okada, Takeshi Higashino, Duong Quang Thang			2		15		○
Network Simulation			M L	130025	1	Minoru Okada, Takeshi Higashino, Duong Quang Thang			2		15		
Sequential Data Modeling			M L	130026	1	(Katsuhito Sudoh), Koichiro Yoshino, Sakti Sakriani Watiasri		2			15		○
Human Computer Interaction			M L	130027	1	Christian Sandor, Alexander Plopski				2	15		○
Pattern Recognition		M L	130028	1	Takuya Funatomi, Masayuki Kanbara		2			15			
Game Theory		A L	130029	1	Masahiro Sasabe		2			15			
Machine Learning and Intelligent Control		A L	131030	1	Takamitsu Matsubara		2			15		○	
Model-base Control		A L	132031	1	Kenji Sugimoto			2		15			
Robotics I		A L	131032	1	Tsukasa Ogasawara, Jun Takamatsu	2				15			
Robotics II		A L	132033	1	Tsukasa Ogasawara, Jun Takamatsu, (Yoshio Matsumoto), (Mitsunori Tada)			2		15		○	
Mathematical Modeling		A L	130034	1	Kazushi Ikeda, Hiroaki Sasahi		2			15			

Specialized Subjects in Information Science	Computational Neuroscience	A	L	130035	1	Junichiro Yoshimoto, Tomoya Tamei, (Jun Morimoto), (Kenji Doya)			2		15	○		
	Ubiquitous Information Processing	C	L	130036	1	Yutaka Arakawa	2				15			
	Bio-Imaging	A	L	130037	1	(Tadao Sugiura), (Hidehiro Iida), (Tsutomu Zeniya)			2		15			
	Systems Biology I	A	L	130038	1	Shigehiko Kanaya, Md.Altaf-Ul-Amin	2				15	○		
	Systems Biology II	A	L	130039	1	Shigehiko Kanaya, Md.Altaf-Ul-Amin				2		15		
	Biomedical Image Analysis	A	L	130040	1	Yoshinobu Sato				2		15	○	
	Biomedical Media Informatics	A	L	130041	1	Yoshito Otake		2				15		
	Big Data Analytics	G	L	130042	1	Satoshi Nakamura, Yu Suzuki, Koichiro Yoshino, Hiroki Tanaka, (Michiaki IWAZUME), (Nobuyuki Ishikawa)				2		15		
	Information Security & Our Society	C	L	130043	2	(Jun Murai), Youki Kadobayashi			2	2		30	○	
	Data Mining	A	L	130044	1	Md.Altaf-Ul-Amin				2		15		
	Mobile Computing	C	L	130045	1	Naoki Shibata		2				15	○	
	Advanced Cutting-edge Research Seminar I	G	L	130046	1	Tomoya Kawakami, Yasuhiro Watashiba, Hiroshi Noji, Koichiro Yoshino, Duong Quang Thang, Alexander Plopski, Taisuke Kobayashi, Jun Kawahara, Hiroaki Sasaki, Huang Ming				2		15	○	10 classes will be offered. (1 credit for 2 classes)
	Advanced Cutting-edge Research Seminar II	G	L	130047	1	—						15	○	N/A in this academic year
	Advanced Cutting-edge Research Seminar III	G	L	130048	1	Tomoya Kawakami, Yasuhiro Watashiba, Hiroshi Noji, Koichiro Yoshino, Duong Quang Thang, Alexander Plopski, Taisuke Kobayashi, Jun Kawahara, Hiroaki Sasaki, Huang Ming				2		15	○	10 classes will be offered. (1 credit for 2 classes)
	Advanced Cutting-edge Research Seminar IV	G	L	130049	1	—						15	○	N/A in this academic year
	Project Practice I	G	P	130050	2	Faculty members in charge of respective themes and non-NAIST instructors	Different for respective themes					60		A few classes will be offered.
	Project Practice II	G	P	130051	2	—						60		N/A in this academic year
	Project Practice III	G	P	130052	2	Faculty members in charge of respective themes and non-NAIST instructors	Different for respective themes					60		A few classes will be offered.
	Project Practice IV	G	P	130053	2	—						60		N/A in this academic year
	Exercise in Practical Software Development I	G	P	130054	2	Hajimu Iida, Yasuhiro Watashiba, Eunjong Choi, Futoshi Yokota				2		30		
	Exercise in Practical Software Development II	G	P	130055	2	—						30		N/A in this academic year
	Theory of Advanced IT	G	L	130056	1	—						15		N/A in this academic year
	Studio of Advanced IT I	G	P	130057	2	Jun Takamatsu, (Yasushi Tanaka), (Toshinori Takai)	Different for respective themes					30		
	Studio of Advanced IT II	G	P	130058	2	Jun Takamatsu, (Yasushi Tanaka), (Toshinori Takai)	Different for respective themes					30		
	Introduction to Advanced Robot Technology	A	L	130059	1	—						15		N/A in this academic year
	Advanced Robot Design	A	P	130060	2	Jun Takamatsu, Masayuki Kanbara, Takamitsu Matsubara, Ming Ding	Intensive lectures					60		
	Advanced Robot Development Theory I	A	P	131061	1	Jun Takamatsu, Ming Ding	Intensive lectures					30		
	Advanced Robot Development Theory II	A	P	132062	1	Jun Takamatsu, Ming Ding, (Akihiko Yamaguchi)	Intensive lectures					30		
	Lecture of Information Security Management Literacy I	C	L	130063	1	(Hiromitsu Takagi), (Takashi Matsumoto), (Tetsutaro Uehara)	Intensive lectures					15		(at Osaka Univ. Nakanoshima Center)
	Lecture of Information Security Management Literacy II	C	L	130064	1	Kazutoshi Fujikawa, (Kazumasa Utashiro), (Atsuo Inomata), (Hisamichi Okamura), (Tomohiko Yamakawa)	Intensive lectures					15		(at Osaka Univ. Nakanoshima Center)
	Exercise for Information Security PBL A	C	P	130065	1	Kazutoshi Fujikawa, (Atsuo Inomata), Takeshi Okuda, (Shingo Okamura)	Intensive lectures					15		
	Exercise for Information Security PBL B	C	P	130066	1	Kazutoshi Fujikawa, (Atsuo Inomata), Takeshi Okuda, (Shingo Okamura)	Intensive lectures					15		
	Exercise for Information Security PBL C	C	P	130067	1	Kazutoshi Fujikawa, (Atsuo Inomata), Takeshi Okuda	Intensive lectures					15		
Exercise for Information Security PBL D	C	P	130068	1	Youki Kadobayashi, Takeshi Okuda, (Yoichi Shinoda), (Shinsuke Miwa)	Intensive lectures					15			
Exercise for Information Security PBL E	C	P	130069	1	Kazutoshi Fujikawa, Atsuo Inomata, Takeshi Okuda	Intensive lectures					15			
Exercise for Information Security PBL F	C	P	130070	1	(Atsuo Inomata), Takeshi Okuda, (Hideaki Sone), Yuichi Hayashi, (Naofumi Honma)	Intensive lectures					15			
Exercise for Information Security PBL G	C	P	130071	1	Kazutoshi Fujikawa, (Atsuo Inomata), Takeshi Okuda, (Shingo Okamura)	Intensive lectures					15			
Hardware Security	C	L	130072	1	Yuichi Hayashi		2				15			
General Subjects	Commentaries on Science and Technology			000201	1	Faculty members in charge		2			15		Common subject for all schools.	
	Science Communication			000203	1	Faculty members in charge			4		15		Common subject for all schools.	
	Skills for English Presentation I			110001	1	(David Sell)	2				15	○	Tuesday and Friday (Based on TOEIC score)	
	Methods of English Communication I			110002	1	Mike Barker			2		15	○		
	Methods of English Communication II			111003	1	Mike Barker				2	15	○		
	Advanced Scientific Writing			112004	1	Mike Barker		2			15	○		
	Skills for English Presentation II			110005	1	Mike Barker	2				15	○		
	Project Management for Research			110006	1	Mike Barker		2			15	○		
Literature Search			110007	1	Mike Barker			2		15	○			
Digital Media			110008	1	Mike Barker				2	15	○			

General Subjects	Intercultural Communication	110009	1	(David Sell)				2	15	○	Advanced Specific Field Seminar II	
	Intellectual Property Rights	110010	1	Kozo Kubo			2		15	○		
	Global Entrepreneur I	111011	1	Faculty members in charge	Intensive lectures				15			
	Global Entrepreneur II	111012	1	Faculty members in charge	Intensive lectures				15			
	Global Entrepreneur III	112013	1	Faculty members in charge	Intensive lectures				15			
	Global Entrepreneur IV	112014	1	Faculty members in charge	Intensive lectures				15			
	Global Entrepreneur V	112015	1	Faculty members in charge	Intensive lectures				15			
	Philosophy of Science	000103	1	(Hiroshi Nakao)		4			15		Common subject for all schools.	
	Technology and Professional Ethics	000104	1	(Shushi Ueda)			2		15	○	Common subject for all schools.	
	Information Technology for Environmental Issues	110016	1	—	—				15		N/A in this academic year	
	Japanese Culture	000105	2	(Adarsh Bala Sharma)	2	2	2	2	30	○	Common subject for all schools.	
	Japanese Class for Beginners I	000303	2	(Mikiko Iwasaki), (Noriko Kuni), (Akiyo Kasai)			4		30		Common subject for all schools. For students from abroad	
	Japanese Class for Beginners II (1)	000204	1	(Noriko Nakao)			2		15		Common subject for all schools. For students from abroad	
	Japanese Class for Beginners II (2)	000205	1	(Noriko Nakao)	2				15		Common subject for all schools. For students from abroad	
	Japanese Class for Beginners III(1)	000206	1	(Masako Hashimoto)			2		15		Common subject for all schools. For students from abroad	
	Japanese Class for Beginners III(2)	000207	1	(Masako Hashimoto)	2				15		Common subject for all schools. For students from abroad	
	Academic Volunteer I	110017	1	Faculty members in charge	Different for respective themes				30			
	Academic Volunteer II	110018	1	Faculty members in charge	Different for respective themes				30			
	Advanced Topics in Information Science	Advanced Computing Architecture I	140001	1	Yasuhiko Nakashima, Takashi Nakada, Tran Thi Hong, Renyuan Zhang	Different for respective subjects						
		Advanced Computing Architecture II	140002	1	Yasuhiko Nakashima, Takashi Nakada, Tran Thi Hong, Renyuan Zhang	Different for respective subjects						
Advanced Computing Architecture III		140003	1	Yasuhiko Nakashima, Takashi Nakada, Tran Thi Hong, Renyuan Zhang	Different for respective subjects							
Advanced Computing Architecture IV		140004	1	Yasuhiko Nakashima, Takashi Nakada, Tran Thi Hong, Renyuan Zhang	Different for respective subjects							
Advanced Dependable System I		140005	1	Michiko Inoue, Fukuhito Ooshita	Different for respective subjects							
Advanced Dependable System II		140006	1	Michiko Inoue, Fukuhito Ooshita	Different for respective subjects							
Advanced Dependable System III		140007	1	Michiko Inoue, Fukuhito Ooshita	Different for respective subjects							
Advanced Dependable System IV		140008	1	Michiko Inoue, Fukuhito Ooshita	Different for respective subjects							
Advanced Ubiquitous Computing Systems I		140009	1	Keiichi Yasumoto, Yutaka Arakawa, Hirohiko Suwa, Manato Fujimoto	Different for respective subjects							
Advanced Ubiquitous Computing Systems II		140010	1	Keiichi Yasumoto, Yutaka Arakawa, Hirohiko Suwa, Manato Fujimoto	Different for respective subjects							
Advanced Ubiquitous Computing Systems III		140011	1	Keiichi Yasumoto, Yutaka Arakawa, Hirohiko Suwa, Manato Fujimoto	Different for respective subjects							
Advanced Ubiquitous Computing Systems IV		140012	1	Keiichi Yasumoto, Yutaka Arakawa, Hirohiko Suwa, Manato Fujimoto	Different for respective subjects							
Advanced Mobile Computing I		140013	1	Minoru Ito, Naoki Shibata	Different for respective subjects							
Advanced Mobile Computing II		140014	1	Minoru Ito, Naoki Shibata	Different for respective subjects							
Advanced Mobile Computing III		140015	1	Minoru Ito, Naoki Shibata	Different for respective subjects							
Advanced Mobile Computing IV		140016	1	Minoru Ito, Naoki Shibata	Different for respective subjects							
Advanced Software Engineering I		140017	1	Kenichi Matsumoto, Takashi Ishio, Akinori Ihara, Hiroaki Hata	Different for respective subjects							
Advanced Software Engineering II		140018	1	Kenichi Matsumoto, Takashi Ishio, Akinori Ihara, Hiroaki Hata	Different for respective subjects							
Advanced Software Engineering III		140019	1	Kenichi Matsumoto, Takashi Ishio, Akinori Ihara, Hiroaki Hata	Different for respective subjects							
Advanced Software Engineering IV		140020	1	Kenichi Matsumoto, Takashi Ishio, Akinori Ihara, Hiroaki Hata	Different for respective subjects							
Advanced Software Design and Analysis I		140021	1	Hajimu Iida, Kohei Ichikawa	Different for respective subjects							
Advanced Software Design and Analysis II		140022	1	Hajimu Iida, Kohei Ichikawa	Different for respective subjects							
Advanced Software Design and Analysis III		140023	1	Hajimu Iida, Kohei Ichikawa	Different for respective subjects							
Advanced Software Design and Analysis IV		140024	1	Hajimu Iida, Kohei Ichikawa	Different for respective subjects							
Advanced Cyber Resilience I		140025	1	Youki Kadobayashi	Different for respective subjects							
Advanced Cyber Resilience II		140026	1	Youki Kadobayashi	Different for respective subjects							
Advanced Cyber Resilience III		140027	1	Youki Kadobayashi	Different for respective subjects							
Advanced Cyber Resilience IV		140028	1	Youki Kadobayashi	Different for respective subjects							
Advanced Information Security Engineering I		140029	1	Yuichi Hayashi	Different for respective subjects							
Advanced Information Security Engineering II		140030	1	Yuichi Hayashi	Different for respective subjects							
Advanced Information Security Engineering III		140031	1	Yuichi Hayashi	Different for respective subjects							
Advanced Information Security Engineering IV		140032	1	Yuichi Hayashi	Different for respective subjects							
Advanced Internet Architecture and Systems I		140033	1	Kazutoshi Fujikawa, Ismail Arai, Masatoshi Kakiuchi, Akira Yutani	Different for respective subjects							
Advanced Internet Architecture and Systems II		140034	1	Kazutoshi Fujikawa, Ismail Arai, Masatoshi Kakiuchi, Akira Yutani	Different for respective subjects							
Advanced Internet Architecture and Systems III		140035	1	Kazutoshi Fujikawa, Ismail Arai, Masatoshi Kakiuchi, Akira Yutani	Different for respective subjects							
Advanced Internet Architecture and Systems IV		140036	1	Kazutoshi Fujikawa, Ismail Arai, Masatoshi Kakiuchi, Akira Yutani	Different for respective subjects							
Advanced Computational Linguistics I		140037	1	Yuji Matsumoto, Masashi Shimbo, Hiroyuki Shindo, Hiroshi Noji	Different for respective subjects							
Advanced Computational Linguistics II		140038	1	Yuji Matsumoto, Masashi Shimbo, Hiroyuki Shindo, Hiroshi Noji	Different for respective subjects							
Advanced Computational Linguistics III		140039	1	Yuji Matsumoto, Masashi Shimbo, Hiroyuki Shindo, Hiroshi Noji	Different for respective subjects							
Advanced Computational Linguistics IV		140040	1	Yuji Matsumoto, Masashi Shimbo, Hiroyuki Shindo, Hiroshi Noji	Different for respective subjects							
Advanced Augmented Human Communication I	140041	1	Satoshi Nakamura	Different for respective subjects								
Advanced Augmented Human Communication II	140042	1	Satoshi Nakamura	Different for respective subjects								

Advanced Topics in Information Science	Advanced Augmented Human Communication III	140043	1	Satoshi Nakamura	Different for respective subjects							
	Advanced Augmented Human Communication IV	140044	1	Satoshi Nakamura	Different for respective subjects							
	Advanced Network Systems I	140045	1	Minoru Okada, Takeshi Higashino, Duong Quang Thang	Different for respective subjects							
	Advanced Network Systems II	140046	1	Minoru Okada, Takeshi Higashino, Duong Quang Thang	Different for respective subjects							
	Advanced Network Systems III	140047	1	Minoru Okada, Takeshi Higashino, Duong Quang Thang	Different for respective subjects							
	Advanced Network Systems IV	140048	1	Minoru Okada, Takeshi Higashino, Duong Quang Thang	Different for respective subjects							
	Advanced Interactive Media Design I	140049	1	Hirokazu Kato, Christian Sandor, Takafumi Taketomi, Alexander Plopski	Different for respective subjects							
	Advanced Interactive Media Design II	140050	1	Hirokazu Kato, Christian Sandor, Takafumi Taketomi, Alexander Plopski	Different for respective subjects							
	Advanced Interactive Media Design III	140051	1	Hirokazu Kato, Christian Sandor, Takafumi Taketomi, Alexander Plopski	Different for respective subjects							
	Advanced Interactive Media Design IV	140052	1	Hirokazu Kato, Christian Sandor, Takafumi Taketomi, Alexander Plopski	Different for respective subjects							
	Advanced Optical Media Interface I	140053	1	Yasuhiro Mukaigawa	Different for respective subjects							
	Advanced Optical Media Interface II	140054	1	Yasuhiro Mukaigawa	Different for respective subjects							
	Advanced Optical Media Interface III	140055	1	Yasuhiro Mukaigawa	Different for respective subjects							
	Advanced Optical Media Interface IV	140056	1	Yasuhiro Mukaigawa	Different for respective subjects							
	Cybernetics and Reality Engineering I	140057	1	Kiyoshi Kiyokawa	Different for respective subjects							
	Cybernetics and Reality Engineering II	140058	1	Kiyoshi Kiyokawa	Different for respective subjects							
	Cybernetics and Reality Engineering III	140059	1	Kiyoshi Kiyokawa	Different for respective subjects							
	Cybernetics and Reality Engineering IV	140060	1	Kiyoshi Kiyokawa	Different for respective subjects							
	Advanced Ambient Intelligence I	140061	1	(Norihiro Hagita)	Different for respective subjects							
	Advanced Ambient Intelligence II	140062	1	(Norihiro Hagita)	Different for respective subjects							
	Advanced Ambient Intelligence III	140063	1	(Norihiro Hagita)	Different for respective subjects							
	Advanced Ambient Intelligence IV	140064	1	(Norihiro Hagita)	Different for respective subjects							
	Advanced Robotics I	140065	1	Tsukasa Ogasawara, Jun Takamatsu, Ming Ding	Different for respective subjects							
	Advanced Robotics II	140066	1	Tsukasa Ogasawara, Jun Takamatsu, Ming Ding	Different for respective subjects							
	Advanced Robotics III	140067	1	Tsukasa Ogasawara, Jun Takamatsu, Ming Ding	Different for respective subjects							
	Advanced Robotics IV	140068	1	Tsukasa Ogasawara, Jun Takamatsu, Ming Ding	Different for respective subjects							
	Advanced Intelligent System Control I	140069	1	Kenji Sugimoto, Takamitsu Matsubara, Taisuke Kobayashi, Masaki Ogura	Different for respective subjects							
	Advanced Intelligent System Control II	140070	1	Kenji Sugimoto, Takamitsu Matsubara, Taisuke Kobayashi, Masaki Ogura	Different for respective subjects							
	Advanced Intelligent System Control III	140071	1	Kenji Sugimoto, Takamitsu Matsubara, Taisuke Kobayashi, Masaki Ogura	Different for respective subjects							
	Advanced Intelligent System Control IV	140072	1	Kenji Sugimoto, Takamitsu Matsubara, Taisuke Kobayashi, Masaki Ogura	Different for respective subjects							
	Advanced Large-Scale Systems Management I	140073	1	Shoji Kasahara, Masahiro Sasabe, Jun Kawahara	Different for respective subjects							
	Advanced Large-Scale Systems Management II	140074	1	Shoji Kasahara, Masahiro Sasabe, Jun Kawahara	Different for respective subjects							
	Advanced Large-Scale Systems Management III	140075	1	Shoji Kasahara, Masahiro Sasabe, Jun Kawahara	Different for respective subjects							
	Advanced Large-Scale Systems Management IV	140076	1	Shoji Kasahara, Masahiro Sasabe, Jun Kawahara	Different for respective subjects							
	Advanced Mathematical Informatics I	140077	1	Kazushi Ikeda	Different for respective subjects							
	Advanced Mathematical Informatics II	140078	1	Kazushi Ikeda	Different for respective subjects							
	Advanced Mathematical Informatics III	140079	1	Kazushi Ikeda	Different for respective subjects							
	Advanced Mathematical Informatics IV	140080	1	Kazushi Ikeda	Different for respective subjects							
	Advanced Imaging-based Computational Biomedicine I	140081	1	Yoshinobu Sato, Yoshito Otake	Different for respective subjects							
	Advanced Imaging-based Computational Biomedicine II	140082	1	Yoshinobu Sato, Yoshito Otake	Different for respective subjects							
	Advanced Imaging-based Computational Biomedicine III	140083	1	Yoshinobu Sato, Yoshito Otake	Different for respective subjects							
	Advanced Imaging-based Computational Biomedicine IV	140084	1	Yoshinobu Sato, Yoshito Otake	Different for respective subjects							
	Advanced Computational Systems Biology I	140085	1	Shigehiko Kanaya	Different for respective subjects							
	Advanced Computational Systems Biology II	140086	1	Shigehiko Kanaya	Different for respective subjects							
	Advanced Computational Systems Biology III	140087	1	Shigehiko Kanaya	Different for respective subjects							
Advanced Computational Systems Biology IV	140088	1	Shigehiko Kanaya	Different for respective subjects								
Doctoral Course	Seminar I	140101	1	Faculty members in charge of courses selected by students	2					15		
	Seminar II	140102	1	Faculty members in charge of courses selected by students	2					15		
	Research Work	150001	4	Faculty members in charge of courses selected by students								
	Theme Research	150002	4	Faculty members in charge of courses selected by students								
	International Communications A	160001	1	Mike Barker, (David Sell)	2	2	2	2	2	15	○	
	International Communications B	160002	1	Mike Barker, (David Sell)	2	2	2	2	2	15	○	
	International Practice A	160003	2	Faculty members in charge of courses selected by students	Different for respective themes					30	○	10 classes will be offered. (credit for 2 classes)
	International Practice B	160004	2	Faculty members in charge of courses selected by students	Different for respective themes					30	○	10 classes will be offered. (credit for 2 classes)
	International Practice C	160005	2	Faculty members in charge of courses selected by students	Different for respective themes					30	○	10 classes will be offered. (credit for 2 classes)
	Advanced Specific Field Seminar I	160006	1	—	—					15	○	N/A in this academic year
	Advanced Specific Field Seminar II	160007	1	(David Sell)					2	15	○	
	Advanced Cutting-edge Research Seminar I	160008	1	Faculty members in charge					2	15	○	
Advanced Cutting-edge Research Seminar II	160009	1	Faculty members in charge					2	15	○		

Doctoral Course	Advanced Cutting-edge Research Seminar III	160010	1	Faculty members in charge				2	15	○	
	Advanced Cutting-edge Research Seminar IV	160011	1	Faculty members in charge				2	15	○	
	Advanced Project Management	160012	2	Faculty members in charge of courses selected by students	Offered as necessary				30		
	Research Status Hearing	160013	2	Faculty members in charge of courses selected by students	Offered as necessary				30		
	Doctoral Research I	170001	3	Faculty members in charge of courses selected by students	Offered as necessary				45		
	Doctoral Research III	170003	3	Faculty members in charge of courses selected by students	Offered as necessary				45		
	Doctoral Research V	170005	3	Faculty members in charge of courses selected by students	Offered as necessary				45		
	Doctoral Research II	170002	3	Faculty members in charge of courses selected by students			Offered as necessary		45		
	Doctoral Research IV	170004	3	Faculty members in charge of courses selected by students			Offered as necessary		45		
	Doctoral Research VI	170006	3	Faculty members in charge of courses selected by students			Offered as necessary		45		

• “L” in the “Type” column stands for lectures, “P” for practices.

• “C” in the “Domain” column stands for the computer science domain, “M” for the media informatics domain, “A” for the system informatics domain, and “G” for common subjects in different domain.

• Faculty members in charge shown in parentheses are part-time instructors. The detailed schedule for intensive lectures can be found in the electronic syllabus.

• Students can take Advanced Topics in Information Science provided by a laboratory different from the one they belong to though the credits of those subjects shall not count as credits toward completion. See the electronic syllabus for the information on whether each Advanced Topics in Information Science can be taken by students belonging to different laboratories.

Numbering Information

Subject numbers consist of 6-digit numbers based on levels, difficulties, and other elements of courses. Please review the following information carefully before you register for courses.

[How to read the subject numbers]

First digit : The first digit in the 6-digit numbers indicates categories of common subjects or subjects offered by each Graduate School:

- 0XXXXX** = Common Subjects for All Graduate Schools
- 1XXXXX** = Subjects offered by the Graduate School of Information Science
- 2XXXXX** = Subjects offered by the Graduate School of Biological Sciences
- 3XXXXX** = Subjects offered by the Graduate School of Materials Science

Second digit : The second digit in the 6-digit numbers indicates levels of subjects:

- X0XXXX** = Common subjects [For master' s course]
- X1XXXX** = General subjects [For master' s course]
- X2XXXX** = Basic subjects [For master' s course]
- X3XXXX** = Specialized subjects [For master' s course]
- X4XXXX** = Advanced topics (Laboratory Activities) / Seminar
[For master' s course]
- X5XXXX** = Thesis / Specialized research / Research [For master' s course]
- X6XXXX** = Doctoral subjects (Except below doctoral subject)
[For doctoral course]
- X7XXXX** = Dissertation / Research [For doctoral course]

Third digit : The third digit in the 6-digit numbers indicates difficulties of subjects:

- XX0XXX** = No category
- XX1XXX** = Basic
- XX2XXX** = Intermediate
- XX3XXX** = Advanced

Fourth, Fifth and Sixth digits : The fourth, fifth and sixth digits in the 6-digit numbers indicate serial numbers in each category indicated by the second digit:

- XXXXXX** = Serial numbers (ranging from 001 to 999) based on levels of subjects categorized by second digit.

Regarding the fourth to sixth digits in the 6-digit numbers of common subjects or subjects offered by other Graduate Schools refer to the following.

i) For common subjects with the first digit of “0”, please refer to the following guideline.

Fourth digit : The fourth digit in the 6-digit numbers indicates categories of subjects offered by each Graduate School:

XXX1XX = Subjects offered by the Graduate School of Information Science

XXX2XX = Subjects offered by the Graduate School of Biological Sciences

XXX3XX = Subjects offered by the Graduate School of Materials Science

Fifth and Sixth digits : The fifth and sixth digits in the 6-digit numbers indicate serial numbers assigned by each Graduate School.

XXXXXX = Serial numbers (ranging from 01 to 99) assigned by each Graduate School

ii) For subjects offered by other Graduate Schools with the first digit of “2 or 3”, please refer to other Graduate Schools guideline.

Quarter I (Thursday, April 6 – Friday, June 2)

Timetable for 2017

	Mon.	Tue.	Wed.	Thu.	Fri.
1st period 9:20 10:50	Advanced Topics in Information Science I / II / III / IV		Advanced Topics in Information Science I / II / III / IV	Principles of Signal Processing [L1]	Basic Data Analysis [L1]
		* Systems Biology I [L2]		Introduction to Formal Language Theory [L2]	* Information Network I [L2]
				* Distributed Systems and Middleware [L3]	System Requirement Engineering ※8 [L3]
2nd period 11:00 12:30	Advanced Topics in Information Science I / II / III / IV	Software Engineering I [L1]	Advanced Topics in Information Science I / II / III / IV	Robotics I [L1]	Numerical Methods [L1]
		* Artificial Intelligence [L2]		* Computer Graphics [L2]	* Information Network I [L2]
		Mathematics for Optimization [L3]			System Requirement Engineering ※8 [L3]
3rd period 13:30 15:00	Seminar I / II [L1,L2,L3]	Applied Analysis [L1]	Seminar I / II [L1,L2,L3]	Combinatorics [L1]	
				Ubiquitous Information Processing [L2]	* Skills for English Presentation II [L2]
		* Skills for English Presentation I ※1 [L3]			* Skills for English Presentation I ※1 [L3]
4th period 15:10 16:40	Research Work / Theme Research	Computer System ※2※3 [L1,L2,L3]	Research Work / Theme Research	Introductory Programming Course I [A207]	Computer System ※2※3 [L1,L2,L3]
		Introduction to Biological Science ※5 [BS Large Lecture Room]		Project Practice I / III ※7 [Depends on the theme]	Introduction to Biological Science ※5 [BS Large Lecture Room]
		Japanese Class for Beginners II(2) ※9 [Bio L13]			* Japanese Culture ※6 [L3]
5th period 16:50 18:20	Research Work / Theme Research	Computer System ※2 ※3 [L1,L2,L3]	Research Work / Theme Research	Introductory Programming Course I [A207]	Computer System ※2※3 [L1,L2,L3]
		Algorithm ※2 ※4 [L1,L2,L3]		Project Practice I / III ※7 [Depends on the theme]	Algorithm ※2 ※4 [L1,L2,L3]
		Japanese Class for Beginners III(2) ※10 [Bio L13]			
Remarks	<p>* : English subject</p> <p>※1 Skills for English Presentation I on Tuesday is recommended for students whose TOEIC score is 400 points or higher. Classes on Friday are recommended for students whose TOEIC score is less than 400 points.</p> <p>※2 Computer System, Algorithm are available for students admitted in autumn via the video archive in Quarter III. (Students are required to contact faculty members in charge of lectures in Quarter I by the end of the first week of Quarter III.)</p> <p>※3 Computer System: 4/18(Tue.), 4/21(Fri.), 4/25(Tue.), 4/28(Fri.) (4th & 5th periods, 8 lectures)</p> <p>※4 Algorithm: 5/2(Tue.), 5/9(Tue.), 5/12(Fri.), 5/16(Tue.), 5/19(Fri.), 5/26(Fri.), 5/30(Tue.), 6/2(Tue.) (8 lectures)</p> <p>※5 Introduction to Biological Science: 5/2(Tue.), 5/9(Tue.), 5/12(Fri.), 5/16(Tue.), 5/19(Fri.), 5/26(Fri.), 5/30(Tue.), 6/2(Tue.) (8 lectures)</p> <p>※6 Japanese Culture: 4/7(Fri.), 4/14(Fri.), 4/15(Sat., Field trip 1), 4/21(Fri.), 4/22(Sat., Field trip 2), 4/28(Fri.), 5/12(Fri.), 5/19(Fri.), 5/26(Fri.), 6/2(Fri.), 6/9(Fri.), 6/16(Fri.), 6/30(Fri.), 7/14(Fri.), 7/21(Fri.), 7/28(Fri.) (16 lectures)</p> <p>※7 Project Practice I / III: Different for respective themes</p> <p>※8 System Requirement Engineering: To be announced separately</p> <p>※9 Japanese Class for Beginners II(2) is for students from abroad. Schedule : 4/18(Tue.), 4/25(Tue.), 5/2(Tue.), 5/9(Tue.), 5/16(Tue.), 5/23(Tue.), 5/30(Tue.), 6/6(Tue.) (8 lectures)</p> <p>※10 Japanese Class for Beginners III(2) is for students from abroad. Schedule : 4/18(Tue.), 4/25(Tue.), 5/2(Tue.), 5/9(Tue.), 5/16(Tue.), 5/23(Tue.), 5/30(Tue.), 6/6(Tue.) (8 lectures)</p> <p>☆Detail of the schedule of the following intensive lectures will be announced separately. Studio of Advanced IT I / II Advanced Robot Design Advanced Robot Development Theory I / II Lecture of Information Security Management Literacy I / II Exercise for Information Security PBL A/B/C/D/E/F/G Global Entrepreneur I / II / III / IV / V Academic Volunteer I / II</p>				

Quarter II (Monday, June 5 – Wednesday, August 2)

(Classes are closed on June 21 (Wed.) due to medical checkup and on July 5 – 8 due to the 1st entrance examination for Master's course.
Classes for Thursday are provided on July 31 (Mon.). Classes for Friday are provided on August 1st (Tue.).)

	Mon.	Tue.	Wed.	Thu.	Fri.
1st period 9:20 10:50	Advanced Topics in Information Science I / II / III / IV	Fundamental of High Performance Computing [L1]	Advanced Topics in Information Science I / II / III / IV	Theory of Computation I [L1]	Digital Image Processing [L1]
		* Sequential Data Modeling [L2]		* Mobile Computing [L2]	Advanced Algorithm Design [L2]
		Biomedical Media Informatics [L3]		Game Theory [L3]	System Requirement Engineering ※8 [L3]
2nd period 11:00 12:30	Advanced Topics in Information Science I / II / III / IV	Pattern Recognition [L1]	Advanced Topics in Information Science I / II / III / IV	Wireless Communication Systems [L1]	Information Theory ※12 [L1]
		Hardware Security [L2]		* Theory of Computation II [L2]	* Machine Learning and Intelligent Control [L2]
				Mathematical Modeling [L3]	Software Design ※13 [L3]
3rd period 13:30 15:00	Seminar I / II [L1,L2,L3]		Seminar I / II [L1,L2,L3] Supervisors	Multivariate Analysis [L1]	Information Theory ※12 [L1]
		* Project Management for Research [L2]			* Advanced Scientific Writing [L2]
		Introduction to Stochastic Processes [L3]			Software Design ※13 [L3]
4th period 15:10 16:40	Research Work / Theme Research	Philosophy of Science ※14 [L1]	Research Work / Theme Research	Introductory Programming Course II [A207]	Philosophy of Science ※14 [L1]
		Introduction to Biological Science ※5 [BS Large Lecture Room]		Project Practice I / III ※7 [Depends on the theme]	* Japanese Culture ※6 [L3]
		Commentaries on Science and Technology ※15 [Millennium Hall]			Commentaries on Science and Technology ※15 [Millennium Hall]
5th period 16:50 18:20	Research Work / Theme Research	Philosophy of Science ※14 [L1]	Research Work / Theme Research	Introductory Programming Course II [A207]	Philosophy of Science ※14 [L1]
		Foundation of Materials Science ※11 [MS Large Lecture Room]		Project Practice I / III ※7 [Depends on the theme]	Foundation of Materials Science ※11 [MS Large Lecture Room]
Remarks	<p>*: English subject</p> <p>※5 Introduction to Biological Science: 5/2(Tue.), 5/9(Tue.), 5/12(Fri.), 5/16(Tue.), 5/19(Fri.), 5/26(Fri.), 5/30(Tue.), 6/6(Tue.) (8 lectures)</p> <p>※6 Japanese Culture: 4/7(Fri.), 4/14(Fri.), 4/15(Sat., Field trip 1), 4/21(Fri.), 4/22(Sat., Field trip 2), 4/28(Fri.), 5/12(Fri.), 5/19(Fri.), 5/26(Fri.), 6/2(Fri.), 6/9(Fri.), 6/16(Fri.), 6/30(Fri.), 7/14(Fri.), 7/21(Fri.), 7/28(Fri.) (16 lectures)</p> <p>※7 Project Practice I / III: Different for respective themes</p> <p>※8 System Requirement Engineering: To be announced separately</p> <p>※11 Foundation of Materials Science: 6/6(Tue.), 6/9(Fri.), 6/13(Tue.), 6/16(Fri.), 6/27(Tue.), 6/30(Fri.), 7/11(Tue.), 7/14(Fri.) (8 lectures)</p> <p>※12 information Theory: To be announced separately</p> <p>※13 Software Design: To be announced separately</p> <p>※14 Philosophy of Science: 7/18(Tue.), 7/21(Fri.), 7/25(Tue.), 7/28(Fri.) (4th & 5th periods, 8 lectures)</p> <p>※15 Commentaries on Science and Technology: 6/9(Fri.), 6/13(Tue.), 6/16(Fri.), 6/27(Tue.), 6/30(Fri.), 7/4(Tue.), 7/11(Tue.), 7/14(Fri.) (8 lectures)</p> <p>☆ Detail of the schedule of the following intensive lectures will be announced separately.</p> <p>Studio of Advanced IT I / II</p> <p>Advanced Robot Design</p> <p>Advanced Robot Development Theory I / II</p> <p>Lecture of Information Security Management Literacy I / II</p> <p>Exercise for Information Security PBL A/B/C/D/E/F/G</p> <p>Global Entrepreneur I / II / III / IV / V</p> <p>Academic Volunteer I / II</p>				

Quarter III (Tuesday, October 3 – Wednesday, November 29)

(Classes are closed during October 10–11 due to the 2nd entrance examination for Master's course.
Classes for Thursday are provided on November 27 (Mon.). Classes for Friday are provided on November 29 (Wed.).)

	Mon.	Tue.	Wed.	Thu.	Fri.
1st period 9:20 10:50	Advanced Topics in Information Science I / II / III / IV	Information Network II [L1]	Advanced Topics in Information Science I / II / III / IV		Information Network II [L1]
		* Signal Detection Theory [L2]		Natural Language Processing [L2]	* Computational Neuroscience [L2]
		Computer Vision II [L3]			Network Simulation [L3]
2nd period 11:00 12:30	Advanced Topics in Information Science I / II / III / IV	Software Engineering II [L1]	Advanced Topics in Information Science I / II / III / IV	* Robotics II [L1]	Bio-Imaging [L1]
		* Ambient Intelligence [L2]		* Information Security & Our Society [L2]	* Computer Vision I [L2]
		Systems Biology II [L3]		Speech Processing [L3]	
3rd period 13:30 15:00	Seminar I / II [L1,L2,L3]	* Intellectual Property Rights [L1]	Seminar I / II [L1,L2,L3]	Data Mining [L1]	* Literature Search [L1]
		Model-base Control [L2]		* Methods of English Communication I [L2]	
				Algebraic Structures [L3]	Big Data Analytics [L3]
4th period 15:10 16:40	Research Work / Theme Research	Science Communication ※16 [Bio L12]	Research Work / Theme Research	Exercise in Practical Software Development I [A207]	
		Japanese Class for Beginners I ※19 [Material F105]		Project Practice I / III ※7 [Depends on the theme]	
		Japanese Class for Beginners II(1) ※20 [Bio L13]			* Japanese Culture ※18 [L3]
5th period 16:50 18:20	Research Work / Theme Research	Science Communication ※16 [Bio L12]	Research Work / Theme Research	Exercise in Practical Software Development I [A207]	* Technology and Professional Ethics ※17 [L1]
		Japanese Class for Beginners I ※19 [Material F105]		Project Practice I / III ※7 [Depends on the theme]	
		Japanese Class for Beginners III(1) ※21 [Bio L13]			
Remarks	*: English subject ※7 Project Practice I / III: Different for respective themes ※16 Science Communication: 10/24(Tue.), 10/31(Tue.), 11/7 (Tue.), 11/14 (Tue.) (4th and 5th periods, 8 lectures) ※17 Technology and Professional Ethics: 10/13(Fri.), 10/20(Fri.), 10/27(Fri.), 11/10(Fri.), 11/17(Fri.), 11/24(Fri.), 12/1 (Fri.), 12/8(Fri.) (8 lectures) ※18 Japanese Culture(fall): 10/13(Fri.), 10/20 (Fri.), 10/21 (Sat., Field trip 1), 10/27(Fri.), 10/28(Sat., Field trip 2), 11/10(Fri.), 11/17(Fri.), 11/24(Fri.), 12/1(Fri.), 12/8(Fri.), 12/15(Fri.), 12/22(Fri.), 1/5(Fri.), 1/12(Fri.), 1/19(Fri.), 1/26(Fri.) (16 lectures) ※19 Japanese Class for Beginners I: 10/17(Tue.), 10/24(Tue.), 10/31(Tue.), 11/7(Tue.), 11/14(Tue.), 11/21(Tue.), 11/28(Tue.), 12/5(Tue.) (4th and 5th periods, 16 lectures) ※20 Japanese Class for Beginners II(1): 10/17(Tue.), 10/24(Tue.), 10/31(Tue.), 11/7(Tue.), 11/14(Tue.), 11/21(Tue.), 11/28(Tue.), 12/5(Tue.) (8 lectures) ※21 Japanese Class for Beginners III(1): 10/17(Tue.), 10/24(Tue.), 10/31(Tue.), 11/7(Tue.), 11/14(Tue.), 11/21(Tue.), 11/28(Tue.), 12/5(Tue.) (8 lectures) ☆ Detail of the schedule of the following intensive lectures will be announced separately. Studio of Advanced IT I / II Advanced Robot Design Advanced Robot Development Theory I / II Lecture of Information Security Management Literacy I / II Exercise for Information Security PBL A/B/C/D/E/F/G Global Entrepreneur I / II / III / IV / V Academic Volunteer I / II				

Timetable for 2017

Quarter IV (Thursday, November 30 – Thursday, February 1)
 (December 23 (Sat.)–January 3 (Wed.): Winter Shutdown. February 2 (Fri.) – 9 (Fri.) are for supplementary classes.
 Classes for Tuesday are provided on February 1st (Thu.)

	Mon.	Tue.	Wed.	Thu.	Fri.
1st period 9:20 10:50	Advanced Topics in Information Science I / II / III / IV	* Advanced Cutting-edge Research Seminar I / III [L1,L2,L3]	Advanced Topics in Information Science I / II / III / IV	* Advanced Cutting-edge Research Seminar I / III [L1,L2,L3]	* Virtual Systems Infrastructure [L1] * Coding Theory [L2]
2nd period 11:00 12:30	Advanced Topics in Information Science I / II / III / IV	* Human Computer Interaction [L1]	Advanced Topics in Information Science I / II / III / IV	Virtual Reality [L1] * Information Security & Our Society [L2]	* Medical Imaging Analysis [L1] * Coding Theory [L2]
3rd period 13:30 15:00	Seminar I / II [L1,L2,L3]	* Digital Media [L2]	Seminar I / II [L1,L2,L3]	* Methods of English Communication II [L2]	* Intercultural Communication [L3]
4th period 15:10 16:40	Research Work / Theme Research	Research Work / Theme Research Japanese Class for Beginners I ※19 [Material F105] Japanese Class for Beginners II(1) ※20 [Bio L13]	Research Work / Theme Research	Project Practice I / III ※7 [Depends on the theme]	Research Work / Theme Research * Japanese Culture ※18 [L3]
5th period 16:50 18:20	Research Work / Theme Research	Research Work / Theme Research Japanese Class for Beginners I ※19 [Material F105] Japanese Class for Beginners III(1) ※21 [Bio L13]	Research Work / Theme Research	Project Practice I / III ※7 [Depends on the theme]	Research Work / Theme Research
Remarks	*: English subject ※7 Project Practice I / III: Different for respective themes ※18 Japanese Culture (fall): 10/13 (Fri.), 10/20 (Fri.), 10/21 (Sat., Field trip 1), 10/27 (Fri.), 10/28 (Sat., Field trip 2), 11/10 (Fri.), 11/17 (Fri.), 11/24 (Fri.), 12/1 (Fri.), 12/8 (Fri.), 12/15 (Fri.), 12/22 (Fri.), 1/5 (Fri.), 1/12 (Fri.), 1/19 (Fri.), 1/26 (Fri.) (16 lectures) ※19 Japanese Class for Beginners I: 10/17 (Tue.), 10/24 (Tue.), 10/31 (Tue.), 11/7 (Tue.), 11/14 (Tue.), 11/21 (Tue.), 11/28 (Tue.), 12/5 (Tue.) (4th and 5th periods, 16 lectures) ※20 Japanese Class for Beginners II(1): 10/17 (Tue.), 10/24 (Tue.), 10/31 (Tue.), 11/7 (Tue.), 11/14 (Tue.), 11/21 (Tue.), 11/28 (Tue.), 12/5 (Tue.) (8 lectures) ※21 Japanese Class for Beginners III(1): 10/17 (Tue.), 10/24 (Tue.), 10/31 (Tue.), 11/7 (Tue.), 11/14 (Tue.), 11/21 (Tue.), 11/28 (Tue.), 12/5 (Tue.) (8 lectures) ☆ Detail of the schedule of the following intensive lectures will be announced separately. Studio of Advanced IT I / II Advanced Robot Design Advanced Robot Development Theory I / II Lecture of Information Security Management Literacy I / II Exercise for Information Security PBL A/B/C/D/E/F/G Global Entrepreneur I / II / III / IV / V Academic Volunteer I / II				

Timetable for 2017

How to access the electronic syllabus

The syllabus of the Graduate School of Information Science is posted on its website.

To view the syllabus, either visit (i) the URL below, or (ii) NAIST homepage → Website of Graduate School of Information Science → Education → e-Syllabus.

Electronic syllabus: <http://is-education.naist.jp/>

Evaluation of academic performance

1. After their academic performance has been evaluated, students will be informed of the result within three weeks after the completion of lectures via the graduate school website and the bulletin board, etc.

Academic performance can be checked via the automatic certificate issuing machine on the first floor of the NAIST Library.

2. In the event that students wish to object to the results they received, they must submit a “Letter of Objection concerning Evaluation of Academic Performance” (herein referred to as “Letter of Objection”) to the Academic Affairs Section of the Educational Affairs Division within 1 month of receiving the results.

(※) A Letter of Objection shall be accepted if deemed as pertaining to one of the following areas.

(1) Cases where it is thought there are obvious mistakes in grading, such as paperwork errors, etc.

(2) Cases where there are obvious doubts concerning academic performance evaluation in relationship to grading standards found in the syllabus, etc.

3. If, after deliberation, the graduate school Educational Affairs Committee (or the equivalent governing organization) finds the written explanation in response to the Letter of Objection to be justified, the response and the results from the committee’s deliberation shall be sent to the Academic Affairs Section of the Educational Affairs Division to then be reported in written form to the student in question.

Please see the following website for the form, flowchart, and further information.

○Information concerning objections to academic performance evaluation

https://ad-info.naist.jp/gakusei/gakumu_kankei/seisekituuti/seisekituuti.html

Research Ethics Training Session

1. NAIST offers Research Ethics Training Sessions every year to foster the ethical thinking necessary for researchers and technicians.

These sessions are offered in both Japanese and English.

2. Session times: April 14, 2017 16:50- 18:20 (For Spring students)

October 3, 2017 15:10- 16:40 (For Fall students)

3. Attendance is mandatory for all new students.

Please understand that if you do not successfully complete this session, you may experience some disadvantages during your studies.

English education

English learning programs at the Graduate School of Information Science

English proficiency is essential for participation in international activities in the field of information science. The Graduate School of Information Science supports students' advancement in English ability through programs they can access on their own and subjects in the curriculum. The available programs include TOEIC tests (twice a year), ALC NetAcademy 2 (an online system for learning English), and materials in the form of English CD-ROMs and journals.

Skills for English Presentation I and Methods of English Communication I, II are designed to improve oral communication skills. English Writing Skills and Skills for English Presentation II are designed to obtain writing skills for research papers and the various skills required for professional presentations in English. In Project Management for Research, Literature Search and Digital Media, students can learn advanced skills in scientific English. Students can also take Scientific English provided by Graduate School of Biological Sciences.

English proficiency is crucial in the field of information science, and, students are strongly encouraged to take full advantage of the programs offered.

Many subjects in the curriculum are provided in English. Students are encouraged to take these subjects. Opportunities are also available to attend lectures given by researchers from abroad and discussions in English at the various laboratories for training in asking questions and responding appropriately on specialized topics.

Toward Cultivating Globally-Aware Human Resources

The Nara Institute of Science and Technology (NAIST) was selected for the Top Global University Project by the Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology in September 2014. We promote study abroad programs in cooperation with 85 academic exchange partner institutions in the world including the University of California, Davis. We also promote participation in overseas internship programs and international workshops.

The master's program aims to foster students' abilities to read academic papers and understand lectures and seminars in English. The doctoral program prepares students for giving presentations in English and equips them with the ability to answer questions and handle discussion and challenges. Each graduate school hosts TOEIC tests as well.

Two hundred and thirty three students from 31 countries are studying at NAIST. We offer them an environment where international students from different backgrounds and cultures study with Japanese students so that many of them grow to be globally-aware human resources who have an international mindset, practical communications skills, excellent techniques in research, and areas of expertise.

[Scholarships for Studying Abroad]

Many of the students at NAIST use the following scholarships to study abroad. While students can apply to some of the programs individually, some are offered as part of graduate school programs. Please consult your supervisor or the International Affairs Division if you are considering studying abroad.

1. Support for studying abroad by the Japan Student Services Organization (JASSO) Scholarship
http://www.jasso.go.jp/ryugaku/study_a/scholarship.html
2. Tobitate! Study Abroad Program JAPAN
<http://www.tobitate.mext.go.jp/>
3. Lists of scholarships compiled by JASSO
<http://ryugaku.jasso.go.jp/scholarship/>

[On-campus procedures before studying abroad]

In order to study or receive instruction at an academic or research institution overseas, a Study Abroad Request form must be submitted to and approved by the Faculty Council, so please submit this form along with the Course Registration Request for Special Auditing Dispatchment Student or the Application for Special Research Dispatchment Student to the International Affairs Division at least two months before your planned departure. Even if the study abroad program you have chosen does not require a Study Abroad Request form, you must submit an Overseas Travel Notification for emergencies so that your safety can be confirmed in the event of natural disasters, terrorist acts, etc. Please read the "Procedures for Studying Abroad" p.68 for details.

[Visas]

When you decide to travel abroad, please make sure to investigate where you are traveling and whether or not you need a visa to travel there. Also, leave enough time for whatever paperwork or procedures that may be necessary.

Regardless of the length of your stay, you may have to apply for a visa depending on the purpose of your visit. For example, to study in the US an F-1 visa is necessary and students must start preparing for their study abroad (preparing paperwork, obtaining forms and certificates, obtaining a passport, completing an interview, etc.) at least two months prior to their departure date. In France, online registration and application is possible and a visa interview is waived if you will be an exchange student. In this way, paperwork, requirements, and application processes may vary depending on your destination, program details and the agreements related to your studies, so it is necessary to start collecting information from the institution you will be attending and from the appropriate diplomatic agency in advance.

Depending on your destination, there may be punitive measures taken or you may be denied entrance to the country if you have not completed the proper visa application process. If you have any questions concerning the visa process or necessary paperwork, feel free to consult with the International Affairs Division staff.

[Safety and security information before traveling overseas]

When you travel abroad, please make sure that the country is safe to visit by checking the safety and security information for the destination country on the Foreign Ministry’s website (overseas safety page).

The Foreign Ministry encourages Japanese nationals who are planning to stay abroad longer than 3 months to submit a Resident Report, and Japanese nationals who are planning to stay less than 3 months to register at ‘Tabi-regi’, the registration system for Japanese travelers abroad.

Please submit a notice or register with the Foreign Ministry when you go abroad in addition to the on-campus administrative procedures.

Please see the Foreign Ministry’s website for details.

Procedures for study/travel abroad

Types of dispatchment abroad	Official study abroad※		Travel notification requiring Travel Request	
	Course(s) or instruction at an overseas graduate school or research institution	Double degree program	Educational programs not included in 'Official study abroad' offered in cooperation with NAIST at an overseas graduate school or research institution	Conference/symposium/seminar/etc. attendance
Details	Attending of course(s) or receiving instruction at overseas graduate schools or research institutions	Studies at overseas universities in accordance with double degree program regulations	• Education at an overseas graduate schools or research institutions • Internship at an overseas graduate schools or research institutions (Held as a NAIST educational program)	Attending or presenting at a Conference/symposium/seminar/etc.
Duration	In principle, 3 months or more		In principle, less than 3 months	
Necessary paperwork	<ul style="list-style-type: none"> • Study Abroad Request • Course Registration Request for Special Auditing Dispatchment Student (For students who will attend classes) • Application for Special Research Dispatchment Student (For students who will receive instruction) 	Study Abroad Request	Overseas Travel Notification	Overseas Travel Notification
Statistical status	Study abroad student	Study abroad student	Study abroad student	—
University overseas travel insurance	Eligible	Eligible	Eligible	Eligible
Student personal accident insurance◆	Eligible	Eligible	Eligible	Eligible

※Article 48 of the Student Regulations states that a student wanting to study abroad at an overseas graduate school or research institution must receive the President’s permission.

◆Personal Accident Insurance for Students Pursuing Education and Research (PAS)

For private travel

- 1: If you will leave your residence for a period of time for private travel, please give your emergency contact information to your family, relatives, friends, research lab, etc.
- 2: If you will travel overseas privately for three months or more, you must submit the Leave of Absence Request and Overseas Travel Notification forms at least two weeks before departure.

List of subjects and faculty members in charge for the Graduate School of Biological Sciences
in academic year 2017

Master's Course

Category	Subject	Subject Number	Number of credits	Lecturer	Class period	Total number of classes	Remarks
Common	Commentaries on Science and Technology	000201	1	Faculty members in charge	Autumn semester in first academic year	15	Common subjects for all graduate schools
	Computer System	000101	1	Y.Nakashima	Spring semester	15	Common subjects for all graduate schools
	Algorithm	000102	1	Inoue etc.	Spring semester	15	Common subjects for all graduate schools
	Foundation of Materials Science	000301	1	Katsuki,Aratani	Spring semester	15	Common subjects for all graduate schools
	Science Communication	000203	1	Bessho etc.	Autumn semester	15	Common subjects for all graduate schools
	Philosophy of Science	000103	1	(Nakao)	Spring semester	15	Common subjects for all graduate schools
	Technology and Professional Ethics	000104	1	(Ueda)	Autumn semester	15	Common subjects for all graduate schools
	Introduction to Biological Sciences	000202	1	H.Maki etc.	Spring semester	15	Common subjects for all graduate schools
General	Global Entrepreneur I	111011	1	Faculty members in charge	Intensiv lectures	15	Subject in Information Science
	Global Entrepreneur II	111012	1	Faculty members in charge	Intensiv lectures	15	Subject in Information Science
	Global Entrepreneur III	112013	1	Faculty members in charge	Intensiv lectures	40	Subject in Information Science
	Global Entrepreneur IV	112014	1	Faculty members in charge	Intensiv lectures	15	Subject in Information Science
	Global Entrepreneur V	112015	1	Faculty members in charge	Intensiv lectures	25	Subject in Information Science
	Professional English I	210001	1	McAleese	Spring semester in first academic year	15	
	Professional English II	210002	1	McAleese	Autumn semester in first academic year	15	
	Professional English III	210003	1	McAleese	Autumn semester in second academic year	15	
	Communication Strategies	210004	1	McAleese	Autumn semester	15	
	Communication Quality through Phonology	210005	1	McAleese	Spring semester	15	
	Logic in Scientific Discovery	210006	1	Inagaki	Autumn semester	15	
	Social Life Science	210007	1	Bessho	First academic year	15	
	Advanced Genome Science and Technology	210008	1	Bessho	First academic year	15	
Basic	Introduction of Current Biology	220001	1	Hashimoto etc.	Spring semester in first academic year	24	
	Practical Biology for Advanced ScienceI	220002	1	Akiyama etc.	Spring semester in first academic year	15	
	Practical Biology for Advanced ScienceII	220003	1	Kimata etc.	Spring semester in first academic year	15	
	Basic Bioscience Seminar I	220004	1	Demura etc.	Spring semester in first academic year	15	
	Basic Bioscience Seminar II	220005	1	Komai etc.	Spring semester in first academic year	15	
	Microbial Biotechnology	220006	1	Takagi etc.	Spring semester in first academic year	15	
	Environmental Plant Science	220007	1	Nakajima etc.	Spring semester in first academic year	15	
	Biomedical Sciences	220008	1	Kato etc.	Spring semester in first academic year	15	
	Bioinformatics	220009	1	Bessho etc.	Spring semester in first academic year	15	
	Practical Bioscience Seminar I	220010	1	Kohno etc.	Spring semester in first academic year	15	
	Practical Bioscience Seminar II	220011	1	H.Maki etc.	First academic year	15	
	Bioexpert Seminar for Research Project	220012	1	Bessho etc.	Autumn semester in first academic year	15	
	Frontier Bioscience Seminar for Research Project	220013	1	Demura etc.	Autumn semester in first academic year	15	
	Special	Advanced Lecture in Developmental Biology	230001	1	Bessho etc.	Spring semester	15
Bio-industrial Technology		230002	1	Takagi etc.	Spring semester in first academic year	15	
Practice in Bio-industrial Technology		230003	1	Takagi etc.	Spring semester in first academic year	15	N/A in this academic year
Topics in Animal Science		230004	1	Isotani etc.	First and Second academic year	15	
Frontiers of Plant Sciences		230005	1	Itoh etc.	First and Second academic year	15	
Advanced Systems Biology		230006	1	Inagaki etc.	First and Second academic year	15	
Lecture of intellectual property right		230007	1	Kubo	Autumn semester	15	
Topics in Bioinformatics		230008	1	Bessho	Autumn semester	15	
Bio-Imaging		130037	1	(Sugiura) etc.	Autumn semester	15	Subject in Information Science
Systems Biology II		130039	1	Kanaya etc.	Autumn semester	15	Subject in Information Science
International Forefront in Bioscience I		230009	1	Shiozaki etc.	First and Second academic year	15	
International Forefront in Bioscience II		230010	1	Shiozaki etc.	First and Second academic year	15	
Frontier Bioscience Tutorial		230011	1	Demura etc.	Second academic year	15	

Category	Subject	Subject Number	Number of credits	Lecturer	Class period	Total number of classes	Remarks
	Seminar I	240001	2	Faculty members of assigned laboratory	Spring semester in first academic year	60	
	Seminar II	240002	2	Faculty members of assigned laboratory	Autumn semester in first academic year	60	
	Seminar III	240003	2	Faculty members of assigned laboratory	Spring semester in second academic year	60	
	Seminar IV	240004	2	Faculty members of assigned laboratory	Autumn semester in second academic year	60	
	Research Experiment I	240005	3	Faculty members of assigned laboratory	Spring semester in first academic year	90	
	Research Experiment II	240006	3	Faculty members of assigned laboratory	Autumn semester in first academic year	90	
	Research Experiment III	240007	3	Faculty members of assigned laboratory	Spring semester in second academic year	90	
	Research Experiment IV	240008	3	Faculty members of assigned laboratory	Autumn semester in second academic year	90	
	Thesis	250001	2	Faculty members of assigned laboratory	First and Second academic year		
	Research on Biological Subjects I	240009	2	Faculty members of assigned laboratory	Spring semester in first academic year	60	
	Research on Biological Subjects II	240010	2	Faculty members of assigned laboratory	Autumn semester in first academic year	60	
	Research on Biological Subjects III	240011	2	Faculty members of assigned laboratory	Spring semester in second academic year	60	
	Research on Biological Subjects IV	240012	2	Faculty members of assigned laboratory	Autumn semester in second academic year	60	
	Project Report	250002	2	Faculty members of assigned laboratory	First and Second academic year		

Lectures in charge (shown in parentheses) are part-time lectures

List of subjects and faculty members in charge for the Graduate School of Biological Sciences
in academic year 2017

International program for master course

Category	Subject	Subject Number	Number of credits	Lecturer	Class period	Total number of classes	Remarks
Common	Japanese Class for Beginners I	000303	2	(Iwasaki etc.)	Autumn semester in first academic year	30	Common subjects for all graduate schools
	Japanese Class for Beginners II (1)	000204	1	(Nakao)	Autumn semester in first academic year	15	Common subjects for all graduate schools
	Japanese Class for Beginners II (2)	000205	1	(Nakao)	Spring semester in second academic year	15	Common subjects for all graduate schools
	Japanese Class for Beginners III (1)	000206	1	(Hashimoto)	Second academic year	15	Common subjects for all graduate schools
	Japanese Class for Beginners III (2)	000207	1	(Hashimoto)	Second academic year	15	Common subjects for all graduate schools
	Japanese Culture	000105	2	(Adarsh)	First academic year	30	Class is open twice in this academic year Common subjects for all graduate schools
	Technology and Professional Ethics	000104	1	(Ueda)	Autumn semester in first academic year	15	Japanese class in this academic year Common subjects for all graduate schools
General	Professional English I	210301	1	McAleese	Spring semester in first academic year	15	
	Professional English II	210302	1	McAleese	Autumn semester in first academic year	15	
	Professional English III	210303	1	McAleese	Autumn semester in second academic year	15	
	Communication Strategies	210304	1	McAleese	Autumn semester	15	
	Communication Quality through Phonology	210305	1	McAleese	Spring semester	15	
	Logic in Scientific Discovery	210306	1	Inagaki	Autumn semester	15	
Basic	Molecular Cell Biology	220301	1	H.Maki etc.	First academic year	15	
	Advanced Topics in Bioscience	220302	1	Takagi etc.	First academic year	15	
	Laboratory Rotation I	220303	1	Nakajima etc.	First academic year	15	
	Laboratory Rotation II	220304	1	Nakajima etc.	First academic year	15	
	Literature in Bioscience Research I	220305	1	Bessho etc.	First academic year	15	
	Literature in Bioscience Research II	220306	1	Shiozaki etc.	First academic year	15	
	Research Presentation Forum	220307	1	Bessho etc.	Second academic year	15	
Special	International Forefront in Bioscience I	230301	1	Shiozaki etc.	First and Second academic year	15	
	International Forefront in Bioscience II	230302	1	Shiozaki etc.	First and Second academic year	15	
	Bioscience Colloquium	230303	1	Demura etc.	First and Second academic year	15	
	UCD Online Seminar	230304	1	Nakajima etc.	First and Second academic year	15	
	Systems Biology I	130038	1	Kanaya etc.	Spring semester	15	Subject in Information Science
	Bioresource Research Proposal	230305	1	Demura etc.	Second academic year	15	
Seminar I	240301	2	Faculty members of assigned laboratory	Spring semester in first academic year	30		
Seminar II	240302	2	Faculty members of assigned laboratory	Autumn semester in first academic year	30		
Seminar III	240303	2	Faculty members of assigned laboratory	Spring semester in second academic year	30		
Seminar IV	240304	2	Faculty members of assigned laboratory	Autumn semester in second academic year	30		
Research Experiment I	240305	3	Faculty members of assigned laboratory	Spring semester in first academic year	90		
Research Experiment II	240306	3	Faculty members of assigned laboratory	Autumn semester in first academic year	90		
Research Experiment III	240307	3	Faculty members of assigned laboratory	Spring semester in second academic year	90		
Research Experiment IV	240308	3	Faculty members of assigned laboratory	Autumn semester in second academic year	90		
Thesis	250301	2	Faculty members of assigned laboratory				

Lectures in charge (shown in parentheses) are part-time lectures

Class period is designed for students who enroll in April

List of subjects and faculty members in charge for the Graduate School of Biological Sciences in academic year 2017

Doctoral course

Subject	Subject Number	Number of credits	Lecturer	Class period	Total number of classes	Remarks
Research Project Design	260001	1	Advisory committee	First academic year	15	
Overseas Internship I	260002	3	Shiozaki	Autumn semester in first academic year	45	
Overseas Internship II	260003	3	Shiozaki etc.	Each academic year	45	
International Bio-Seminar I	260004	1	Shiozaki etc.	Each academic year	15	
International Bio-Seminar II	260005	1	Shiozaki etc.	Each academic year	15	
International Bio-Seminar III	260006	1	Shiozaki etc.	Each academic year	15	
International Bio-Seminar IV	260007	1	Shiozaki etc.	Each academic year	15	
International Bio-Seminar V	260008	1	Shiozaki etc.	Each academic year	15	
International Bio-Seminar VI	260009	1	Shiozaki etc.	Each academic year	15	
Research Project Presentation	260010	1	Hashimoto etc.	Second academic year	15	
International Student Workshop	260011	1	Sasai etc.	Second academic year	15	
UCD Research Retreat	260012	1	Shiozaki etc.	Third academic year	15	
Communication Strategies	260013	1	McAleese	Autumn semester	15	
Communication Quality through Phonology	260014	1	McAleese	Spring semester	15	
Professional English I	260015	1	McAleese	Spring semester	15	
Professional English II	260016	1	McAleese	Autumn semester	15	
Professional English III	260017	1	McAleese	Autumn semester	15	
Responsible Conduct of Research	260018	1			15	N/A in this academic year
UCD Online Seminar	260019	1	Nakajima etc.	Each academic year	15	
Research Experiment I	270001	6	Advisory committee	First academic year	180	
Research Experiment II	270002	6	Advisory committee	Second academic year	180	
Research Experiment III	270003	6	Advisory committee	Third academic year	180	

List of subjects and faculty members in charge for the Graduate School of Materials Science in academic year 2017

Master's Course

Category	Subject	Subject Number	Number of credits	Lecturer	Class period	Total number of classes	Remarks
Common Subjects	Computer System	000101	1	Nakashima	April	15	Common Subjects for All Graduate Schools
	Algorithm	000102	1	Inoue(others)	May-June	15	Common Subjects for All Graduate Schools
	Introduction to Biological Science	000202	1	Maki(others)	May-June	15	Common Subjects for All Graduate Schools
	Introduction to Materials Science	000301	1	Katsuki・Aratani	June-July	15	Common Subjects for All Graduate Schools
	Commentaries on Science and Technology	000201	1	Faculty members in charge	Jun-July	15	Common Subjects for All Graduate Schools
	Philosophy of Science	000103	1	(Nakao)	July	15	Common Subjects for All Graduate Schools
	Technology and Professional Ethics	000302	1	(Takahashi・Mitsui)	May-July	15	Common Subjects for All Graduate Schools
	Science Communication	000203	1	(Bessho・Others)	October-November	15	Common Subjects for All Graduate Schools
General Subjects	Mathematical Analyses for Materials Science	311001	1	Ishizumi・Tomita・Takeda・Noda・Uenuma・Sasagawa・Nagao・Yamazaki	April	15	
	Materials Science English I	311002	1	McDowell・(Nakayama)	May-July	15	
	Materials Science English IIA	312003	1	McDowell	October-November	15	If credit is received for this subject, students may not earn credits in Material Science English IIB (doctoral program).
	Materials Science English IIIA	313004	1	McDowell	November-December	15	If credit is received for this subject, students may not earn credits in Material Science English IIIB (doctoral program).
	Science & Technology Policy and Intellectual Property	310005	1	Kubo・(Ohtake・Matsuo)	July	15	
	Science Literacy	310006	1	Kikuchi・Kawai・Yamada	Autumn semester	15	
	Global Entrepreneur I	111011	1	Faculty members in charge	Intensive lectures	15	Subject in Information Science
	Global Entrepreneur II	111012	1	Faculty members in charge	Intensive lectures	15	Subject in Information Science
	Global Entrepreneur III	112013	1	Faculty members in charge	Intensive lectures	15	Subject in Information Science
	Global Entrepreneur IV	112014	1	Faculty members in charge	Intensive lectures	15	Subject in Information Science
	Global Entrepreneur V	112015	1	Faculty members in charge	Intensive lectures	15	Subject in Information Science

Category	Subject	Subject Number	Number of credits	Lecturer	Class period	Total number of classes	Remarks
Basic Subjects	Photonic Nanoscience I	320001	1	Faculty members of respective laboratories	April	15	
	Photonic Nanoscience II	320002	1	Faculty members of respective laboratories	April	15	
	Photonic Nanoscience Core I	321103	1	Nakamura · Hattori · Kobayashi · Suzuki · Jujo · Katayama	April	15	
	Photonic Nanoscience Core II	321104	1	Hosokawa · Hattori · Hosoito · Tanimoto · Okada	April-May	15	
	Photonic Nanoscience Core III	321305	1	Yanagi · Kawai · Kamikubo · Yamanaka · Nonoguchi · Hayashi	April	15	
	Photonic Nanoscience Core IV	321306	1	Yanagi · Yanagida · Yasuhara · Terada	April-May	15	
	Solid State Physics I	321107	1	(EC)Nakamura · Hosokawa · Matsui (AC)Daimon · Hattori · Hosoito	May	15	
	Solid State Physics II	321108	1	(EC)Tokuda · Matsui (AC)Daimon · Katsuki · Hosoito	May-June	15	
	Organic Chemistry I	321309	1	(EC)Kakiuchi · Morimoto · Ando (AC)Fujiki · Hirota · Nakashima	May	15	
	Physical Chemistry and Biochemistry II	321310	1	(EC)Hirota · Hosokawa · Matsuo (AC)Kakiuchi · Kikuchi · Nakashima	May-June	15	
	Advanced Materials Science I	321111	1	(EC)Nakamura · Hosokawa · Matsui (AC)Daimon · Hattori · Hosoito	May	15	
	Advanced Materials Science II	321312	1	(EC)Kakiuchi · Morimoto · Ando (AC)Fujiki · Hirota · Nakashima	May	15	
	Advanced Materials Science III	321113	1	(EC)Tokuda · Matsui (AC)Daimon · Katsuki · Hosoito	May-June	15	
	Advanced Materials Science IV	321314	1	(EC)Hirota · Hosokawa · Matsuo (AC)Kakiuchi · Kikuchi · Nakashima	May-June	15	
	Modern Quantum Mechanics	321115	1	Yanagida · Kawaguchi	June-July	15	
	Advanced Semiconductor Engineering	321216	1	Uraoka · Ishikawa	June-July	15	
	Advanced Optoelectronics	321217	1	Ohta	June-July	15	
	Advance Electronics Materials Engineering	321218	1	Uraoka · Ishikawa · Miyake	June-July	15	
	Modern Organic Chemistry	321319	1	Yamada · Morimoto	June-July	15	
	Advanced Polymer Chemistry	321320	1	Fujiki · Ando	June-July	15	
Modern Inorganic Chemistry	321321	1	Matsuo · Benten	June-July	15		
Advanced Biochemistry	321622	1	Hirota · Ando · Kamikubo	June-July	15		

List of subjects and faculty members in charge for the Graduate School of Materials Science in academic year 2017

Master's Course (i course)

Category	Subject	Subject Number	Number of credits	Lecturer	Class period	Total number of classes	Remarks
Common Subjects	Technology and Professional Ethics (i)	000104	1	(Ueda)	Autumn semester in first academic year	15	Common Subjects for All Graduate Schools
	Japanese Class for Beginners I (i)	000303	2	(Iwasaki etc.)	Autumn semester in first academic year	30	Common Subjects for All Graduate Schools
	Japanese Class for Beginners II (1) (i)	000204	1	(Nakao)	Autumn semester in first academic year	15	Common Subjects for All Graduate Schools
	Japanese Class for Beginners II (2) (i)	000205	1	(Nakao)	Spring semester in second academic year	15	Common Subjects for All Graduate Schools
	Japanese Class for Beginners III (1) (i)	000206	1	(Hashimoto)	Second academic year	15	Common Subjects for All Graduate Schools
	Japanese Class for Beginners III (2) (i)	000207	1	(Hashimoto)	Second academic year	15	Common Subjects for All Graduate Schools
	Japanese Culture (i)	000105	2	(Adarsh)	First academic year	30	Common Subjects for All Graduate Schools
General Subjects	Mathematical Analysis for Materials Science (i)	311051	1	Ishizumi・Tomita・Takeda・Noda・Uenuma・Fujii・Nagao・Yamazaki	Autumn semester	15	
	Materials Science English I (i)	311052	1	(Nakayama)	Autumn semester	15	
	Materials Science English II (i)	312053	1	McDowell	Autumn semester	15	
	Materials Science English III (i)	313054	1	McDowell	Autumn semester	15	
	Science Literacy (i)	310055	1	Faculty members of assigned laboratory	Autumn semester	15	
	Intellectual Property Rights (i)	110010	1	Kubo	Autumn semester	15	"Intellectual Property Rights" provided by Information Science
	Intercultural Communication (i)	110009	1	(Sell)	Autumn semester	15	"Intercultural Communication" provided by Information Science
Basic Subjects	Photonic Nanoscience I (i)	320051	1	Faculty members of respective laboratories	Autumn semester	15	
	Photonic Nanoscience II (i)	320052	1	Faculty members of respective laboratories	Autumn semester	15	
	Photon and Condensed Matters I (i)	321153	1	Hosokawa・Jujo	Autumn semester	15	
	Photon and Condensed Matters II (i)	321154	1	(Okano)	Autumn semester	15	
	Photon and Molecules I (i)	321355	1	Kamikubo・Yamazaki	Autumn semester	15	
	Photon and Molecules II (i)	321356	1	(Koe)	Autumn semester	15	
Specialized Subjects	Quantum Molecular Science (i)	332151	1	Yanagi・Katsuki	Autumn semester	15	
	Surface Science (i)	332152	1	Daimon・Hattori・Takeda・Taguchi	Autumn semester	15	
	Advanced Photonic Devices (i)	332253	1	Ohta・Tokuda	Autumn semester	15	
	Information Device Science (i)	332254	1	Uraoka・Ishikawa	Autumn semester	15	
	Technology for Advanced Measurement(i)	332255	1	Yanagida・Nakamura・Kawaguchi・Okada	Autumn semester	15	
	Electronic and Magnetic Structure (i)	332156	1	Hosoito・Matsui	Autumn semester	15	
	Synthetic Organic Chemistry (i)	332357	1	Morimoto・Tanimoto・(Mizuno)	Autumn semester	15	
	Biomolecular Chemistry (i)	332658	1	Hirota・Matsuo	Autumn semester	15	

Category	Subject	Subject Number	Number of credits	Lecturer	Class period	Total number of classes	Remarks
Specialized Subjects	Advanced Biomaterials (i)	332659	1	Ando・Terada・Kobayashi	Autumn semester	15	
	Photochemical Materials (i)	332360	1	Kawai・Nakashima	Autumn semester	15	
	Organic Functional Materials (i)	332361	1	Yamada・Aratani	Autumn semester	15	
	Advanced Polymers and Molecular Assemblies (i)	332362	1	Fujiki・Kikuchi	Autumn semester	15	
	Materials Science Special I (i)	332063	1	(Yvan・Tiphaine・Bermundo)	Autumn semester	15	
	Materials Science Special II (i)	332064	1	(Rapenne・Miyazawa)	Autumn semester	15	
	Experiments in Materials Science (i)	340051	3	Faculty members of assigned laboratory	Autumn semester	90	
	Seminar (i)	340052	2	Faculty members of assigned laboratory		30	
	Interdisciplinary Seminar (i)	340053	2	Faculty members		30	
	Research Thesis (i)	350051	6	Faculty members of assigned laboratory			

Lecturers in charge (shown in parentheses) are part-time instructors
 Note: The detailed schedule will be released at a later date.

List of subjects and faculty members in charge for the Graduate School of Materials Science in academic year 2017

Doctoral Course

Category	Subject	Subject Number	Number of credits	Lecturer	Class period	Total number of classes	Remarks
Internationalization subjects	Materials Science English IIB	362001	1	McDowell	October	15	If credit is received for this subject, students may not earn credits in Material Science English IIA (master's program).
	Materials Science English IIIB	363002	1	McDowell	November-December	15	If credit is received for this subject, students may not earn credits in Material Science English IIIA (master's program).
	Practical English for Materials Science	363003	2	Chair of Curriculum Committee	January	30	
	Science Literacy (Advanced Course I)	360004	1	Faculty members of assigned laboratory	One year	15	
	Science Literacy (Advanced Course II)	360005	1	Faculty members of assigned laboratory	One year	15	
	International Internship	360006	2	Chair of Curriculum Committee	One year	30	
	Interdisciplinary Internship	360007	1	Faculty members of assigned laboratory	One year	15	
	Photonic Nanoscience Special Lectures	360008	1	Chair of Curriculum Committee	One year	15	
Interdisciplinary subjects	Interdisciplinary Materials Science	360009	1	Daimon,Uraoka,Katsuki, Tokuda,Nakashima, Aratani,(Sugiyama)	October-December	15	
Research Management	Research Management Exercise A	370001	1	Chair of Curriculum Committee	One year	15	
	Research Management Exercise B	370002	1	Chair of Curriculum Committee	One year	15	
	Research Management Exercise C	370003	1	Faculty members of assigned laboratory	One year	15	
	Exercise in Advanced Materials Science	370004	2	Faculty members of assigned laboratory	One year	30	
Interdisciplinary seminars	Seminar for Interdisciplinary Materials Science A	370005	1	Chair of Curriculum Committee	Autumn semester	15	
	Seminar for Interdisciplinary Materials Science B	370006	1	Chair of Curriculum Committee	Autumn semester	15	
	Seminar for Interdisciplinary Materials Science C	370007	1	Chair of Curriculum Committee	Autumn semester	15	
General research	Advanced Materials Science	370008	6	Faculty members of assigned laboratory	One year		

Lecturers in charge (shown in parentheses) are part-time instructors
 Note: A detailed schedule will be released separately.

9 Our various counseling service systems



Counseling regarding course content

We have office hours for you to help deepen your understanding of the courses offered. During office hours, students can visit the laboratories of our teaching staff overseeing the courses and ask questions about the courses or consult the teaching staff. As the office hour schedules and contact methods are established by each professor please check the corresponding page on each subject's syllabus.

For the rooms and telephone numbers of the Graduate School of Information Science teaching staff, please access the following URL or proceed to “Top Page of the website of the Graduate School of Information Science→ Internal Page→ Website of the Administrative Office of the Graduate School of Information Science→ Administrative Office of the Graduate School of Information Science→ List of Telephone Numbers of Laboratories” .

List of Telephone Numbers of laboratories:
<http://isw3.naist.jp/IS/Local/IsOffice/announce/tel-list.pdf>

Counseling related to research guidance

If you have issues related to education and research, you can consult one of your research supervisors. (This university has adopted a system whereby each student is assigned multiple research supervisors.)

Counseling about job hunting

You can consult the department head regarding job hunting. For counseling, we will also work to meet your counseling needs in cooperation with the research supervisors of each laboratory. (Also see the page entitled “10. Learning Support: Career Services Office.”)

Counseling on your health

The Health Care Center provides advice regarding physical and mental health. Professional counselors come to the Center several times a month to provide you with consultation services by appointment. (For more details, please see “10. Learning Support: Health Care Center.”)

The Office for Students with Disabilities provides consultation concerning physical, mental, developmental and other disabilities. (For more details, please see “10. Learning Support: Office for Students with Disabilities.”)

Student Consultation

Graduate students are faced with a variety of different problems and worries in the course of their everyday lives.

In order to give support to students facing problems, each graduate school, the Health Care Center, and the Educational Affairs Division, has a Miscellaneous Consultation for Students office with consultation staff on hand.

As well as providing advice for the solution of problems, consultation staff can also point consults to an appropriate consultation office.

So don't keep your troubles to yourself. If you have any worries, please talk them over with Miscellaneous Consultation for Students staff. Strict confidentiality is maintained regarding the content of all consultations.

For more details about consultation staffs, please refer to the website of NAIST.

<https://ad-info.naist.jp/gakusei/member/campus/soudan.html>

Counseling on harassment

Harassment refers to acts in violation of another person's character or human rights through speech or behavior against his or her will.

Principally, harassment takes the following forms:

◎Sexual harassment

To offend or humiliate one or more people around you by sexual coercion or approach, using a position of power or authority in such settings as study and education.

◎Academic harassment

Inappropriate speech and discriminatory treatment committed by those having authoritative status in an education setting by means of a position of power or authority in fields related to study, education and research, in violation of the right to receive education including mental mistreatment, or hindering education, research or related professional activities.

◎Power harassment

Acts by superiors or those having a similar status of applying conscious or subconscious pressure by exercising professional authority in matters that are beyond the boundary of their job description or that overstep the appropriate bounds even if related to the tasks.

We have a counseling window for sexual harassment cases.

If you have claims or seek advice on sexual harassment, please do not hesitate to contact us by telephone or mail. We have advisors in graduate schools, research centers, the Health Care Center, and the Administrative Bureau. For further details on advisors, please refer to the information on harassment on the Intranet/ internal page for students on our website.

10. Study Support

Health Care Center (③ on the campus map)

The Health Care Center (on 2F of the University Union Building) offers three functions below to maintain and promote student mental and physical health.

Check: Medical checkup

Cure: Day-to-day diagnosis and treatment

Care: Day-to-day lifestyle guidance and health education

The center has a consultation room, health counseling room, student chat room, and resting room, and is staffed by one physician and one nurse on a full-time basis (as well as two counselors and one nurse on a part-time basis).

1. Open hours

【Clinic】

Clinic Hours	Mon.	Tue	Wed.	Thu.	Fri.
10:30~13:30	○ (~12:00)	○	×	○	○
14:30~16:30	×	○	○	○	○

(Interval time : 13:30~14:30)

2. Diagnosis and treatment

If you are experiencing any physical problems, please do not hesitate to visit the center. Diagnostic equipment is in place to offer simple treatment, and the center prescribes medicine if necessary. If the care required is beyond the capacity of the center, you will be introduced to outside specialists or hospitals.

3. Mental health counseling

A doctor and nurses work together to offer mental counseling. The center is visited by professional counselors four times a week (two counselors each time) to offer counseling services. Please feel free to visit the center. Confidentiality obligations are strictly observed.

4. Medical checkups

General regular medical checkups are available in June, while special regular medical checkups are offered to those who handle RI, X-ray, gene recombination, organic solvents, and specified chemical substances. Patients are informed of all details (including the schedule) via e-mails, letters, and bulletin boards.

(Those who take a complete medical checkup are required to submit copy of the report to Health Care Center.)

5. Issuing health certificates

The center issues health certificates required for job applications and enrollment in advanced academic programs. Health certificates are available if you have gone through all the check items in the general regular medical checkups. Health certificates are issued (i) via the automatic certificate issuing system at the entrance lobby of the NAIST Library or (ii) at the Health Care Center.

6. Self checks

Automatic height and weight scales, digital sphygmomanometers, and automatic optometers (located in front of the reception desk of the center) are available anytime for self checks.

7. Student chat room

The room is available for relaxation and chatting.

8. Resting room

The resting room is available when you feel ill and want to take a rest.

9. Free-of-charge services and confidentiality obligations

- All the services offered by the center are free of charge. Please note, however, that medical expenses are incurred (but 70% of the expenses is covered by the National Health Insurance program) when you consult physicians at medical institutions introduced by the center.
- Please handle equipment carefully.
- All the medical practices (including physical and mental counseling) are subject to confidentiality obligations, which are strictly observed.

10. HCC NEWS (the Health Care Center News)

HCC NEWS (the Health Care Center News) has been issued and distributed annually. Currently we are constructing a web page that will be opened in the near future to send out useful information instead of this printed newsletter.

11. Contact information

Director's office at the center: Dr. Hidetaka Hougaku (physician) (extension 5105)

Reception desk at the Consultation Room: Ms. Kinuyo Nishiyama (nurse) (extension 5108)

The Health Care Center is always available to maintain and promote your health.

Medical Checkups and Health & Safety Education

NAIST offers general medical checkups in accordance with the School Health and Safety Act to maintain and promote the health of its students, while conducting special medical checkups in accordance with the Industrial Safety and Health Act to ensure student safety and health.

1. Medical checkups

Name	Category	Date	Target	Details
General medical checkup* ¹	Graduate School of Information Science	Wed., June 21	All students	Interview/examination, body measurement, visual acuity/hearing tests, blood pressure measurement, chest X-ray, urine tests, and blood tests
	Graduate School of Biological Sciences	Thu., June 22		
	Graduate School of Materials Science	Fri., June 23		
Special medical checkup	RI/X-ray* ²	(Twice a year) The first special medical checkup is conducted concurrently with the general regular medical checkup. The second special medical checkup is scheduled for December.	Students registered as participants of radiation experiments	Interview, examination, and blood tests
	Gene recombination* ³	(Once a year) The special medical checkup is conducted concurrently with the general regular medical checkup.	Students registered as participants of gene recombination experiments	Interview, examination, and blood tests
	Organic solvents	(Twice a year) The first special medical checkup is conducted concurrently with the general regular medical checkup. The second special medical checkup is scheduled for December.	Students registered as participants of experiments using organic solvents and identified by industrial physicians based on frequency and volume of organic solvents handled	Interview, examination, blood tests, urine tests, etc.
	Specified chemical substances	(Twice a year) The first special medical checkup is conducted concurrently with the general regular medical checkup. The second special medical checkup is scheduled for December.	Students registered as participants of experiments using specified chemical substances and identified by industrial physicians based on frequency and volume of specified chemical substances handled	Interview, examination, blood tests, urine tests, etc., required for respective specified chemical substances

*¹ Health certificates are available if you have gone through all the check items in the general medical checkups.

*² Students who do not take medical checkups in the category of "RI/X-ray" are not allowed to engage in radiation experiments.

*³ Students who do not take medical checkups in the category of "Gene recombination" are not allowed to engage in gene recombination experiments.

2. Health & safety education

NAIST offers health and safety education programs for all the students to (i) maintain and promote health, (ii) ensure safety and health, and (iii) develop human resources with high levels of safety awareness.

Name	Category	Date	Target
Health education	Physical & mental health	Tue., May 23 4th period	All new students
Safety education	Safety education (common)	Thurs., April 6 4th–5th periods	
	Safety education (experiment)		

Office for Students with Disabilities

The Office for Students with Disabilities has been established in order to offer support for students with disabilities to have independent student lives at NAIST. The office staff have specialized training and knowledge about disabilities and counseling, and works in cooperation with related NAIST departments, faculty and staff to provide support to students with disabilities and serve as a student counselor.(academic and mental)

Career Services Office

The Career Services Office has aimed to support students and post-doctoral researchers in career development. The office, located on the first floor of the Administrative Office building (next to the Educational Affairs Division), has job posting information, and a collection of job-related books (including study-aid books for SPI and quarterly corporate reports) available, and the career development counselor is available to provide various career development support.

1. Open hours: 9:30-17:30 (Closed between 12:00 and 13:00)

Closed on Saturdays, Sundays, National Holidays and specific university Holidays.

2. Career counselling

We provide advice on concerns and anxiety related to your career vision and job hunting. Career development counselors and career advisors from public organizations are available for counselling. Counselling services are available by appointment only and reservation instructions are provided on the Career Services Office website. Confidentiality will be strictly observed.

[URL for booking] <http://www.supersaas.jp/schedule/naist-career/?lang=en>

3. Career guidance

We hold career guidance seminars to help students find and secure jobs. Details of the seminars, including the dates, will be available on the Career Services Office website or via e-mails.

●Schedule for the academic year 2017 (Tentative)

No. 1	How to proceed with job hunting for the academic year 2017	In total, 8 seminars will be held between September and next June.
No. 2	Self-analysis and Self-promotion seminar	
No. 3	Seminar on applications and CVs	
No. 4	How to carry out research on industry fields and companies	From No.1 to No. 6, seminars will be held in English
No. 5	Preparation for interviews and business etiquette	
No. 6	Intensive seminar on interviewing (Group interview)	
No. 7	Simulation of group discussion	
No. 8	Last-minute seminar	
Correction of mock applications, mock exams (preparation for SPI), preparation for civil service examination		

4. Lending service of books related to job hunting

You can borrow books that will be useful in your job hunting in Japan or development of your career vision.

Rules for borrowing books

① Borrowing period: Available for a week, in general.

However, you can extend the borrowing period for another week if no student would like to borrow the same book. In this case, please contact the Career Services Office by the return date.

Your next borrowing request will not be accepted if you have not returned books for an extended period of time.

② The maximum number of books to be lent per person at one time: 2 books

We do not lend books and magazines which are reserved for reading inside the office.

In order to borrow books, you need to present your student card for personal identification.

③ Where to borrow and return books: Career Services Office

5. Contact

Extension: 5921/5922

E-mail: career@ad.naist.jp

URL: <http://www.naist.jp/career/>

Information Initiative Center : ITC (⑧on the campus map)

ITC manages and operates Information infrastructure and Information network (Mandara System) in NAIST. ITC also conducts the support of education and research by utilizing Information security management and Information media.

What is "Mandara"

The university-wide information system at NAIST is named "Mandara", which refers to the truth in Esoteric Buddhism (i.e., the seeking of the infinitesimal paradoxically leads to infinite proliferation).

The Mandara System features strategic architectural configuration to meet user needs and build an advanced environment.

Meanwhile, an information processing environment has been developed from the viewpoint of researchers based on the basic principle of "fulfillment without excess or deficiency" as represented by Mandara.

How to use the Mandara System

You can get more information about the Mandara System to the next page.

And, when you use the Mandara System, you must observe the Ethical Regulations and the following Basic Rules.

- Ethical Regulations for NAIST Information Network Use

http://itcw3.naist.jp/ITC-local/policy/ethical_regulations.en.pdf

- Mandara Operation Policy

http://itcw3.naist.jp/ITC-local/policy/mandara_operation_policy_en.pdf

- Computer Security on Mandara

<http://itcw3.naist.jp/ITC-local/policy/security/index.en.html>

It is necessary to keep your computer secure in order to use the network properly.

- Use of P2P Software

<http://itcw3.naist.jp/ITC-local/policy/p2p/index.en.html>

Using peer-to-peer (P2P) file-sharing software in NAIST or the NAIST dormitory is prohibited.

If you break these regulations, rules and the Laws of Japan, ITC may suspend your account. So you have to keep these rules.

Using the NAIST Information Environment

Account and password

Your Account (User ID) and password are very important for using the NAIST Information Environment (We call it the “Mandara System”). You will receive them from ITC at the guidance session. You must change the initial password you receive to your own password immediately. Please responsibly manage your password.

<http://itcw3.naist.jp/about/mandara-system.en.html> (About Mandara System)
<http://itcw3.naist.jp/ITC-local/password/good-passwd.en.html> (Good Password?)

E-mail service

ITC assigns one e-mail address to each person. This e-mail service is necessary for your research activities and campus life in NAIST. The following table shows settings for the e-mail service.

	Server Name	Protocol	Authentication	Port
Incoming server	mailbox.naist.jp	IMAP over SSL	Plain password	993
Outgoing server	mailpost.naist.jp	SMTP over TLS	Plain password	587
Webmail	https://mailbox.naist.jp/	HTTPS	Plain password	

<http://itcw3.naist.jp/ITC-local/Mail/mailenv.en.html> (NAIST Mail Environment)

Mandara Network

The Mandara Network is the backbone of the NAIST Information Environment. The communication speed is 100 Gbps for the core and 20 Gbps or higher for the branch networks. You can use it via the Standard Individual Workstations.

<http://itcw3.naist.jp/about/mandara-system.en.html#network> (Mandara Network)

Mandara Wireless LAN

The Mandara Wireless LAN (mm2010) is available on campus. It provides strong network security (WPA2 encrypted communications). To connect to the mm2010 with your PC, you need to set the ESSID and encryption key as follows, then enter your Mandara account and password from your browser.

ESSID	Encryption key (WPA2-PSK AES)
mm2010	B6djfS0uBbsLx8xM01BoAjs2e45CGdw9jr/ScdLB10d8kSA

<http://itcw3.naist.jp/ITC-local/wireless/index.en.html>

Desktop IT environment (Standard Individual Workstations)

ITC prepares computer terminals which are called Standard Individual Workstations. They are installed in your laboratory to assist you in accessing NAIST information resources efficiently. Before you begin to use these Workstations, you must attend a lecture from your lab's PC administrator.

Campus-licensed software

ITC provides campus-licensed Microsoft Windows, Microsoft Office and antivirus software for NAIST users. Please read the following URL before installing and using campus-licensed software.

<http://itcw3.naist.jp/ITC-local/campuslicense/index.en.html>

Printer service

You can use the multi function printers installed on each floor. These are common use equipment, so please be considerate of other users.

<http://itcw3.naist.jp/ITC-local/manual/printer/printer.en.html>

High-Performance Computer Server

With your NAIST account, you can use the NAIST High-Performance Computer Server. On this server, you can run code and calculations, such as MATLAB, R, Java SE, CUDA, Hadoop and Materials Studio.

<http://trac.naist.jp/trac/grid/>

Contact Information

In case of trouble

You can browse further information concerning this leaflet at the following URL.

<http://itcw3.naist.jp/ITC-local/index.en.html>

Reporting an issue or trouble

When you discover a malfunction in ITC managed equipment such as a workstations, networks, printers or anything else, you can inform the ITC staff about it and request help by sending an e-mail to itc-trouble@itc.naist.jp.

<http://itcw3.naist.jp/ITC-local/ITC-mail-lists/itc-trouble.en.html>

Note : Regarding problems with equipment installed in the Biological Sciences buildings and the Materials Science buildings, please ask first your lab's PC administrator.

Reporting a security incident

If you discover an information security incident such as a malware infection or a fishing attack, report it to the ITC and your lab's PC administrator immediately.

Contact Information

	Contact	ITC staff room
Information Science	Email: itc-trouble@itc.naist.jp http://itcw3.naist.jp/ITC-local/ITC-mail-lists/itc-trouble.en.html	IS Building B207
Biological Sciences	PC administrator or your lab faculty	BS Building D214
Materials Science	PC administrator or your lab faculty	MS Building E202
Administration Bureau	Information Planning Section	AD Building 2F

NAIST ITC
Information iniTiative Center

NAIST Mandara

 Search

Proper use of the Mandara system

The Information System of NAIST (Mandara system) is provided for the education, research and the administrative activities of the university. The Mandara system includes not only the equipment on campus but also users' personal computers/smart phones which also connect to the Mandara Network. When you use the Mandara system, you must always pay attention and strive to assist in proper system maintenance.

If you neglect information security or commit illegal acts, you may become both a victim and a perpetrator. Not only could you suffer damages, but also possibly legal repercussions. In addition to this, you may disturb many people on campus and harm NAIST's reputation.

You must take precautions to keep up to date on information security and avoid illegal use.

Preventing illegal use

Any intentional or unintentional illegal behavior or behavior which inconveniences other users at NAIST is strictly prohibited when using the information environment, external networks and/or computers on the Internet.

Socially transgressive behavior is prohibited

You must respect the rights of others online as well as offline. Users must not defame others via e-mail, BBS, SNS, etc.

Illegal access is prohibited

Unauthorized access and the sharing other people's passwords without their permission is prohibited.

Illegal copying is prohibited

Users should respect copyrights and license agreements. Specifically, you should not copy commercial software protected by copyrights or license agreements.

Sharing of illegal content is prohibited

Under Japanese law you are not allowed to share/upload/download copyrighted files (e.g. movies, music, and pictures) on the Internet without the agreement of their authors.

Ethical Regulations for NAIST Information Network Use

When you use the Mandara system, you must observe the "Ethical Regulations for NAIST Information Network Use" and the following basic rules. A major purpose of these is to prevent improper and illegal use of the information environment, as well as to ensure smooth and proper operation of the information network at NAIST.

http://itcw3.naist.jp/ITC-local/policy/ethical_regulations.en.pdf (Ethic Rules of Information Network)
http://itcw3.naist.jp/ITC-local/policy/mandara_operation_policy.en.pdf (Mandara Operation Policy)
<http://itcw3.naist.jp/ITC-local/policy/p2p/p2p-request.en.html> (Use of P2P Software)

User's Guide for Information Security

NAIST Ethical Regulations

1. Do not violate the personal communication of others.
2. Do not violate the rights or privacy of others.
3. Do not violate copyrights or intellectual property rights.
4. Do not send or participate in the sending of obscene/indecent pictures or writing, immoral communication, or any other communication that violates Japanese laws and ordinances.
5. Do not obstruct the management and operation of the Information Network System or damage the network or its equipment through the use or downloading of harmful software or data.
6. Only access the Information Network System within the authorized limitations.
7. Do not use the Information Network System for religious or political purposes.
8. Do not use the Information Network System for personal profit.
9. Do not obstruct the proper management and operation of the Information Network System.
10. Do not participate in or perform acts that unjustly impair or harm personal, university, or social interests and activities.

Security measures

Network use can encounter various problems, such as the infection by a malware attached to e-mail, accessing malicious webpages, various server attacks and personal information leaks. Your computer must be kept secure in order to use the network properly.

Password Management

Your account and password are YOUR KEY to NAIST services, support and more. If your password is stolen, your data may also be stolen, altered or deleted. Please choose a secure password, a long string of mixed characters (alphabets, numbers or symbols). After setting the password, make sure you keep it protected. Do not give it out to other people. When you find out that your password has been stolen, report it to ITC immediately.

Using network services

When you connect your devices to the Mandara network, including the dormitory network, you must install antivirus software and update the virus definition files. Also, you have to turn on the firewall settings on your devices.

Malware measures

You must always update to the latest corrective OS and applications. Also, you must install and use antivirus software. Make regularly update your OS, applications and virus definition files.

If you connect to the NAIST network, including the dormitory network, with your own computer, you must obey the campus rules and set up the appropriate security settings. Thank you in advance for your cooperation with the Mandara network.

<http://itcw3.naist.jp/ITC-local/policy/security/index.en.html> (Computer Security on Mandara)

Ethical Regulations for NAIST Information Network Use

Note: This is English translation of the Ethical Regulations for NAIST Information Network Use, which is originally in Japanese. It is provided as a reference for international staff and students to understand the content of Ethical Regulations for NAIST Information Network Use and it should not be regarded as official regulations.

Article 1 (Purpose)

These regulations have been created to prevent actions that may violate communication privacy, human rights, or intellectual property rights, actions of moral misconduct, and those actions that may interfere with proper operation during the use of NAIST's information network. In addition, they have been created to ensure smooth operation of the information network system and contribute to the improvement of its management, supervision and role in education and research.

Article 2 (Definitions)

- (1) The “Information Network System” refers to the facilities for the management and operation of the information network, the computers connected to this network, equipment related to the network, and the software used on it.
- (2) “Users” refers to NAIST directors, staff, faculty, students and those engaged technical, administrative, research, or educational activities, who use NAIST's information system.
- (3) “System administrator” refers to the director of the Information Initiative Center and those involved with administration and management of the information network system.

Article 3 (Restrictions of Use)

The information network system is to be solely used for the purposes of education, research and university administration and management.

Article 4 (Network Rules)

Users recognize that the Information Network System can have strong and broad effects on society and, in order to ensure the smooth and proper operation of the network, agree to abide by the following rules. In using the internet, the user must handle all information, personal and otherwise, attained through the system properly.

- (1) Do not violate the personal communication of others.

- (2) Do not violate the rights or privacy of others.
- (3) Do not violate copyrights or intellectual property rights.
- (4) Do not send or participate in the sending of obscene/indecent pictures or writing, immoral communication, or any other communication that violates Japanese laws and ordinances.
- (5) Do not obstruct the management and operation of the Information Network System or damage the network or its equipment through the use or downloading of harmful software or data.
- (6) Only access the Information Network System within the authorized limits.
- (7) Do not use the Information Network System for religious or political purposes.
- (8) Do not use the Information Network System for personal profit.
- (9) Do not obstruct the proper management and operation of the Information Network System.
- (10) Do not participate in or perform acts that unjustly impair or harm personal, university, or social interests and activities.

Article 5 (System Administrator Duties)

The system administrator will alert all users of these regulations and the rules within, while promoting moral awareness concerning information network system usage.

- (2) The system administrator may take measures such as canceling access to the Information Network System of those individuals who violate or are in violation of these regulations or any of the rules within.

Article 6 (Network Investigation)

Upon discovering acts or computers in violation of the rules in article 4, report this to the Information Initiative Center. (Herein referred to as “Center”)

- (2) After investigating possible violations and finding violations of the rules in article 4, the Center will notify the university president and the dean of the violator’s graduate school of the investigation results.
- (3) In the case where a violation involves areas under the administration of a university committee, the Center will also notify the appropriate committee of the investigation results.
- (4) In performing the investigation in (2), the Center will perform an impartial interview of the possible violation and those involved, taking care to respect their respective privacy, rights, and reputation.

Article 7 (Disciplinary Actions)

After receiving a report of the investigation in Article 6-(2) and after following the appropriate procedures, the university president will decide strict disciplinary actions appropriate to the severity of the violation.

Article 8 (Miscellaneous Provisions)

Provisions and rules in addition to those stated in these regulations will be established concerning information network usage.

Supplementary Provision

These regulations shall come into effect on April 1, 2004.

Supplementary Provision

These regulations shall come into effect on April 1, 2005.

Supplementary Provision

These regulations shall come into effect on April 1, 2010.

Supplementary Provision

These regulations shall come into effect on April 1, 2011.

NAIST Library (② marked on the campus map)

We, NAIST Library support education and research in advanced sciences and technologies (especially in information science, biological sciences, and materials science). We pursue to make our library keep providing NAIST members with excellent accesses to books, journals and scientific information anytime, anywhere connected with the internet through “MANDARA network”.

We provide accesses to not only books and journals but also lectures and theses as digitalized NAIST academic works, and efficiency navigation to full-text of latest scientific information on the library website.

We also provide usual library services and facilities: services for those who are present in the library (e.g. book circulation, browsing) for 24 hours a day, “Chi-no-Mori Selection” as the booth offering books in specialized theme, “Multimedia Lounge” and “Theater Lounge” for group meeting, interlibrary services with other academic libraries, National Diet Library and Nara Prefectural Library and Information Center.

1. The major services and library materials available through the NAIST Digital Library (Library portal)

Library materials Search (Online Public Access Catalog) (books, journals, DVDs)

NAIST's digitized materials

****You must submit a written pledge to abide by copyright law before using the materials.**

Digitized books and journals

Theses (master's and doctoral theses etc.)

Lecture archives

Lecture videos

Handouts

Online journals, Online books and Databases

** Online resources are available to NAIST students on campus and from off-campus.

naistar (academic repository) which aims to collect digital research materials produced at NAIST, storing and saving the materials on a permanent basis, and providing them for public viewing via Internet free of charge.

2. Checking out and Reading library materials

- You can check out ten books from the library for two weeks, though reference books and journals cannot be checked out.
- You can check out and return books using the ABC (Automatic Books Circulation) machine.
- You can reserve the book which is on loan and extend the due date from the Library Portal.

**Students can use the library 24 hours a day all year round. A student ID card is required to enter the library between 7:00 pm and 8:00 am of the following day. (except during the New Year holidays and temporary closing)

For more information, please refer to the Library Portal (<http://library.naist.jp/>) or the library guide.



English E-Learning System (ALC NetAcademy 2)

1. What's ALC NetAcademy 2?

ACL NetAcademy 2 is an online English learning system which provides self-study courses to improve English competence, practice TOEIC, and develop reading skills for scientific papers.

2. Who can Use NetAcademy 2?

Students and faculty members of NAIST can use the system. This system is on service 24 hours a day and is accessible at home or from outside the campus. Registration is not required.

3. How to Access?

You can directly access the following URL,

<https://itcw3.naist.jp/NetAcademy/index.ja.html>

<How to login> Account : MANDARA-DOMAIN¥“MANDARA account”

Password: “MANDARA password”

4. What Courses are available?

The following five courses are available:

- Super-standard Course
- Standard Course
- Course for Beginners and Intermediates Plus
- Technical English (Basic Course)
- Technical English (Power-up Course)

5. Recommended System Requirements

NetAcademy 2 has been tested on the following platforms:

OS	Windows Vista SP2 / 7 SP1 / 8 , 8.1 *
WWW Browser	Internet Explorer 8 / 9 / 10 / 11
Browser Plug-in	Flash Player 12.0

*NetAcademy 2 should run on other platforms as long as Flash Player operates properly. However, there is a possibility that texts and animations are not displayed properly, etc.

*On MacOS X 10.3/10.4, TOEIC Test in the Course for Beginners and Intermediates Plus has been confirmed not to work properly.



1 1 Campus Life

Tuition and payment

1. Tuition fee and due date (by automatic bank transfer)

Course	Tuition fee (*1)	Due date (*2)
Master's course	535,800 yen	Spring semester (April to September): Due May 29 (Monday), 2017
Doctoral course	(267,900 yen for a half-year term)	Autumn semester (October to March): Due November 27 (Monday), 2017

*1: If the tuition fee is revised during your enrollment, the new tuition fee will be charged. (You will be notified of the tuition fee for the semester by e-mail during May and November.)

*2: Payment (by automatic bank transfer) is due on May 27 and November 27 every year. If the due date falls on a non-business day of the financial institution, the payment will be transferred on the following business day. (Your account balance is checked at 3:00 pm on the business day preceding the due date.)

2. Payment

The tuition fee for a half-year term is automatically withdrawn from your bank account on the due dates of the spring and autumn semesters designated by NAIST. If you wish to pay the tuition fee for both semesters combined on the due date in May, please contact us by April 28 (Friday), 2017. If you have applied for tuition fee waiver, payment of the tuition fee will be postponed until the result of the application is announced. For details of automatic bank transfer procedures and other related matters, please inquire at the Accounting Section of the Finance Division (extension: 6227).

Note that failure to pay the tuition fee for two consecutive semesters will result in expulsion from NAIST.

Student ID Card

NAIST students are issued a student ID card, which not only verifies your status as a NAIST student but also serves as an electronic key. This key is needed for: entry to NAIST's facilities before or after the normal service hours, namely between 7:00 pm and 7:30 am, and on Saturday, Sunday and national holidays; use of the automatic certificate issuing machine; and borrowing of books from the NAIST Library. Therefore, you should carry your student ID card at all times while attending NAIST. Your graduate school, year of enrollment, and student number are registered in the card, and card readers automatically scan this information to check whether you are eligible to enter specific facilities in NAIST.

Precautions on handling your student ID card

- (1) You should keep your student ID card in a case and carry it at all times at NAIST.
- (2) You are not allowed to lend or assign your student ID card to anyone else.
- (3) If you lose your student ID card or your card has become unusable due to failure of the magnetic strip, etc., you should immediately report it to the Academic Affairs Section of the Educational Affairs Division.
If the card reader does not react properly upon inserting your student ID card to enter a certain building, call the Security Center on the first floor of the Administration Bureau building through the interphone, state your affiliation and name, and the key will be unlocked for you.
- (4) When your student ID card has expired or you are no longer a NAIST student due to withdrawal or for other reasons, return your student ID card to the Academic Affairs Section of the Educational Affairs Division without delay.
- (5) Protecting your card:
 - Keep your student ID card away from strong magnetic fields or devices (e.g. NMR machines).
 - Do not leave your card in hot places (e.g. in a car during summer).
 - Do not fold your student ID card.

Student Personal Report

The information contained in the “Student Personal Report” (*Gakusei kojīn houkokusho*) submitted at the time of enrollment is used for contacting you in case of emergency. If any of the following registration details changes, please inform the Academic Affairs Section of the Educational Affairs Division without delay.

● Registration details

- Your address and telephone number (fixed and/or mobile) where you can be reached after enrollment in NAIST
- Information about your place of work (if you are a working student)
- Name of a contact person in case of emergency, person’s relationship with you, and his/her address and telephone number

● Where to report

Please report the change to the Academic Affairs Section of the Educational Affairs Division.

Procedures and issuance of certificates

1. Procedures

When requested by NAIST, by means of a notice on the bulletin board, etc., you should perform the procedures as requested within the specified period. You should also perform the prescribed procedures when necessary for your own personal reasons. Please note that failure or delay in doing so could cause hinder you in many ways and become an inconvenience to other people.

Document to be submitted	When to submit	Contact office
Leave of absence request form (Kyugaku Negai)	When you are to take a leave of absence for three consecutive months or longer by illness, studying abroad, and so on. (If illness is the reason for the leave, a medical certificate should be attached.) * The form should be submitted at least two weeks in advance.	Academic Affairs Section, Educational Affairs Division (Extension: 5085)
Return from leave request form (Fukugaku Negai)	When you wish to return to NAIST before the period of the leave of absence is over. (For those who were absent due to illness, please attach a medical certificate.)	

Return from leave notice form (Fukugaku Todoke)	When you wish to return from leave during your scheduled leave of absence period.	
Withdrawal form (Taigaku Negai)	When you are to withdraw from NAIST * The form should be submitted at least two weeks in advance.	
Change of name form	When your name changes * A residence certificate or other document proving your change of name should also be submitted.	
Student ID card reissue request form	When you have lost your student ID card or your card has become unusable due to damage or dirt	
Overseas travel Notification	When you are to travel overseas for less than three months (except when the travel is needed as part of the regular coursework at NAIST)	Education Planning Section, Educational Affairs Division (Extension: 6247)
Study Abroad Request	When you go studying abroad * The form should be submitted at least two months in advance.	International Affairs Section, International Affairs Division (Extension: 5909, 5087)
Notice of Absence from Japan	When international students are to temporarily return to their home countries or depart from Japan. * Please submit "Notice of Absence from Japan" before leaving. ※The form is available at International Student Affairs Section for the document.	International Student Affairs Section, International Affairs Division (Extension: 5909, 5087)
Plan after completion of course /job (informal employment offer) report form	When you graduate or leave school	Career Services Office (Extension: 5921)
The forms to be submitted to the Educational Affairs Division are available at its counter, or can be downloaded from the intranet and website for NAIST students at: https://ad-info.naist.jp/gakusei/shinsei.html		

● Notes on procedures for leave of absence or withdrawal

(1) Leave of absence

- You can apply for leave of absence if you are unable to attend school for three consecutive months or longer due to illness or for other justifiable reasons.
- The period of leave of absence is up to one year, however, you may apply for an extension of the period for another one year at the longest, if you have special reasons. To apply for an extension of the period of leave of absence, you are required to submit the leave of absence (extension) request form again, at least two weeks prior to the expiration of the initial period of leave of absence.
- Upon expiration of the period of leave of absence, you are automatically readmitted to NAIST. Please submit "Return from leave notice form."
- The period of leave of absence does not count toward the standard years of study and years of enrollment.
- Please also indicate when you expect to complete your course after returning to NAIST.
- Some certificates (including certificate of expected completion, certificate of health, and certificate of student travel discount) cannot be issued during the period of leave of absence.
- You cannot use the NAIST Library during the period of leave of absence.
- You do not have to pay tuition fees for the period of leave of absence.

(2) Withdrawal

- If you withdraw from NAIST after having been enrolled in the doctoral course for at least three years, provided your instructor confirms you have received his or her research guidance, you are treated as “having withdrawn from NAIST with the approval of your research instructor” in your personal record.
- Tuition fees, once paid, cannot be reimbursed.

(3) Common matters

- Permission for both leave of absence and withdrawal is conditioned on payment of the tuition fee.
- Tuition fees, once paid, cannot be reimbursed except in the following cases:
 - If leave of absence is permitted, the portion of the tuition fee for the period of leave of absence will be reimbursed.
 - If you paid the combined tuition fee for the spring and autumn semesters, and are permitted to withdraw from NAIST before the beginning of the autumn semester, the tuition fee for the autumn semester will be reimbursed.
- The deadline for submitting the form is two weeks prior to the date you wish to take leave of absence or withdraw. If you fail to submit the form by the deadline, the date of permission will be in the following month.
- In principle, a request for leave of absence or withdrawal should be made on a semester by semester basis.

Leave of absence: The period should commence from April or October and end at the end of September or March, in principle.

Withdrawal: The date you wish to withdraw from NAIST should be the end of September or March.
- You should indicate the reason for the leave of absence or withdrawal in the form in detail; “for personal reasons” cannot be accepted.
 - Leave of absence: If you take leave of absence due to illness, a medical certificate should be attached. If the reason is “pressure of business,” indicate the name of your workplace.
- Note that you may be required to move from NAIST’s dormitory or take procedures to stop payment of scholarship.

2. Issuance of certificates**●Certificates that are automatically issued**

You can use the automatic certificate issuing machine to have the following certificates issued within the same day: certificate of enrollment, certificate of expected completion, certificate of academic record, certificate of completion, certificate of health and certificate of student travel discount. For conditions of issuance of these certificates, please refer to the following table.

Certificate	Conditions of issuance	Service hours and location of the automatic certificate issuing machine
Certificate of enrollment(Japanese/ English)	Not issued to non-regular students, including research fellows.	Service hours: 7:30 am to 7:00 pm Monday to Friday (excluding national holidays and year-end holidays) Please apply for certificates in advance, as the machine may not be working outside of normal office hours. Location: Entrance lobby of NAIST Library
Certificate of expected completion(Japanese/ English)	Students should have been enrolled in the master’s course for at least six months or be in the second year in the doctoral course to apply for this certificate.	
Certificate of completion of Master’s course (Japanese/ English) Certificate of academic records of Master’s course (Japanese/ English)	Only available for those who have proceeded to the doctoral course internally from the master’s course at NAIST.	

Certificate of academic record (Japanese/ English)	The certificate of academic record is an official certificate issued in the name of the Dean of the Graduate School that does not include failed courses.	
Academic record (Japanese/ English)	The academic record is issued for students to check their academic performance including failed courses.	
Certificate of health (Japanese only)	The certificate is issued only to those who have completed all annual health checkups. Students admitted to NAIST from the autumn semester will be issued the certificate after taking the annual health checkup in the following year.	
Certificate of student travel discount (Japanese only)	<ul style="list-style-type: none"> • Up to 10 certificates are issued per student annually. • The certificate is valid for three months. (Not issued to non-regular students, including research fellows and students on leave of absence.) 	

● Certificates issued over-the-counter

If you need certificates other than those issued by the automatic certificate issuing machine, apply at the Educational Affairs Division using the prescribed application form. You should apply well in advance, as some certificates take time to issue.

Certificate	Conditions of issuance	Contact office
Certificate for Japanese Government Scholarship students	Issued in the afternoon of the day following the application (except on Saturday, Sunday and national holidays).	International Student Affairs Section, International Affairs Division (Extension: 5909, 5087)
Certificate for international students (Ex. Certificate for Japanese Government Scholarship students)	Issued in the afternoon of the day following the application (except on Saturday, Sunday and national holidays).	International Student Affairs Section, International Affairs Division (Extension: 5909, 5087)
Certificate of occupancy in student dormitory	Issued in the afternoon of the day following the application (except on Saturday, Sunday and national holidays).	Student Support Section, Educational Affairs Division (Extension: 5920)
Certificate of Enrollment Personal Accident Insurance for Students Pursuing (PAS)	Issued in the afternoon of the day following the application (except on Saturday, Sunday and national holidays).	Student Support Section, Educational Affairs Division (Extension: 5920)

Commuter certificate

(1) Student commuter pass

To buy a student commuter pass between your place of residence and NAIST, fill in your student number, name and address in a commuter pass application form (*Tsuugaku teiki joshaken hakko hikae*) distributed at the beginning of each academic year, and present the form together with a commuter pass purchase form and your student ID card to a train station with a commuter pass office. (If there is no more space on your commuter pass application form, please apply at the Educational Affairs Division for an additional copy.)

The nearest Kintetsu stations designated by NAIST are Takano-hara Station on the Kyoto Line, Gakuenmae Station on the Nara Line, and Gakken-Kita-Ikoma Station on the Keihanna Line.

(2) Student commuter passes for commuting to off-campus facilities

If you are going to work at off-campus facilities as part of your study at NAIST and need a student commuter pass for that purpose, you should apply at the Student Support Section of the Educational Affairs Division to have a commuter certificate issued. The application should be submitted at least one month before starting work at the off-campus facilities (the certificate takes longer to issue because we must obtain approval from the railway company).

* Non-regular students, including research fellows and students on leave of absence, cannot purchase student commuter passes.

Scholarships of private organizations

Students will be informed of scholarship programs offered by private organizations whenever applications are invited.

Tuition fee exemption

NAIST offers a tuition fee exemption program, under which students selected from among applicants are exempt from payment of all or part of tuition fees provided that: the student has difficulty in paying tuition fees for financial reasons and is recognized for academic excellence; or the student has extreme difficulty in paying tuition fees because of the death of the person who would normally have paid the tuition fee within one year prior to his or her admission to NAIST or due to damage by natural disasters to the student or the person who would normally have paid the tuition fee. For details about application procedures, please inquire at the Student Support Section of the Educational Affairs Division.

Personal Accident Insurance for Students Pursuing Education and Research (PAS)

Personal Accident Insurance for Students Pursuing Education and Research (Gakkensai) insures students enrolled in national, public, and private universities in Japan against unexpected physical injuries they may suffer while attending lectures, university events, extracurricular activities, taking a break on campus, or traveling to and from university or off-campus facilities for research/educational purposes. At NAIST, all students are required to take out the Gakkensai insurance as part of enrollment procedures.

For more details about the Gakkensai insurance, please refer to the booklet.

Course	Insurance premium	Insurance period
Master's course	1,750 yen	2 years
Doctoral course	2,600 yen	3 years

※Valid until March 31 in expected year of graduation for students admitted in April and until September 30 in expected year of graduation for students admitted in October.

Liability Insurance coupled with PAS

All students are also required to take out the Personal Liability Insurance for Students (Gakkenbai). This optional coverage insures students against third-party liability for damage caused by the student to others or their property while attending lectures, university events, extracurricular activities or traveling to and from university facilities, both on- and off-campus. For more details about the Gakkenbai insurance, please refer to the booklet.

Course	Insurance premium	Insurance period
Master's course	680 yen	2 years
Doctoral course	1,020 yen	3 years
Amount of coverage : Up to 100 million yen per incident		

※Valid until March 31 in expected year of graduation for students admitted in April and until September 30 in expected year of graduation for students admitted in October.

General Insurance for Students supplementary to Gakkensai

General Insurance for Students supplementary to Gakkensai provides comprehensive coverage against risks that may arise in campus life. At NAIST, students are not obligated to be covered by this insurance. If you wish to take out the insurance, please complete the necessary procedures individually. Brochures with details of this insurance are available at the Student Support Section of the Educational Affairs Division.

Student dormitories (Campus map 13)

Student dormitories are located within the campus of NAIST as shown below.

Outline of student dormitories

Type	Single-person occupancy	Couple occupancy	Family occupancy
Structure	Five-story reinforced concrete building	Five-story reinforced concrete building	Five-story reinforced concrete building
No. of residential units	559	50	10
Floor area	13 m ²	36.98 – 41.45 m ²	51.56 m ²
Fixtures	Desk, bed, mini kitchen, toilet, etc.	Desk, kitchen, toilet, bath, laundry machine, air conditioner, etc.	Desk, kitchen, toilet, bath, laundry machine, air conditioner, etc.
Common facilities	Bath, laundry, lounge, etc.	—————	—————
Dormitory fee	5,900 yen/month	11,900 yen/month	14,200 yen/month
Common service charge	4,100 yen/month	600 – 1,100 yen/month	1,100 yen/month
Utility charge	To be paid by the occupant	To be paid by the occupant	To be paid by the occupant

Dwellings rented by NAIST for students

NAIST also rents apartment complexes (Nakatomi Daisan Danchi, Tomio Danchi and Heijo Daiichi Danchi) owned by the Urban Renaissance Agency, and rents them out to students upon application. If you are interested, please inquire at the Student Support Section of the Educational Affairs Division for details.

Parking a car and bicycle

1. Commuting by car

You are not allowed to drive a car on the premises of NAIST. Please park your car in the public parking lot in the Takayama District, north of NAIST. The parking fee must be paid in cash (300 yen per day) or using a parking pass. Please note that the first time you buy a parking pass, you should buy it at the Foundation for Nara Institute of Science and Technology (in Takayama Science Plaza) at the north of the public parking lot in the Takayama District. Anytime after that, you can buy the pass at the convenience store on the first floor of the University Union.

Parking pass fee (for students): 1,500 yen per month, 4,000 yen per three months, 7,500 yen per six months

2. Commuting by bicycle and motorcycle

You are not allowed to ride a bicycle or motorcycle on the premises of NAIST. Please park your bicycle or motorcycle in the public parking lot in the Takayama District, north of NAIST. Parking is free.

If you wish to use the parking lot, you must register at the Student Support Section of the Educational Affairs Division. Parking of bicycles and motorcycles in the parking lot without registration constitutes illegal parking, and such bicycles and motorcycles will be removed.

National museums campus members

NAIST has joined the campus members system. The campus members system is a cooperative system between national museums and universities which aims to provide students with the opportunity and facilities to study culture and history through the sharing of the museums collections of cultural assets.

Holders of NAIST Student ID cards (both regular and non-regular students) are allowed free entry to the regular exhibitions including featured exhibitions at the Kyoto National Museum and Nara National Museum as many times as they wish. Or discount rate applies to the special exhibition. For more details about other benefits, please refer to the website of NAIST.

(http://www.naist.jp/campus-student/e02_06_j.html)

Students' Cultural Activities and Events

As part of the cultural activities offered, we organize an annual field trip to Nara to visit historic sites, shrines, temples, and museums in order to cultivate ethical values and sophistication as human beings and as researchers, scientists, and engineers.

Many international students participate in this trip every year and the trip is now a venue for international exchange between Japanese and international students. Students are welcome to participate (details will be sent via email).

[Destinations in the last three years]

[Fall 2016] Todai-ji Temple, Kasuga Taisha Shrine, Kofuku-ji Temple, Nara National Museum in Nara

[Spring 2016] Horyu-ji Temple, Saidai-ji Temple in Nara

[Fall 2015] Todai-ji Temple, Kasuga Taisha Shrine, Kofuku-ji Temple in Nara

[Spring 2015] Takamatsuzuka Tomb and Ishibutai Tomb in the Nara/Asuka areas

[Fall 2014] Yakushi-ji Temple in Nara (preaching, copying sutras, worship)

[Spring 2014] Horyu-ji Temple, Chugu-ji Temple, Hoki-ji Temple in Nara

Student welfare facilities

1. University Union (Campus map 3)

University Union houses a restaurant, tea room, convenience store, and healthcare center for the welfare of students and faculty members of NAIST.

2. Social venue for researchers: Guesthouse Sentan (Campus map 7)

Students and faculty members of NAIST can use the facilities of Guesthouse Sentan as outlined below. For more details, please refer to the website of NAIST.

(<http://www.naist.jp/campuslife/information/welfare.html>)

Facilities	Period of use/service hours	Where to apply
Accommodation	Check-in time: after 3:00 pm Check-out time: before 11:00 am	Welfare Section of the Personnel Division Extension: 5033 E-mail: fukuri@ad.naist.jp
Meeting room	Open from 9:00 am to 9:00 pm (Closed from December 29 to January 3)	
Fitness room	Open from 9:00 am to 10:00 pm	Application is not necessary.

3. Sports facilities

Students and faculty members of NAIST may use the following sports facilities for free.

Facilities	Open hours	Selection by drawing
Athletic field	7:00 am to sunset	Successful applicants are selected by ballot, which is held on the 20 th day of the preceding month (or the following weekday if the day falls on a Saturday, Sunday or national holiday). Venue of ballot: Lobby on the first floor, Interdisciplinary Frontier Research Complex No.2 Time of ballot: 9:00 am
Volleyball/basketball court	7:00 am to 10:00 pm	
Tennis court	7:00 am to sunset	
Tennis court (with lighting)	7:00 am to 9:00 pm	

You can also rent sporting goods for tennis, softball, etc. and barbecue equipment.

For details about using the sports facilities, please inquire at the Student Support Section of the Educational Affairs Division.

4. Takayama Science Plaza

Takayama Science Plaza, operated by the Foundation for NAIST, adjoins NAIST, which houses a restaurant and seminar rooms.

Other matters

1. Counter hours of the Educational Affairs Division

8:30 am – 5:30 pm (except Saturdays, Sundays, national holidays, foundation day of NAIST, Office closing days for summer, and December 29 to January 3)

In case of emergency, you can enter the office, if open, even before or after the counter hours.

2. Notification from NAIST

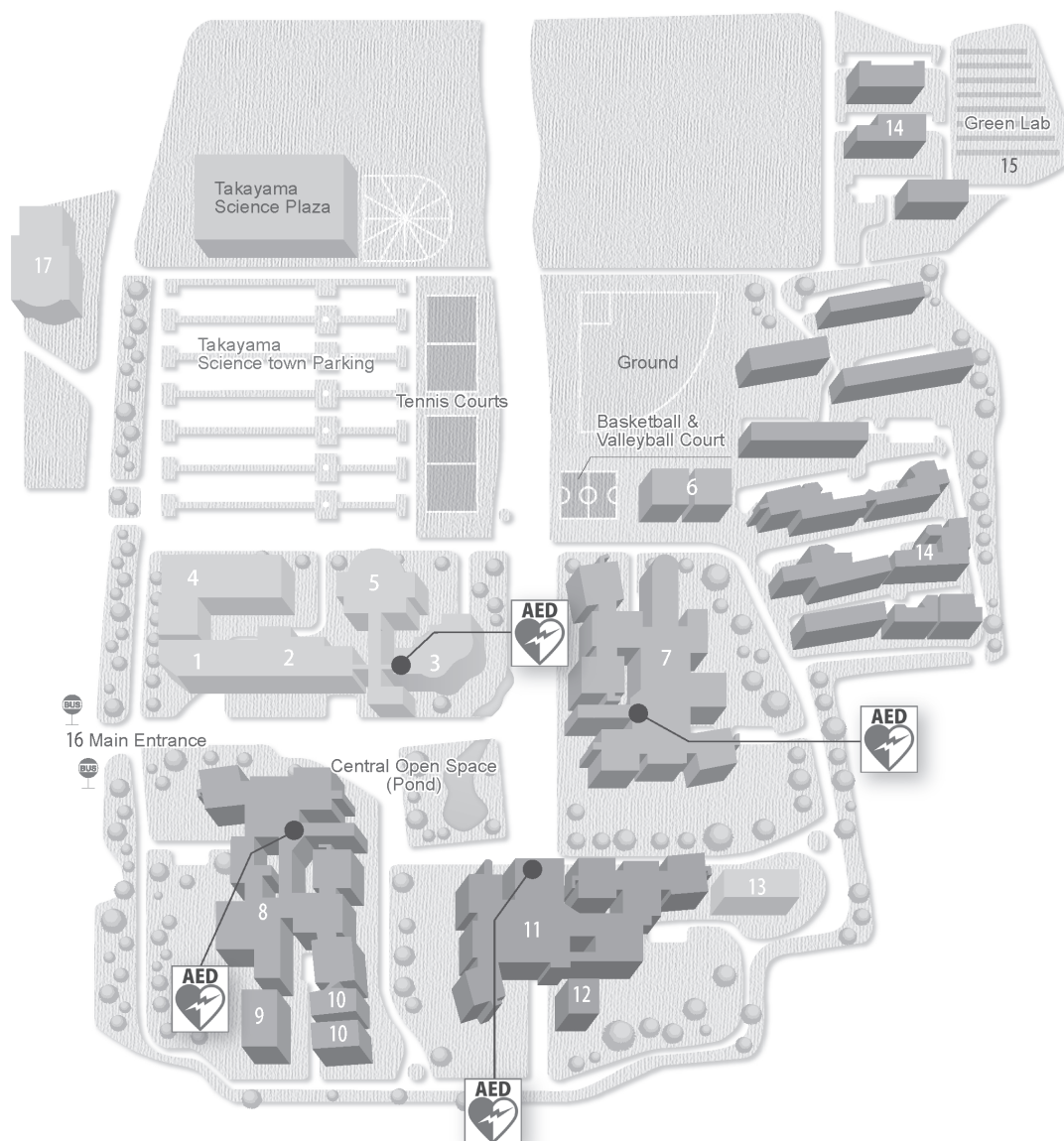
NAIST notifies students of necessary information by e-mail or through the bulletin board. Private notices will usually be sent by e-mail. Please check incoming e-mails carefully: If you overlook important information sent by NAIST such as a request to submit an application, you may suffer a disadvantage.

3. Website for students [<https://ad-info.naist.jp/member/>]

You can access the website for students by clicking “Internal Only” on NAIST’s website. This website contains various useful information, including announcements (the latest updates), Academic affairs (curriculum, notice to students for the academic records, changes of class schedule), an online English study system (ALC NetAcademy) and job information.

4. Consult Faculty members in charge of subjects if students cannot attend lectures and are possibility not to get credits due to unavoidable reasons including delayed public transportation, conference presentation, employment examinations, mourning, infectious disease and so on.

• Campus Map



- | | |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> 1. Administration Bureau 2. Library 3. University Union / Health Care Center 4. Interdisciplinary Frontier Research Complex No.2 5. Millennium Hall 6. Guesthouse Sentan 7. Graduate School of Information Science / Information Initiative Center 8. Graduate School of Biological Sciences / Research and Education Center for Genetic Information 9. Animal Experimentation Facility 10. Botanical Greenhouses | <ul style="list-style-type: none"> 11. Graduate School of Materials Science / Research and Education Center for Materials Science 12. Bio Nano Process Laboratory 13. Interdisciplinary Frontier Research Complex No.1 14. Student Dormitories / Staff Residences 15. Green Lab 16. Main Entrance 17. Administration Bureau Annex |
|--|--|

Campus Map

Regulations of Nara Institute of Science and Technology

April 1, 2004
Regulations No. 1

Table of Contents

- I. General Provisions (Articles 1 to 3)
- II. Educational and Research Organization (Articles 4 to 11)
- III. President, Vice President, Deans, etc. (Articles 12 to 19)
- IV. Faculty Council (Article 20)
- V. Admission Capacity and Enrollment Capacity (Article 21)
- VI. Academic Year, Semesters, and Closed Days (Articles 22 to 24)
- VII. Admission (Articles 25 to 30)
- VIII. Standard Terms of Study and Maximum Years of Enrollment (Articles 31 to 32)
- IX. Education at Graduate School (Articles 33 to 40)
- X. Course and Degree Requirements (Articles 41 to 46)
- XI. Leave of Absence, Study Abroad, Readmission, Transfer from/to another School, Transfer to another Graduate School within NAIIST, Withdrawal, and Expulsion (Articles 47 to 53-2)
- XII. Entrance Examination, Admission and Tuition Fees (Articles 54 to 65)
- XIII. Special Auditing Students, Special Research Students, Non-Degree Students,, Research Students and Undergraduate Internship Students (Articles 66 to 69-2)
- XIV. Recognition and Punishments (Articles 70)
- XV. Student Dormitories (Article 71)
- XVI. Open Lectures (Article 72)

Supplementary Provisions

I. General Provisions

Article 1 (Purpose)

Nara Institute of Science and Technology (“NAIST”) aims to promote cutting-edge research activities and train skilled personnel through advanced education based on the results of such research activities, thereby contributing to the advancement of science and technology and prosperity of society.

Article 2 (Self-assessment)

1. NAIST shall inspect and assess educational and research activities conducted internally (“Self-assessment”) and make the results of the Self-assessment publicly available, in order to raise NAIST’S education and research standards and achieve the goals and social mission described in the foregoing article.
2. NAIST shall have the results of the Self-assessment examined by third party reviewers.
3. Matters concerning implementation of the Self-assessment shall be provided for separately.

Article 3 (Active provision of information)

NAIST shall actively provide information on its educational and research activities through publications or other suitable means.

II. Educational and Research Organization

Article 4 (University with graduate school curriculum)

NAIST is a university with graduate school curriculum only.

Article 5 (Graduate School and department)

The Graduate Schools of NAIST have the graduate schools and departments shown in the following table.

Graduate School	Department
Information Science	Information Science
Biological Sciences	Biological Sciences
Materials Science	Materials Science

Article 6 (Objectives of Graduate Schools)

Respective Graduate Schools shall have the following objectives concerning educational and research activities.

(1) Graduate School of Information Science

Promotes advanced research on information science, offers systematic education programs covering diverse fields related to information science (including information processing technology for assisting senses and judgments, technology for constructing large-scale information systems, technology for constructing and operating reliable information networks, and extensive interdisciplinary research involving information and life sciences), and thereby produces researchers capable of undertaking R&D to further today’s information society future and engineers with advanced expertise.

(2) Graduate School of Biological Sciences

Promotes state-of-the-art research for elucidating the basic principles of life phenomena and biological diversity on molecular, cellular, and individual levels, and for utilizing these results to resolve the problems faced by the human society, offers systematic education programs covering diverse fields related to biological sciences, and thereby produces creative and leading-edge researchers and engineers with advanced expertise capable of promoting and utilizing biological sciences

(3) Graduate School of Materials Science

Elucidates structures and functions of materials on molecular, atomic, and electron levels, promotes creative research on materials science, and through systematic education programs covering diverse fields related to materials science thereby produces human resources (i) who are keenly interested in the problems faced by human society and the needs of industrial circles and are capable of undertaking creative and advanced research in materials science and interdisciplinary domains, and (ii) who assume active roles in fields of technological innovation and diverse sciences and technologies

Article 7 (Faculties)

1. The Graduate Schools have academic faculties.
2. Matters relating to academic faculties shall be provided for separately.

Article 8 (Courses and their purposes)

1. The Graduate Schools of NAIST have doctoral courses.
2. Each doctoral course consists of a first course (“Master’s Course”) and a latter course (“Doctoral Course”).
3. The Master’s Course aims to equip students with profound academic knowledge from broad perspectives, and help students develop the ability to conduct advanced research in their fields of specialty or engage in professions that require highly specialized skills.
4. The Doctoral Course aims to help students develop the ability to conduct advanced research activities on their own, and research skills of the highest level necessary for highly sophisticated professions, and to foster profound academic knowledge indispensable for such research activities and professions.

Article 9 (Information Initiative Center)

1. NAIST has an Information Initiative Center.
2. Information Initiative Center has a NAIST Library.
3. Matters relating to the Information Initiative Center shall be provided for separately.

Article 10 (Collaborative educational and research institutions)

1. NAIST has the following common educational and research institutions:

- (1) Research and Education Center for Genetic Information
 - (2) Research and Education Center for Materials Science
2. Matters relating to the collaborative educational and research institutions shall be provided for separately.

Article 11 (Health Care Center)

1. NAIST has a Health Care Center.
2. Matters relating to the Health Care Center shall be provided for separately.

III. President, Vice President, Deans, etc.

Article 12 (Organization)

1. The organization of NAIST consists of the following members:

President

Vice President

Deans of Graduate Schools

Vice Deans of Graduate Schools

Director of Information Initiative Center (ITC)

Director of Center for Frontier Science and Technology

Directors of collaborative educational and research facilities

Director of Research and Education Center for Genetic Information

Director of Research and Education Center for Materials Science

Director of Health Care Center

Faculty members

General staff members

Other staff members

2. The faculty members of NAIST consist of professors, associate professors, lecturers, assistant professors, and research associates.

3. General staff members of NAIST consist of administrative staff, technical staff, nurses and academic staff.

Article 13 (President)

The President shall be responsible for management of internal affairs at NAIST and supervision of all faculty and staff members thereof.

Article 14 (Vice President)

The Vice President shall be responsible for supporting the President and, upon receiving authorization from the President, be responsible for management of affairs at NAIST.

Article 15 (Deans of Graduate Schools)

Each Dean shall be responsible for the administration of his or her Graduate School and the collaborative educational and research facilities associated therewith.

Article 16 (Vice Deans of Graduate Schools)

Each Vice Dean shall be responsible for supporting the Dean of his or her Graduate School.

Article 17 (Director of Information iniTiative Center (ITC))

The Director of the Information iniTiative Center (ITC) shall be responsible for administration of the Information iniTiative Center (ITC).

Article 18 (Directors of the collaborative educational and research facilities)

Directors of the collaborative educational and research facilities shall be responsible for affairs of their respective facility.

Article 19 (Director of Health Care Center)

The Director of the Health Care Center shall be responsible for its administration.

IV. Faculty Council

Article 20 (Faculty Council)

1. Each Graduate Schools has a Faculty Council.
2. The Faculty Councils shall be responsible for expressing opinions concerning the following items which the president deliberates:
 - (1) Student admission and course completion
 - (2) Degree conferment
 - (3) Arrangement of curriculum
 - (4) Student recognition and punishment
3. In addition to the items stipulated in the foregoing subsection, the Faculty Councils may also discuss the following areas concerning the education and research governed by the President and the Deans, and present opinions concerning these upon request of the president and/or Deans.
 - (1) Matters relating to student registration at and credits from other institutions
 - (2) Matters relating to the acceptance of special auditing students, special research students, non-degree students, research students and undergraduate internship students
 - (3) Matters relating to departmental agreements with institutions and private corporations
 - (4) Matters relating to laboratory establishment, reorganization and closing
 - (5) Matters relating to required Graduate School evaluation and assessments pertaining to university appraisal
 - (6) Other matters relating to education and research
4. Each of the Faculty Councils shall consist of full-time and associate professors engaged in educational or research activities of the relevant Graduate School. However, the Dean of the

Graduate School may invite faculty members involved in educational or research activities of other Graduate Schools to join its Faculty Council when deemed necessary.

5. Notwithstanding the provision of the foregoing subsection, members of the Faculty Council who are on an official trip abroad, on leave of absence or absent for other reasons may be removed from the Faculty Council.

6. The Dean of each Graduate School shall serve as Chairperson of the respective Faculty Council.

7. The Chairperson of each Faculty Council shall preside over the council's meetings.

8. In case the Chairperson has become unable to serve his or her role, the Vice Dean shall act as the chairman on his or her behalf.

9. For the Faculty Council meetings and resolutions to be valid, a majority of all the members thereof shall be present.

10. Resolutions at Faculty Council meetings shall be passed with assenting votes of a majority of the faculty members present at the meeting. In case of a tied vote, the Chairperson shall cast the deciding vote.

11. The Dean may invite individuals who are not Faculty Council members to attend council meetings if he or she deems it necessary to do so.

V. Admission Capacity and Enrollment Capacity

Article 21 (Admission and enrollment capacity)

The admission capacity and enrollment capacity of each Graduate School of NAIST shall be as shown in the attached table.

VI. Academic Year, Semesters, and Closed Days

Article 22 (Academic year)

1. At NAIST, the academic year shall commence on April 1 and end on March 31 of the following year.

2. Notwithstanding the provision of the foregoing subsection, the academic year shall commence on October 1 and end on September 30 of the following year for students who are admitted to NAIST in the autumn semester.

Article 23 (Semesters)

The academic year specified in the foregoing article shall consist of:

- (1) Spring semester (from April 1 to September 30), and
- (2) Autumn semester (from October 1 to March 31 of the following year).

Article 24 (Closed days)

1. NAIST shall be closed on the following days:
 - (1) Sunday and Saturday
 - (2) Days designated as national holidays under the Public Holiday Law (1948 Law No. 178)
 - (3) Anniversary of the founding of NAIST (October 1)
 - (4) Spring, summer and winter holidays
2. Details about the spring, summer and winter holidays in the foregoing subsection (4) shall be provided for separately.
3. The President may designate temporary closed day(s) if he deems it necessary to do so..
4. Regardless of Article 1, classes may be held on holidays when deemed necessary for educational purposes by the dean.

VII. Admission

Article 25 (Applicant qualifications)

1. Admission to the Master's Course is granted to individuals who:
 - (1) Have graduated from an university stipulated in Article 83-1 of the School Education Law (1947 Law No. 26)
 - (2) Have been awarded a bachelor's degree pursuant to Article 104-4 of the School Education Law
 - (3) Have completed the equivalent of a 16-year course of school education abroad
 - (4) Have taken a correspondence course in Japan offered by a foreign school, thereby completing a 16-year course of school education of the foreign country where the school is located
 - (5) Have completed a course of an educational institution that is recognized as offering a regular curriculum of a foreign university in compliance with the school education system of the country, and that is designated separately by the Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology, provided that completion of the said course shall constitute completion of a 16-year course of school education in the country
 - (6) Have completed the specialized course offered by a special training school that is designated separately by the Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology, on or after the day specified by the Minister, provided that the said course shall be a four-year or longer course, and meet all the other criteria set forth by the Minister
 - (7) Have been designated by the Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology, in accordance with Article 155-1 (6), of the Enforcement Regulations for the School Education Law (1947 Ordinance of the Ministry of Education No. 11)
 - (8) Fall into any of the following categories and are recognized by NAIST as having earned the necessary credits with outstanding academic grades:
 - (a) Individuals who have been enrolled in university for at least three years

(b) Individuals who have completed the equivalent of a 15-year course of school education abroad

(c) Individuals who have taken a correspondence course in Japan offered by a foreign school, thereby completing a 15-year course of school education of the foreign country where the school is located

(d) Individuals who have completed a course of an educational institution that is recognized as offering a regular curriculum of a foreign university in compliance with the school education system of the country, and that is designated separately by the Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology, provided that completion of the said course shall constitute completion of a 15-year course of school education in the country

(9) Have been enrolled in graduate school before pursuant to Article 102-2 of the School Education Law and are recognized by NAIIST as having adequate academic ability to be educated at the Graduate School thereof

(10) Have been recognized by NAIIST through an individual entrance screening as having academic ability equivalent to or greater than that of a university graduate and are at least 22 years of age

2. Admission to the Doctoral Course is granted to individuals who:

(1) Have been awarded a master's degree or a professional degree specified in Article 5-2 of the Rules for Degrees (1953 Ordinance of the Ministry of Education No. 9) pursuant to Article 104-1 of the School Education Law ("Professional Degree")

(2) Have been awarded a master's degree or other degree equivalent to a Professional Degree abroad

(3) Have been awarded a master's degree or other degree equivalent to a Professional Degree by completing a correspondence course in Japan offered by a foreign school

(4) Have been awarded a master's degree or other degree equivalent to a Professional Degree by completing a course of an educational institution in Japan that is recognized as offering a regular curriculum of a foreign graduate school in compliance with the school education system of the country, and that is designated separately by the Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology

(5) have completed their degree by March 2016 by graduating from the United Nations University established under the resolution of the United Nations General Assembly on December 11, 1972 as stipulated in subsection 2, Article 1 of the Special Measures Incidental to Enforcement of the Agreement between the United Nations and Japan regarding the Headquarters of the United Nations University Act (Act No.72 of 1976).

(6) have been recognized as having achieved at least the academic equivalence of a Master's degree through an educational program of ① a foreign educational institute, ② educational institutions which have received the designation in (4) above, or ③ the United Nations University and have passed the equivalent examination and screening process as stipulated in

the subsection 2, Article 16 of the Standards for the Establishment of Graduate School (Act No. 28, 1974).

(7) Have been designated by the Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology, in accordance with Article 155 (6), of the Enforcement Regulations for the School Education Law

(8) Have been recognized by NAIIST through an individual entrance screening as having academic ability equivalent to or greater than that of a master's degree or Professional Degree holder and are at least 24 years of age

3. Methods for implementing entrance screening, etc., set forth in Paragraph 1 (10) and Paragraph 2 (6), hereof shall be stipulated separately by respective Graduate Schools.

Article 26 (Timing of admission)

Students shall be admitted to NAIIST at the beginning of each semester.

Article 27 (Application for admission)

To apply for admission to NAIIST, an admission application form shall be submitted together with designated documents to the President of NAIIST.

Article 28 (Screening)

Applicants for admission to NAIIST shall be screened by the procedures set forth separately.

Article 29 (Enrollment procedures and admission)

1. Applicants who have received notification of acceptance as a result of the screening specified in the foregoing article shall submit the designated documents to be admitted to NAIIST.
2. The President shall admit applicants to NAIIST upon completion of the procedures set forth in the foregoing subsection.

Article 30 (Admission to Doctoral Course)

Subject to screening by the Faculty Council of the relevant Graduate School, the President shall admit students to the Doctoral Course upon completion of the Master's Course of NAIIST.

VIII. Standard Terms of Study and Maximum Years of Enrollment

Article 31 (Standard terms of study)

The standard terms of study at the Master's Course and Doctoral Course shall be two years and three years, respectively.

Article 32 (Maximum years of enrollment)

Maximum years of enrollment in the Master's Course and Doctoral Course shall be four years and six years, respectively.

IX. Education at Graduate Schools

Article 33 (Graduate school education)

Education at the Graduate Schools shall be provided by means of lectures on subjects and guidance on writing theses (“Research Guidance”).

Article 34 (Courses, credits, and registration procedures)

The courses to be taught as set forth in the foregoing article, the credits allotted to the said courses, and registration procedures shall be provided for separately by each Graduate School.

Article 35 (Calculation of credits)

1. Based on the general rule that one credit shall be composed of a total of 45 hours of studying by students, the following basis shall be adopted for calculating credits at NAIST, taking into consideration the educational effects and hours required for off-campus studying, which vary depending on how the subject is taught:

(1) For lectures and seminars, one credit shall require from fifteen up to thirty class hours.

(2) For experiments and practical classwork, one credit shall require from thirty up to forty-five class hours.

(3) When a combination of two or more methods of lectures, seminars, experiments, or practical classwork is employed for a course, one credit shall consist of class hours determined in light of the standards stipulated in the foregoing two subsections, in accordance with the combination of such methods.

2. Notwithstanding the provision of the foregoing subsection, the number of credits to be allotted to thesis writing and thematic research may be determined upon consideration of the amount of study needed therefor, if it is deemed appropriate to award credits based on an evaluation of the results of the study.

Article 35-2 (Publication of Standards for Evaluating Grades)

1. A Graduate School shall present to its students, in advance, a clear outline of the methodology and contents of classes and Research Guidance, as well as a class and Research Guidance schedule for the year.

2. A Graduate School shall, when assessing its students’ academic achievement and theses and approving their completion, present them with a clear outline of the standards therefor, in advance, so as to ensure objectivity and rigidity, and shall conduct an assessment and approval process appropriately in accordance with said standards.

Article 35-3 (Organized Training for Improving Educational Contents)

1. NAIST shall conduct organized training and research for improving the contents and

methodology used to give classes and Research Guidance.

2. Necessary matters related to organized training for improving educational contents shall be stipulated separately.

Article 36 (Awarding of credits)

Students who have completed each course can earn credits therefor upon passing the examination or acceptance of a research report.

Article 37 (Studying in another Graduate School of NAIST)

1. Students may take a course offered by another Graduate School of NAIST if the Dean of their Graduate School deems it educationally beneficial to do so.

2. Course credits that students have earned pursuant to the foregoing subsection may be counted toward degree credits specified in Article 41 or Article 42 to the extent permitted by their Graduate School.

3. Matters relating to taking of courses of other Graduate Schools shall be provided for separately.

Article 38 (Studying in another graduate school outside of NAIST)

1. Contingent on prior consultation with the graduate school offering classes, students may take a course offered by another graduate school outside of NAIST if the Dean of the their Graduate School deems it educationally beneficial to do so, subject to screening by the Faculty Council of the Graduate School.

2. Course credits that students have earned pursuant to the foregoing subsection shall be treated as credits earned internally, provided that the number of such credits shall not exceed ten.

3. The period of studying at another graduate school pursuant to subsection 1 of this Article shall be counted toward the period of study at NAIST.

4. The provisions of the foregoing three subsections shall apply to cases in which students take classes from ① a correspondence program offered by a foreign school in Japan ② a foreign graduate school in compliance with the school education system of that country, and that is designated separately by the Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology, or ③ the United Nations University graduate program.

5. Matters relating to taking of courses of other graduate schools shall be provided for separately.

Article 38-2 (Approval of credits for courses completed at a foreign university during a leave of absence)

1. Students may earn credits for courses completed at foreign universities during a leave of absence if the Dean of their Graduate School deems it educationally beneficial to do so, subject

to screening by the Faculty Council of the Graduate School.

2. Course credits that students have earned pursuant to the foregoing subsection shall be treated as credits earned internally, provided that the number of such credits shall not exceed ten.

Article 39 (Treatment of credits earned prior to admission to NAIST)

1. Credits that a student has earned at another graduate school prior to admission to NAIST, including credits that have been earned by the student as a non-degree student as defined in the Standards for the Establishment of Graduate Schools (1974 Ordinance of the Ministry of Education No. 28), may be treated as credits that have been earned by the student at NAIST after his or her admission thereto, if the Dean of the their Graduate School deems it educationally beneficial to do so, subject to screening by the Faculty Council of the Graduate School.

2. The number of credits that have been earned at another graduate school but are treated as having been earned at NAIST pursuant to the foregoing subsection shall not exceed ten.

3. Other matters relating to credits earned prior to admission to NAIST shall be provided for separately.

Article 40 (Research Guidance at another graduate school)

1. Contingent on prior consultation with the relevant graduate school or research institution, students may receive Research Guidance offered by another graduate school or research institution outside of NAIST as needed if their Dean deems it educationally beneficial to do so, subject to screening by the Faculty Council of their Graduate School. However, the period during which students enrolled in the Master's Course are allowed to receive Research Guidance at another graduate school or research institution shall not exceed one year.

2. Research Guidance that students receive from another graduate school or research institution pursuant to the foregoing subsection may be treated as Research Guidance received by the students at the Graduate School of NAIST.

3. The period during which students receive Research Guidance pursuant to subsection 1 of this Article shall be counted toward the period of study at NAIST.

4. Matters relating to Research Guidance at another graduate school or research institution shall be provided for separately.

X. Course and Degree Requirements

Article 41 (Requirements for completion of Master's Course)

1. To complete the Master's Course, students shall have been enrolled in the Master's Course for the standard term of study at the shortest, earn at least thirty credits in the subjects

designated by their Graduate School, receive necessary Research Guidance, and pass the master's thesis examination or final examination. However, students who have achieved outstanding research results may complete the Master's Course after having been enrolled in the said course for one year at the shortest, instead of the standard term of study.

2. Pursuant to the provision of the foregoing subsection, an examination of research results on specified themes may be conducted in place of the master's thesis examination if the Dean of the relevant Graduate School deems it appropriate to do so.

Article 42 (Requirements for completion of Doctoral Course)

1. To complete the Doctoral Course, students shall have been enrolled in the Doctoral Course for the standard term of study at the shortest, receive necessary Research Guidance, and pass the doctoral thesis examination or final examination. However, students who have achieved outstanding research results may complete the Doctoral Course after having been enrolled in the said course for one year at the shortest, instead of the standard term of study.

2. The part of the provision of the foregoing subsection that reads "However, students who have achieved outstanding research results may complete the Doctoral Course after having been enrolled in the said course for one year at the shortest, instead of the standard term of study" shall read "However, students who have achieved outstanding research results may complete the Doctoral Course after having been enrolled in the said course for the period of three years less the period of enrollment in the Master's Course at the shortest, instead of the standard term of study," to apply to students who have completed the Master's Course at NAIST in one year at the shortest pursuant to subsection 1 of Article 41, or who have completed the master's course of another graduate school outside of NAIST taking between one and two years.

3. Notwithstanding the provisions of the foregoing two subsections, for students who have been admitted to the Doctoral Course after having been recognized as having academic ability equivalent to or greater than that of a master's degree holder pursuant to Article 156 of the Enforcement Regulations for the School Education Law, the requirements for completion of the Doctoral Course shall be: enrollment in the said course for three years at the shortest, receipt of necessary Research Guidance, and passing of the doctoral thesis examination or final examination. However, students who have achieved outstanding research results may complete the Doctoral Course after having been enrolled in the said course for one year at the shortest, instead of three years.

Article 43 (Approval of completion)

Approval of completion of the Master's Course and Doctoral Course shall be given by the President, subject to screening by the Faculty Council of the relevant Graduate School.

Article 44 (Awarding of degrees)

1. Students who have completed the Master's Course or Doctoral Course shall be awarded a

master's degree or doctoral degree, respectively.

2. In addition to the provision of the foregoing subsection, a doctoral degree shall be awarded to individuals who have submitted a doctoral thesis to NAIST, passed the doctoral thesis examination and been recognized as having academic ability equivalent to or greater than that of an individual who has completed the Doctoral Course at NAIST.

3. Matters relating to awarding of degrees shall be provided for separately.

Article 45 (Timing of completion)

1. The Master's Course and Doctoral Course shall be completed at the end of each semester.

2. Notwithstanding the provision of the foregoing subsection, the Master's Course and Doctoral Course may be completed during a semester if deemed necessary by the President.

Article 46 (Teaching qualifications)

1. Students who wish to obtain teaching qualifications shall earn the credits specified by the Teacher's Certificate Law (1949 Law No. 147) and the Enforcement Regulations for the Teacher's Certificate Law (1954 Ordinance of the Ministry of Education No. 26).

2. Teaching qualifications that can be obtained at the Graduate Schools of NAIST are as shown in the following table.

Graduate School	Department	Teaching qualification	Subject
Information Science	Information Science	High school teacher's qualification	Information
Biological Sciences	Biological Sciences	Junior high school teacher's qualification High school teacher's qualification	Science Science
Materials Science	Materials Science	Junior high school teacher's qualification High school teacher's qualification	Science Science

XI. Leave of Absence, Study Abroad, Readmission, Transfer from/to another School, Transfer to another Graduate School within NAIST, Withdrawal, and Expulsion.

Article 47 (Leave of absence)

1. A student who must be absent from school for three consecutive months or longer due to illness, or for other reasons deemed justifiable by the President, may take a leave of absence with President's permission, following deliberation by the Faculty Council of his or her Graduate School.

2. The President may order a student who is recognized to be too ill to attend school to take leave of absence.

3. When the grounds for the leave of absence have been resolved, the student may return to school with permission of the President.
4. The period of leave of absence shall be up to one year, provided, however, that the said period may be extended for up to another one year if there is any justifiable reason.
5. The period of leave of absence shall not exceed two years in total during enrollment in the Master's Course or Doctoral Course, respectively.
6. Notwithstanding the provision of subsections 4 and 5, a student may be given special permission to take a leave of absence if deemed appropriate by the President.
7. The period of leave of absence shall not be counted toward the standard term of study specified in Article 31 and the minimum years of enrollment specified in Article 32.

Article 48 (Study abroad)

1. A student who wishes to study at a graduate school or research institution abroad shall obtain permission of the President in advance.
2. The provisions of Article 38 and Article 40 shall apply for the treatment of credits earned during study abroad.

Article 49 (Readmission)

1. An individual who withdrew or was expelled from NAIIST in the past and wishes to be readmitted in the Graduate School of NAIIST may be permitted to do so by the President, subject to screening by the Faculty Council of the relevant Graduate School, only if doing so is deemed not to interfere in any way with the educational and research activities of the Graduate School.
2. If readmission is permitted pursuant to the provision of the foregoing subsection, the Dean of the relevant Graduate School shall decide whether to count the credits earned during the previous enrollment and years of the previous enrollment toward course requirements, subject to screening by the Faculty Council.

Article 50 (Transfer from another Graduate school)

1. A student who is enrolled in another graduate school outside of NAIIST and wishes to transfer to NAIIST may be permitted to do so by the President, subject to screening by the Faculty Council of the relevant Graduate School, only if doing so is deemed not to interfere in any way with the educational and research activities of NAIIST.
2. If transfer to NAIIST is permitted pursuant to the provision of the foregoing subsection, the Dean of the relevant Graduate School shall decide whether to count credits earned during the previous enrollment and years of the previous enrollment toward course requirements, subject to screening by the Faculty Council.
3. The provisions of the foregoing two subsections shall apply to cases in which students are enrolled in a foreign graduate school in compliance with the school education system of that

country, and that is designated separately by the Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology (limited to schools stipulated in subsection 1, Article 102 of the School Education Law), or the United Nations University graduate program.

Article 51 (Transfer to a graduate school outside of NAIST)

1. A NAIST student who wishes to transfer to another graduate school outside of NAIST shall obtain permission of the President in advance.
2. If transfer to another Graduate School at NAIST is permitted pursuant to the provision of the foregoing subsection, the Faculty Council of the relevant Graduate School shall agree to count the credits earned during the previous enrollment and years of the previous enrollment toward course requirements.

Article 52 (Transfer to another Graduate School)

1. A student who is enrolled in a Graduate School at NAIST and wishes to transfer to another Graduate School at NAIST may be permitted to do so by the Dean of the Graduate School to which he or she wishes to transfer, subject to screening by the Faculty Council of the Graduate School, only if doing so is deemed not to interfere in any way with educational and research activities of the Graduate School.
2. If transfer to another Graduate School at NAIST is permitted pursuant to the provision of the foregoing subsection, the Faculty Council of the relevant Graduate School shall agree to count the credits earned during the previous enrollment and years of the previous enrollment toward course requirements.

Article 53 (Withdrawal)

A NAIST student who wishes to withdraw from NAIST shall obtain permission of the President in advance following deliberation by the Faculty Council of his or her Graduate School.

Article 53-2 (Expulsion)

A student shall be expelled from NAIST if he or she:

- (1) Has been enrolled in NAIST for longer than the period specified in Article 32.
- (2) Has been on leave of absence for longer than the period stipulated in Article 47, subsections 5 and 6.
- (3) Has failed to pay the admission fee by the due date if the student has not been exempted from payment of the admission fee, has been exempted from payment of part of admission fee, has been allowed delayed payment of the admission fee, or has the payment exemption withdrawn.
- (4) Has failed to pay the tuition fee by the due date and still not paid it even after receiving a reminder.
- (5) Has been declared missing.

(6) Has deceased

XII. Entrance Examination, Admission and Tuition Fees

Article 54 (Amounts of the entrance examination, admission and tuition fees)

The amounts of the entrance examination, admission and tuition fees shall be as shown in the following table.

Entrance examination fee	Admission fee	Annual tuition fee
30,000 yen	282,000 yen	535,800 yen

Article 55 (Payment of the entrance examination fee)

1. Individuals who apply for admission, readmission or transfer to NAIST shall submit an application form and pay the entrance examination fee at the same time.
2. Notwithstanding the provision of the foregoing subsection, students who apply for admission by recommendation in accordance with Article 4 of MEXT Guidelines for International Scholarship Student System Implementation shall not have to pay entrance examination fees.

Article 56 (Payment of the admission fee)

1. Individuals who are to be admitted, readmitted or transferred to NAIST shall pay the admission fee by the due date specified by NAIST.
2. Notwithstanding the provision of the foregoing subsection, MEXT Scholarship Students (as defined in Article 2 of MEXT Guidelines for International Scholarship Student System Implementation) shall not have to pay admission fees.

Article 57 (Payment of the tuition fee)

1. Students shall pay the annual tuition fee in two equal installments for the spring semester (from April to September) and the autumn semester (from October to March of the following year).
2. The due dates of the tuition payment shall be in May and November except when delayed payment is permitted pursuant to the provision of Article 63.
3. Notwithstanding the provisions of the foregoing two subsections, students, by submitting an application, may pay the tuition fee for the autumn semester at the same time as paying the tuition fee for the spring semester.
4. Notwithstanding the provisions of subsections 1 and 2 above, students may, by submitting an application, pay the tuition fee for the spring semester or for the spring and autumn semesters of the year of admission, at the time when accepted for admission.
5. Notwithstanding the provision of subsection 1, MEXT Scholarship Students (as defined in Article 2 of MEXT Guidelines for International Scholarship Student System Implementation)

shall not have to pay tuition.

Article 58 (Amount and payment of the tuition fee in case of re-enrollment)

In case of re-enrollment, transfer from another school, and readmission (“Re-enrollment”) during the spring or autumn semester, the tuition fee shall be paid in an amount of one twelfth of the annual tuition fee (“Monthly Fee”) multiplied by the number of months from the month of Re-enrollment to the month preceding the next tuition payment. Payment shall be made in the month of Re-enrollment.

Article 59 (Amount of the tuition fee in case of completion of the course before the end of the academic year)

In case of completion of the course before the end of the academic year due to special circumstances, the tuition fee shall be paid in an amount of the Monthly Fee multiplied by the number of months of enrollment in NAIST.

Article 60 (Amount of the tuition fee in case of leave of absence)

1. Payment of tuition fee is not required during leave of absence.
2. The amount of the tuition fee for which payment is not required shall be the Monthly Fee multiplied by the number of months from the month following the leave of absence to the month preceding Re-enrollment.

Article 61 (Amount of the tuition fee in case of withdrawal)

1. In case of withdrawal, whether voluntary or forced, transfer to another school, or expulsion from NAIST during a spring or autumn semester, the tuition fee for the entire semester shall be paid.
2. The tuition of students which have been suspended shall be collected for the duration of the suspension.
3. Notwithstanding the provision of subsection 1, the tuition to be collected from students who have been removed from enrollment due to death or disappearance will be recalculated according to the number of months enrolled.

Article 62 (Exemption from payment of admission and tuition fees)

Students may be exempted from payment of all or part of the admission fee or allowed delayed payment thereof if he or she has difficulties paying the admission fee for financial reasons and also is recognized as having outstanding academic ability, or if he or she has other justifiable reasons.

Article 63

Students may be exempted from payment of all or part of the tuition fee or allowed delayed payment thereof if he or she has difficulties paying the tuition fee for financial reasons and also

is recognized as having outstanding academic ability, or if he or she has other justifiable reasons.

Article 64

Matters relating to exemption of payment of admission and tuition fees and delayed payment thereof shall be provided for separately.

Article 65 (Treatment of entrance examination, admission and tuition fees once paid)

1. Once paid, entrance examination, admission and tuition fees cannot be refunded.
2. Notwithstanding the provision of the foregoing subsection, the tuition fee shall be refunded in the following cases.

(1) If a student who paid the tuition fees for both the spring and autumn semester at the same time pursuant to the provision of Article 57 subsection 3 above is to withdraw from NAIST before September 30 of that school year, the tuition fee for the autumn semester shall be refunded.

(2) If a student who paid the tuition fee at the time when he or she was accepted for admission pursuant to the provision of Article 57-4 above declares his or her intention to decline the acceptance by the last day of the month preceding the admission, the amount equivalent to the paid tuition fee shall be refunded.

(3) If a student who paid tuition fees pursuant to the provision of Article 57 is to complete his or her course before the end of the academic year due to special circumstances, the amount of the paid tuition fee less the Monthly Fee multiplied by the number of months of enrollment shall be refunded.

(4) If a student who paid tuition fees is to take leave of absence, the amount specified in Article 60-2 shall be refunded.

(5) In the case of removal from enrollment due to death or disappearance, tuition paid shall be refunded after deducting for the partial enrollment period.

XIII. Special Auditing Students, Special Research Students, Non-Degree Students, Research Students and Undergraduate Internship Students

Article 66 (Special auditing students)

1. Contingent on consultation with the students' graduate school, students enrolled in another graduate school outside of NAIST, whether domestic or foreign, may be admitted to NAIST as special auditing students to take a course at the relevant Graduate School of NAIST if deemed beneficial for educational purposes by the Dean of the relevant Graduate School, subject to screening by the Faculty Council.

2. Matters relating to special auditing students shall be provided for separately.

Article 67 (Special research students)

1. Contingent on consultation with the students' graduate school, students enrolled in another graduate school outside of NAIST, whether domestic or foreign, may be admitted to NAIST as special research students to receive Research Guidance at the relevant Graduate School of NAIST if deemed beneficial for educational purposes by the Dean of the relevant Graduate School, subject to screening by the Faculty Council.
2. Matters relating to special research students shall be provided for separately.

Article 68 (Non-degree students)

1. Individuals who are not NAIST students but wish to study one or more elective subjects at the Graduate School of NAIST may be admitted to NAIST as non-degree students and awarded credits only if doing so is deemed not to interfere in any way with the educational and research activities of the Graduate School by the Dean of the Graduate School, subject to screening by the Faculty Council.
2. Matters relating to non-degree students shall be provided for separately.

Article 69 (Research students)

1. Individuals who wish to conduct research on a specific theme at a Graduate School of NAIST may be admitted to NAIST as research students only if doing so is deemed not to interfere in any way with the educational and research activities of the Graduate School by the Dean of the relevant Graduate School, subject to screening by the Faculty Council.
2. Matters relating to research students shall be provided for separately.

Article 69-2 (Undergraduate internship students)

1. Contingent on consultation with the students' university or institution, students enrolled in another university (including foreign universities) or technical college may be admitted to NAIST as undergraduate internship students to receive academic guidance in a NAIST graduate school if deemed beneficial for educational purposes by the Dean of the relevant Graduate School, subject to screening by the Faculty Council.
2. Matters relating to undergraduate internship students shall be provided for separately.

XIV. Rewards and Punishments

Article 70 (Rewards and punishments)

1. Students may be recognized by the President for outstanding achievements and valuable contributions, subject to screening by the Faculty Council.
2. The President may take disciplinary measures against students who have acted against the rules of NAIST or who have materially disturbed the educational and research activities of NAIST, following deliberation by the Faculty Council of the relevant Graduate School.

3. The disciplinary measures set forth in the foregoing subsection shall mean forced withdrawal, suspension from NAIST, and warning.

4. The period of suspension shall be subtracted from the maximum period of study stipulated in Article 32, but not added to the standard period of study stipulated in Article 31. However, if the period of suspension is less than three months, the semester shall be added to the standard period of study.

XV. Student Dormitories

Article 71 (Student dormitories)

1. NAIST has student dormitories.
2. Matters relating to the student dormitories shall be provided for separately.

XVI. Open Lectures

Article 72 (Open lectures)

1. NAIST may offer open lectures with a view to educating the public and contributing to cultural enrichment.
2. Matters relating to the open lectures shall be provided for separately.

XVII. Special Programs

Article 73 (Special programs)

1. NAIST may organize special programs for individuals who are not NAIST students and issue certificates certifying the successful participant's course completion.
2. Matters relating to the implementation of the foregoing subsection shall be provided for separately.

Supplementary provisions

(Effective date)

1. These Regulations shall come into effect on April 1, 2004.

(Transitional measures)

2. In case of amendment of the Regulations of the Nara Institute of Science and Technology, the Regulations before the amendment shall remain applicable to the students who are enrolled in NAIST as of March 31, 2004 ("Existing Students") and also to the students who are readmitted or transferred to NAIST after April 1, 2004 if they are in the same grade as the Existing Students.

Supplementary provision

These Regulations shall come into effect on April 1, 2005.

Supplementary provision

These Regulations shall come into effect on April 21, 2005, while the Regulations of the Nara Institute of Science and Technology as amended hereunder shall be applied from April 1, 2005.

Supplementary provision

These Regulations shall come into effect on November 17, 2005.

Supplementary provision

These Regulations shall come into effect on April 1, 2007.

Supplementary provision

These Regulations shall come into effect on January 24, 2008, while the Regulations of the Nara Institute of Science and Technology as amended hereunder shall be applied from December 26, 2007.

Supplementary provision

These Regulations shall come into effect on April 1, 2009.

Supplementary provision

These Regulations shall come into effect on April 1, 2010.

Supplementary provision

These Regulations shall come into effect on December 1, 2010.

Supplementary provision

These Regulations shall come into effect on December 1, 2010.

(Effective date)

1. These Regulations shall come into effect on April 1, 2010.
2. Notwithstanding the provision of revised Article 5, the Graduate School of Information Science Department of Information Processing, Department of Information Systems and Department of Bioinformatics and Genomics, along with Graduate School of Biological Science Department of Cell Biology and Department of Molecular Biology shall be maintained until the students enrolled in these departments as of March 31, 2011 are no longer enrolled.

(Enrollment capacity for 2011, 2012 school year)

3. Notwithstanding the provision of Article 21, the enrollment capacity for the 2011 and 2012 school years shall be as shown in the following table.

Fiscal Year	Graduate school	Department	Admission capacity		Enrollment capacity
			Master's Course	Doctoral Course	
2011	Information Science	Information Science	135	40	175
		Information Processing			96
		Information Systems			77
		Bioinformatics and Genomics			59
		Total	135	40	407
2011	Biological Sciences	Biological Sciences	125	37	162
		Cell Biology			81
		Molecular Biology			101
		Total	125	37	344
2012	Information Science	Information Science	135	40	350
		Information Processing			18
		Information Systems			14
		Bioinformatics and Genomics			11
		Total	135	40	393
2012	Biological Sciences	Biological Sciences	125	37	324
		Cell Biology			15
		Molecular Biology			19
		Total	125	37	358

(Transitional measures concerning attainable qualifications for teacher licensing at the Graduate Schools)

4. Notwithstanding the provision of revised Article 46 subsection 2, the types and subjects of teaching licenses attainable at the departments in supplementary provision 2 shall depend upon previously offered licensing.

Supplementary provision

These Regulations shall come into effect on April 1, 2011.

Supplementary provision

These Regulations shall come into effect on April 1, 2012.

Supplementary provision

These Regulations shall come into effect on June 1, 2012.

Supplementary provision

These Regulations shall come into effect on February 1, 2013.

Supplementary provision

These Regulations shall come into effect on April 1, 2013.

Supplementary provision

These Regulations shall come into effect on April 1, 2014.

Supplementary provision

These Regulations shall come into effect on December 1, 2014.

Supplementary provision

These Regulations shall come into effect on April 1, 2015

Supplementary provision

These Regulations shall come into effect on November 26, 2015

Schedule (supplementary to Article 21)

Graduate school	Department	Admission capacity		Enrollment capacity
		Master's Course	Doctoral Course	
Information Science	Information Science	135	40	390
Biological Sciences	Biological Sciences	125	37	361
Materials Science	Materials Science	90	30	270
Total		350	107	1,021

Regulations for Student Commendation of Nara Institute of Science and Technology

December 7, 2004
Regulations No. 89

Article 1 (Purpose)

The purpose of these Regulations is to stipulate matters relating to commendation of performance worthy of public recognition that has been achieved by students (including groups of students) of the Nara Institute of Science and Technology (“NAIST”) pursuant to the provision of Article 70 of the NAIST Regulations.

Article 2 (Commendation criteria)

1. NAIST shall commend students for:

- (1) Hard work in academic studies that sets a good example for other students;
- (2) Remarkable performance achieved in academic and research activities;
- (3) Remarkable performance achieved in social activities;
- (4) Remarkable performance achieved in extracurricular and other activities; or
- (5) Other conduct judged to be worthy of public recognition.

2. Students to be commended pursuant to the foregoing subsection shall include those who are dead at the time of commendation.

Article 3 (Nomination)

Administrative staff or the Dean of the relevant Graduate School shall submit a letter of nomination (Form No. 1 attached hereto) to the President to recommend a student who is deemed to meet any of the commendation criteria specified in the foregoing subsection for commendation.

Article 4 (Decision on commendation of student)

The President shall decide whether to commend the student based on the nomination specified in the foregoing article.

Article 5 (Commendation)

1. The President shall award a certificate of commendation (Form No. 2 attached hereto) to the student whom it was decided should be commended pursuant to the provision of the foregoing article.
2. The President may present a commemorative gift to the student in addition to the certificate of commendation specified in the foregoing subsection.

Article 6 (Timing of commendation)

The President shall determine the timing of commendation, in consideration of the timing of the degree conferring ceremony or the nature of the commendation.

Article 7 (Clerical work)

The Educational Affairs Division of the Planning and Academic Affairs Department shall be responsible for handling clerical work necessary for student commendations.

Article 8 (Miscellaneous provision)

Other matters relating to student commendations shall be provided for separately.

Supplementary provision

These Regulations shall come into effect on December 7, 2004.

Supplementary provision

These Regulations shall come into effect on November 15, 2006 and be retrospectively applied from April 1, 2006.

Supplementary provision

These Regulations shall come into effect on July 26, 2007 and be retrospectively applied from April 1, 2007.

Supplementary provision

These Regulations shall come into effect on April 1, 2015.

Regulations for NAIST Excellent Student Scholarship Program

September 21, 2010

Regulations No. 4

Article 1 (Objective)

These regulations provide for necessary matters regarding the scholarship program that is intended to help develop excellent human resources by giving incentives to and supporting excellent students of Nara Institute of Science and Technology (hereinafter referred to as “NAIST”).

Article 2 (Name)

The name of the scholarship program shall be the NAIST Excellent Student Scholarship Program.

Article 3 (Qualified students)

Students qualified to receive scholarships under the scholarship program (hereinafter referred to as “qualified students”) shall be students who are enrolled in the first year of a doctoral course at NAIST in an academic year in which qualified students are selected (hereinafter referred to as “the academic year”) and whose academic performance is outstanding and whose character is excellent, excluding foreign students financed by the Japanese government and those selected for the NAIST International Scholar Program.

Article 4 (Maximum number of qualified students)

The maximum number of qualified students shall be 15 in each academic year.

Article 5 (Method of scholarship support)

The scholarship support shall be provided in the form of exemption from payment of all tuition fees for the academic year.

Article 6 (Timing of selecting qualified students)

Qualified students shall be selected in April.

Article 7 (Notification of the number of scholarship candidates subject to recommendation)

The President shall set the number of candidates for qualified students (hereinafter referred to as “scholarship candidates”) subject to recommendation for each graduate school and notify the deans in advance.

Article 8 (Selection of scholarship candidates)

1. The deans shall set the criteria for screening scholarship candidates (hereinafter referred to as “the screening criteria”), announce on campus the screening criteria together with the number of candidates for qualified students, and solicit applications for scholarship candidates.
2. The deans shall select scholarship candidates from among the applicants based on the screening criteria set forth in the preceding paragraph, and recommend the scholarship candidates to the President, also providing the screening criteria and the order of recommendation.

Article 9 (Screening of qualified students)

1. The President shall set up a NAIST Excellent Student Screening Committee (hereinafter referred to as “the Committee”) to screen qualified students based on the deans’ recommendations.
2. The Committee shall consist of the following members:
 - (1) President
 - (2) Executive Director appointed by the President
 - (3) Vice President appointed by the President
 - (4) Deans
3. The Committee shall have a chairperson, who shall be the President.
4. The chairperson shall preside over the meetings of the Committee.
5. If the chairperson becomes unable to serve, a Committee member appointed by the chairperson in advance shall perform the duties of the chairperson.
6. If the chairperson finds it to be necessary, individuals other than Committee members set forth in Paragraph 2 shall be allowed to attend the Committee meetings.

Article 10 (Selection of qualified students)

1. The President shall select qualified students based on screening by the Committee.
2. The President shall notify the deans of the screening results, and announce the screening results on campus.

Article 11 (Commendation and presentation session)

The President shall commend qualified students, and shall host a presentation session by the qualified students.

Article 12 (Clerical work)

Clerical work regarding the scholarship program shall be undertaken by the Educational Affairs Division of the Planning and Academic Affairs Department.

Article 13 (Miscellaneous provisions)

In addition to the matters provided for in these regulations, necessary matters concerning the scholarship program shall be provided for separately.

Supplementary provisions

1 (Effective date)

These regulations shall come into effect on October 1, 2010.

2 (Transitional measures)

For academic year 2010 alone, the scholarship support shall be provided in the form of exemption from payment of half the tuition fees for the academic year regardless of the provisions of Article 5, and qualified students shall be selected in October regardless of the provisions of Article 6.

Supplementary provisions

These regulations shall come into effect on April 1, 2015.

奈良先端科学技術大学院大学 学歌

作曲：古川 聖

若々しく ♩ = 116

mp

かす がやま ずい うんなびき あけ ぼののそらの はるけさ
 とみ おがわ たゆう ることなくせせ らぎのひかり はながる
 いこ まやま ゆう こえみれば なに わづにつ どうももふね

mp

ちの もりの さい せんたんへ どく そうのせい ふう を おく
 さか りゆく みら いのそらへ えい えんのしんりち を おしめ
 じょう ほうは ここ にあつまり せん たんのえい ち を つな

v

る なら せ んたん かがく ぎ じゅつ だい が く いん た か き り そ
 す なら せ んたん かがく ぎ じゅつ だい が く いん か が や な ち
 ぐ な ら せ んたん かがく ぎ じゅつ だい が く いん あ ら た く な じ

v

一(う)の きざ は し の ぼ る
 せいの きざ は し の ぼ る
 だいの きざ は し の ぼ る

奈良先端科学技術大学院大学学歌

- 一、春日山 瑞雲なびき
 あげぼのの 空の遙けさ
 知の森の 最先端へ
 独創の 清風を送る
 奈良先端科学技術大学院
 高き理想の階のぼる
- 二、富雄川 絶ゆることなく
 せせらぎの 光は流る
 盛りゆく 未来の蒼天へ
 永遠の 真理を示す
 奈良先端科学技術大学院
 輝く知性の階のぼる
- 三、生駒山 夕越え見れば
 難波津に 集う百船
 情報は 平城に集まり
 先端の 叡知を繋ぐ
 奈良先端科学技術大学院
 新たな時代の階のぼる

原作：岡部 剛機

